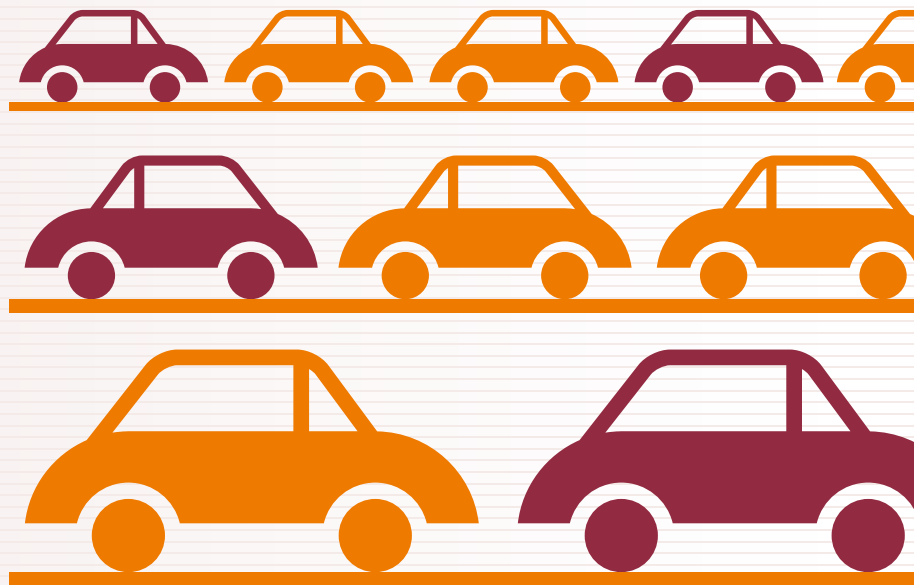


# Parking Systems

IHI



## IHIパーキング 総合技術資料

第14版

---

# IHI パーキング総合技術資料

---

第14版

2021年5月



目次	目次
第1章 パーキングシステム	パーキングシステム
第2章 エレベータパーキング	エレベータパーキング
第3章 フォークパーキング	フォークパーキング
第4章 タワーパーキング	タワーパーキング
第5章 スーパースクエアパーキング	スーパースクエアパーキング
第6章 収容可能車最大寸法表(注意事項) / 収容可能車の代表例	収容可能車最大寸法表(注意事項) / 収容可能車の代表例
第7章 エレベータ・フォーク・タワー・スーパースクエアパーキング共通	エレベータ・フォーク・タワー・スーパースクエアパーキング共通
第8章 ターンテーブル	ターンテーブル
第9章 自走式パーキング	自走式パーキング
第10章 駐車場関連資料	駐車場関連資料

本技術資料の仕様・寸法等は予告なしに変更する場合があります。

# 目次

目次	1
----	---

## 第1章

### パーキングシステム

エレベータパーキングの種類	1-2
フォークパーキングの種類	1-4
タワーパーキングの種類	1-5
スーパースクエアパーキングの種類	1-6
自走式パーキングの種類	1-7

## 第2章

### エレベータパーキング

収容可能車最大寸法表	2-2
エレベータパーキング	
自立式	
標準仕様表	2-4
ターンテーブル内蔵型	2-6
直接乗込縦列ターンテーブル内蔵型	2-8
ターンテーブル内蔵型 中間乗込方式	2-10
ミックス型（高さ寸法早見表）	2-12
ビル内自立式	
標準仕様表	2-13
ターンテーブル内蔵型	2-14
直接乗込縦列ターンテーブル内蔵型	2-16
ターンテーブル内蔵型 中間乗込方式	2-18
ミックス型（高さ寸法早見表）	2-20
床仕上げ	2-22
基礎参考図	2-28
電源容量・電線サイズ一覧	2-30

## 第3章

### フォークパーキング

収容可能車最大寸法表	3-2
フォークパーキング	
自立式	
標準仕様表	3-4
ターンテーブル内蔵型	3-6
直接乗込縦列ターンテーブル内蔵型	3-8
前面空地利用型ターンテーブル内蔵型	3-10
ミックス型（高さ寸法早見表）	3-12
ビル内自立式	
標準仕様表	3-13
ターンテーブル内蔵型	3-14
直接乗込縦列ターンテーブル内蔵型	3-16
ミックス型（高さ寸法早見表）	3-18
床仕上げ	3-19
電源容量・電線サイズ一覧	3-21

## 第4章

### タワーパーキング

収容可能車最大寸法表	4-2
自立式	
下部乗入方式	4-4
下部乗入方式 連立式	4-6
ターンテーブル内蔵型	4-8
ターンテーブル内蔵型 連立式	4-10
ミックス型	4-12
ターンテーブル内蔵ミックス型	4-14
ビル内自立式	
下部乗入方式	4-16
ターンテーブル内蔵型	4-18
ミックス型	4-20
ターンテーブル内蔵ミックス型	4-22
床仕上げ	4-24
基礎参考図	4-26
電源容量・電線サイズ一覧	4-28

**第5章****スーパースクエアパーキング**

収容可能車最大寸法表	5-2
スーパースクエアパーキング	
1層／2層	5-4
3層／4層	5-6
乗込部平面図／床開口図	5-8
ベースプレート配置図・荷重表	5-10
電源容量・電線サイズ一覧	5-12

**第6章**

収容可能車最大寸法表（注意事項）	6-2
収容可能車の代表例	6-4

**第7章****エレベータ・フォーク・タワー・スーパースクエアパーキング共通**

屋根（自立式）	7-2
雨仕舞（自立式）	7-3
外壁割付・詳細（ガルバリウム鋼板）	7-4
外壁割付・詳細（ALC 50m/m）	7-5
出入口扉詳細図	7-6
庇上ボンベ室詳細図	7-12
避雷設備・アース板（自立型）	7-13
騒音資料	7-14
本体操作盤	7-15
消火設備（ボンベ本数算出）	7-16
ボンベ室の設計	7-17
ボンベ室寸法	7-18
各地区特色表	7-19
自動車の直角回転軌跡	7-20
車椅子使用者対応図	7-24

**第8章****ターンテーブル**

ターンテーブル（方向転換装置）	8-2
自動車の回転軌跡	8-4

**第9章****自走式パーキング**

自走式パーキングの概要	9-2
IKパークF1型 展開パターン図	9-4
IKパークF型 展開パターン図	9-6
IKパークK型 展開パターン図	9-8
IKパークK4型 展開パターン図	9-10
IKパークK5型 展開パターン図	9-12
IKパークK6型 展開パターン図	9-14

**第10章****駐車場関連資料**

駐車場関連法規	10-2
建築物の床面積の算定方法	10-18
出入口設置の制限	10-19
出入口と車路	10-20
消防法	10-21
駐車場法（抄）	10-22
駐車場法施行令（抄）	10-24





# 1

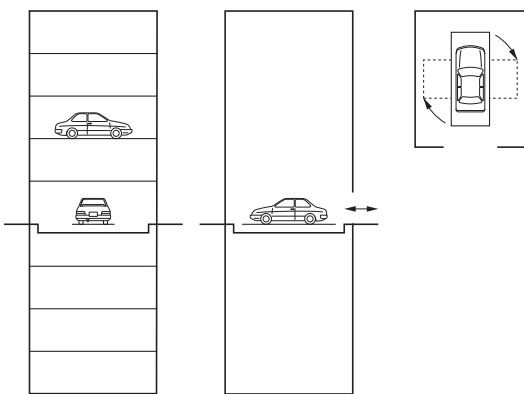
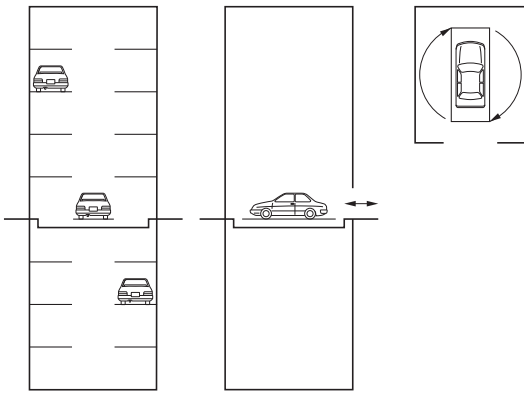
## パーキングシステム

エレベータパーキングの種類 .....	1-2
フォークパーキングの種類 .....	1-4
タワーパーキングの種類 .....	1-5
スーパースクエアパーキングの種類 .....	1-6
自走式パーキングの種類 .....	1-7

# エレベータパーキングの種類

型式		形状	特長	設置方式	収容型式	ページ	
エレベータパーキング (EP)	ターンテーブル内蔵90度型	I型 (90°)		<p>ターンテーブルを本体に内蔵したタイプです。パレットに車を載せた状態で方向転換するため、入出庫の際に車は常に前向きになり、容易に出庫できます。</p>	J	ND	2-6
						GD	
						LD	
					R	ND	2-6
						GD	
						LD	
	BJ	ND	2-14				
		GD					
		LD					
	ターンテーブル内蔵180度型	I型 (180°)		<p>同上タイプの180度型です。</p>	J	ND	2-6
						GD	
						LD	
R					ND	2-6	
					GD		
					LD		
BJ	ND	2-14					
	GD						
	LD						
直接乗込縦列ターンテーブル内蔵90度型	CI型 (90°)		<p>直接乗込縦列型の手前側・奥側それぞれにターンテーブルを内蔵したタイプです。手前側・奥側共に前進出庫ができ、容易に出庫できます。</p>	J	ND	2-8	
					GD		
					LD		
				R	ND	-	
					GD		
					LD		
BJ	ND	2-16					
	GD						
	LD						
直接乗込縦列ターンテーブル内蔵180度型	CI型 (180°)		<p>同上タイプの180度型です。</p>	J	ND	2-8	
					GD		
					LD		
				R	ND	-	
					GD		
					LD		
BJ	ND	2-16					
	GD						
	LD						

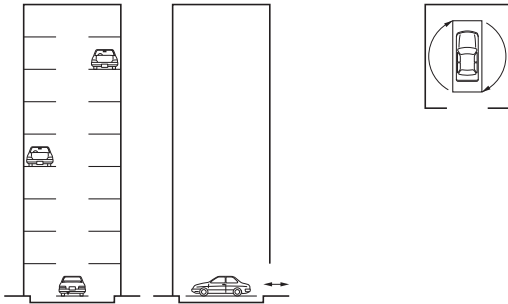
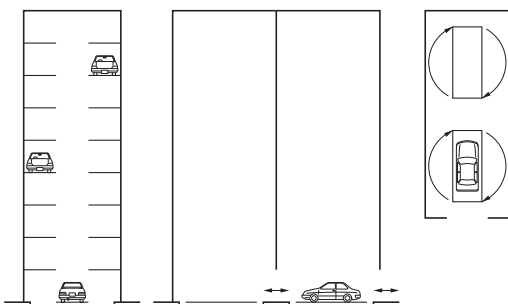
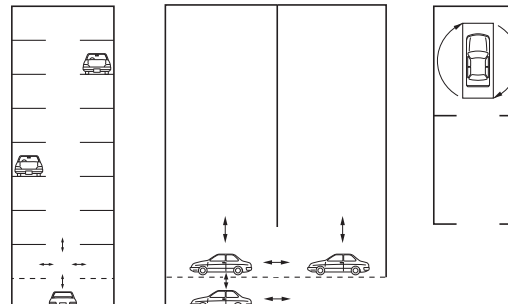
注) ページ欄で-印のついている型式については、本資料には掲載していません。別途ご相談ください。

型式	形状	特長	設置方式	収容型式	ページ	
エレベータパーキング (EP)	ターンテーブル内蔵90度型中間乗込方式 IZ型 (90°)		<p>中間乗入方式にターンテーブルを内蔵したタイプです。パレットに車を載せた状態で方向転換するため、入出庫の際に車は常に前向きになり、容易に出庫できます。</p>	J	ND	2-10
					GD	
					LD	
				R	ND	-
					GD	
					LD	
BJ	ND	2-18				
	GD					
	LD					
エレベータパーキング (EP)	ターンテーブル内蔵180度型中間乗込方式 IZ型 (180°)		<p>同上タイプの180度型です。</p>	J	ND	2-10
					GD	
					LD	
				R	ND	-
					GD	
					LD	
BJ	ND	2-18				
	GD					
	LD					

注) ページ欄で-印のついている型式については、本資料には掲載していません。  
別途ご相談ください。

# フォークパーキングの種類

## 1 パーキングシステム

型式	形状	特長	設置方式	収容型式	ページ
フォークパーキング (FP)	ターンテーブル内蔵180度型 I型 (180°)	<p>くし型の搬送システムを採用することにより、スピーディな入出庫が可能です。 ターンテーブルを本体に内蔵しているため常に前向きで入出庫できます。</p> 	J	ND	3-6
				GD	
			R	ND	3-6
	GD				
	BJ		ND	3-14	
			GD		
直接乗込縦列ターンテーブル内蔵180度型 CI型 (180°)	<p>フォークパーキング2基を縦列に設置したタイプです。くし型の搬送システムを採用することにより、スピーディな入出庫が可能です。 ターンテーブルを本体に内蔵しているため常に前向きで入出庫できます。</p> 	J	ND	3-8	
			GD		
		R	ND	-	
			GD		
		BJ	ND	3-16	
			GD		
マルチフォークパーキング (MFP)	<p>ターンテーブル内蔵180度型 I型 (180°)</p> 	J	ND	3-10	
			GD		
		R	ND	-	
			GD		

注) ページ欄で-印のついている型式については、本資料には掲載していません。  
別途ご相談ください。

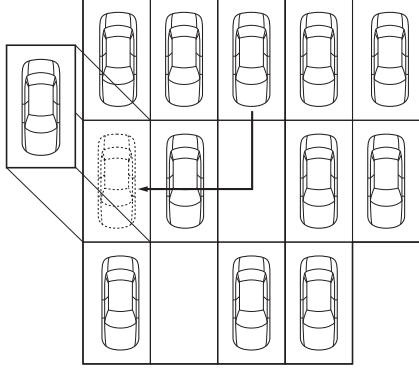
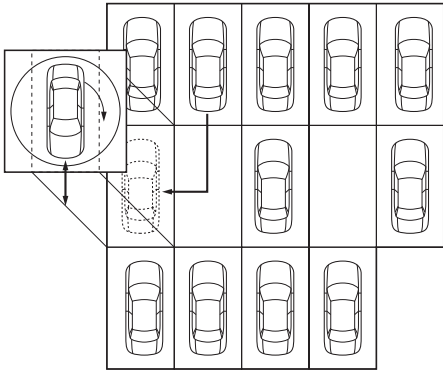
# タワーパーキングの種類

型式		形状	特長	設置方式	収容型式	ページ
タワーパーキング (TP)	下部乗入方式 O型		<p>シンプルな構造で信頼性・安全性が高く、タワーパーキングの基本となる機種です。</p> <p>土地の有効利用が計れ、回転効率、操作性、経済性に優れています。</p>	J	ND	4-4
					GD	
				R	ND	4-6
					GD	
				BJ	ND	4-16
					GD	
	ターンテーブル内蔵型 I型		<p>ターンテーブルの機能をタワーパーキング本体に内蔵しています。パレットに車が乗ったまま方向転換でき、車は常に前進出庫できるため、安全性・利用性・誘導性に優れています。</p>	J	ND	4-8
					GD	
				R	ND	4-10
					GD	
				BJ	ND	4-18
					GD	
ミックス型 K型		<p>標準型に近い収容台数を確保しながら、ハイリフト車も収容できる機種です。標準型ケージとハイリフト型ケージの配列や、台数割合は、用途に応じて選択でき、フレキシブルに駐車場運営を展開できます。</p>	J	NC	4-12	
				GC		
			R	NC	-	
				GC		
			BJ	NC	4-20	
				GC		
ターンテーブル内蔵ミックス型 IK型		<p>ミックス型の入出庫口部分に、ターンテーブルを内蔵した機種です。</p>	J	NC	4-14	
				GC		
			R	NC	-	
				GC		
			BJ	NC	4-22	
				GC		

注) ページ欄で-印のついている型式については、本資料には掲載していません。別途ご相談ください。

# スーパースクエアパーキングの種類

## 1 パーキングシステム

型式		形状	特長	収容型式	ページ
スーパースクエアパーキング	オリジナル型上部乗込式 SSP型		<p>様々なスペースに合わせた最適なレイアウトが可能です。 また、1層式から4層式までのレイアウトが可能です。</p>	N	5-4 5-6
	ターンテーブル内蔵式 ISSP型		<p>様々なスペースに合わせた最適なレイアウトが可能です。ターンテーブル内蔵のため、常に前進での入出庫が可能です。</p>	N	5-4 5-6
				G	

注) 本書に記載していない型式についての詳細は、別途ご相談ください。

ページ欄で-印のついている型式については、本資料には掲載していません。別途ご相談ください。

# 自走式パーキングの種類

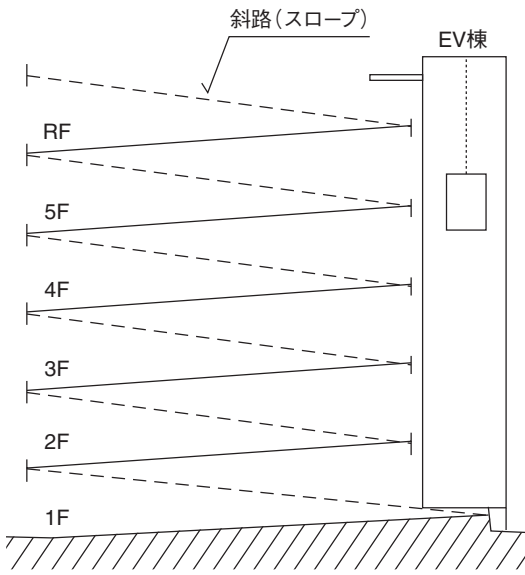
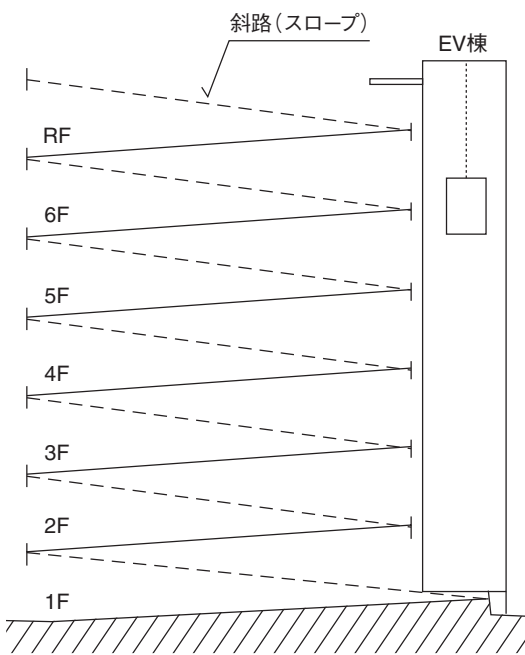
種類	形状	特長	ページ
認定 IKパークF1型 (1層2段 フラットタイプ)		1階分の階高を斜路（スロープ）によって、上り下りする型式で駐車スペースは平坦です。認定自走式パーキングの中で最も、オーソドックスなタイプです。	9-4
認定 IKパークF型 (2層3段 フラットタイプ)		1階分の階高を斜路（スロープ）によって、上り下りする型式で駐車スペースは平坦です。1層2段型に比べ、多くの駐車台数が確保できる為、より有効な土地活用ができます。	9-6
認定 IKパークK型 (2層3段 連続傾床タイプ)		斜路（スロープ）そのものを、駐車スペースとした型式で、駐車スペースは緩やかに傾斜しています。敷地が、この型式に適している場合には、最も効率の良い型式です。	9-8
認定 IKパークK4型 (4層5段 連続傾床タイプ)		斜路（スロープ）そのものを、駐車スペースとした型式で、駐車スペースは緩やかに傾斜しています。敷地が、この型式に適している場合には、最も効率の良い型式です。	9-10



# 自走式パーキングの種類

1

パーキングシステム

種類	形状	特長	ページ
<p>認定 IKパークK5型 (5層6段 連続傾床タイプ)</p>	 <p>斜路(スロープ)</p> <p>EV棟</p> <p>RF</p> <p>5F</p> <p>4F</p> <p>3F</p> <p>2F</p> <p>1F</p>	<p>斜路(スロープ)そのものを、駐車スペースとした型式で、駐車スペースは緩やかに傾斜しています。敷地が、この型式に適している場合には、最も効率の良い型式です。</p>	<p>9-12</p>
<p>認定 IKパークK6型 (6層7段 連続傾床タイプ)</p>	 <p>斜路(スロープ)</p> <p>EV棟</p> <p>RF</p> <p>6F</p> <p>5F</p> <p>4F</p> <p>3F</p> <p>2F</p> <p>1F</p>	<p>斜路(スロープ)そのものを、駐車スペースとした型式で、駐車スペースは緩やかに傾斜しています。敷地が、この型式に適している場合には、最も効率の良い型式です。</p>	<p>9-14</p>
<p>在来工法 (非認定)</p>	<p>認定規定に適合しない仕様の場合 建築基準法に準拠する。</p> <p>例) 店舗併設 6階以上 基準階が4,000㎡超</p>		

# 2

## エレベータパーキング

収容可能車最大寸法表	2-2
エレベータパーキング	
自立式	
標準仕様表	2-4
ターンテーブル内蔵型	2-6
直接乗込縦列ターンテーブル内蔵型	2-8
ターンテーブル内蔵型 中間乗込方式	2-10
ミックス型 (高さ寸法早見表)	2-12
ビル内自立式	
標準仕様表	2-13
ターンテーブル内蔵型	2-14
直接乗込縦列ターンテーブル内蔵型	2-16
ターンテーブル内蔵型 中間乗込方式	2-18
ミックス型 (高さ寸法早見表)	2-20
床仕上げ	2-22
基礎参考図	2-28
電源容量・電線サイズ一覧	2-30

# 収容可能車最大寸法表 エレベータパーキング

※〔 〕内はミドルハイルーフ（MHR）車を示します。  
 （ ）内はハイルーフ（HR）車を示します。

収容型式	寸法 全幅	全長／全高／車重
N	<p>全幅 1,850mm以下                      タイヤ外幅 1,830mm以下                      パレット内法 1,890mm以下                      最低地上高 110mm以上</p>	<p>全長 5,000mm以下                      車重 1,900kg以下                      〔1,900kg〕                      (2,500kg)                      全高 1,550mm以下                      〔1,800mm〕                      (2,050mm)</p>
G	<p>全幅 2,050mm以下                      タイヤ外幅 1,920mm以下                      パレット内法 1,980mm以下                      最低地上高 110mm以上</p>	<p>全長 5,300mm以下                      車重 2,300kg以下                      〔2,300kg〕                      (2,500kg)                      全高 1,550mm以下                      〔1,800mm〕                      (2,050mm)</p>
L	<p>全幅 2,050mm以下                      タイヤ外幅 1,920mm以下                      パレット内法 1,980mm以下                      最低地上高 110mm以上</p>	<p>全長 5,600mm以下                      車重 2,300kg以下                      〔2,300kg〕                      (2,500kg)                      全高 1,550mm以下                      〔1,800mm〕                      (2,050mm)</p>

※ドアミラーは折りたたんで入庫してください。

※後部スベアタイヤ付のハイルーフ・RV車は一部収容不可能場合があります。

※詳しくは、第6章 収容可能車最大寸法表（注意事項）を参照してください。

※上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。



# エレベータパーキング 自立式 標準仕様表

## ■ ターンテーブル内蔵型、ターンテーブル内蔵型 中間乗込方式

項目		型 式	ND	GD	LD
昇 降 装 置	モータ(kW)	普通車・ハイルーフ車 ミックス型	18.5		
	速 度	(m/min)	60~120 可変速		
横 行 旋 回 装 置	モータ(kW) (横行旋回)	普通車・ハイルーフ車 ミックス型	2.2		
	横行速度	(m/min)	40		
	旋回速度	(rpm)	5		
	モータ(kW) (昇降)	普通車・ハイルーフ車 ミックス型	3.7		
	昇降速度	(m/min)	2.8/3.4 50/60Hz		
電 源 容 量	動力用	普通車・ハイルーフ車 ミックス型	200/220V 35KVA (63KVA)		
	照明/制御用		100V 5KVA (10KVA)		
	消火設備用		100V 0.5KVA		
操 作 認 証 方 式	標 準		暗証式/ICカード式		
	オプション※		リモコン式/スマートフォン予約		

※オプションの詳細については、お問い合わせください。

( ) 数値は2基連立時

■直接乗込縦列ターンテーブル内蔵型

項目		型式	ND	GD	LD
昇降装置	モータ(kW)	普通車・ハイルフ車 ミックス型	18.5×2		
	速度	(m/min)	60~120 可変速		
横行旋回装置	モータ(kW) (横行旋回)	普通車・ハイルフ車 ミックス型	2.2×2		
	横行速度	(m/min)	40		
	旋回速度	(rpm)	5		
	モータ(kW) (昇降)	普通車・ハイルフ車 ミックス型	3.7×2		
	昇降速度	(m/min)	2.8/3.4 50/60Hz		
昇降床	モータ(kW)	普通車・ハイルフ車 ミックス型	7.5		
	速度	(m/min)	16/19 50/60Hz		
電源容量	動力用	普通車・ハイルフ車 ミックス型	200/220V 63KVA		
	照明/制御用		100V 10KVA		
	消火設備用		100V 0.5KVA		
操作認証方式	標準		暗証式/ICカード式		
	オプション※		リモコン式/スマートフォン予約		

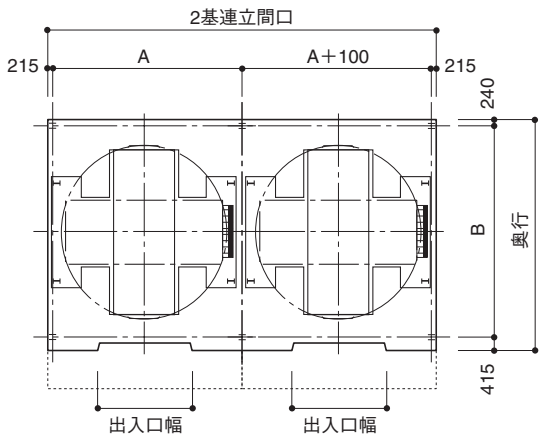
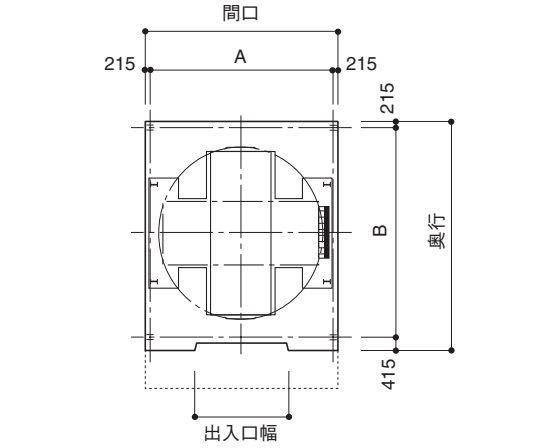
※オプションの詳細については、お問い合わせください。

# エレベータパーキング ターンテーブル内蔵型

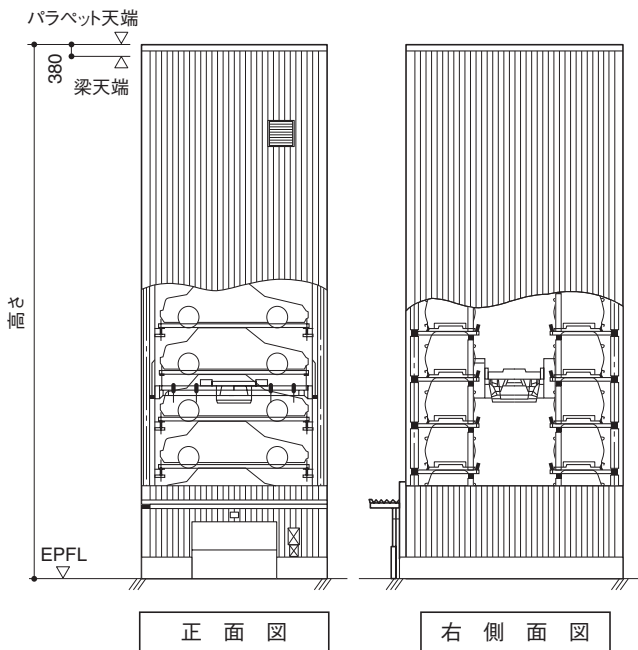
# 自立式

## ■全体図

《90°タイプ》



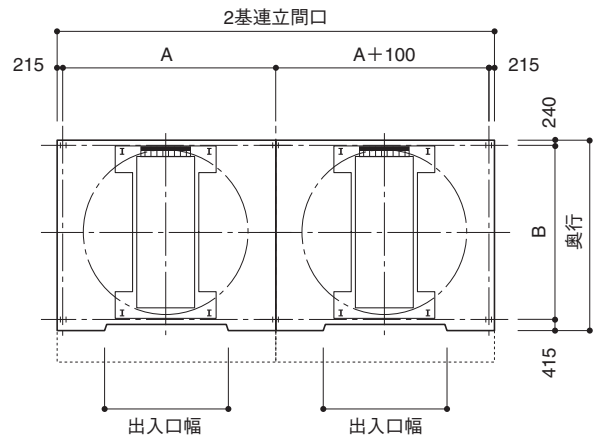
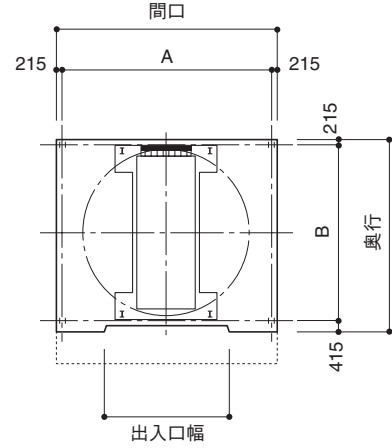
平面配置図



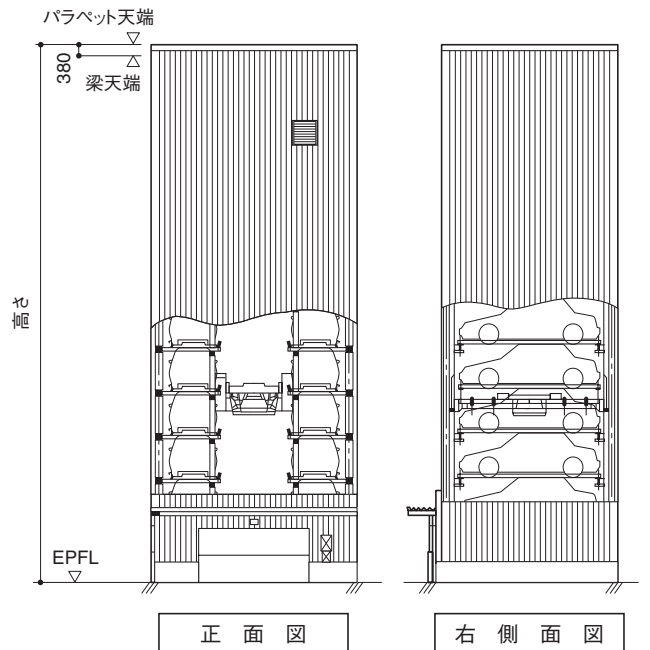
正面図

右側面図

《180°タイプ》



平面配置図



正面図

右側面図

■収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型式	90°			180°			
			ND	GD	LD	ND	GD	LD	
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300	5,600	5,000	5,300	5,600	
	全幅 (mm以下)		1,850	2,050	2,050	1,850	2,050	2,050	
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,830	1,920	1,920	1,830	1,920	1,920	
	全高 (mm以下)	普通車		1,550					
		ミドルハイルーフ車		1,800					
		ハイルーフ車		2,050					
車重 (kg以下)	普通車	1,900	2,300			1,900	2,300		
	ミドルハイルーフ車								
	ハイルーフ車		2,500						
間口 (mm)	単基		6,270	6,570	6,870	7,030	7,290	7,290	
	連立		(12,210)	(12,810)	(13,410)	(13,730)	(14,250)	(14,250)	
奥行 (mm)	単基		7,230	7,490	7,490	6,470	6,770	7,070	
	連立		(7,255)	(7,515)	(7,515)	(6,495)	(6,795)	(7,095)	
	車椅子対応		<7,715>	<7,740>	<7,740>	<7,280>	<7,580>	<7,880>	
柱芯 (mm)	A		5,840	6,140	6,440	6,600	6,860	6,860	
	B		6,600	6,860	6,860	5,840	6,140	6,440	
出入口幅 (mm)			2,680			4,050	4,250		
出入口高さ (mm)	普通車 ハイルーフ車・ミックス型		2,200						

- ※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。 ( ) 数値は2基連立時 < > 数値は車椅子対応時
- ※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。
- ※3 上記間口・奥行寸法は、外装が鋼板の場合となります。鋼板以外の外装をご計画の場合は、間口・奥行寸法が異なりますので別途ご相談ください。
- ※4 高さが31mを超える場合・塔状比が6を超える場合は、上記間口・奥行寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

■高さ寸法の算出方法

項目		型式	90°			180°		
			ND	GD	LD	ND	GD	LD
高さ寸法	普通車/ハイルーフ車/ミドルハイルーフ車		2,400 + @1,610 × (N/2) + @2,110 × (H/2) + @1,860 × (M/2) + 1,560					

- ※1 N：普通車の収容台数 M：ミドルハイルーフ車の収容台数 H：ハイルーフ車の収容台数 (N,M,Hをそれぞれ2の倍数とする)
- ※2 車椅子対応時の高さ寸法の算出方法は、別途ご相談ください。
- ※3 すべて普通車の場合は、装置高さを抑えることができます。ご相談ください。

■高さ寸法

収容台数	高さ (mm)		収容台数	高さ (mm)	
	普通車	ハイルーフ車		普通車	ハイルーフ車
14	15,230	18,730	32	29,720	37,720
16	16,840	20,840	34	31,330	39,930
18	18,450	22,950	36	32,940	42,040
20	20,060	25,060	38	34,550	44,150
22	21,670	27,170	40	36,160	46,360 <sup>注1</sup>
24	23,280	29,280	42	37,770	48,470 <sup>注1</sup>
26	24,890	31,390	44	39,480	50,680 <sup>注1</sup>
28	26,500	33,500	46	41,090	52,790 <sup>注1</sup>
30	28,110	35,610	48	42,700	55,110 <sup>注1</sup>

- 注) 1. 31m以上については別途ご相談ください。
- 2. ミックス型の高さ寸法については、2-12を参照ください。

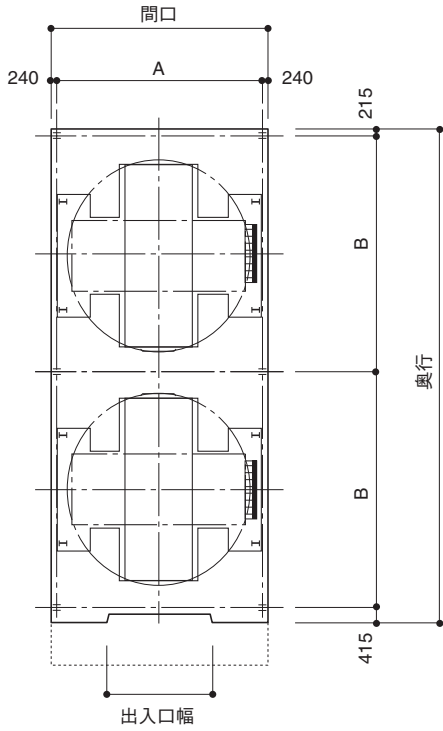


# エレベータパーキング 自立式 直接乗込縦列ターンテーブル内蔵型

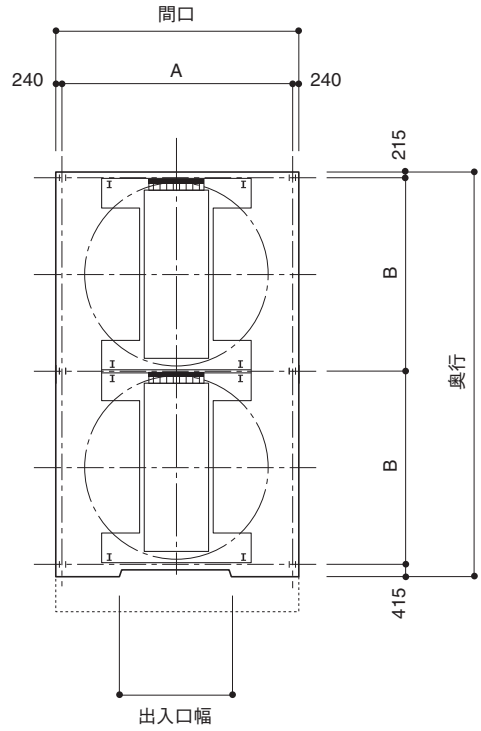
## ■全体図

《90°タイプ》

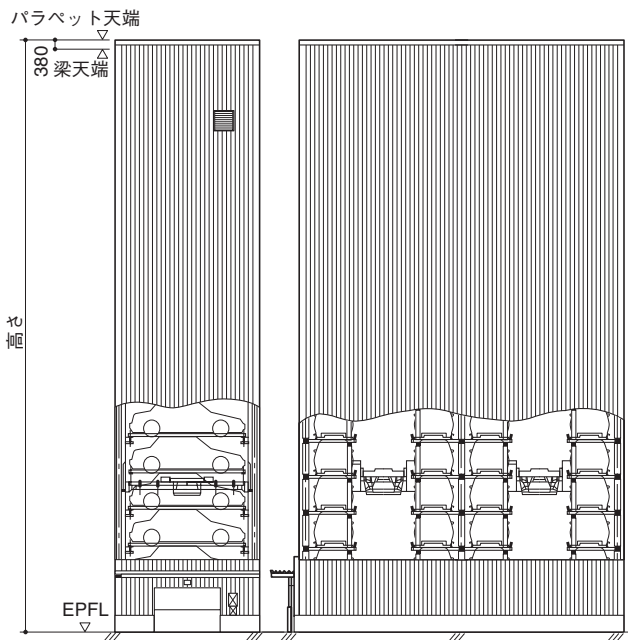
《180°タイプ》



平面配置図

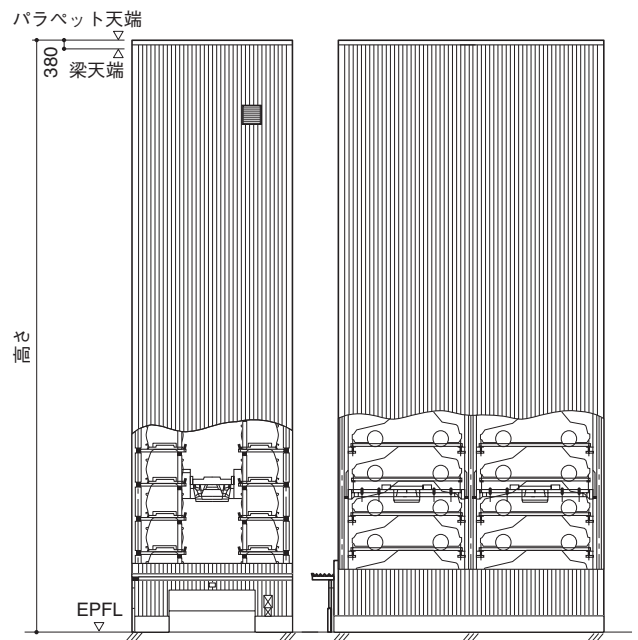


平面配置図



正面図

右側面図



正面図

右側面図

■収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型式	90°			180°			
			ND	GD	LD	ND	GD	LD	
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300	5,600	5,000	5,300	5,600	
	全幅 (mm以下)		1,850	2,050	2,050	1,850	2,050	2,050	
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,830	1,920	1,920	1,830	1,920	1,920	
	全高 (mm以下)	普通車		1,550					
		ミドルハイルーフ車		1,800					
		ハイルーフ車		2,050					
車重 (kg以下)	普通車	1,900	2,300			1,900	2,300		
	ミドルハイルーフ車								
	ハイルーフ車		2,500						
間口 (mm)	単基	6,320	6,620	6,920	7,080	7,340	7,340		
奥行 (mm)	単基	13,830	14,350	14,350	12,310	12,910	13,510		
	車椅子対応	<14,315>	<14,600>	<14,600>	<13,120>	<13,720>	<14,320>		
柱芯 (mm)	A	5,840	6,140	6,440	6,600	6,860	6,860		
	B	6,600	6,860	6,860	5,840	6,140	6,440		
出入口幅 (mm)		2,680			4,050	4,250			
出入口高さ (mm)	普通車 ハイルーフ車・ミックス型	2,200							

- ※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。( ) 数値は2基連立時 < > 数値は車椅子対応時
- ※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。
- ※3 上記間口・奥行寸法は、外装が鋼板の場合となります。鋼板以外の外装をご計画の場合は、間口・奥行寸法が異なりますので別途ご相談ください。
- ※4 高さが31mを超える場合・塔状比が6を超える場合は、上記間口・奥行寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

■高さ寸法の算出方法

項目		型式	90°			180°		
			ND	GD	LD	ND	GD	LD
高さ寸法	普通車/ハイルーフ車/ミドルハイルーフ車		2,400+600+@1,610×(N/4)+@2,110×(H/4)+@1,860×(M/4)+1,560					

- ※1 N：普通車の収容台数 M：ミドルハイルーフ車の収容台数 H：ハイルーフ車の収容台数 (N,M,Hをそれぞれ4の倍数とする)
- ※2 車椅子対応時の高さ寸法の算出方法は、別途ご相談ください。
- ※3 すべて普通車の場合は、装置高さを抑えることができます。ご相談ください。

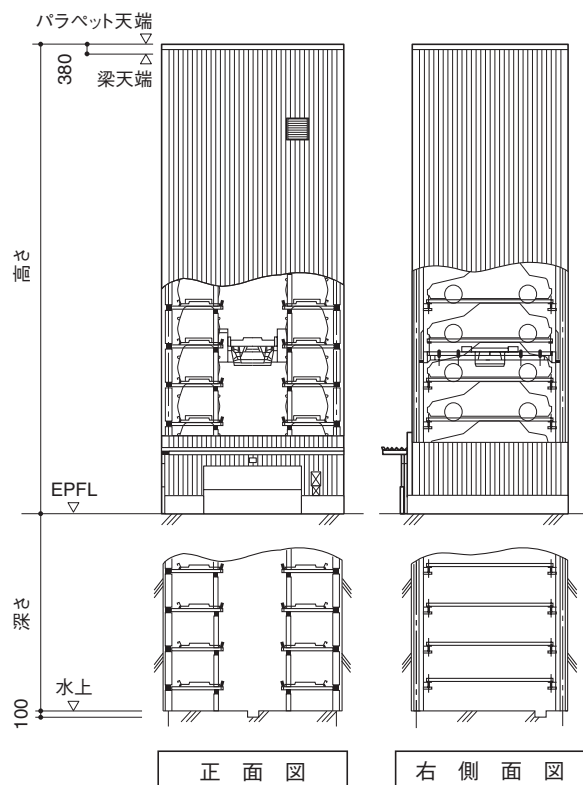
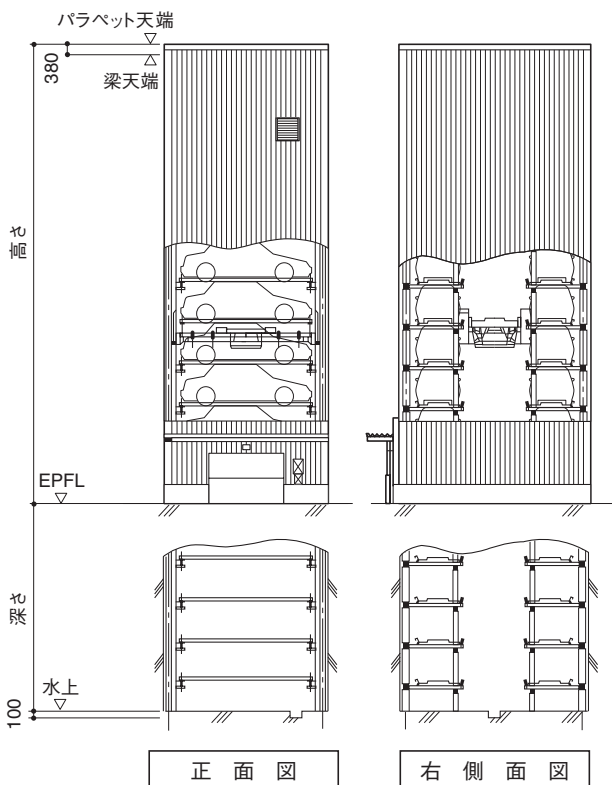
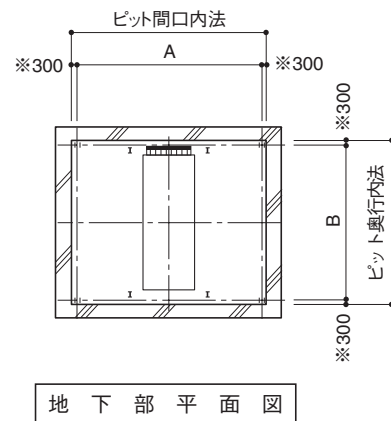
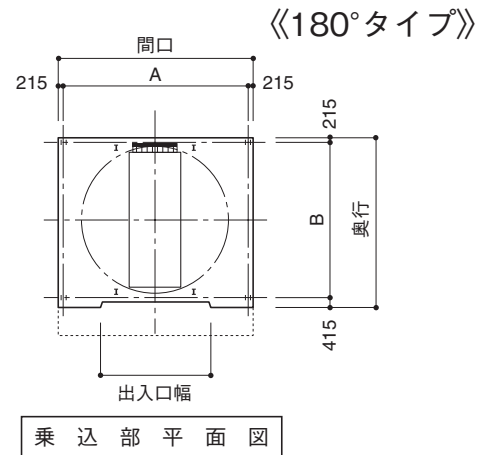
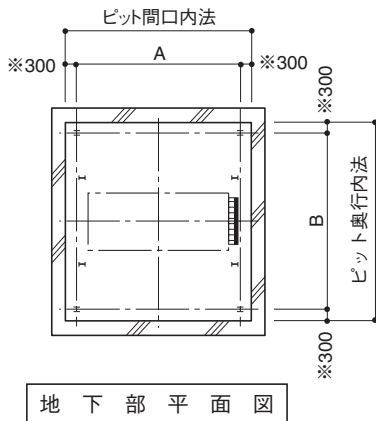
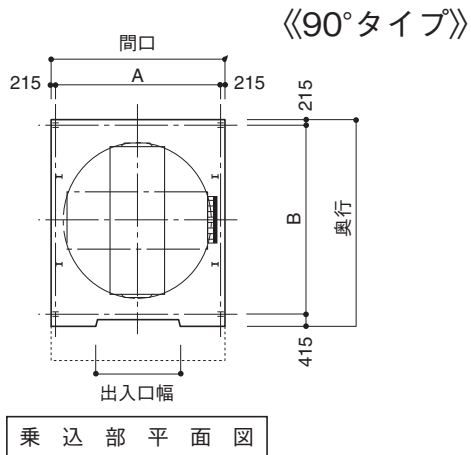
■高さ寸法

収容台数 (入口側+奥側)	高さ (mm)		収容台数 (入口側+奥側)	高さ (mm)	
	普通車	ハイルーフ車		普通車	ハイルーフ車
28(14+14)	15,830	19,330	52(26+26)	25,490	31,990
32(16+16)	17,440	21,440	56(28+28)	27,100	34,100
36(18+18)	19,050	23,550	60(30+30)	28,710	36,210
40(20+20)	20,660	25,660	64(32+32)	30,320	38,320
44(22+22)	22,270	27,770	68(34+34)	31,930	40,430
48(24+24)	23,880	29,880	72(36+36)	33,540	42,540

注) 1. 31m以上については別途ご相談ください。

# エレベータパーキング 自立式 ターンテーブル内蔵型 中間乗込方式

## ■全体図



注) ※マーク寸法は、構造計算の結果により、大きくなる場合がありますので、別途ご相談ください。

■収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型式	90°			180°		
			ND	GD	LD	ND	GD	LD
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300	5,600	5,000	5,300	5,600
	全幅 (mm以下)		1,850	2,050	2,050	1,850	2,050	2,050
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,830	1,920	1,920	1,830	1,920	1,920
	全高 (mm以下)	普通車		1,550				
		ミドルハイルーフ車		1,800				
		ハイルーフ車		2,050				
車重 (kg以下)	普通車	1,900	2,300		1,900	2,300		
	ミドルハイルーフ車							
	ハイルーフ車	2,500						
間口 (mm)	単基		6,270	6,570	6,870	7,030	7,290	7,290
奥行 (mm)	単基		7,230	7,490	7,490	6,470	6,770	7,070
	車椅子対応		7,715	7,740	7,740	7,280	7,580	7,880
柱芯 (mm)	A		5,840	6,140	6,440	6,600	6,860	6,860
	B		6,600	6,860	6,860	5,840	6,140	6,440
ピット間口内法 (mm)			※6,440	※6,740	※7,040	※7,200	※7,460	※7,460
ピット奥行内法 (mm)			※7,200	※7,460	※7,460	※6,440	※6,740	※7,040
出入口幅 (mm)			2,680			4,050	4,250	
出入口高さ (mm)	普通車		2,200					
	ハイルーフ車・ミックス型		2,200					

- ※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。 ( ) 数値は車椅子対応時
- ※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。
- ※3 上記間口・奥行寸法は、外装が鋼板の場合となります。鋼板以外の外装をご計画の場合は、間口・奥行寸法が異なりますので別途ご相談ください。
- ※4 ※マーク寸法は、構造計算の結果により、大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。
- ※5 高さが31mを超える場合・塔状比が6を超える場合は、上記間口・奥行寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

■高さ寸法の算出方法

項目		型式	90°			180°		
			ND	GD	LD	ND	GD	LD
高さ寸法	普通車/ハイルーフ車/ミドルハイルーフ車		2,400 + @1,610 × (N/2) + @2,110 × (H/2) + @1,860 × (M/2) + 1,560					
深さ寸法	普通車/ハイルーフ車/ミドルハイルーフ車		640 + @1,610 × (N/2) + @2,110 × (H/2) + @1,860 × (M/2) + 1,250					

- ※1 N：普通車の収容台数 M：ミドルハイルーフ車の収容台数 H：ハイルーフ車の収容台数 (N,M,Hをそれぞれ2の倍数とする)
- ※2 車椅子対応時の高さ寸法の算出方法は、別途ご相談ください。
- ※3 すべて普通車の場合は、装置高さを抑えることができます。ご相談ください。

■高さ寸法

収容台数 (地上/地下)	高さ (mm)	深さ (mm)	高さ+深さ (mm)	収容台数 (地上/地下)	高さ (mm)	深さ (mm)	高さ+深さ (mm)
18/2	18,450	3,500	21,950	30/14	28,210	13,160	41,370
20/4	20,060	5,110	25,170	32/14	29,820	13,160	42,980
22/6	21,670	6,720	28,390	34/16	31,530	14,770	46,300 注1
24/8	23,280	8,330	31,610	36/18	33,240	16,380	49,620 注1
26/10	24,890	9,940	34,830	38/20	35,060	17,990	53,050 注1
28/12	26,600	11,550	38,150	40/22	36,670	19,600	56,270 注1

- 注) 1. 31m以上については別途ご相談ください。
- 2. ミックス型の高さ寸法については、2-12を参照ください。

# エレベータパーキング 自立式 ミックス型 (高さ寸法早見表)

普通車 (1,550mm) + ハイルフ車 (2,050mm)

(mm)

		ハイルフ車台数																				
		0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
普通車台数	0	-	-	-	-	-	-	-	18,730	20,840	22,950	25,060	27,170	29,280	31,390	33,500	35,610	37,720	39,930	42,040	44,150	46,360
	2	-	-	-	-	-	-	18,230	20,340	22,450	24,560	26,670	28,780	30,890	33,000	35,110	37,220	39,430	41,540	43,650	45,860	47,970
	4	-	-	-	-	-	17,730	19,840	21,950	24,060	26,170	28,280	30,390	32,500	34,610	36,720	38,930	41,040	43,150	45,360	47,470	49,680
	6	-	-	-	-	17,230	19,340	21,450	23,560	25,670	27,780	29,890	32,000	34,110	36,220	38,330	40,540	42,650	44,860	46,970	49,180	51,290
	8	-	-	16,730	18,840	20,950	23,060	25,170	27,280	29,390	31,500	33,610	35,720	37,830	40,040	42,250	44,460	46,670	48,880	51,090	53,300	55,510
	10	-	16,230	18,340	20,450	22,560	24,670	26,780	28,890	31,000	33,110	35,220	37,330	39,540	41,650	43,760	45,970	48,080	50,290	52,400	54,610	56,820
	12	-	15,730	17,840	19,950	22,060	24,170	26,280	28,390	30,500	32,610	34,720	36,830	39,040	41,150	43,260	45,470	47,580	49,790	51,900	54,220	56,330
	14	15,230	17,340	19,450	21,560	23,670	25,780	27,890	30,000	32,110	34,220	36,330	38,540	40,650	42,760	44,970	47,080	49,290	51,400	53,720	55,830	58,090
	16	16,840	18,950	21,060	23,170	25,280	27,390	29,500	31,610	33,720	35,830	37,940	40,150	42,260	44,370	46,580	48,790	50,900	53,220	55,330	57,590	59,700
	18	18,450	20,560	22,670	24,780	26,890	29,000	31,110	33,220	35,330	37,440	39,650	41,760	43,870	46,080	48,190	50,400	52,720	54,830	57,090	59,200	61,360
	20	20,060	22,170	24,280	26,390	28,500	30,610	32,720	34,830	36,940	39,150	41,260	43,370	45,580	47,690	49,900	52,010	54,330	56,440	58,700	60,810	62,970
	22	21,670	23,780	25,890	28,000	30,110	32,220	34,330	36,440	38,550	40,660	42,770	44,880	47,090	49,200	51,410	53,520	55,940	58,200	60,310	62,470	
	24	23,280	25,390	27,500	29,610	31,720	33,830	35,940	38,050	40,260	42,370	44,480	46,690	48,900	51,010	53,330	55,440	57,700	59,810	61,970		
	26	24,890	27,000	29,110	31,220	33,330	35,440	37,550	39,660	41,770	43,880	46,190	48,400	50,510	52,830	54,940	57,200	59,310	61,470			
	28	26,500	28,610	30,720	32,830	34,940	37,050	39,260	41,370	43,480	45,690	47,800	50,010	52,120	54,440	56,550	58,810	60,920				
	30	28,110	30,220	32,330	34,440	36,550	38,660	40,770	42,880	45,190	47,300	49,510	51,620	53,940	56,050	58,310	60,420	62,580				
	32	29,720	31,830	33,940	36,050	38,160	40,270	42,380	44,490	46,600	48,710	50,820	52,930	55,140	57,350	59,560	61,770	63,980				
	34	31,330	33,440	35,550	37,660	39,770	41,880	44,090	46,200	48,310	50,420	52,530	54,640	56,750	58,860	60,970	63,080	65,190				
	36	32,940	35,050	37,160	39,270	41,380	43,490	45,600	47,710	49,820	51,930	54,040	56,150	58,260	60,370	62,480	64,590	66,700				
	38	34,550	36,660	38,770	40,880	42,990	45,100	47,210	49,320	51,430	53,540	55,650	57,760	59,870	61,980	64,090	66,200	68,310				
	40	36,160	38,270	40,380	42,490	44,600	46,710	48,820	50,930	53,040	55,150	57,260	59,370	61,480	63,590	65,700	67,810	69,920				
42	37,770	39,880	42,090	44,200	46,310	48,420	50,530	52,640	54,750	56,860	58,970	61,080	63,190	65,300	67,410	69,520	71,630					
44	39,480	41,590	43,700	45,810	47,920	50,030	52,140	54,250	56,360	58,470	60,580	62,690	64,800	66,910	69,020	71,130	73,240					
46	41,090	43,200	45,310	47,420	49,530	51,640	53,750	55,860	57,970	60,080	62,190	64,300	66,410	68,520	70,630	72,740	74,850					

普通車 (1,550mm) + ミドルハイルフ車 (1,800mm)

(mm)

		ミドルハイルフ車台数																				
		0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
普通車台数	0	-	-	-	-	-	-	-	16,980	18,840	20,700	22,560	24,420	26,280	28,140	30,000	31,860	33,720	35,580	37,440	39,400	41,260
	2	-	-	-	-	-	-	16,730	18,590	20,450	22,310	24,170	26,030	27,890	29,750	31,610	33,470	35,330	37,190	39,150	41,010	42,870
	4	-	-	-	-	-	16,480	18,340	20,200	22,060	23,920	25,780	27,640	29,500	31,360	33,220	35,080	36,940	38,900	40,760	42,620	44,480
	6	-	-	-	-	16,230	18,090	19,950	21,810	23,670	25,530	27,390	29,250	31,110	32,970	34,830	36,690	38,550	40,510	42,370	44,230	46,190
	8	-	-	-	15,980	17,840	19,700	21,560	23,420	25,280	27,140	29,000	30,860	32,720	34,580	36,440	38,300	40,260	42,120	43,980	45,940	47,800
	10	-	-	15,730	17,590	19,450	21,310	23,170	25,030	26,890	28,750	30,610	32,470	34,330	36,190	38,050	40,010	41,870	43,730	45,690	47,550	49,510
	12	-	15,480	17,340	19,200	21,060	22,920	24,780	26,640	28,500	30,360	32,220	34,080	35,940	37,800	39,660	41,620	43,480	45,440	47,300	49,260	51,120
	14	15,230	17,090	18,950	20,810	22,670	24,530	26,390	28,250	30,110	31,970	33,830	35,690	37,550	39,510	41,370	43,230	45,190	47,050	49,010	50,870	52,940
	16	16,840	18,700	20,560	22,420	24,280	26,140	28,000	29,860	31,720	33,580	35,440	37,300	39,260	41,120	42,980	44,940	46,800	48,760	50,620	52,690	54,550
	18	18,450	20,310	22,170	24,030	25,890	27,750	29,610	31,470	33,330	35,190	37,050	38,910	40,770	42,730	44,590	46,550	48,510	50,370	52,230	54,300	56,160
	20	20,060	21,920	23,780	25,640	27,500	29,360	31,220	33,080	34,940	36,800	38,660	40,520	42,380	44,340	46,200	48,160	50,120	51,980	54,050	55,910	57,920
	22	21,670	23,530	25,390	27,250	29,110	30,970	32,830	34,690	36,550	38,410	40,270	42,130	44,090	46,050	47,910	49,870	51,730	53,800	55,660	57,670	59,530
	24	23,280	25,140	27,000	28,860	30,720	32,580	34,440	36,300	38,160	40,120	41,980	43,840	45,800	47,660	49,620	51,480	53,550	55,410	57,420	59,280	61,190
	26	24,890	26,750	28,610	30,470	32,330	34,190	36,050	37,910	39,770	41,730	43,590	45,550	47,410	49,370	51,230	53,300	55,160	57,170	59,030	60,890	62,800
	28	26,500	28,360	30,220	32,080	33,940	35,800	37,660	39,520	41,380	43,340	45,200	47,160	49,120	51,080	53,050	54,910	56,920	58,780	60,640	62,550	
	30	28,110	29,970	31,830	33,690	35,550	37,410	39,270	41,130	43,090	45,050	46,910	48,870	50,730	52,800	54,660	56,520	58,530	60,390	62,300		
	32	29,720	31,580	33,440	35,300	37,160	39,120	40,980	42,840	44,800	46,660	48,620	50,480	52,340	54,410	56,270	58,280	60,140	62,050			
	34	31,330	33,190	35,050	36,910	38,770	40,730	42,590	44,450	46,410	48,370	50,230	52,090	54,160	56,020	58,030	59,890	61,800				
	36	32,940	34,800	36,660	38,620	40,480	42,340	44,200	46,160	48,020	49,980	51,840	53,910	55,770	57,780	59,640	61,550					
	38	34,550	36,410	38,270	40,230	42,090	43,950	45,910	47,770	49,730	51,590	53,660	55,520	57,530	59,390	61,300						
	40	36,160	38,020	39,980	41,840	43,700	45,660	47,520	49,480	51,340	53,410	55,270	57,280	59,140	61,050	62,910						

ミドルハイルフ車 (1,800mm) + ハイルフ車 (2,050mm)

(mm)

		ハイルフ車台数																				
		0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
ミドルハイルフ車台数	0	-	-	-	-	-	-	-	18,730	20,840	22,950	25,060	27,170	29,280	31,390	33,500	35,610	37,720	39,930	42,040	44,150	46,360
	2	-	-	-	-	-	-	18,480	20,590	22,700	24,810	26,920	29,030	31,140	33,250	35,360	37,470	39,680	41,790	43,900	46,110	48,220
	4	-	-	-	-	-	18,230	20,340	22,450	24,560	26,670	28,780	30,890	33,000	35,110	37,220	39,430	41,540	43,650	45,860	47,970	50,180
	6	-	-	-	-	17,980	20,090	22,200	24,310	26,420	28,530	30,640	32,750	34,860	36,970	39,180	41,290	43,400	45,610	47,720	49,930	52,040
	8	-	-	-	17,730	19,840	21,950	24,060	26,170	28,280	30,390	32,500	34,610	36,720	38,930	41,040	43,150	45,360	47,470	49,680	51,790	54,110
	10	-	-	17,480	19,590	21,700	23,810	25,920	28,030	30,140	32,250	34,360	36,470	38,58								

# エレベータパーキング ビル内自立式 標準仕様表

## ■ ターンテーブル内蔵型、ターンテーブル内蔵型 中間乗込方式

項目		型 式	ND	GD	LD
昇 降 装 置	モータ (kW)	普通車・ハイルフ車 ミックス型	18.5		
	速 度	(m/min)	60~120 可変速		
横 行 旋 回 装 置	モータ (kW) (横行旋回)	普通車・ハイルフ車 ミックス型	2.2		
	横行速度	(m/min)	40		
	旋回速度	(rpm)	5		
	モータ (kW) (昇降)	普通車・ハイルフ車 ミックス型	3.7		
	昇降速度	(m/min)	2.8/3.4 50/60Hz		
電 源 容 量	動力用	普通車・ハイルフ車 ミックス型	200/220V 35KVA		
	照明/制御用		100V 5KVA		
	消火設備用		100V 0.5KVA		
操 作 認 証 方 式	標 準		暗証式/ICカード式		
	オプション※		リモコン式/スマートフォン予約		

※オプションの詳細については、お問い合わせください。

## ■ 直接乗込縦列ターンテーブル内蔵型

項目		型 式	ND	GD	LD
昇 降 装 置	モータ (kW)	普通車・ハイルフ車 ミックス型	18.5×2		
	速 度	(m/min)	60~120 可変速		
横 行 旋 回 装 置	モータ (kW) (横行旋回)	普通車・ハイルフ車 ミックス型	2.2×2		
	横行速度	(m/min)	40		
	旋回速度	(rpm)	5		
	モータ (kW) (昇降)	普通車・ハイルフ車 ミックス型	3.7×2		
	昇降速度	(m/min)	2.8/3.4 50/60Hz		
昇 降 床	モータ (kW)	普通車・ハイルフ車 ミックス型	7.5		
	速 度	(m/min)	16/19 50/60Hz		
電 源 容 量	動力用	普通車・ハイルフ車 ミックス型	200/220V 63KVA		
	照明/制御用		100V 10KVA		
	消火設備用		100V 0.5KVA		
操 作 認 証 方 式	標 準		暗証式/ICカード式		
	オプション※		リモコン式/スマートフォン予約		

※オプションの詳細については、お問い合わせください。

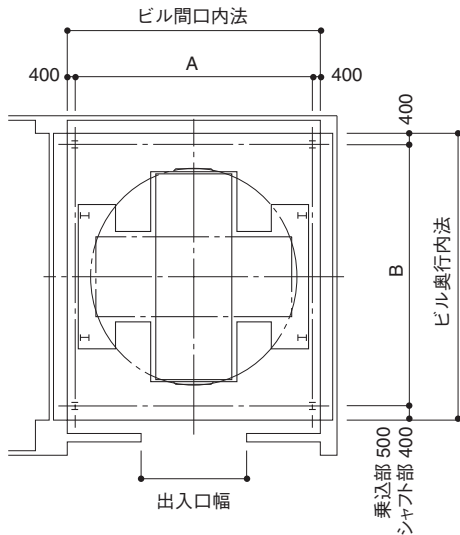
# エレベータパーキング ターンテーブル内蔵型

# ビル内自立式

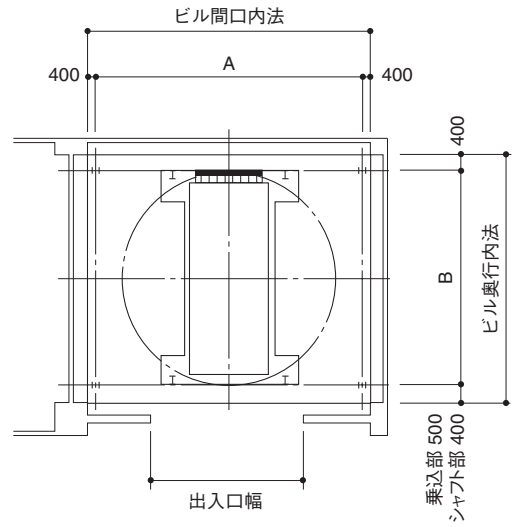
## ■全体図

《90°タイプ》

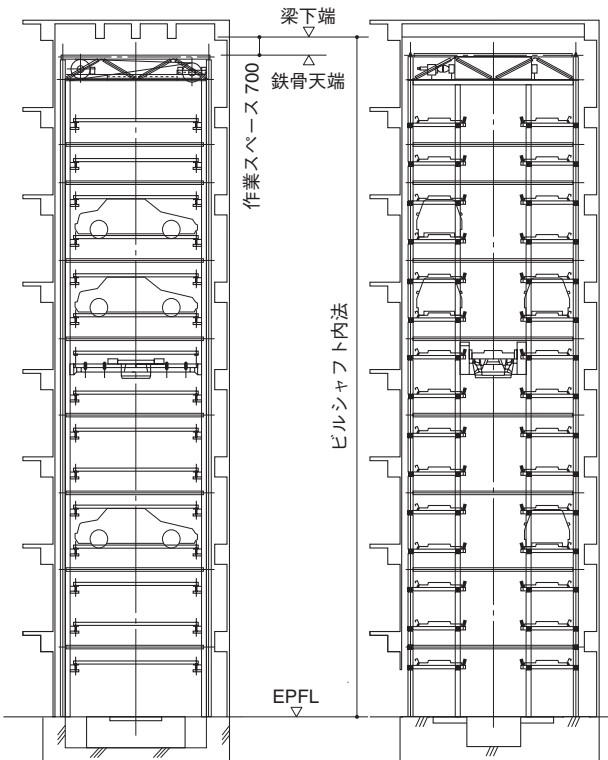
《180°タイプ》



平面配置図

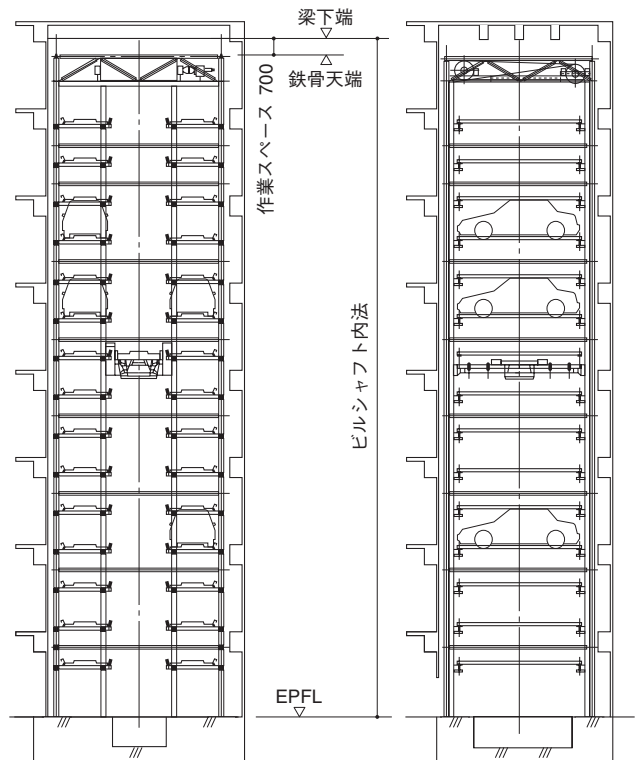


平面配置図



正面断面図

側面断面図



正面断面図

側面断面図

2

エレベータパーキング

## ■ 収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型式	90°			180°			
			ND	GD	LD	ND	GD	LD	
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300	5,600	5,000	5,300	5,600	
	全幅 (mm以下)		1,850	2,050	2,050	1,850	2,050	2,050	
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,830	1,920	1,920	1,830	1,920	1,920	
	全高 (mm以下)	普通車		1,550					
		ミドルハイルーフ車		1,800					
		ハイルーフ車		2,050					
車重 (kg以下)	普通車	1,900	2,300			1,900	2,300		
	ミドルハイルーフ車								
	ハイルーフ車		2,500						
間口 (mm)	単基	6,640	6,940	7,240	7,400	7,660	7,660		
奥行 (mm)	単基		7,400	7,660	7,660	6,640	6,940	7,240	
			(7,500)	(7,760)	(7,760)	(6,740)	(7,040)	(7,340)	
	車椅子対応		(7,650)	(7,910)	(7,910)	(7,590)	(7,890)	(8,190)	
柱芯 (mm)	A	5,840	6,140	6,440	6,600	6,860	6,860		
	B	6,600	6,860	6,860	5,840	6,140	6,440		
出入口幅 (mm)		2,680			4,050	4,250			
出入口高さ (mm)	普通車 ハイルーフ車・ミックス型		2,200						

- ※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。 ( ) 数値は乗込部 ( < > ) 数値は車椅子対応時  
 ※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。  
 ※3 高さ寸法によっては、上記間口・奥行寸法が変更になる場合がありますので別途ご相談ください。  
 ※4 ビル側の層間変位（ビルの揺れ）等により、平面寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

## ■ 高さ寸法の算出方法

項目		型式	90°			180°		
			ND	GD	LD	ND	GD	LD
ビルシャフト内法	普通車/ハイルーフ車/ミドルハイルーフ車		$2,400 + @1,610 \times (N/2) + @2,110 \times (H/2) + @1,860 \times (M/2) + 1,880$					

- ※1 N：普通車の収容台数 M：ミドルハイルーフ車の収容台数 H：ハイルーフ車の収容台数 (N,M,Hをそれぞれ2の倍数とする)  
 ※2 車椅子対応時の高さ寸法の算出方法は、別途ご相談ください。  
 ※3 すべて普通車の場合は、装置高さを抑えることができます。ご相談ください。

## ■ 高さ寸法(ビルシャフト内法)

収容台数	高さ (mm)		収容台数	高さ (mm)	
	普通車	ハイルーフ車		普通車	ハイルーフ車
14	15,550	19,050	32	30,040	38,040
16	17,160	21,160	34	31,650	40,250
18	18,770	23,270	36	33,260	42,360
20	20,380	25,380	38	34,870	44,470
22	21,990	27,490	40	36,480	46,680 <sup>注1</sup>
24	23,600	29,600	42	38,090	48,790 <sup>注1</sup>
26	25,210	31,710	44	39,800	51,000 <sup>注1</sup>
28	26,820	33,820	46	41,410	53,110 <sup>注1</sup>
30	28,430	35,930	48	43,020	55,430 <sup>注1</sup>

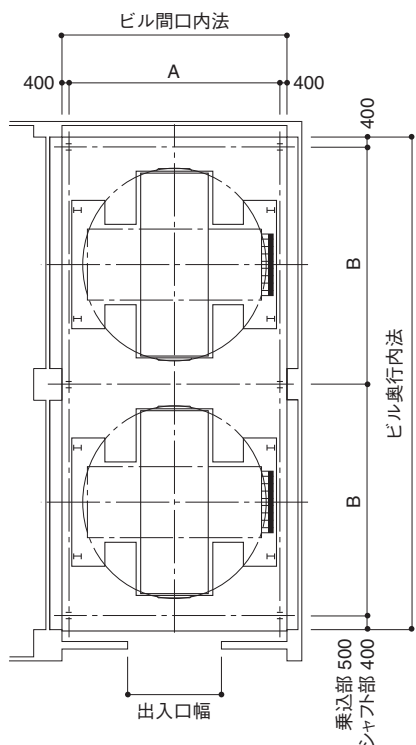
- 注) 1. 31m以上については別途ご相談ください。  
 2. ミックス型の高さ寸法については、2-20を参照ください。



# エレベータパーキング ビル内自立式 直接乗込縦列ターンテーブル内蔵型

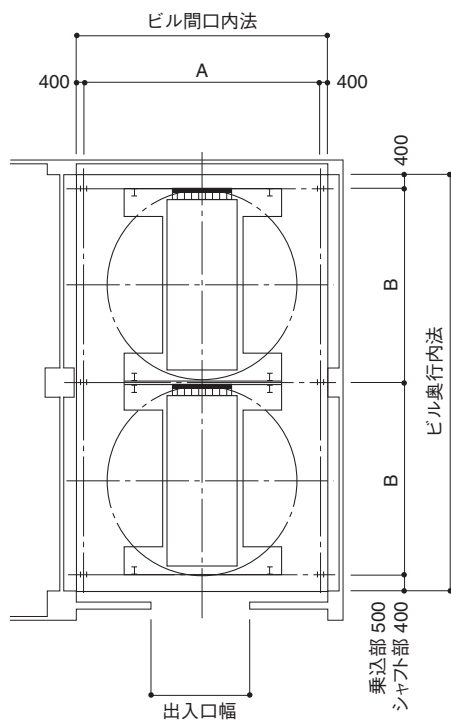
## ■全体図

《90°タイプ》

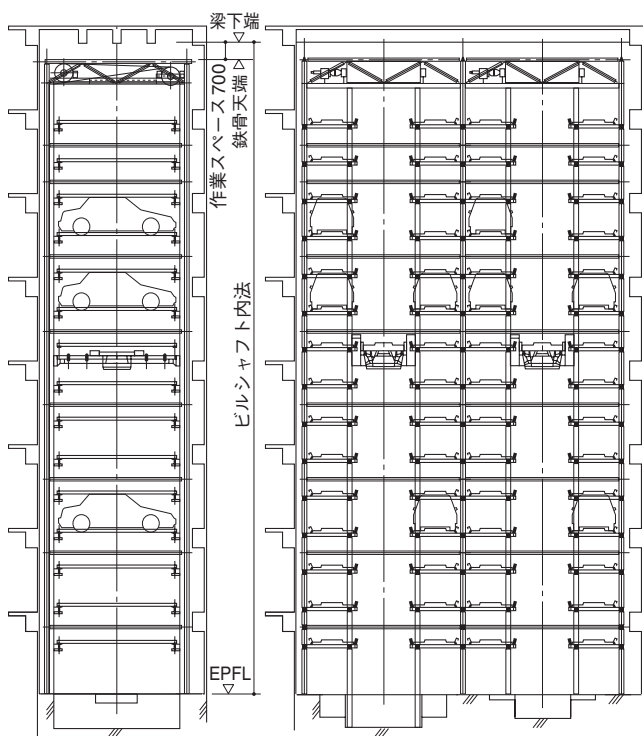


平面配置図

《180°タイプ》

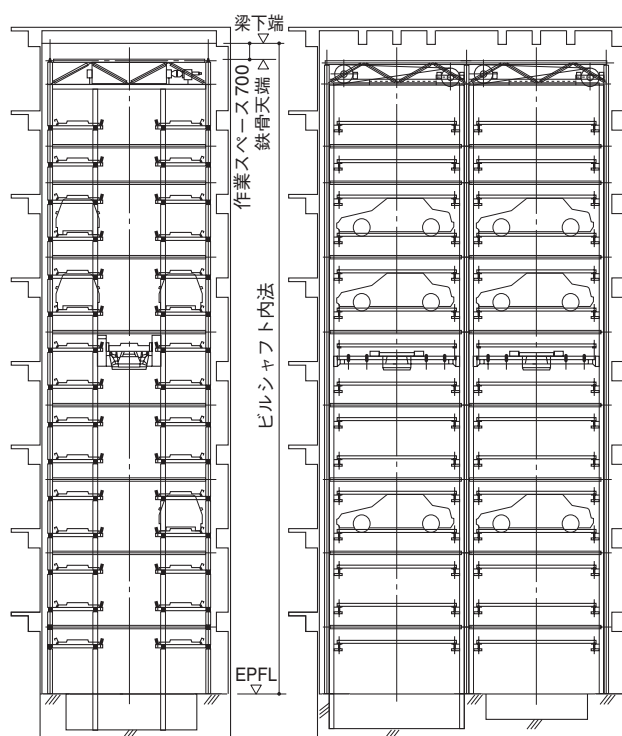


平面配置図



正面断面図

側面断面図



正面断面図

側面断面図

## ■収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型式	90°			180°			
			ND	GD	LD	ND	GD	LD	
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300	5,600	5,000	5,300	5,600	
	全幅 (mm以下)		1,850	2,050	2,050	1,850	2,050	2,050	
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,830	1,920	1,920	1,830	1,920	1,920	
	全高 (mm以下)	普通車		1,550					
		ミドルハイルーフ車		1,800					
		ハイルーフ車		2,050					
車重 (kg以下)	普通車	1,900	2,300		1,900	2,300			
	ミドルハイルーフ車								
	ハイルーフ車		2,500						
間口 (mm)	単基	6,640	6,940	7,240	7,400	7,660	7,660		
奥行 (mm)	単基		14,000	14,520	14,520	12,480	13,080	13,680	
			(14,100)	(14,620)	(14,620)	(12,580)	(13,180)	(13,780)	
	車椅子対応		<14,250>	<14,770>	<14,770>	<13,430>	<14,030>	<14,630>	
柱芯 (mm)	A	5,840	6,140	6,440	6,600	6,860	6,860		
	B	6,600	6,860	6,860	5,840	6,140	6,440		
出入口幅 (mm)			2,680			4,050	4,250		
出入口高さ (mm)	普通車 ハイルーフ車・ミックス型		2,200						

※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。( ) 数値は乗込部 ( < > ) 数値は車椅子対応時

※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※3 高さ寸法によっては、上記間口・奥行寸法が変更になる場合がありますので別途ご相談ください。

※4 ビル側の層間変位（ビルの揺れ）等により、平面寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

## ■高さ寸法の算出方法

項目		型式	90°			180°		
			ND	GD	LD	ND	GD	LD
ビルシャフト内法	普通車/ハイルーフ車/ミドルハイルーフ車		$2,400 + 600 + @1,610 \times (N/4) + @2,110 \times (H/4) + @1,860 \times (M/4) + 1,880$					

※1 N：普通車の収容台数 M：ミドルハイルーフ車の収容台数 H：ハイルーフ車の収容台数 (N,M,Hをそれぞれ4の倍数とする)

※2 車椅子対応時の高さ寸法の算出方法は、別途ご相談ください。

※3 すべて普通車の場合は、装置高さを抑えることができます。ご相談ください。

## ■高さ寸法（ビルシャフト内法）

	高さ (mm)		収容台数 (入口側+奥側)	高さ (mm)	
	普通車	ハイルーフ車		普通車	ハイルーフ車
28(14+14)	16,150	19,650	52(26+26)	25,810	32,310
32(16+16)	17,760	21,760	56(28+28)	27,420	34,420
36(18+18)	19,370	23,870	60(30+30)	29,030	36,530
40(20+20)	20,980	25,980	64(32+32)	30,640	38,640 <sup>注1</sup>
44(22+22)	22,590	28,090	68(34+34)	32,250	40,850 <sup>注1</sup>
48(24+24)	24,200	30,200	72(36+36)	33,860	42,960 <sup>注1</sup>

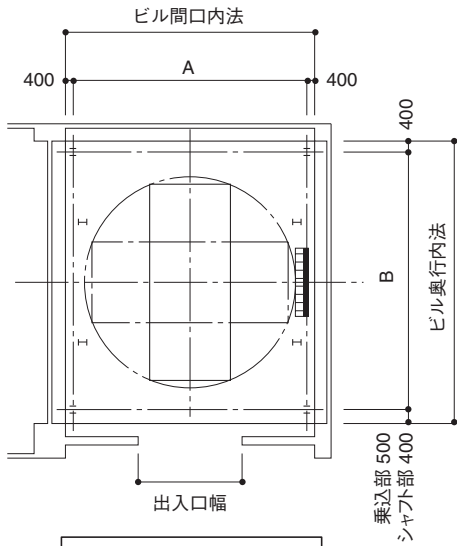
注) 1. 31m以上については別途ご相談ください。

# エレベータパーキング ビル内自立式 ターンテーブル内蔵型 中間乗込方式

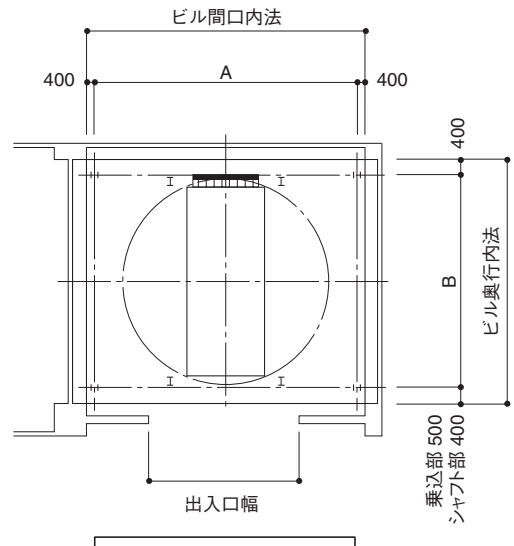
## ■全体図

《90°タイプ》

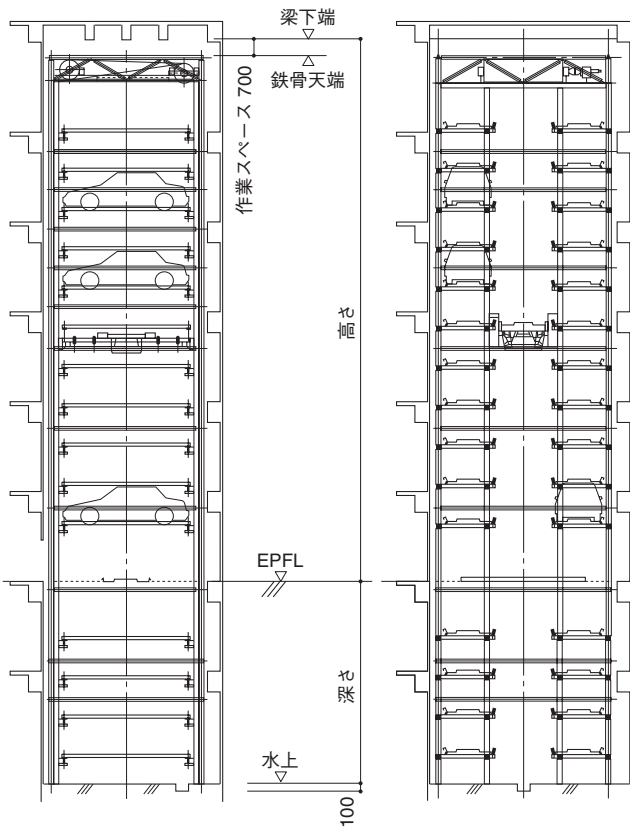
《180°タイプ》



平面配置図

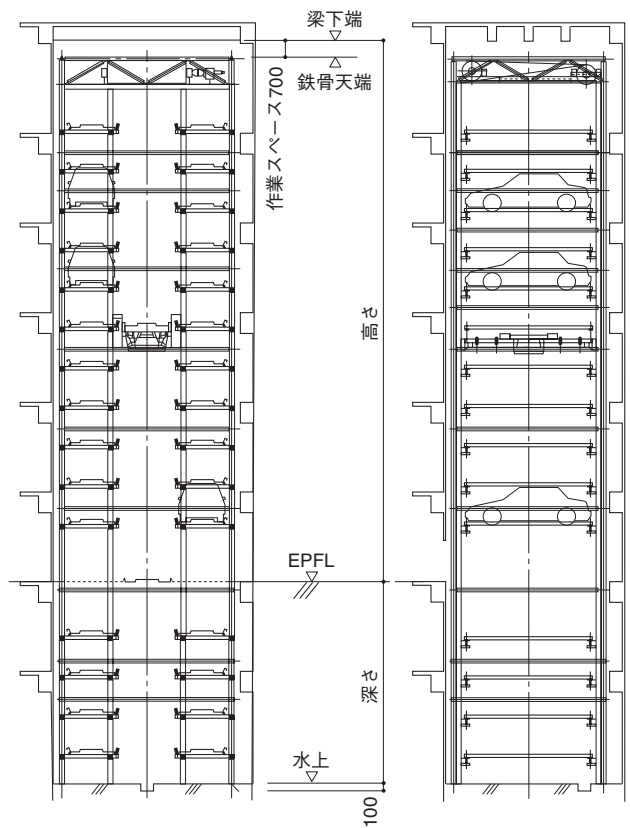


平面配置図



正面断面図

側面断面図



正面断面図

側面断面図

## ■収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型式	90°			180°		
			ND	GD	LD	ND	GD	LD
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300	5,600	5,000	5,300	5,600
	全幅 (mm以下)		1,850	2,050	2,050	1,850	2,050	2,050
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,830	1,920	1,920	1,830	1,920	1,920
	全高 (mm以下)	普通車		1,550				
		ミドルハイルーフ車		1,800				
		ハイルーフ車		2,050				
車重 (kg以下)	普通車	1,900	2,300		1,900	2,300		
	ミドルハイルーフ車							
	ハイルーフ車		2,500					
間口 (mm)	単基	6,640	6,940	7,240	7,400	7,660	7,660	
奥行 (mm)	単基		7,400	7,660	7,660	6,640	6,940	7,240
			(7,500)	(7,760)	(7,760)	(6,740)	(7,040)	(7,340)
	車椅子対応		〈7,650〉	〈7,910〉	〈7,910〉	〈7,590〉	〈7,890〉	〈8,190〉
柱芯 (mm)	A	5,840	6,140	6,440	6,600	6,860	6,860	
	B	6,600	6,860	6,860	5,840	6,140	6,440	
出入口幅 (mm)		2,680			4,050	4,250		
出入口高さ (mm)	普通車	2,200						
	ハイルーフ車・ミックス型	2,200						

※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。( ) 数値は乗込部 ( ) 数値は車椅子対応時

※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※3 高さ寸法によっては、上記間口・奥行き寸法が変更になる場合がありますので別途ご相談ください。

※4 ビル側の層間変位（ビルの揺れ）等により、平面寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

## ■高さ寸法の算出方法

項目		型式	90°			180°		
			ND	GD	LD	ND	GD	LD
高さ寸法	普通車/ハイルーフ車/ミドルハイルーフ車		$2,400 + @1,610 \times (N/2) + @2,110 \times (H/2) + @1,860 \times (M/2) + 1,880$					
深さ寸法	普通車/ハイルーフ車/ミドルハイルーフ車		$640 + @1,610 \times (N/2) + @2,110 \times (H/2) + @1,860 \times (M/2) + 1,250$					

※1 N：普通車の収容台数 M：ミドルハイルーフ車の収容台数 H：ハイルーフ車の収容台数（N,M,Hをそれぞれ2の倍数とする）

※2 車椅子対応時の高さ寸法の算出方法は、別途ご相談ください。

※3 すべて普通車の場合は、装置高さを抑えることができます。ご相談ください。

## ■高さ寸法

収容台数 (地上/地下)	高さ (mm)	深さ (mm)	高さ+深さ (mm)	収容台数 (地上/地下)	高さ (mm)	深さ (mm)	高さ+深さ (mm)
18/2	18,770	3,500	22,270	30/14	28,530	13,160	41,690
20/4	20,380	5,110	25,490	32/14	30,140	13,160	43,300
22/6	21,990	6,720	28,710	34/16	31,850	14,770	46,620 注1
24/8	23,600	8,330	31,930	36/18	33,560	16,380	49,940 注1
26/10	25,210	9,940	35,150	38/20	35,380	17,990	53,370 注1
28/12	26,920	11,550	38,470	40/22	36,990	19,600	56,590 注1

注) 1. 31m以上については別途ご相談ください。

# エレベータパーキング ビル内自立式 ミックス型 (高さ寸法早見表)

普通車 (1,550mm) + ハイルフ車 (2,050mm)

(mm)

		ハイルフ車台数																				
		0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
普通車台数	0	-	-	-	-	-	-	-	19,050	21,160	23,270	25,380	27,490	29,600	31,710	33,820	35,930	38,040	40,250	42,360	44,470	46,680
	2	-	-	-	-	-	-	18,550	20,660	22,770	24,880	26,990	29,100	31,210	33,320	35,430	37,540	39,750	41,860	43,970	46,180	48,290
	4	-	-	-	-	-	18,050	20,160	22,270	24,380	26,490	28,600	30,710	32,820	34,930	37,040	39,250	41,360	43,470	45,680	47,790	50,000
	6	-	-	-	-	17,550	19,660	21,770	23,880	25,990	28,100	30,210	32,320	34,430	36,540	38,650	40,860	42,970	45,180	47,290	49,500	51,610
	8	-	-	-	17,050	19,160	21,270	23,380	25,490	27,600	29,710	31,820	33,930	36,040	38,150	40,360	42,470	44,580	46,790	49,000	51,110	53,430
	10	-	-	16,550	18,660	20,770	22,880	24,990	27,100	29,210	31,320	33,430	35,540	37,650	39,860	41,970	44,080	46,290	48,400	50,610	52,720	55,040
	12	-	16,050	18,160	20,270	22,380	24,490	26,600	28,710	30,820	32,930	35,040	37,150	39,360	41,470	43,580	45,790	47,900	50,110	52,220	54,540	56,650
	14	15,550	17,660	19,770	21,880	23,990	26,100	28,210	30,320	32,430	34,540	36,650	38,860	40,970	43,080	45,290	47,400	49,610	51,720	54,040	56,150	58,410
	16	17,160	19,270	21,380	23,490	25,600	27,710	29,820	31,930	34,040	36,150	38,260	40,470	42,580	44,690	46,900	49,110	51,220	53,540	55,650	57,910	60,020
	18	18,770	20,880	22,990	25,100	27,210	29,320	31,430	33,540	35,650	37,760	39,970	42,080	44,190	46,400	48,510	50,720	53,040	55,150	57,410	59,520	61,680
	20	20,380	22,490	24,600	26,710	28,820	30,930	33,040	35,150	37,260	39,470	41,580	43,690	45,900	48,010	50,220	52,330	54,650	56,760	59,020	61,130	63,290
	22	21,990	24,100	26,210	28,320	30,430	32,540	34,650	36,760	38,970	41,080	43,190	45,400	47,510	49,720	51,830	54,150	56,260	58,520	60,630	62,790	
	24	23,600	25,710	27,820	29,930	32,040	34,150	36,260	38,370	40,580	42,690	44,800	47,010	49,220	51,330	53,650	55,760	58,020	60,130	62,290		
	26	25,210	27,320	29,430	31,540	33,650	35,760	37,870	40,080	42,190	44,300	46,510	48,720	50,830	53,150	55,260	57,520	59,630	61,790			
	28	26,820	28,930	31,040	33,150	35,260	37,370	39,580	41,690	43,800	46,010	48,220	50,330	52,440	54,760	56,870	59,130	61,240				
	30	28,430	30,540	32,650	34,760	36,870	39,080	41,190	43,300	45,510	47,620	49,830	51,940	54,260	56,370	58,630	60,740	62,900				
	32	30,040	32,150	34,260	36,370	38,480	40,690	42,800	44,910	47,120	49,330	51,440	53,760	55,870	58,130	60,240	62,400					
	34	31,650	33,760	35,870	37,980	40,190	42,300	44,410	46,620	48,830	50,940	53,260	55,370	57,630	59,740	61,900						
	36	33,260	35,370	37,480	39,690	41,800	43,910	46,120	48,230	50,440	52,550	54,870	56,980	59,240	61,400							
	38	34,870	36,980	39,190	41,300	43,410	45,620	47,730	49,940	52,050	54,370	56,480	58,740	60,850	63,010							
40	36,480	38,590	40,800	42,910	45,120	47,230	49,440	51,550	53,870	55,980	58,240	60,350	62,510								*	
42	38,090	40,300	42,410	44,520	46,730	48,940	51,050	53,370	55,480	57,740	59,850	62,010										
44	39,800	41,910	44,020	46,230	48,340	50,550	52,660	54,980	57,240	59,350	61,510											
46	41,410	43,520	45,730	47,840	50,050	52,160	54,480	56,590	58,850	60,960	63,120											

普通車 (1,550mm) + ミドルハイルフ車 (1,800mm)

(mm)

		ミドルハイルフ車台数																				
		0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
普通車台数	0	-	-	-	-	-	-	-	17,300	19,160	21,020	22,880	24,740	26,600	28,460	30,320	32,180	34,040	35,900	37,760	39,720	41,580
	2	-	-	-	-	-	-	17,050	18,910	20,770	22,630	24,490	26,350	28,210	30,070	31,930	33,790	35,650	37,510	39,470	41,330	43,190
	4	-	-	-	-	-	16,800	18,660	20,520	22,380	24,240	26,100	27,960	29,820	31,680	33,540	35,400	37,260	39,220	41,080	42,940	44,800
	6	-	-	-	-	16,550	18,410	20,270	22,130	23,990	25,850	27,710	29,570	31,430	33,290	35,150	37,010	38,870	40,830	42,690	44,550	46,510
	8	-	-	-	16,300	18,160	20,020	21,880	23,740	25,600	27,460	29,320	31,180	33,040	34,900	36,760	38,620	40,580	42,440	44,300	46,260	48,120
	10	-	-	16,050	17,910	19,770	21,630	23,490	25,350	27,210	29,070	30,930	32,790	34,650	36,510	38,370	40,330	42,190	44,050	46,010	47,870	49,830
	12	-	15,800	17,660	19,520	21,380	23,240	25,100	26,960	28,820	30,680	32,540	34,400	36,260	38,120	40,080	41,940	43,800	45,760	47,620	49,580	51,440
	14	15,550	17,410	19,270	21,130	22,990	24,850	26,710	28,570	30,430	32,290	34,150	36,010	37,870	39,830	41,690	43,550	45,510	47,370	49,330	51,190	53,260
	16	17,160	19,020	20,880	22,740	24,600	26,460	28,320	30,180	32,040	33,900	35,760	37,620	39,580	41,440	43,300	45,260	47,120	49,080	50,940	53,010	54,870
	18	18,770	20,630	22,490	24,350	26,210	28,070	29,930	31,790	33,650	35,510	37,370	39,330	41,190	43,050	44,910	46,870	48,830	50,690	52,550	54,620	56,480
	20	20,380	22,240	24,100	25,960	27,820	29,680	31,540	33,400	35,260	37,120	39,080	40,940	42,800	44,660	46,620	48,480	50,440	52,300	54,370	56,230	58,240
	22	21,990	23,850	25,710	27,570	29,430	31,290	33,150	35,010	36,870	38,830	40,690	42,550	44,410	46,370	48,230	50,190	52,050	54,120	55,980	57,990	59,850
	24	23,600	25,460	27,320	29,180	31,040	32,900	34,760	36,620	38,480	40,440	42,300	44,160	46,120	47,980	49,940	51,800	53,870	55,730	57,740	59,600	61,510
	26	25,210	27,070	28,930	30,790	32,650	34,510	36,370	38,230	40,190	42,050	43,910	45,870	47,730	49,690	51,550	53,620	55,480	57,490	59,350	61,210	63,120
	28	26,820	28,680	30,540	32,400	34,260	36,120	37,980	39,940	41,800	43,660	45,620	47,480	49,440	51,300	53,370	55,230	57,240	59,100	60,960	62,870	
	30	28,430	30,290	32,150	34,010	35,870	37,730	39,690	41,550	43,410	45,370	47,230	49,190	51,050	53,120	54,980	56,840	58,850	60,710	62,620		
	32	30,040	31,900	33,760	35,620	37,480	39,440	41,300	43,160	45,120	46,980	48,940	50,800	52,660	54,730	56,590	58,600	60,460	62,370			
	34	31,650	33,510	35,370	37,230	39,190	41,050	42,910	44,770	46,730	48,690	50,550	52,410	54,480	56,340	58,350	60,210	62,120				
	36	33,260	35,120	36,980	38,940	40,800	42,660	44,520	46,480	48,340	50,300	52,160	54,230	56,090	58,100	59,960	61,870					
	38	34,870	36,730	38,590	40,550	42,410	44,270	46,230	48,090	50,050	51,910	53,980	55,840	57,850	59,710	61,620						*
40	36,480	38,340	40,300	42,160	44,020	45,980	47,840	49,800	51,660	53,730	55,590	57,600	59,460	61,370	63,230							

ミドルハイルフ車 (1,800mm) + ハイルフ車 (2,050mm)

(mm)

		ハイルフ車台数																				
		0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
ミドルハイルフ車台数	0	-	-	-	-	-	-	-	19,050	21,160	23,270	25,380	27,490	29,600	31,710	33,820	35,930	38,040	40,250	42,360	44,470	46,680
	2	-	-	-	-	-	-	18,800	20,910	23,020	25,130	27,240	29,350	31,460	33,570	35,680	37,790	40,000	42,110	44,220	46,430	48,540
	4	-	-	-	-	-	18,550	20,660	22,770	24,880	26,990	29,100	31,210	33,320	35,430	37,540	39,750	41,860	43,970	46,180	48,290	50,500
	6	-	-	-	-	18,300	20,410	22,520	24,630	26,740	28,850	30,960	33,070	35,180	37,290	39,500	41,610	43,720	45,930	48,040	50,250	52,360
	8	-	-	-	18,050	20,160	22,270	24,380	26,490	28,600	30,710	32,820	34,930	37,040	39,250	41,360	43,470	45,680	47,790	50,000	52,110	54,430
	10	-	-	17,800	19,910	22,020	24,130	26,240	28,350	30,460	32,570	34,680	36,790	38,900	41,110	43,220	45,430	47,540	49,750	51,860	54,180	56,290
	12	-	17,550	19,660	21,770	23,880	25,990	28,100	30,210	32,320	34,430	36,540										



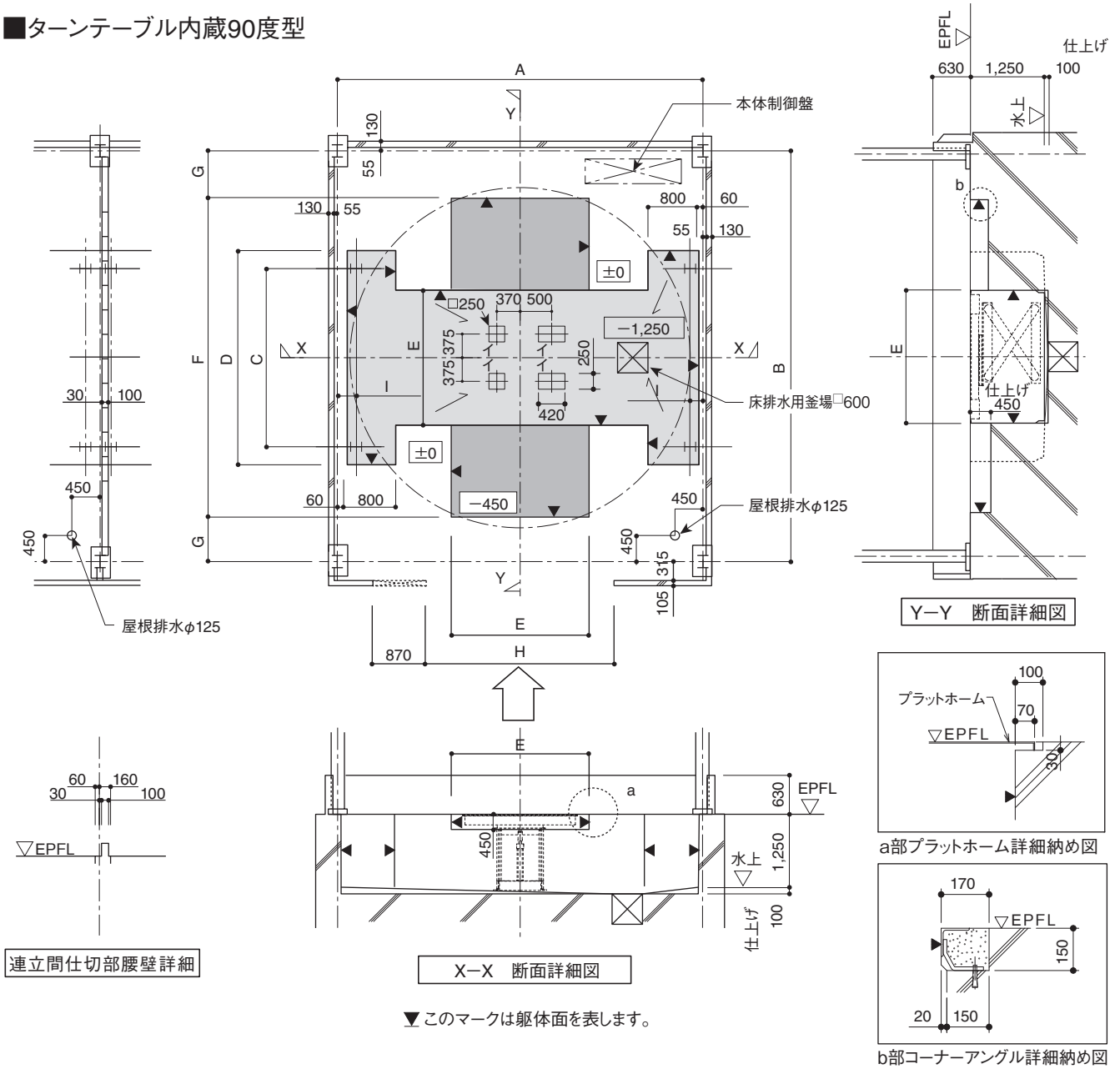
# 床仕上げ

## エレベータパーキング

■ターンテーブル内蔵90度型

2

エレベータパーキング



### 注意事項

- 1) ピットの仕上寸法精度は±10mmです。また、ピット造成後には、諸寸法について、ご提示をお願い致します。
- 2) ピット排水について、釜場□600で計画しています。必要に応じて、水中ポンプによる排水を行ってください。(水中ポンプ設置は工事外です)
- 3) 図中の中心線は、搬器の中心を示します。
- 4) 本図は柱サイズが H200 の時を示します。

### 【型式別寸法】

(mm)

記号 型式	A	B	C	D	E	F	G	H	I
ND	5,840	6,600	2,870	3,560	2,220	5,220	690	2,800	220
GD	6,140	6,860	2,930	3,620	2,280	5,520	670	2,800	207.5
LD	6,440	6,860	2,930	3,620	2,280	5,820	520	2,800	207.5

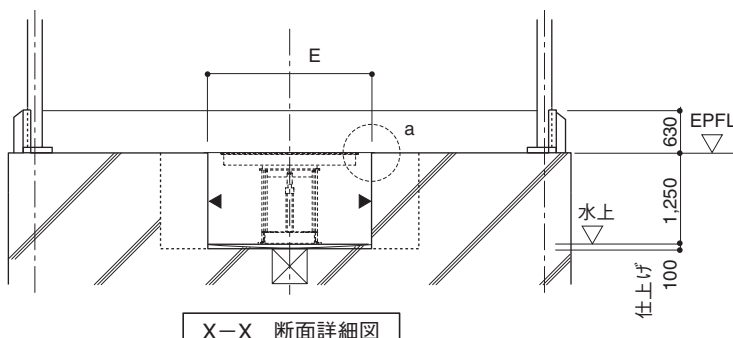
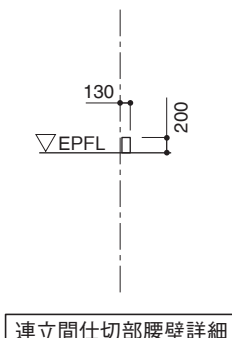
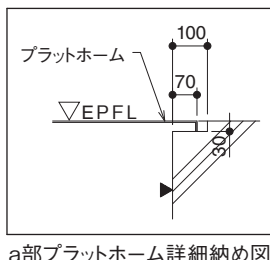
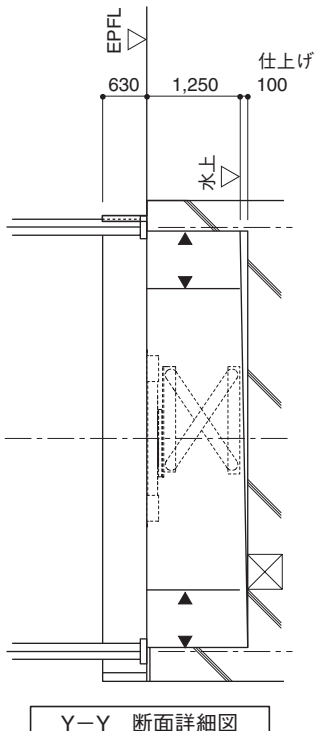
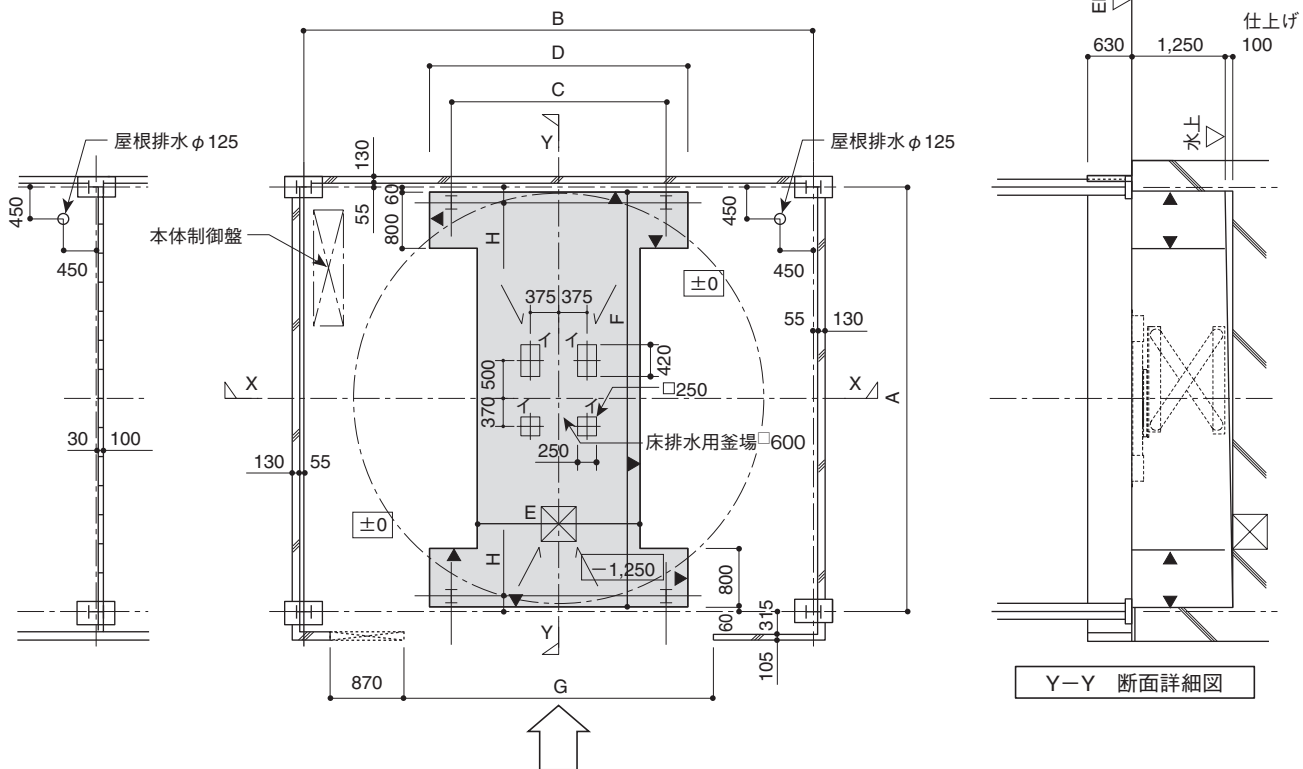
(単位: kN)

記号 型式	イ
ND	7.9
GD	
LD	

(※) 車椅子対応の場合は、寸法が変わりますので、ご相談ください。  
 (※) 全高が31mを超える場合は、ご相談ください。

# エレベータパーキング

■ターンテーブル内蔵180度型



▼このマークは躯体面を表します。

## 注意事項

- 1) ピットの仕上寸法精度は±10mmです。また、ピット造成後には、諸寸法について、ご提示をお願い致します。
- 2) ピット排水について、釜場□600で計画しています。必要に応じて、水中ポンプによる排水を行ってください。(水中ポンプ設置は工事外です)
- 3) 図中の中心線は、搬器の中心を示します。
- 4) 本図は柱サイズが H200 の時を示します。

## 【型式別寸法】

記号 型式	A	B	C	D	E	F	G	H
ND	5,840	6,600	3,030	3,720	2,220	5,720	4,170	220
GD	6,140	6,860	3,240	3,870	2,280	6,020	4,370	207.5
LD	6,440	6,860	3,240	3,870	2,280	6,320	4,370	207.5

(単位: kN)

記号 型式	イ
ND	7.9
GD	
LD	

(※) 車椅子対応の場合は、寸法が変わりますので、ご相談ください。  
 (※) 全高が31mを超える場合は、ご相談ください。



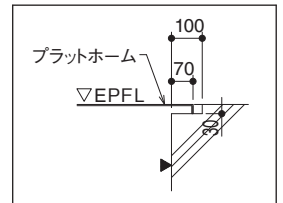
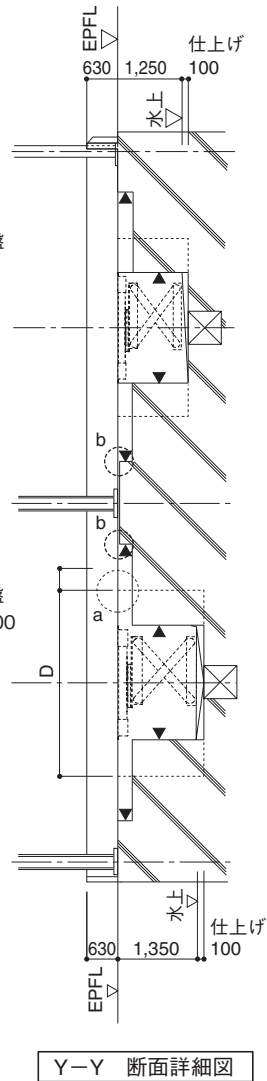
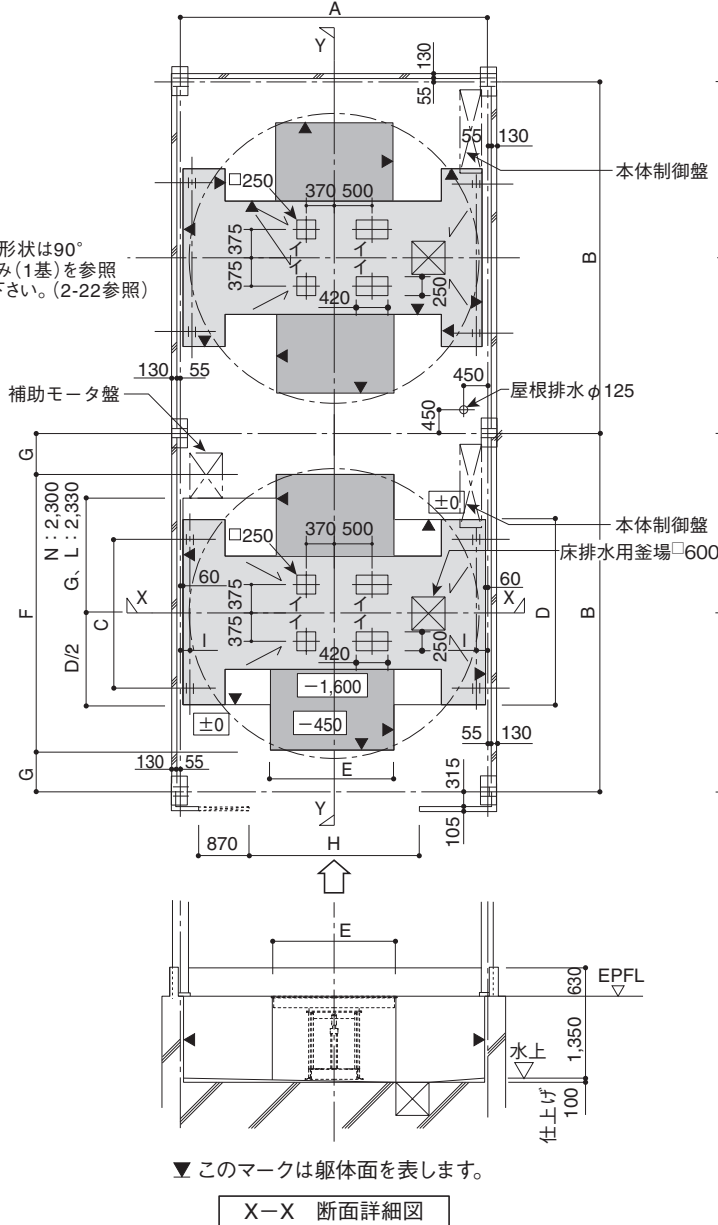
# エレベータパーキング

■直接乗込縦列ターンテーブル内蔵90度型

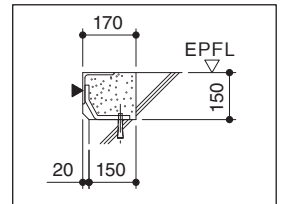
2

エレベータパーキング

ピット形状は90°  
乗込み(1基)を参照  
して下さい。(2-22参照)



a部プラットフォーム詳細納め図



b部コーナーアングル詳細納め図

**注意事項**

- 1) ピットの仕上寸法精度は±10mmです。また、ピット造成後には、諸寸法について、ご提示をお願い致します。
- 2) ピット排水について、釜場□600で計画しています。必要に応じて、水中ポンプによる排水を行ってください。(水中ポンプ設置は工事外です)
- 3) 図中の中心線は、搬器の中心を示します。
- 4) 本図は柱サイズが H200 の時を示します。

**【型式別寸法】**

記号 型式	A	B	C	D	E	F	G	H	I
ND	5,840	6,600	2,870	3,560	2,220	5,220	690	2,800	220
GD	6,140	6,860	2,930	3,620	2,280	5,520	670	2,800	207.5
LD	6,440	6,860	2,930	3,620	2,280	5,820	520	2,800	207.5

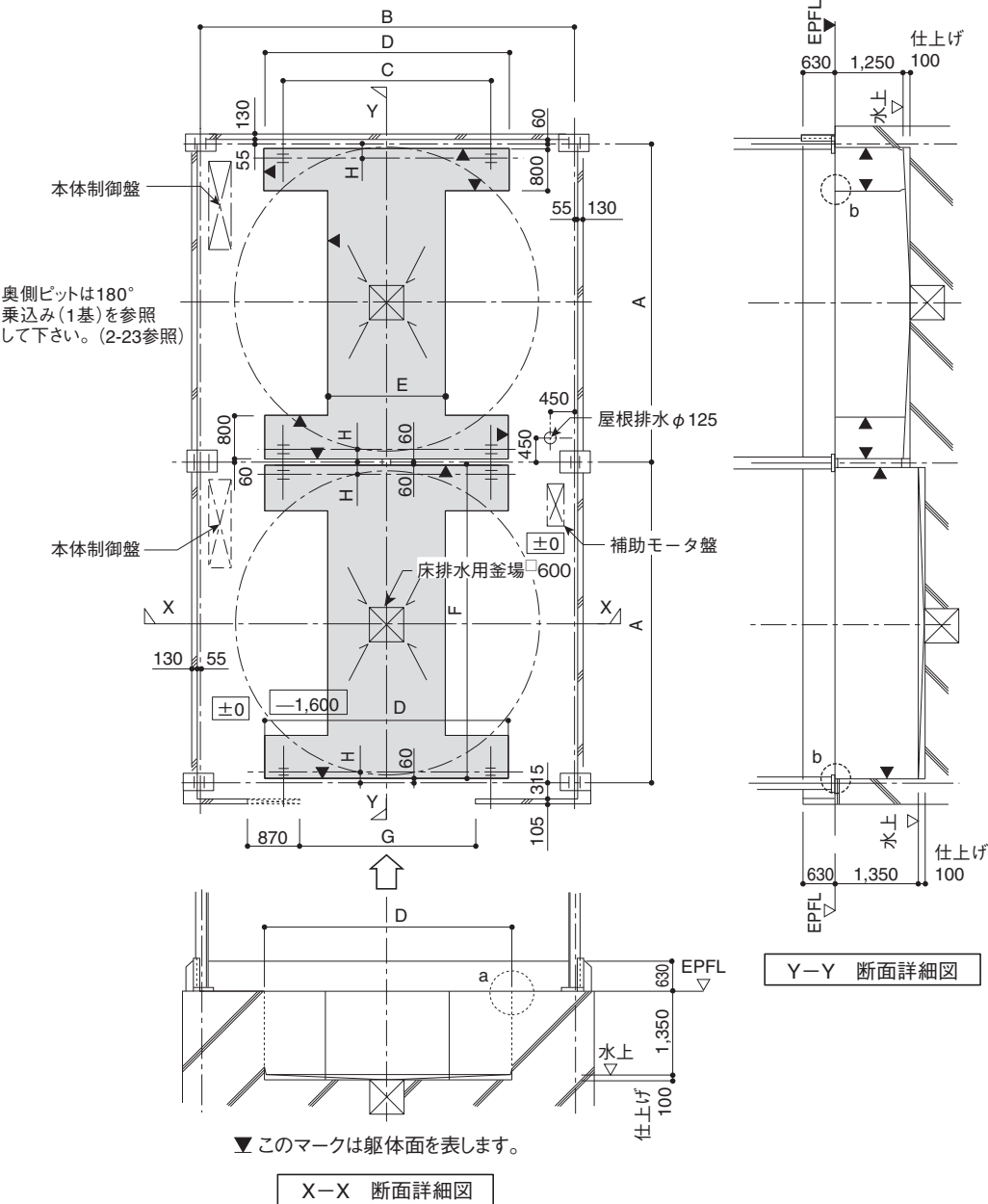
(単位: kN)

記号 型式	I
ND	7.9
GD	
LD	

- (※) 車椅子対応の場合は、寸法が変わりますので、ご相談ください。  
 (※) 全高が31mを超える場合は、ご相談ください。

# エレベータパーキング

## ■直接乗込縦列ターンテーブル内蔵180度型



### 注意事項

- 1) ピットの仕上寸法精度は±10mmです。また、ピット造成後には、諸寸法について、ご提示をお願い致します。
- 2) ピット排水について、釜場□600で計画しています。必要に応じて、水中ポンプによる排水を行ってください。(水中ポンプ設置は工事外です)
- 3) 図中の中心線は、搬器の中心を示します。
- 4) 本図は柱サイズがH200の時を示します。

### 【型式別寸法】

(mm)

記号 型式	A	B	C	D	E	F	G	H
ND	5,840	6,600	3,770	4,560	2,220	5,720	4,170	220
GD	6,140	6,860	3,830	4,620	2,280	6,020	4,370	207.5
LD	6,440	6,680	3,830	4,620	2,280	6,320	4,370	207.5

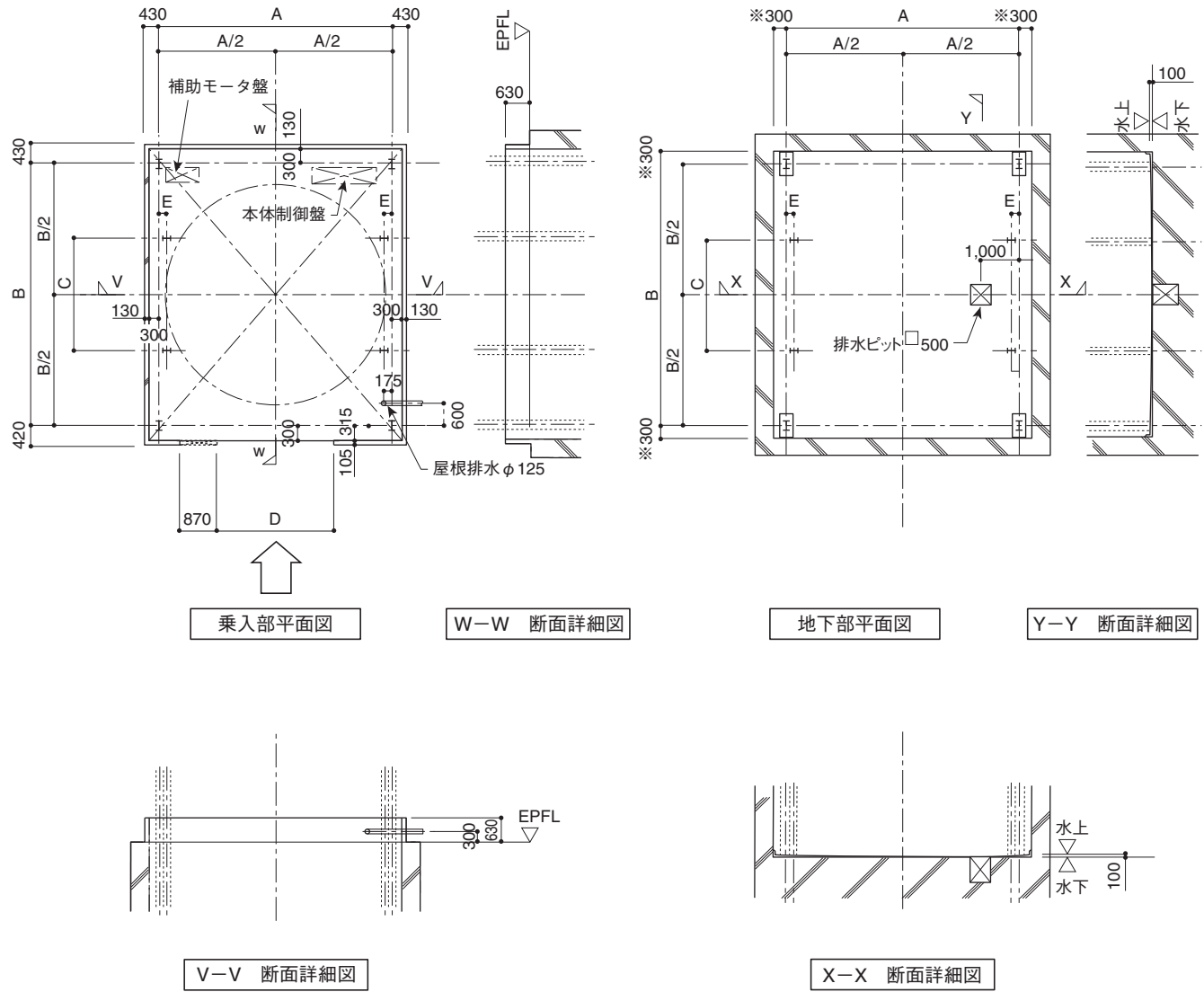
(※) 車椅子対応の場合は、寸法が変わりますので、ご相談ください。

(※) 全高が31mを超える場合は、ご相談ください。

# エレベータパーキング

■ターンテーブル内蔵90度型(中間乗込方式)

2  
エレベータパーキング



【型式別寸法】

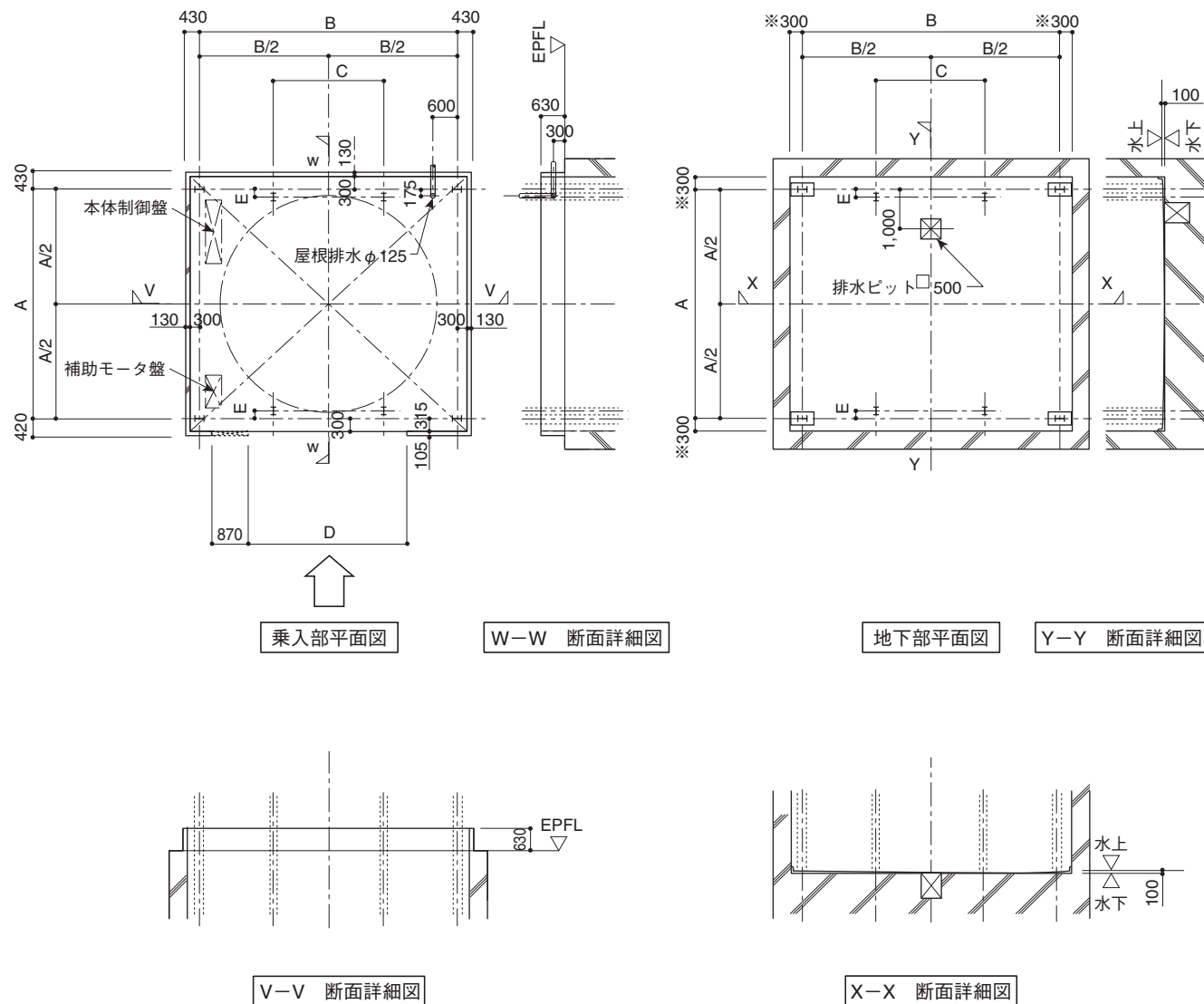
(mm)

記号 型式	A	B	C	D	E
ND	5,840	6,600	2,870	2,800	220
GD	6,140	6,860	2,930	2,800	207.5
LD	6,440	6,860	2,930	2,800	207.5

注) ※マーク寸法は、構造計算の結果により、大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

# エレベータパーキング

■ターンテーブル内蔵180度型(中間乗込方式)



2  
エレベータパーキング

## 【型式別寸法】

(mm)

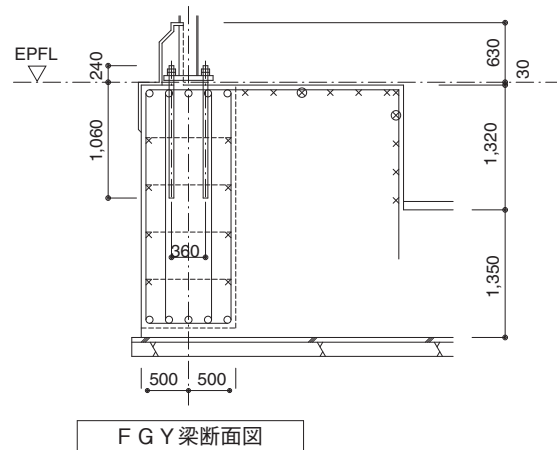
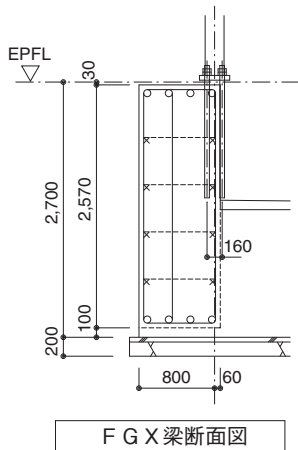
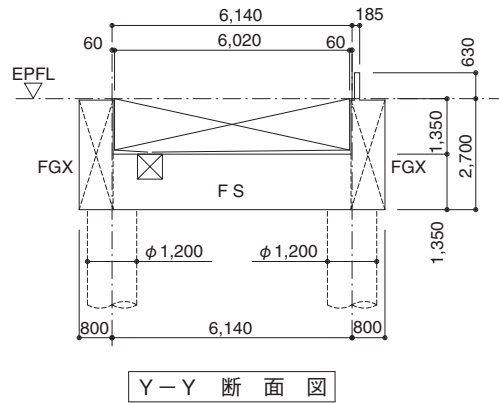
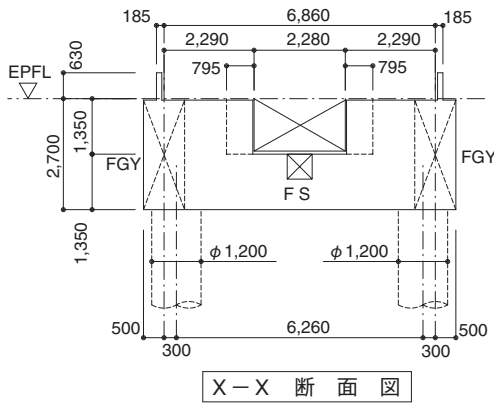
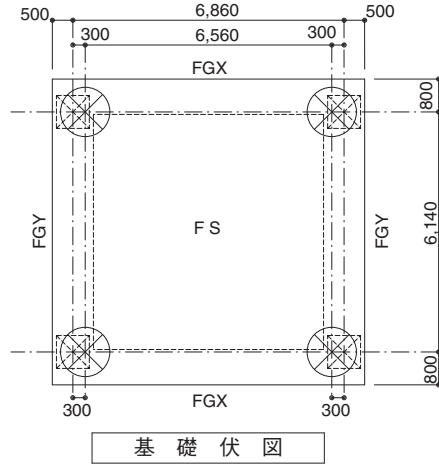
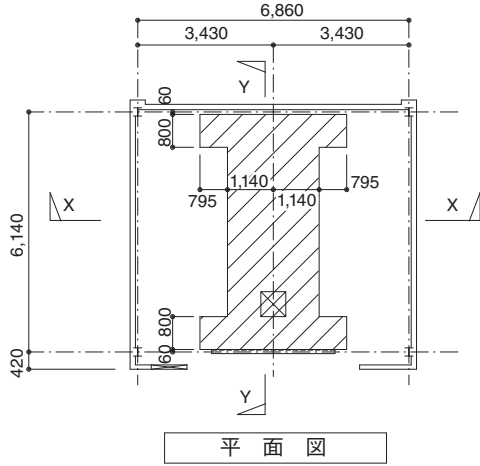
記号 型式	A	B	C	D	E
ND	5,840	6,600	3,030	4,170	220
GD	6,140	6,860	3,240	4,370	207.5
LD	6,440	6,860	3,240	4,370	207.5

注) ※マーク寸法は、構造計算の結果により、大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。



# エレベータパーキング

■ターンテーブル内蔵型180度型(収容型式G型)



部材リスト

砕石	φ150mm	排水釜場	□600	
捨コンクリート	Fc=13.5N/mm <sup>2</sup> φ50mm	仕上げ	腰外部	打放し
基礎コンクリート	Fc=21.0N/mm <sup>2</sup> スランプ15~18cm		腰内部	打放し
杭コンクリート	Fc=21.0N/mm <sup>2</sup> スランプ15~18cm	床	モルタル金コテ仕上	
鉄筋	SD295 (A) (D16以下), SD345 (D19以上)			

# 電源容量・電線サイズ一覧

## エレベータパーキング

### ■電源容量

〈標準型・中間乗込方式〉

電動機		電 圧	電源容量				
			1 基	2 基	3 基	4 基	5 基
動力用	18.5kW	AC 200/220V 50/60Hz	35 ※	63 ※	89	112	131
連立の低減率			1.0	0.9	0.85	0.8	0.75
制御用・照明用		AC 100V 50/60Hz	5	10	15	20	25
消火設備	常用	AC 100V 50/60Hz	0.5KVA (専用回路)				
	非常用	AC 100V	0.5KVA (自家発電)				
		DC 24V	10AH (蓄電池)				

〈直接乗込縦列型〉

電動機		電 圧	電源容量				
			1 基	2 基	3 基	4 基	5 基
動力用	18.5kW/18.5kW	AC 200/220V 50/60Hz	63 ※	113	161	202	236
連立の低減率			1.0	0.9	0.85	0.8	0.75
制御用・照明用		AC 100V 50/60Hz	10	20	30	40	50
消火設備	常用	AC 100V 50/60Hz	0.5KVA (専用回路)				
	非常用	AC 100V	0.5KVA (自家発電)				
		DC 24V	10AH (蓄電池)				

注1) 消火装置非常電源は、自家発電または蓄電池のどちらか一方を必要とします。

2) 照明用電源は、IHI 管理ボックスが付いた場合、1ヶ所当たり1.5KVA 加算します。

3) 2基以上を同一敷地に設置する場合の電源容量は、上記により決定します。(同一出力の連立または並立)

※印は、低圧電力にて受電を行ないます。その他は業務用電力にて受電を行ないます。

### [参考] 電動機電流値 200V換算

電動機	電源	定格電流	起動電流	ブレーカー (ELB) 容量
18.5kW	AC 200V 50/60Hz	92A	184A	100AF 100AT

・電源容量はつぎの根拠により算出しています。

[電源容量 (KVA) の算式]

$$\text{電源容量} = \sqrt{3} \times V \times I / 1,000$$

V = 電圧

I = 連続運転電流

連立または並立式の場合は (基数) × (低減率) を入れて計算します。

## エレベータパーキング

### ■電線サイズ一覧

基数	モーター容量	引込線太さ CV (mm <sup>2</sup> )							
		200Vクラス				400Vクラス			
		40mまで	60mまで	80mまで	アース線	40mまで	60mまで	80mまで	アース線
1	18.5kW×1	38	38	38	22	14	14	14	22

- 注1) 表は、電気室またはキュービクルのトランスからパーキング本体制御盤までの距離別、電圧別の引込線太さ（最低）です。
- 2) 連立式の場合、トランスからパーキング本体制御盤までを1回線とした時の引込線太さですが、各号機のパーキング本体制御盤毎に分割して施工するようおすすめします。
- 3) 受電部の端子台サイズは、100sqまでとなります。
- 4) アース線は、D種接地（ELB用）へ接続をお願いします。

### ■引込線の太さ

パーキング運転時の電流を流せる電線太さ 200V CV (mm<sup>2</sup>)

電動機 (kW) 基数	1 基
18.5	38





# 3

## フォークパーキング

収容可能車最大寸法表	3-2
フォークパーキング	
自立式	
標準仕様表	3-4
ターンテーブル内蔵型	3-6
直接乗込縦列ターンテーブル内蔵型	3-8
前面空地利用型ターンテーブル内蔵型	3-10
ミックス型（高さ寸法早見表）	3-12
ビル内自立式	
標準仕様表	3-13
ターンテーブル内蔵型	3-14
直接乗込縦列ターンテーブル内蔵型	3-16
ミックス型（高さ寸法早見表）	3-18
床仕上げ	3-19
電源容量・電線サイズ一覧	3-21

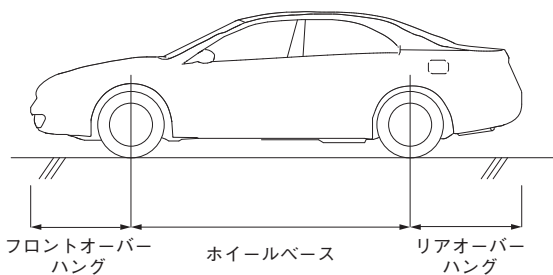
# 収容可能車最大寸法表 フォークパーキング

※ [ ] 内はミドルハイルーフ (MHR) 車を示します。  
 ( ) 内はハイルーフ (HR) 車を示します。

収容型式	寸法 全幅	全長/全高/車重
<b>N</b>	<p>全幅 1,900mm以下                      最低地上高 110mm以上                      タイヤ外幅 1,840mm以下                      リフトケージ内法 1,900mm以下</p>	<p>全長 5,000mm以下                      全高 1,550mm以下                      (1,800mm)                      (2,050mm)                      車重 1,900kg以下                      (1,900kg)                      (2,300kg)</p>
<b>G</b>	<p>全幅 2,000mm以下                      最低地上高 110mm以上                      タイヤ外幅 1,940mm以下                      リフトケージ内法 2,000mm以下</p>	<p>全長 5,300mm以下                      全高 1,550mm以下                      (1,800mm)                      (2,050mm)                      車重 2,300kg以下                      (2,300kg)                      (2,300kg)</p>

- ※ドアミラーは折りたたんで入庫してください。
- ※後部スペアタイヤ付のハイルーフ・RV車は一部収容不可能の場合があります。
- ※詳しくは、第6章 収容可能車最大寸法表 (注意事項) を参照してください。
- ※上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。
- ※収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。

## ■フォークパーキングの場合



※入庫可能車寸法に納まっても、フロントオーバーハングが長い車 (N1 : 985mm以上・G1 : 1,135mm以上) や、ホイールベース+リアオーバーハングが長い車 (N1 : 4,075mm以上・G1 : 4,225mm以上)、ホイールベースの短い車 (1,970mm未満、N1・G1共通) は入庫出来ません。



# フォークパーキング 自立式 標準仕様表

## ■ターンテーブル内蔵型

項目		型式	ND	GD
昇降装置	モータ(kW)	普通車・ハイルーフ車 ミックス型	18.5	
	速度	(m/min)	60~120可変速	
横行旋回装置	モータ(kW)	普通車・ハイルーフ車 ミックス型	棚部：0.2kW×4ヶ/段 中央部：0.4kW×2ヶ/5段	
	横行速度	(m/min)	26	
	モータ(kW)	普通車・ハイルーフ車 ミックス型	旋回用：2.2×1 昇降部：3.7×1	
	旋回速度	(rpm)	旋回：6 rpm 昇降：2.8/3.4 (50/60Hz)	
電源容量	動力用	普通車・ハイルーフ車 ミックス型	200/220V 35KVA (63KVA)	
	照明/制御用		100V 5KVA (10KVA)	
	消火設備用		100V 0.5KVA	
操作認証方式	標準		暗証式/ICカード式	
	オプション※		リモコン式/スマートフォン予約	

※オプションの詳細については、お問い合わせください。

( ) 寸法は2基連立時

3

フォークパーキング

■直接縦列乗込ターンテーブル内蔵型

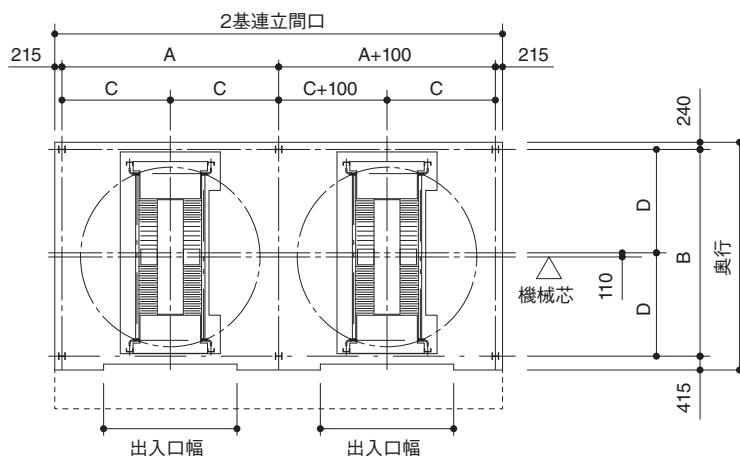
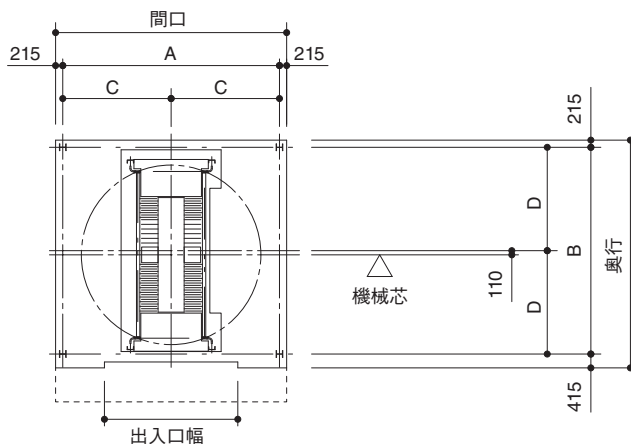
項目		型式	ND	GD
昇降装置	モータ(kW)	普通車・ハイルーフ車 ミックス型	18.5×2	
	速度 (m/min)		60~120可変速	
横行旋回装置	モータ(kW)	普通車・ハイルーフ車 ミックス型	棚部：0.2kW×4ヶ/段×2 中央部：0.4kW×2ヶ/5段×2	
	横行速度 (m/min)		26	
	モータ(kW)	普通車・ハイルーフ車 ミックス型	旋回用：2.2×2 昇降部：3.7×2	
	旋回速度 (rpm)		旋回：6 rpm 昇降：2.8/3.4 (50/60Hz)	
電源容量	動力用	普通車・ハイルーフ車 ミックス型	200/220V 63KVA	
	照明/制御用		100V 10KVA	
	消火設備用		100V 0.5KVA	
操作認証方式	標準		暗証式/ICカード式	
	オプション※		リモコン式/スマートフォン予約	

※オプションの詳細については、お問い合わせください。

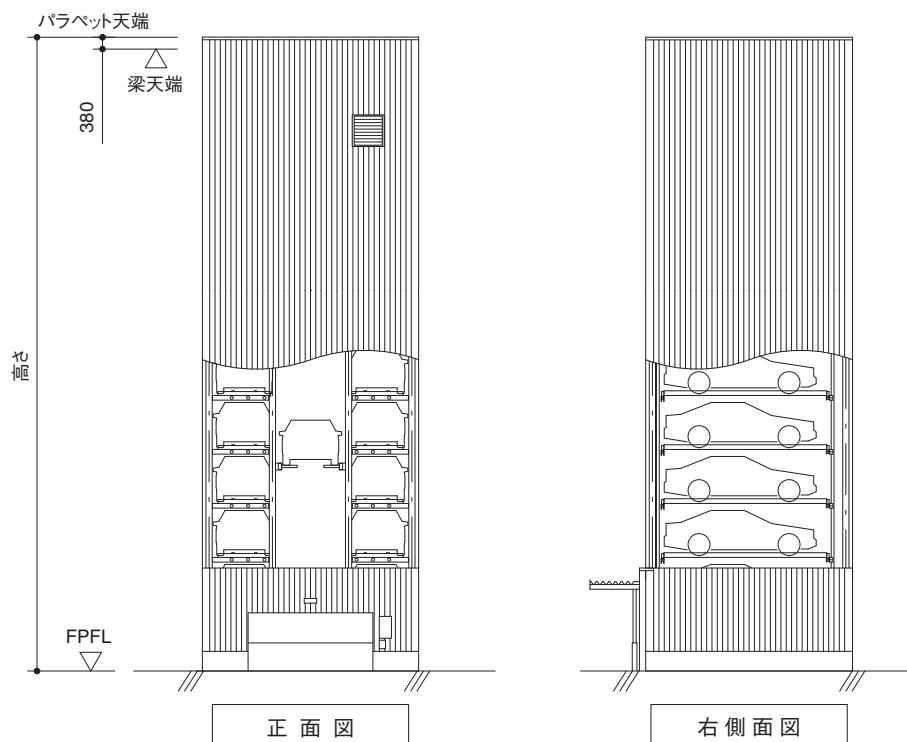
# フォークパーキング 自立式 ターンテーブル内蔵型

## ■全体図

《180°タイプ》



平面配置図



正面図

右側面図

3

フォークパーキング

■収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型式	180°		
			ND	GD	
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300	
	全幅 (mm以下)		1,900	2,000	
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,840	1,940	
	全高 (mm以下)	普通車		1,550	
		ミドルハイルーフ車		1,800	
		ハイルーフ車		2,050	
	最低地上高 (mm)		110		
車重 (kg以下)	普通車	1,900	2,300		
	ミドルハイルーフ車				
	ハイルーフ車	2,300			
間口 (mm)	単基	6,930	7,230		
	連立	(13,530)	(14,130)		
奥行 (mm)	単基	7,030	7,330		
	連立	(7,055)	(7,355)		
	車椅子対応	<7,715>	<8,015>		
柱芯 (mm)	A	6,500	6,800		
	B	6,400	6,700		
	C	3,250	3,400		
	D	3,200	3,350		
出入口幅 (mm)		4,000			
出入口高さ (mm)	普通車		1,950		
	ハイルーフ車・ミックス型		2,200		

※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。 ( ) 数値は2基連立時 < > 数値は車椅子対応時  
 ※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。  
 ※3 上記間口・奥行寸法は、外装が鋼板の場合となります。鋼板以外の外装をご計画の場合は、間口・奥行寸法が異なりますので別途ご相談ください。  
 ※4 高さが31mを超える場合・塔状比が6を超える場合は、上記間口・奥行寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

■高さ寸法の算出方法

項目		型式	180°	
			ND	GD
高さ	普通車		$2,380 + @1,750 \times (N/2) + 1,700$	
寸法	普通車/ハイルーフ車/ミドルハイルーフ車		$2,800 + @1,750 \times (N/2) + @2,250 \times (H/2) + @2,000 \times (M/2) + 1,700$	

※1 N：普通車の収容台数 M：ミドルハイルーフ車の収容台数 H：ハイルーフ車の収容台数 (N,M,Hをそれぞれ2の倍数とする)  
 ※2 車椅子対応時の高さ寸法の算出方法は、別途ご相談ください。

■高さ寸法

収容台数	高さ (mm)		収容台数	高さ (mm)	
	普通車	ハイルーフ車		普通車	ハイルーフ車
14	16,330	20,250	32	32,080	40,500
16	18,080	22,500	34	33,830	42,750
18	19,830	24,750	36	35,580	※ <sup>1</sup>
20	21,580	27,000	38	37,330	
22	23,330	29,250	40	39,180	
24	25,080	31,500	42	40,930	
26	26,830	33,750	44	42,680	
28	28,580	36,000	46	44,430	
30	30,330	38,250	48		

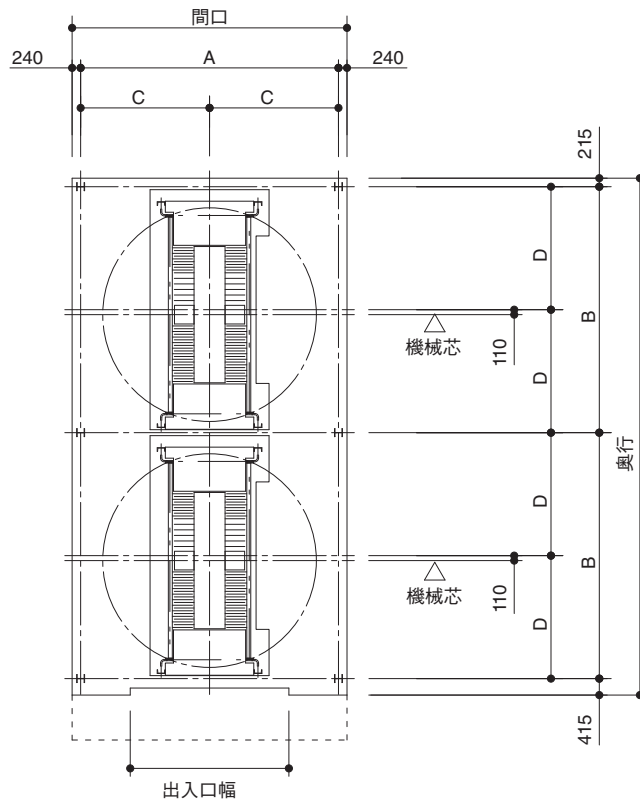
注) 1. 31m以上については別途ご相談ください。  
 2. ミックス型の高さ寸法については、3-12を参照ください。



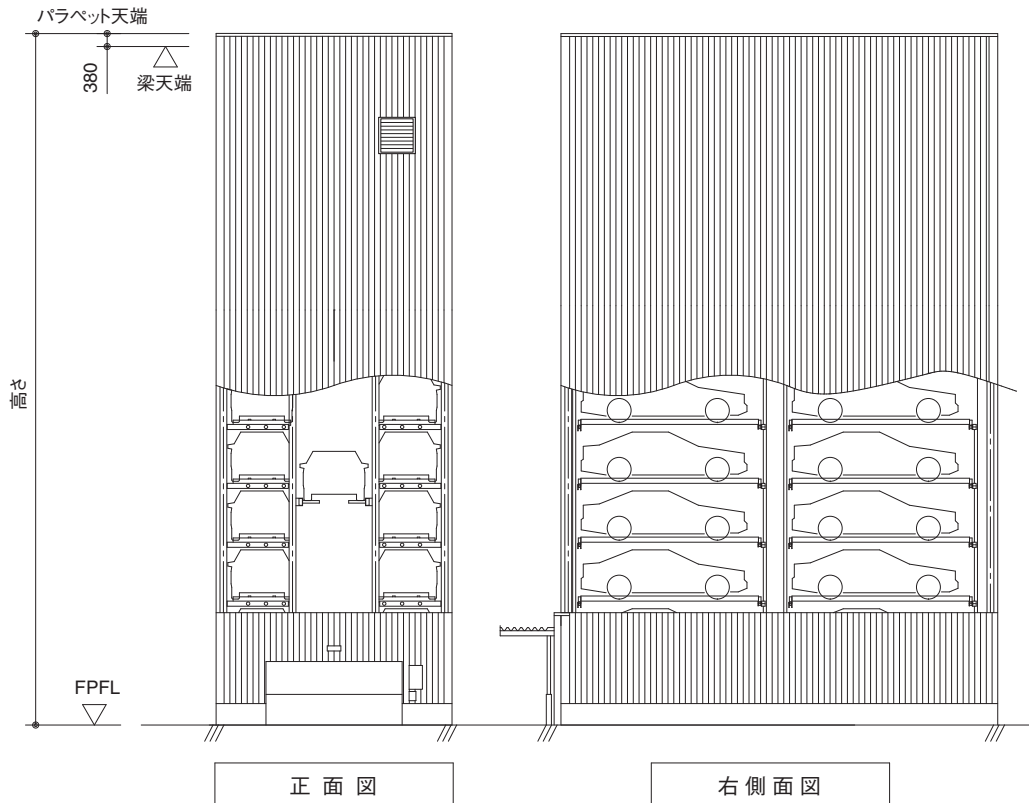
# フォークパーキング 自立式 直接乗込縦列ターンテーブル内蔵型

## ■全体図

《180°タイプ》



平面配置図



正面図

右側面図

3  
フォークパーキング

■ 収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型式	180°		
			ND	GD	
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300	
	全幅 (mm以下)		1,900	2,000	
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,840	1,940	
	全高 (mm以下)	普通車		1,550	
		ミドルハイルーフ車		1,800	
		ハイルーフ車		2,050	
	最低地上高 (mm以上)		110		
車重 (kg以下)	普通車	1,900	2,300		
	ミドルハイルーフ車				
	ハイルーフ車	2,300			
間口 (mm)	単基	6,980	7,280		
奥行 (mm)	単基	13,430	14,030		
	車椅子対応	<7,715>	<8,015>		
柱芯 (mm)	A	6,500	6,800		
	B	6,400	6,700		
	C	3,250	3,400		
	D	3,200	3,350		
出入口幅 (mm)		4,000			
出入口高さ (mm)	普通車	1,950			
	ハイルーフ車・ミックス型	2,200			

※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。 ( ) 数値は車椅子対応時  
 ※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。  
 ※3 上記間口・奥行寸法は、外装が鋼板の場合となります。鋼板以外の外装をご計画の場合は、間口・奥行寸法が異なりますので別途ご相談ください。  
 ※4 高さが31mを超える場合・塔状比が6を超える場合は、上記間口・奥行寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

■ 高さ寸法の算出方法

項目		型式	180°	
			ND	GD
高さ	普通車		$2,380 + @1,750 \times (N/4) + 1,700$	
寸法	普通車/ハイルーフ車/ミドルハイルーフ車		$2,800 + @1,750 \times (N/4) + @2,250 \times (H/4) + @2,000 \times (M/4) + 1,700$	

※1 N：普通車の収容台数 M：ミドルハイルーフ車の収容台数 H：ハイルーフ車の収容台数 (N,M,Hをそれぞれ4の倍数とする)  
 ※2 車椅子対応時の高さ寸法の算出方法は、別途ご相談ください。

■ 高さ寸法

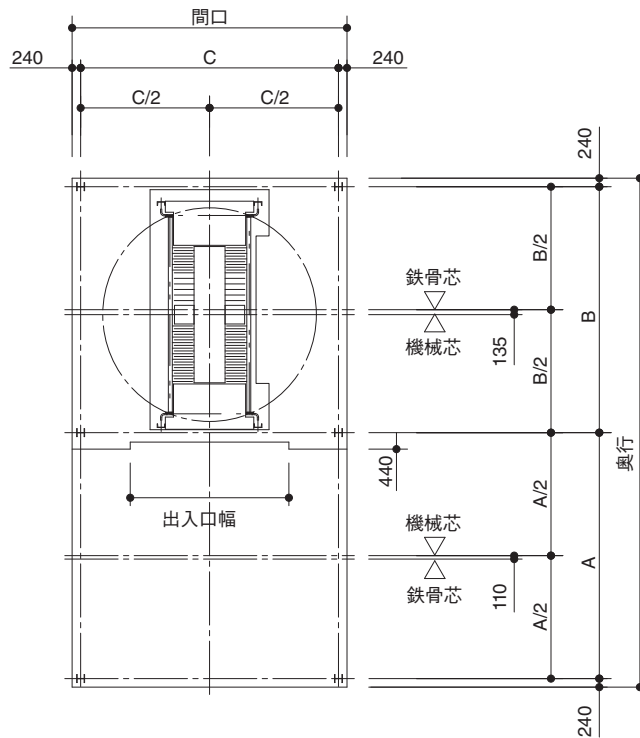
収容台数	高さ (mm)		収容台数	高さ (mm)	
	普通車	ハイルーフ車		普通車	ハイルーフ車
28	16,330	20,250	64	32,080	40,600
32	18,080	22,500	68	33,830	42,850
36	19,830	24,750	72	35,580	※ <sup>注1</sup>
40	21,580	27,000	76	39,180	
44	23,330	29,250	80	40,930	
48	25,080	31,500	84	42,680	
52	26,830	33,750	88	44,430	
56	28,580	36,000	92		
60	30,330	38,250	96		

注) 1. 31m以上については別途ご相談ください。  
 2. ミックス型の高さ寸法については、3-12を参照ください。

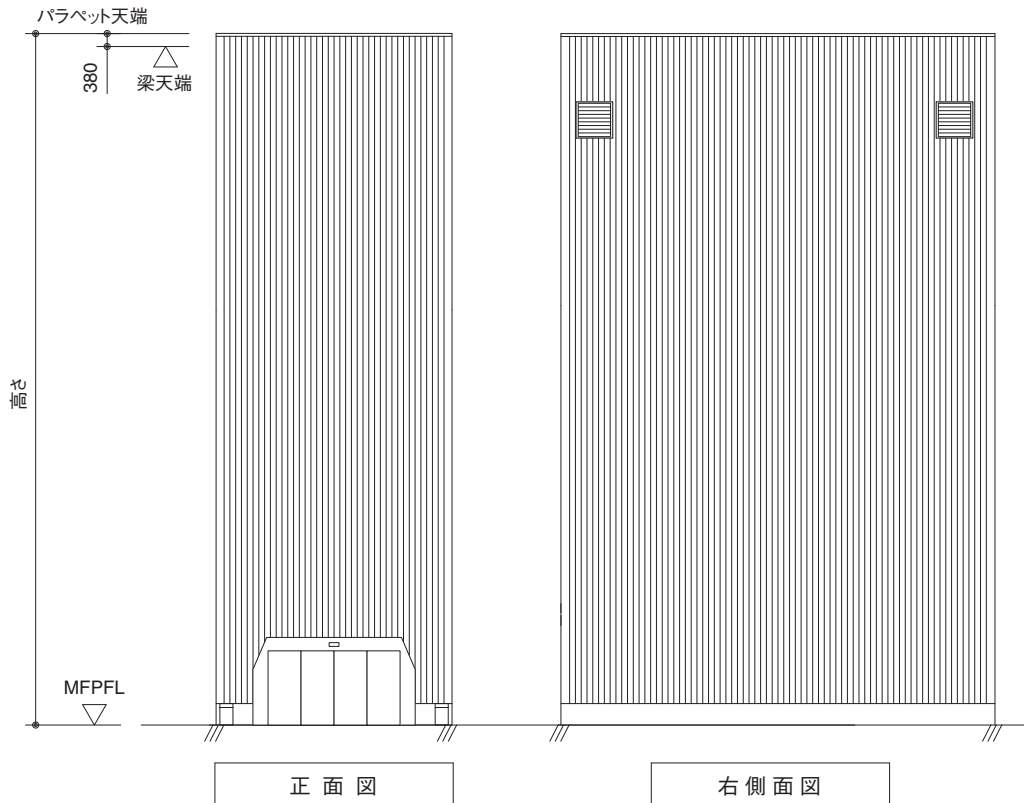
# フォークパーキング 自立式 前面空地利用型ターンテーブル内蔵型

## ■全体図

《180°タイプ》



平面配置図



正面図

右側面図

3

フォークパーキング

■収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型式	180°		
			ND	GD	
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300	
	全幅 (mm以下)		1,900	2,000	
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,840	1,940	
	全高 (mm以下)	普通車		1,550	
		ミドルハイルーフ車		1,800	
		ハイルーフ車		2,050	
	最低地上高 (mm)		110		
	車重 (kg以下)	普通車		1,900	
		ミドルハイルーフ車		1,900	
ハイルーフ車			2,300		
間口 (mm)	単基	7,280	7,480		
奥行 (mm)	単基	13,330	13,930		
柱芯 (mm)	A	6,400	6,700		
	B	6,450	6,750		
	C	6,800	7,000		
出入口幅 (mm)		4,000			
出入口高さ (mm)	普通車		1,950		
	ハイルーフ車・ミックスタイプ		2,200		

※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※3 上記間口・奥行寸法は、外装が鋼板の場合となります。鋼板以外の外装をご計画の場合は、間口・奥行寸法が異なりますので別途ご相談ください。

※4 高さが31mを超える場合・塔状比が6を超える場合は、上記間口・奥行寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

■高さ寸法の算出方法

項目		型式	90°	
			ND	GD
高さ	普通車		$4,710 + @1,750 \times (N/2) + 1,700$	
寸法	普通車/ハイルーフ車/ミドルハイルーフ車		$5,010 + @1,750 \times (N/2) + @2,250 \times (H/2) + @2,000 \times (M/2) + 1,700$	

※1 N：普通車の収容台数 M：ミドルハイルーフ車の収容台数 H：ハイルーフ車の収容台数 (N,M,Hをそれぞれ2の倍数とする)

※2 車椅子対応時の高さ寸法の算出方法は、別途ご相談ください。

■高さ寸法

収容台数	高さ (mm)		収容台数	高さ (mm)	
	普通車	ハイルーフ車		普通車	ハイルーフ車
28	18,660	22,460	64	34,410	42,710
32	20,410	24,710	68	36,160	44,960
36	22,160	26,960	72	37,910	※ <sup>注1</sup>
40	23,910	29,210	76	39,760	
44	25,660	31,460	80	41,510	
48	27,410	33,710	84	43,260	
52	29,160	35,960	88		
56	30,910	38,210	92		
60	32,660	40,460	96		

注) 1. 31m以上については別途ご相談ください。



# フォークパーキング ビル内自立式 標準仕様表

## ■ターンテーブル内蔵型

項目		型式	ND	GD
昇降装置	モータ(kW)	普通車・ハイルフ車 ミックス型	18.5	
	速度	(m/min)	60~120可変速	
横行旋回装置	モータ(kW)	普通車・ハイルフ車 ミックス型	棚部：0.2kW×4ヶ/段 中央部：0.4kW×2ヶ/5段	
	横行速度	(m/min)	26	
	モータ(kW)	普通車・ハイルフ車 ミックス型	旋回用：2.2×1 昇降部：3.7×1	
	旋回速度	(rpm)	旋回：6 rpm 昇降：2.8/3.4 (50/60Hz)	
電源容量	動力用	普通車・ハイルフ車 ミックス型	200/220V 35KVA (63KVA)	
	照明/制御用		100V 5KVA (10KVA)	
	消火設備用		100V 0.5KVA	
操作認証方式	標準		暗証式/ICカード式	
	オプション※		リモコン式/スマートフォン予約	

※オプションの詳細については、お問い合わせください。

( )寸法は2基連立時

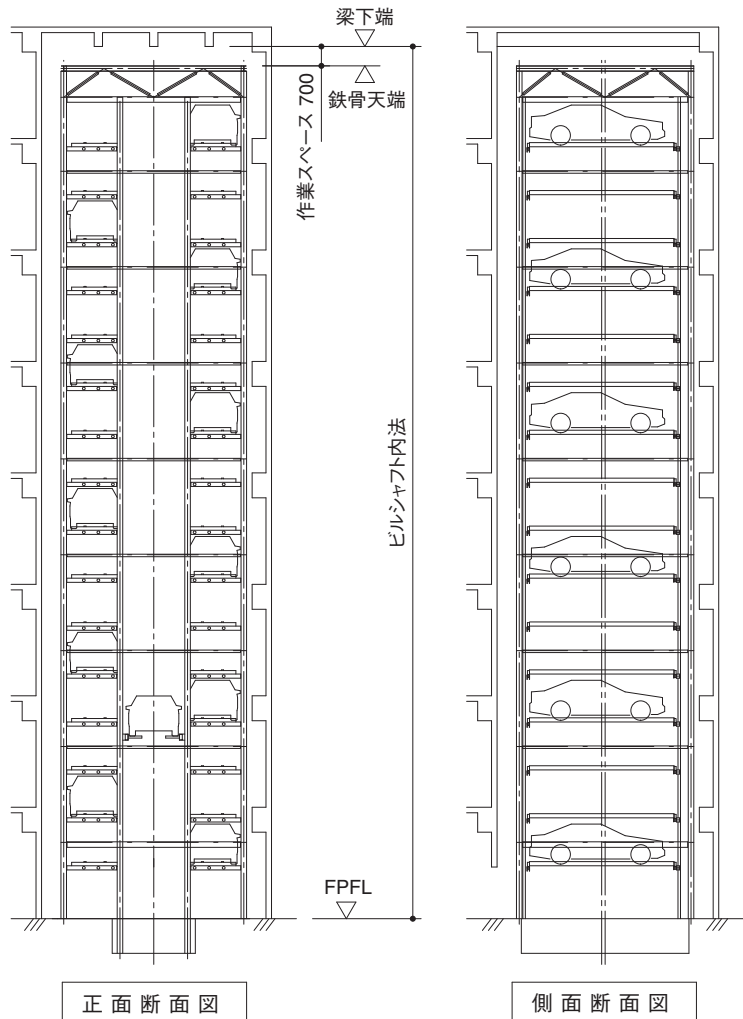
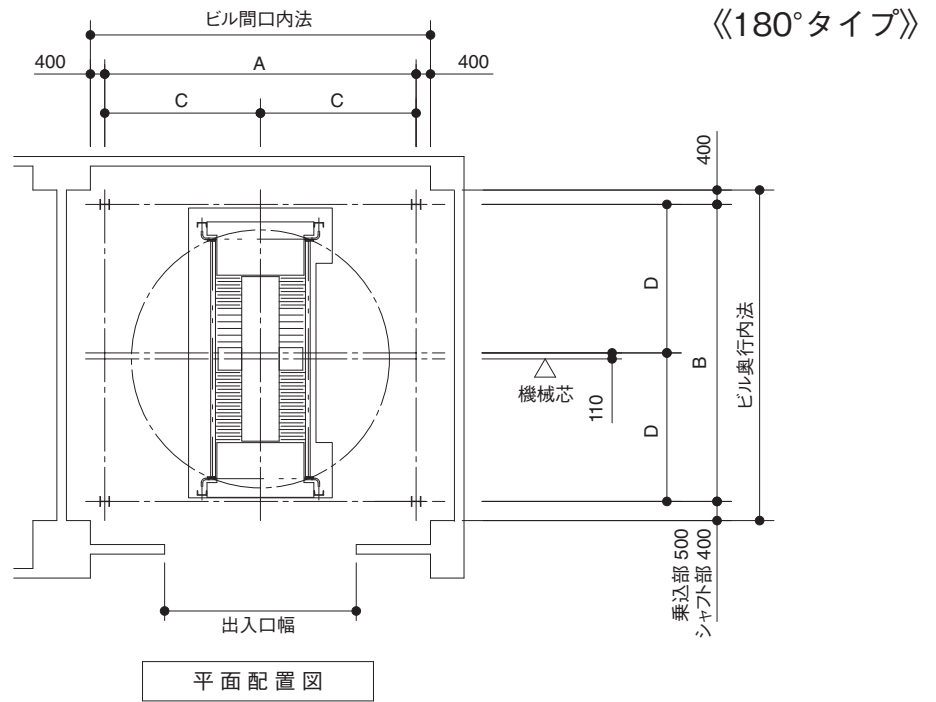
## ■直接縦列乗込ターンテーブル内蔵型

項目		型式	ND	GD
昇降装置	モータ(kW)	普通車・ハイルフ車 ミックス型	18.5×2	
	速度	(m/min)	60~120可変速	
横行旋回装置	モータ(kW)	普通車・ハイルフ車 ミックス型	棚部：0.2kW×4ヶ/段×2 中央部：0.4kW×2ヶ/5段×2	
	横行速度	(m/min)	26	
	モータ(kW)	普通車・ハイルフ車 ミックス型	旋回用：2.2×2 昇降部：3.7×2	
	旋回速度	(rpm)	旋回：5 rpm 昇降：2.8/3.4 (50/60Hz)	
電源容量	動力用	普通車・ハイルフ車 ミックス型	200/220V 63KVA	
	照明/制御用		100V 10KVA	
	消火設備用		100V 0.5KVA	
操作認証方式	標準		暗証式/ICカード式	
	オプション※		リモコン式/スマートフォン予約	

※オプションの詳細については、お問い合わせください。

# フォークパーキング ビル内自立式 ターンテーブル内蔵型

## ■全体図



## ■ 収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型式	180°		
			ND	GD	
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300	
	全幅 (mm以下)		1,900	2,000	
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,840	1,940	
	全高 (mm以下)	普通車		1,550	
		ミドルハイルーフ車		1,800	
		ハイルーフ車		2,050	
	最低地上高 (mm以上)		110		
車重 (kg以下)	普通車	1,900	2,300		
	ミドルハイルーフ車				
	ハイルーフ車	2,300			
間口 (mm)	単基	7,300	7,600		
奥行 (mm)	単基	7,200	7,500		
		〈7,300〉	〈7,600〉		
	車椅子対応	〈7,715〉	〈8,015〉		
柱芯 (mm)	A	6,500	6,800		
	B	6,400	6,700		
	C	3,250	3,400		
	D	3,200	3,350		
出入口幅 (mm)		4,000			
出入口高さ (mm)	普通車	1,950			
	ハイルーフ車・ミックス型	2,200			

※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。 ( ) 数値は乗込部 ( ) 数値は車椅子対応時

※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※3 高さ寸法によっては、上記間口・奥行寸法が変更になる場合がありますので別途ご相談ください。

※4 ビル側の層間変位（ビルの揺れ）等により、平面寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

## ■ 高さ寸法の算出方法

項目		型式	180°	
			ND	GD
高さ	普通車		$2,380 + @1,750 \times (N/2) + 2,020$	
寸法	普通車/ハイルーフ車/ミドルハイルーフ車		$2,800 + @1,750 \times (N/2) + @2,250 \times (H/2) + @2,000 \times (M/2) + 2,020$	

※1 N：普通車の収容台数 M：ミドルハイルーフ車の収容台数 H：ハイルーフ車の収容台数（N,M,Hをそれぞれ2の倍数とする）

※2 車椅子対応時の高さ寸法の算出方法は、別途ご相談ください。

## ■ 高さ寸法（ビルシャフト内法）

収容台数	高さ (mm)		収容台数	高さ (mm)	
	普通車	ハイルーフ車		普通車	ハイルーフ車
14	16,650	20,570	32	32,400	40,920
16	18,400	22,820	34	34,150	43,170
18	20,150	25,070	36	35,900	※ <sup>注1</sup>
20	21,900	27,320	38	37,650	
22	23,650	29,570	40	39,500	
24	25,400	31,820	42	41,250	
26	27,150	34,070	44	43,000	
28	28,900	36,320	46	44,750	
30	30,650	38,570	48		

注) 1. 31m以上については別途ご相談ください。

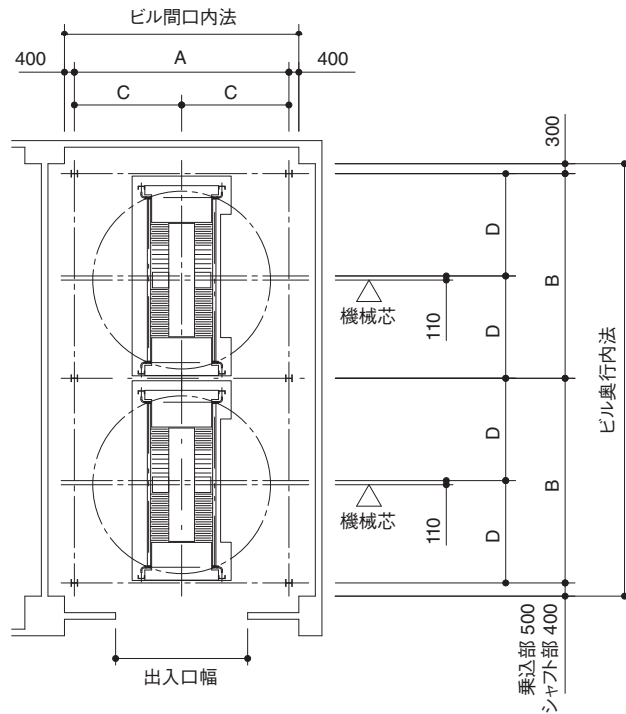
2. ミックス型の高さ寸法については、3-18を参照ください。



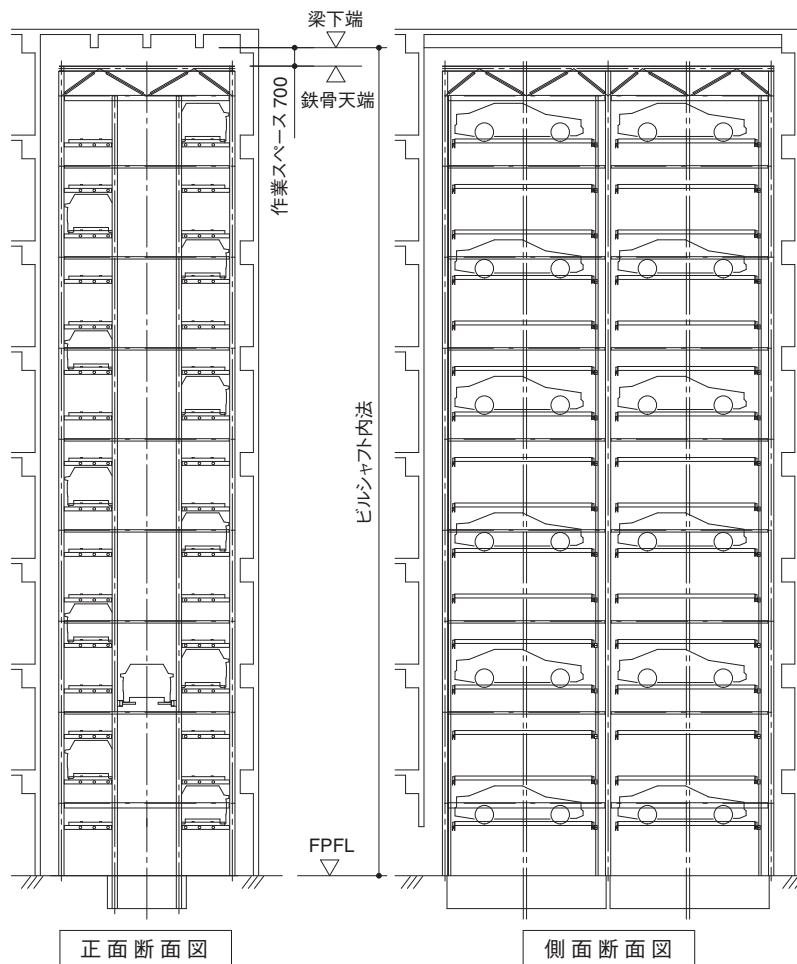
# フォークパーキング ビル内自立式 直接乗込縦列ターンテーブル内蔵型

## ■全体図

《180°タイプ》



平面配置図



正面断面図

側面断面図

3  
フォークパーキング

## ■ 収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型式	180°		
			ND	GD	
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300	
	全幅 (mm以下)		1,900	2,000	
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,840	1,940	
	全高 (mm以下)	普通車		1,550	
		ミドルハイルーフ車		1,800	
		ハイルーフ車		2,050	
	最低地上高 (mm以上)		110		
車重 (kg以下)	普通車	1,900	2,300		
	ミドルハイルーフ車				
	ハイルーフ車	2,300			
間口 (mm)	単基		7,300	7,600	
奥行 (mm)	単基		13,700	14,300	
			(13,600)	(14,200)	
柱芯 (mm)	車椅子対応		<14,300>	<14,900>	
	A		6,500	6,800	
	B		6,400	6,700	
	C		3,250	3,400	
	D		3,200	3,350	
出入口幅 (mm)			4,000		
出入口高さ (mm)	普通車		1,950		
	ハイルーフ車・ミックス型		2,200		

※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。 ( ) 数値は乗込部 ( < > ) 数値は車椅子対応時

※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※3 高さ寸法によっては、上記間口・奥行寸法が変更になる場合がありますので別途ご相談ください。

※4 ビル側の層間変位（ビルの揺れ）等により、平面寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

## ■ 高さ寸法の算出方法

項目		型式	180°	
			ND	GD
高さ寸法	普通車		$2,380 + @1,750 \times (N/4) + 2,020$	
	普通車/ハイルーフ車/ミドルハイルーフ車		$2,800 + @1,750 \times (N/4) + @2,250 \times (H/4) + @2,000 \times (M/4) + 2,020$	

※1 N：普通車の収容台数 M：ミドルハイルーフ車の収容台数 H：ハイルーフ車の収容台数（N,M,Hをそれぞれ4の倍数とする）

※2 車椅子対応時の高さ寸法の算出方法は、別途ご相談ください。

## ■ 高さ寸法（ビルシャフト内法）

収容台数	高さ (mm)		収容台数	高さ (mm)	
	普通車	ハイルーフ車		普通車	ハイルーフ車
28	16,650	20,570	64	32,400	40,920
32	18,400	22,820	68	34,150	43,170
36	20,150	25,070	72	35,900	※ <sup>注1</sup>
40	21,900	27,320	76	37,650	
44	23,650	29,570	80	39,500	
48	25,400	31,820	84	41,250	
52	27,150	34,070	88	43,000	
56	28,900	36,320	92	44,750	
60	30,650	38,570	96		

注) 1. 31m以上については別途ご相談ください。

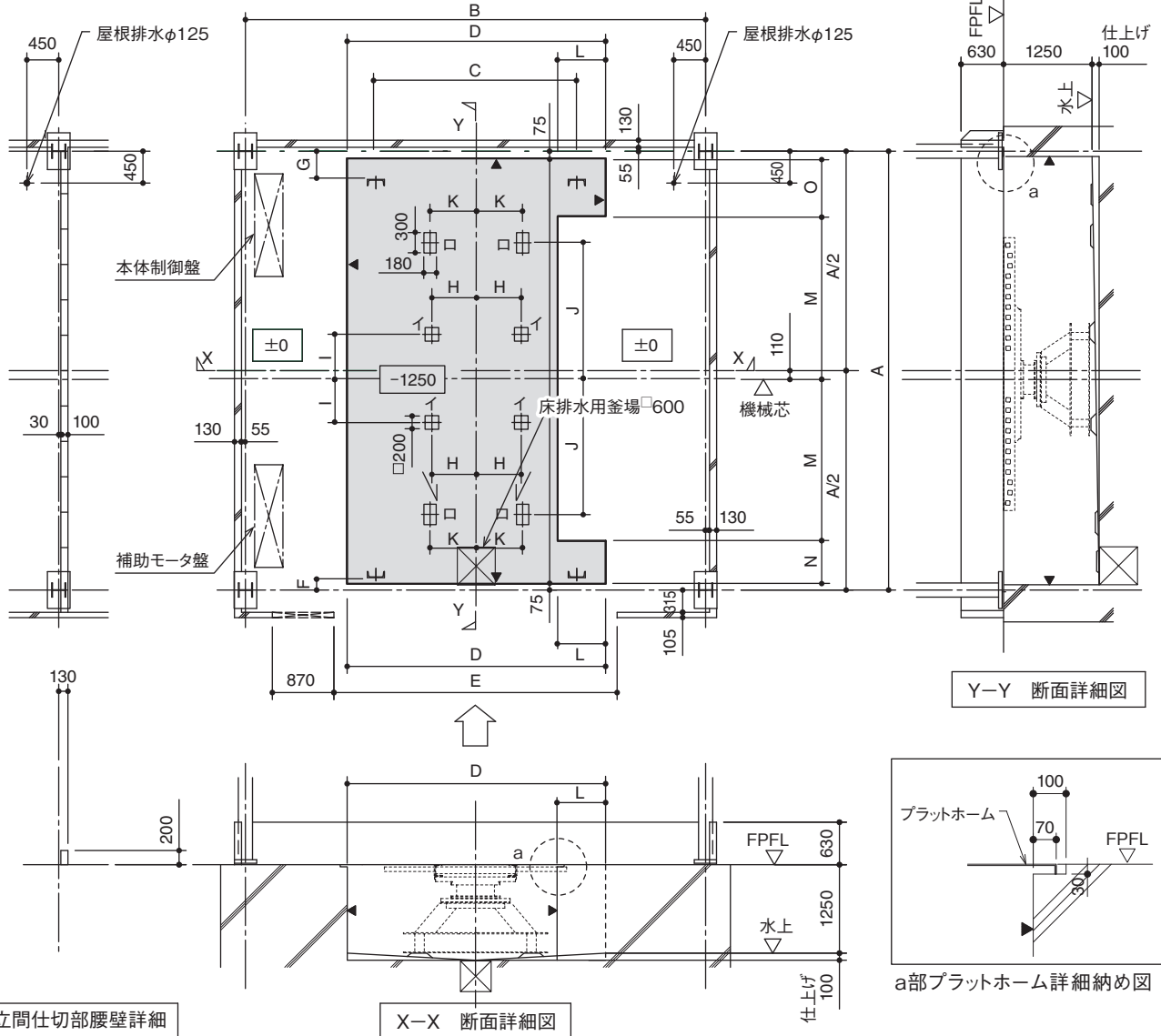
2. ミックス型の高さ寸法については、3-18を参照ください。



# 床仕上げ

## フォークパーキング

### ■ターンテーブル内蔵180度型



3  
フォークパーキング

#### 注意事項

- 1) ピットの仕上寸法精度は±10mmです。また、ピット造成後には、諸寸法について、ご提示をお願い致します。
- 2) ピット排水について、釜場□600で計画しています。必要に応じて、水中ポンプによる排水を行ってください。(水中ポンプ設置は工事外です)
- 3) 図中の中心線は、搬器の中心を示します。
- 4) 本図は柱サイズが H200 の時を示します。

#### 【型式別寸法】

記号 型式	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
ND	6,400	6,500	2,850	3,700	4,120	165	385	650	650	1,995	680
GD	6,700	6,800	2,850	3,700	4,120	165	385	650	650	1,995	680

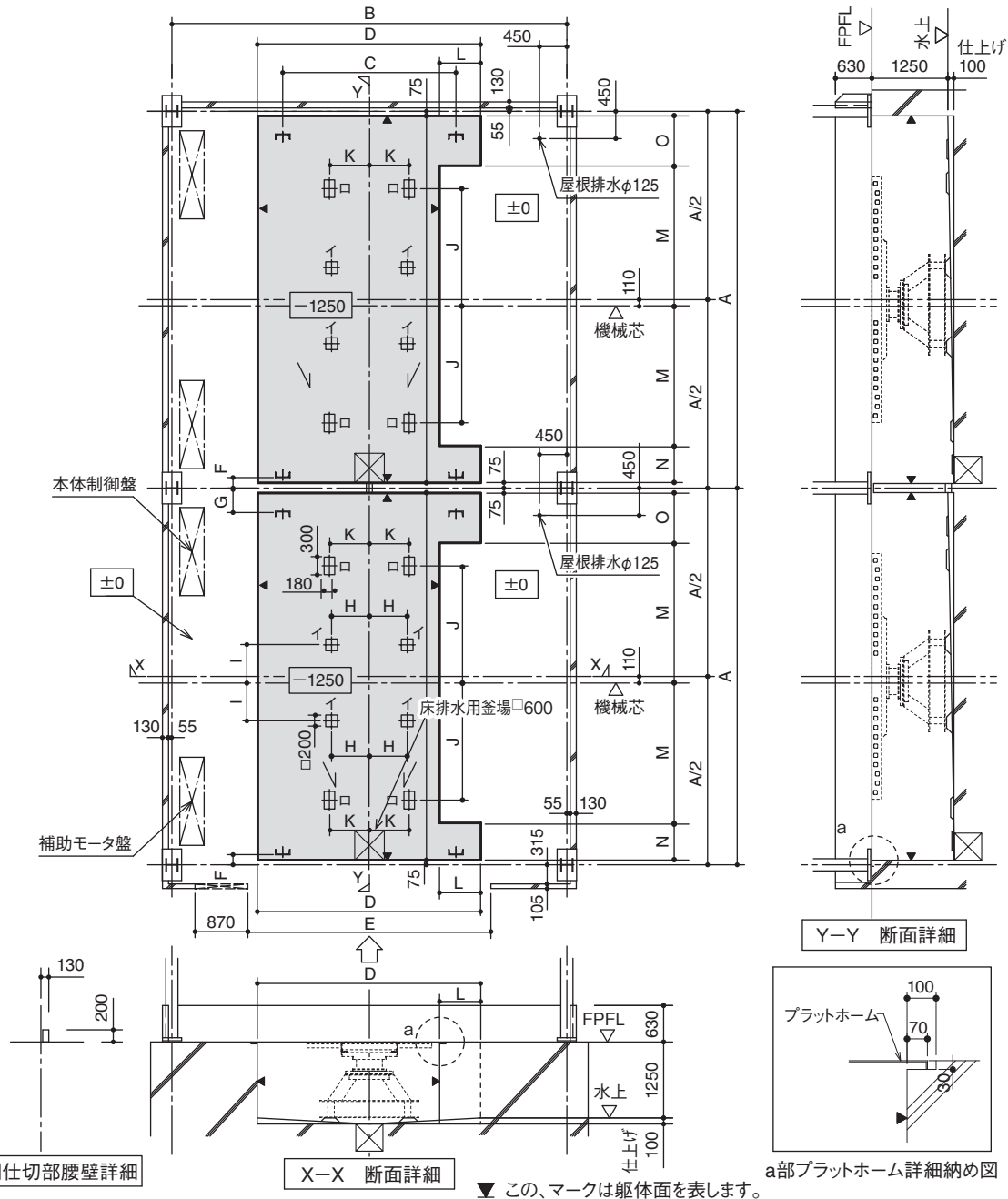
記号 型式	L	M	N	O
ND	655	2,385	630	850
GD	605	2,535	630	850

記号 型式	イ	ロ
ND	12.8kN	10.8kN
GD	12.8kN	10.8kN

※全高が31mを越える場合は、ご相談ください。 ※車椅子対応の場合は、寸法が変わりますので、ご相談ください。

# フォークパーキング

■直接乗込縦列ターンテーブル内蔵180度型



**注意事項**

- 1) ピットの仕上寸法精度は±10mmです。また、ピット造成後には、諸寸法について、ご提示をお願い致します。
- 2) ピット排水について、釜場□600で計画しています。必要に応じて、水中ポンプによる排水を行ってください。(水中ポンプ設置は工事外です)
- 3) 図中の中心線は、搬器の中心を示します。
- 4) 本図は柱サイズが H200 の時を示します。

**【型式別寸法】**

型式	記号	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
ND		6,400	6,500	2,850	3,700	4,120	165	385	650	650	1,995	680
GD		6,700	6,800	2,850	3,700	4,120	165	385	650	650	1,995	680

(mm)

型式	記号	L	M	N	O
ND		655	2,385	630	850
GD		605	2,535	630	850

(mm)

型式	記号	イ	ロ
ND		12.8kN	10.8kN
GD		12.8kN	10.8kN

(単位：kN)

※全高が31mを越える場合は、別途ご相談ください。

※車椅子対応の場合は、寸法が変わりますので、ご相談ください。

# 電源容量・電線サイズ一覧

## フォークパーキング

### ■電源容量

〈標準型〉

電動機		電圧	電源容量				
			1基	2基	3基	4基	5基
動力用	18.5kW	AC 200/220V 50/60Hz	35 ※	63	89	112	131
連立の低減率			1.0	0.9	0.85	0.8	0.75
制御用・照明用		AC 100V 50/60Hz	5	10	15	20	25
消火設備	常用	AC 100V 50/60Hz	0.5KVA (専用回路)				
	非常用	AC 100V	0.5KVA (自家発電)				
		DC 24V	10AH (蓄電池)				

〈直接乗込縦列型〉

電動機		電圧	電源容量				
			1基	2基	3基	4基	5基
動力用	18.5kW/18.5kW	AC 200/220V 50/60Hz	63	113	161	202	236
連立の低減率			1.0	0.9	0.85	0.8	0.75
制御用・照明用		AC 100V 50/60Hz	10	20	30	40	50
消火設備	常用	AC 100V 50/60Hz	0.5KVA (専用回路)				
	非常用	AC 100V	0.5KVA (自家発電)				
		DC 24V	10AH (蓄電池)				

注1) 消火装置非常電源は、自家発電または蓄電池のどちらか一方を必要とします。

2) 照明用電源は、IHI 管理ボックスが付いた場合、1ヶ所当たり1.5KVA 加算します。

3) 2基以上を同一敷地に設置する場合の電源容量は、上記により決定します。(同一出力の連立または並立)

※印は、低圧電力にて受電を行います。その他は業務用電力にて受電を行います。

[参考] 電動機電流値 200V換算

電動機	電源	定格電流	起動電流	ブレーカー (ELB) 容量
18.5kW	AC 200V 50/60Hz	92A	184A	100AF / 100AT

・電源容量はつぎの根拠により算出しています。

[電源容量 (KVA) の算式]

$$\text{電源容量} = \sqrt{3} \times V \times I / 1,000$$

V = 電圧

I = 連続運転電流

連立または並立式の場合は (基数) × (低減率) を入れて計算します。

## フォークパーキング

### ■電線サイズ一覧

引込線太さ CV (mm <sup>2</sup> )									
基数	モーター容量	200Vクラス				400Vクラス			
		40mまで	60mまで	80mまで	アース線	40mまで	60mまで	80mまで	アース線
1	18.5kW×1	38	38	38	22	14	14	14	22

注1) 表は、電気室またはキュービクルのトランスからパーキング本体制御盤までの距離別、電圧別の引込線太さ（最低）です。

- 2) 連立式の場合、トランスからパーキング本体制御盤までを1回線とした時の引込線太さですが、各号機のパーキング本体制御盤毎に分割して施工するようおすすめします。
- 3) 受電部の端子台サイズは、100sqまでとなります。
- 4) アース線は、D種接地（ELB用）へ接続をお願いします。

### ■引込線の太さ

パーキング運転時の電流を流せる電線太さ 200V CV (mm<sup>2</sup>)

電動機 (kW) 基数	1 基
18.5	38

# 4

## タワーパーキング

収容可能車最大寸法表 .....	4-2
自立式	
下部乗入方式 .....	4-4
下部乗入方式 連立式 .....	4-6
ターンテーブル内蔵型 .....	4-8
ターンテーブル内蔵型 連立式 .....	4-10
ミックス型 .....	4-12
ターンテーブル内蔵ミックス型 .....	4-14
ビル内自立式	
下部乗入方式 .....	4-16
ターンテーブル内蔵型 .....	4-18
ミックス型 .....	4-20
ターンテーブル内蔵ミックス型 .....	4-22
床仕上げ .....	4-24
基礎参考図 .....	4-26
電源容量・電線サイズ一覧 .....	4-28



# 収容可能車最大寸法表

## タワーパーキング

※( )内はハイルーフ(HR)車を示します。

収容型式	寸法 全幅	全長／全高／車重
<b>N</b>	<p>全幅 1,850mm以下</p> <p>タイヤ外幅 1,800mm以下</p> <p>パレット内法 1,860mm以下</p> <p>最低地上高 110mm以上</p>	<p>全長 5,000mm以下</p> <p>車重 1,900kg以下 (2,500kg)</p> <p>全高 1,550mm以下 (1,985mm)</p>
<b>G</b>	<p>全幅 2,050mm以下</p> <p>タイヤ外幅 1,860mm以下</p> <p>パレット内法 1,920mm以下</p> <p>最低地上高 110mm以上</p>	<p>全長 5,300mm以下</p> <p>車重 2,300kg以下 (2,500kg)</p> <p>全高 1,550mm以下 (2,050mm)</p>

※ドアミラーは折りたたんで入庫してください。

※後部スペアタイヤ付のハイルーフ・RV車は一部収容不可能な場合があります。

※詳しくは、第6章 収容可能車最大寸法表（注意事項）を参照してください。

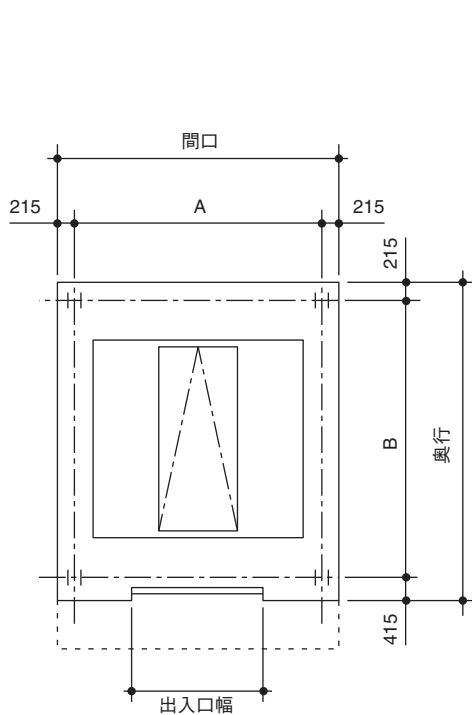
※上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。

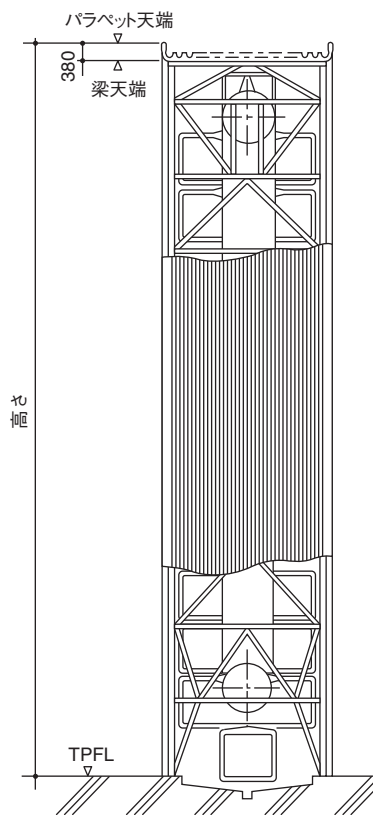


# タワーパーキング 自立式 下部乗入方式

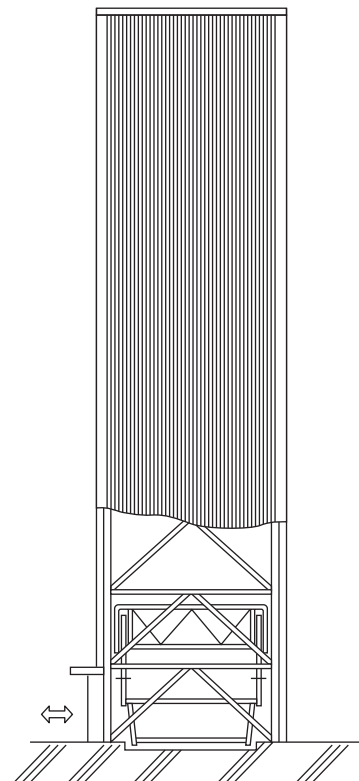
## ■全体図



平面配置図



正面図



右側面図

## ■高さ寸法

(mm)

台数	型式	ND	GD	主モーター (kW)
12		12,990	13,560	22
14		14,640	15,310	
16		16,290	17,060	
18		17,940	18,810	
20		19,590	20,560	30
22		21,240	22,310	
24		22,890	24,060	
26		24,540	25,810	
28		26,190	27,560	37
30		27,840	29,310	
32		29,490	(30,960)	
34		31,140	32,810	
36		32,790	34,560	
38		34,440	36,310	
40		36,090	38,060	

( ) 内の高さ寸法は、パラベットの高さを280mmとしております。

### ■収容可能車・平面・出入口寸法

項 目		型 式	ND	GD
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300
	全幅 (mm以下)		1,850	2,050
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,800	1,860
	全高 (mm以下)		1,550	1,550
	車重 (kg以下)		1,900	2,300
間 口 (mm)			5,780	5,930
奥 行 (mm)			6,880	7,180
柱 芯 (mm)	A		5,350	5,500
	B		6,250	6,550
出 入 口 幅 (mm)			2,680	2,800
出 入 口 高 さ (mm)			1,950	

※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※3 上記間口・奥行寸法は、外装が鋼板の場合となります。鋼板以外の外装をご計画の場合は、間口・奥行寸法が異なりますので別途ご相談ください。

※4 高さが31mを超える場合は、上記間口・奥行寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

### ■標準仕様

項 目		型 式	ND	GD
電 源 容 量	動力用	主モーター	22kW	200/220V 40KVA
			30kW	200/220V 50KVA
			37kW	200/220V 60KVA
		速 度	16m/min	
		照明/制御用	100V 5KVA	
	消火設備用	100V 0.5KVA		
操作認証方式	標 準		暗証式/ICカード式	

### ■高さ寸法の算出方法

項 目	型 式	ND	GD
高 さ 寸 法		$3,022.5 + \{(N-10) / 2 \times 412.5\} + 1,650 + 480$	$3,067.5 + \{(N-10) / 2 \times 437.5\} + 1,700 + \boxed{480}$

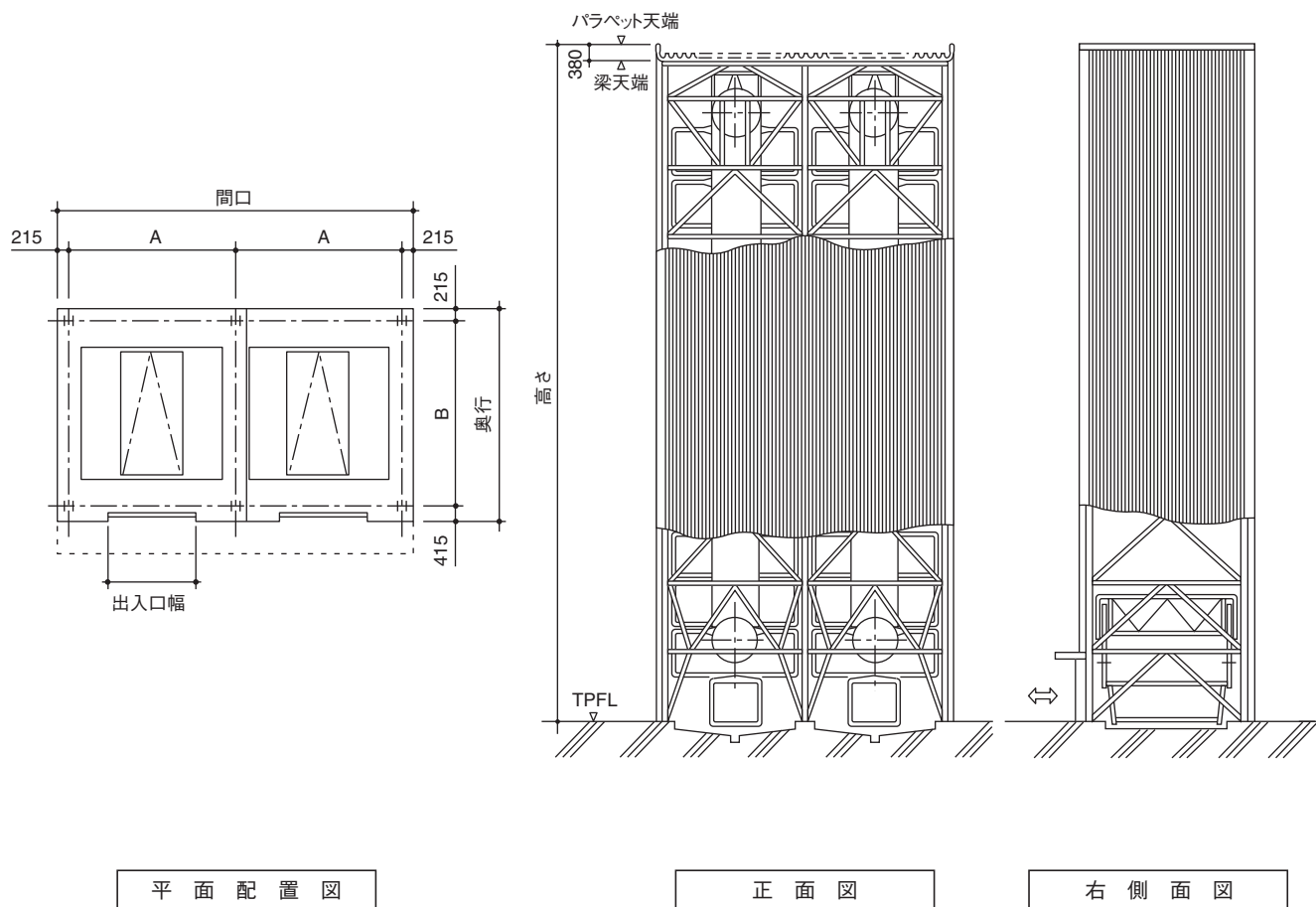
※1 □寸法は32台の場合、380となります。

※2  $N = 4 \times X$  X：普通車台数

# タワーパーキング 自立式

## 下部乗入方式 連立式

### ■全体図



### ■高さ寸法

(mm)

台数	型式	ND	GD	主モーター (kW)
12		12,990	13,560	22
14		14,640	15,310	
16		16,290	17,060	
18		17,940	18,810	
20		19,590	20,560	30
22		21,240	22,310	
24		22,890	24,060	
26		24,540	25,810	
28		26,190	27,560	37
30		27,840	29,310	
32		29,490	(30,960)	
34		31,140	32,810	
36		32,790	34,560	
38		34,440	36,310	
40		36,090	38,060	

( ) 内の高さ寸法は、パラベット高さを280mmとしております。

### ■収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型 式	ND	GD
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300
	全幅 (mm以下)		1,850	2,050
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,800	1,860
	全高 (mm以下)		1,550	1,550
	車重 (kg以下)		1,900	2,300
間 口 (mm)		11,130	11,430	
奥 行 (mm)		6,880	7,180	
柱 芯 (mm)	A		5,350	5,500
	B		6,250	6,550
出入口幅 (mm)		2,680		2,800
出入口高さ (mm)			1,950	

※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※3 上記間口・奥行寸法は、外装が鋼板の場合となります。鋼板以外の外装をご計画の場合は、間口・奥行寸法が異なりますので別途ご相談ください。

※4 高さが31mを超える場合は、上記間口・奥行寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

### ■標準仕様

項目			型 式	ND	GD
電 源 容 量	動力用	主モーター	22kW	200/220V 75KVA	
			30kW	200/220V 75KVA	
			37kW	200/220V 100KVA	
		速 度	16m/min		
		照明/制御用	100V 10KVA		
	消火設備用	100V 0.5KVA			
操作認証方式	標 準		暗証式/ICカード式		

### ■高さ寸法の算出方法

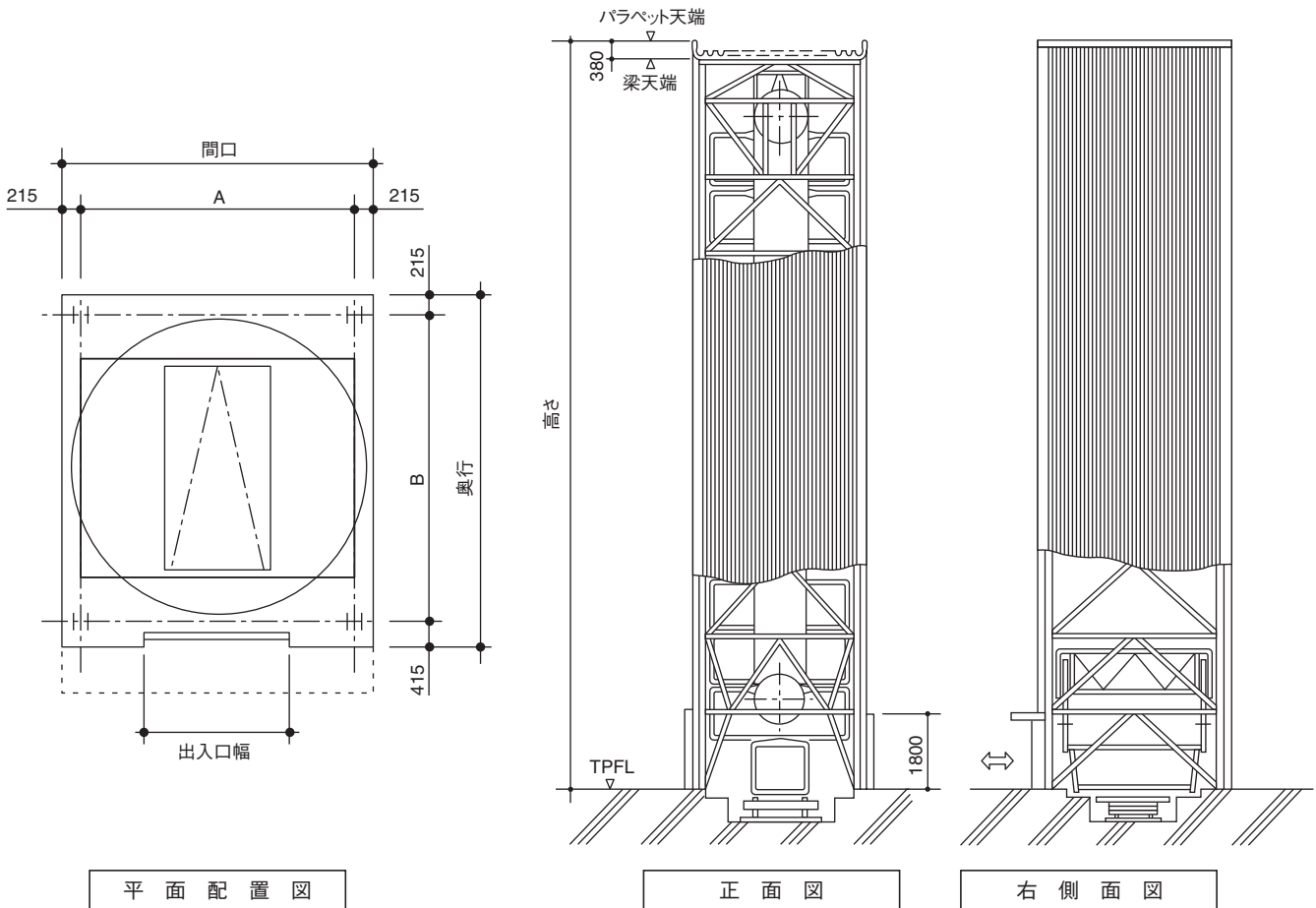
項目	型 式	ND	GD
高 さ 寸 法		$3,022.5 + \{(N-10) / 2 \times 412.5\} + 1,650 + 480$	$3,067.5 + \{(N-10) / 2 \times 437.5\} + 1,700 + \boxed{480}$

※1 □寸法は32台の場合、380となります。

※2  $N = 4 \times X$  X：普通車台数

# タワーパーキング 自立式 ターンテーブル内蔵型

## ■全体図



平面配置図

正面図

右側面図

## ■高さ寸法

(mm)

台数	型式	ND	GD	主モーター (kW)
12		13,565	13,995	22
14		15,315	15,815	
16		17,065	17,635	
18		18,815	19,455	
20		20,565	21,275	30
22		22,315	23,095	
24		24,065	24,915	
26		25,815	26,735	
28		27,565	28,555	37
30		29,315	30,375	
32		(30,965)	32,195	
34		32,815	34,015	
36		34,565	35,835	
38		36,315	37,655	
40		38,065	39,475	

( ) 内の高さ寸法は、パラベット高さを280mmとしております。

### ■収容可能車・平面・出入口寸法

項 目		型 式	ND	GD
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300
	全幅 (mm以下)		1,850	2,050
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,800	1,860
	全高 (mm以下)		1,550	1,550
	車重 (kg以下)		1,900	2,300
間口壁部 (mm)			5,780	5,930
間口腰部 (mm)			6,040	6,390
奥行 (mm)			7,330	7,730
柱 芯 (mm)		A	5,350	5,500
		B	6,700	7,100
出入口幅 (mm)			2,680	2,800
出入口高さ (mm)			1,950	

※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※3 上記間口・奥行寸法は、外装が鋼板の場合となります。鋼板以外の外装をご計画の場合は、間口・奥行寸法が異なりますので別途ご相談ください。

※4 高さが31mを超える場合は、上記間口・奥行寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

### ■標準仕様

項 目			型 式	ND	GD
電 源 容 量	動力用	主モーター	22kW	200/220V 40KVA	
			30kW	200/220V 50KVA	
			37kW	200/220V 60KVA	
		速 度	16m/min		
		照明/制御用		100V 5KVA	
	消火設備用		100V 0.5KVA		
操作認証方式	標 準		暗証式/ICカード式		

### ■高さ寸法の算出方法

項 目	型 式	ND	GD
高 さ 寸 法		$3,052.5 + \{(N-10) / 2 \times 437.5\} + 1,720 + \boxed{480}$	$3,100 + \{(N-10) / 2 \times 455.0\} + 1,770 + 480$

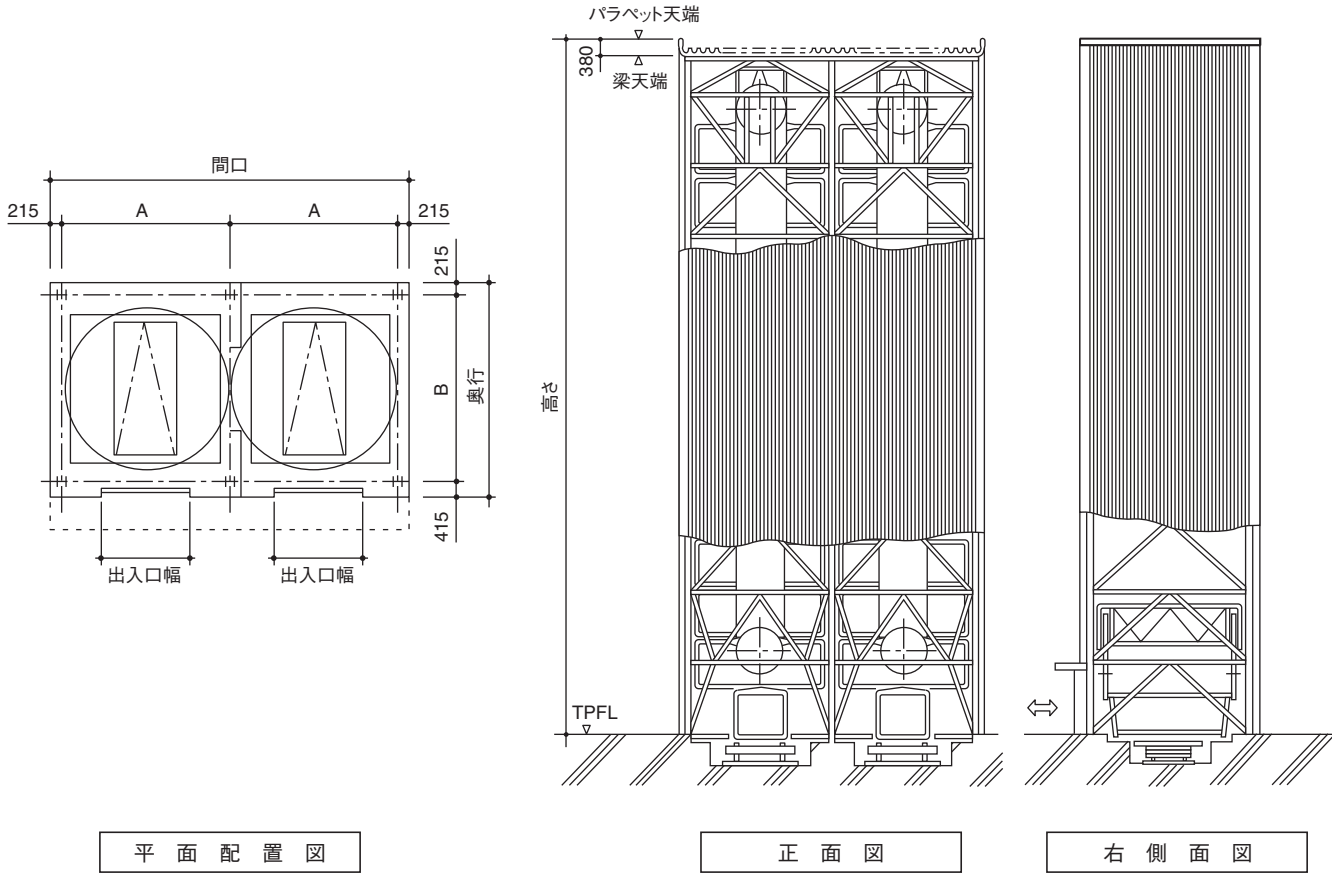
※1 □寸法は32台の場合、380となります。

※2  $N = 4 \times X$  X:普通車台数



# タワーパーキング 自立式 ターンテーブル内蔵型 連立式

## ■全体図



平面配置図

正面図

右側面図

## ■高さ寸法

(mm)

台数	型式	ND	GD	主モーター (kW)
12		13,565	13,995	22
14		15,315	15,815	
16		17,065	17,635	
18		18,815	19,455	
20		20,565	21,275	30
22		22,315	23,095	
24		24,065	24,915	
26		25,815	26,735	
28		27,565	28,555	37
30		29,315	30,375	
32		(30,965)	32,195	
34		32,815	34,015	
36		34,565	35,835	
38		36,315	37,655	
40		38,065	39,475	

( ) 内の高さ寸法は、パラベットの高さを280mmとしております。

## ■収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型 式	ND	GD
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300
	全幅 (mm以下)		1,850	2,050
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,800	1,860
	全高 (mm以下)		1,550	1,550
	車重 (kg以下)		1,900	2,300
間 口 (mm)			11,930	12,630
奥 行 (mm)			7,330	7,730
柱 芯 (mm)		A	5,750	6,100
		B	6,700	7,100
出入口幅 (mm)			2,680	2,800
出入口高さ (mm)			1,950	

※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※3 上記間口・奥行寸法は、外装が鋼板の場合となります。鋼板以外の外装をご計画の場合は、間口・奥行寸法が異なりますので別途ご相談ください。

※4 高さが31mを超える場合は、上記間口・奥行寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

## ■標準仕様

項目			型 式	ND	GD
電 源 容 量	動力用	主モーター	22kW	200/220V 75KVA	
			30kW	200/220V 75KVA	
			37kW	200/220V 100KVA	
		速 度	16m/min		
		照明/制御用	100V 10KVA		
	消火設備用	100V 0.5KVA			
操作認証方式	標 準		暗証式/ICカード式		

## ■高さ寸法の算出方法

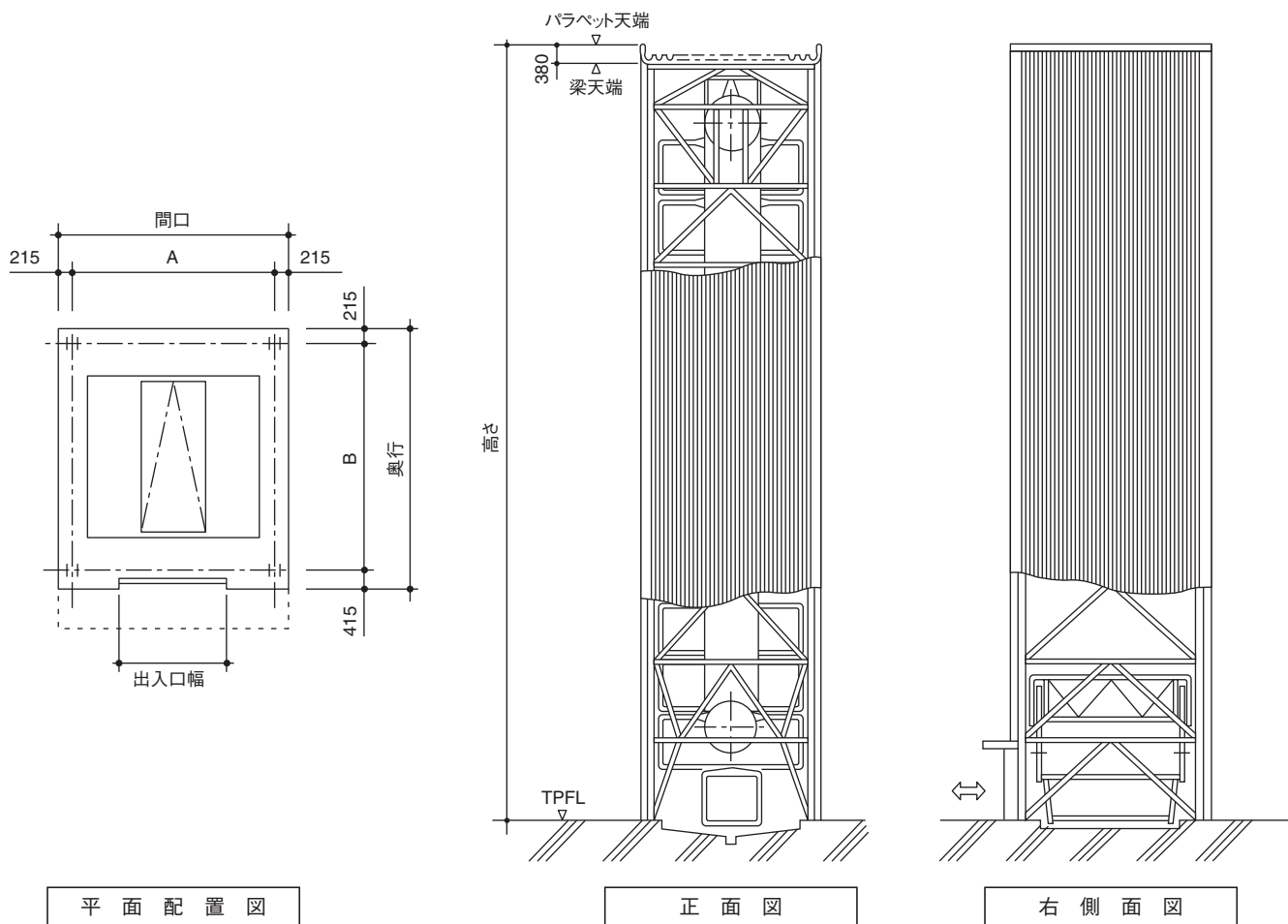
項目	型 式	ND	GD
高さ寸法		$3,052.5 + \{(N-10) / 2 \times 437.5\} + 1,720 + \boxed{480}$	$3,100 + \{(N-10) / 2 \times 455.0\} + 1,770 + 480$

※1 □寸法は32台の場合、380となります。

※2  $N = 4 \times X$  X:普通車台数

# タワーパーキング 自立式 ミックスタイプ

## ■全体図



平面配置図

正面図

右側面図

## ■高さ寸法

(mm)

台数	型式		NC	GC	主モーター (kW)
	普通+ハイルーフ				
14	10+4		16,674	17,278	22
16	12+4		18,424	19,098	30
18	14+4		20,174	20,918	
20	16+4		21,924	22,738	
22	18+4		23,674	24,558	
24	20+4		25,424	26,378	37
26	22+4		27,174	28,198	
28	24+4		28,924	30,018	
30	26+4		30,674	31,838	
32	28+4		32,424	33,658	
34	30+4		34,174	35,478	
36	32+4		35,924	37,298	

※本表は、ハイルーフ車を1群とした場合の高さ寸法を示します。

■収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型式	NC	GC	
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300	
	全幅 (mm以下)		1,850	2,050	
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,800	1,860	
	全高 (mm以下)	普通車		1,550	1,550
		ハイルーフ車		1,985	2,050
	車重 (kg以下)	普通車		1,900	2,300
ハイルーフ車			2,500		
間口 (mm)			6,030	6,230	
奥行 (mm)			6,980	7,280	
柱芯 (mm)	A		5,600	5,800(5,900)	
	B		6,350	6,650	
出入口幅 (mm)			2,680	2,800	
出入口高さ (mm)			2,200		

- ※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。 ( )内数値は2基連立時
- ※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。
- ※3 上記間口・奥行寸法は、外装が鋼板の場合となります。鋼板以外の外装をご計画の場合は、間口・奥行寸法が異なりますので別途ご相談ください。
- ※4 高さが31mを超える場合は、上記間口・奥行寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

■標準仕様

項目			型式	NC	GC
電源容量	動力用	主モーター	22kW	200/220V 40KVA	
			30kW	200/220V 50KVA	
			37kW	200/220V 60KVA	
		速度	16m/min		
		照明/制御用	100V 5KVA		
	消火設備用	100V 0.5KVA			
操作認証方式	標準		暗証式/ICカード式		

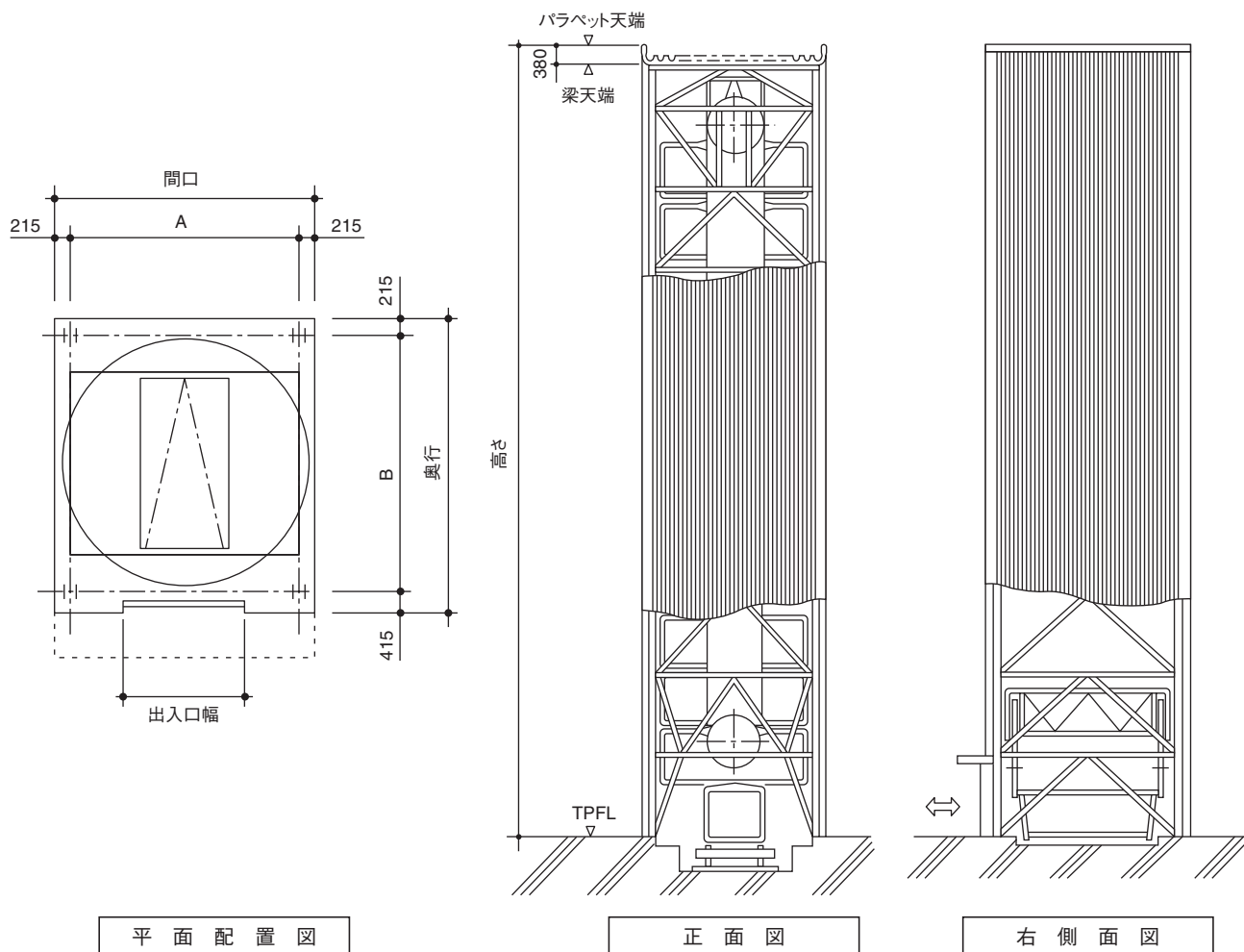
■高さ寸法の算出方法

項目	型式	NC	GC
高さ寸法		$3,615 + \{(N-12) / 2 \times 437.5\} + 1,860 + 480$	$3,730 + \{(N-12) / 2 \times 455.0\} + 1,920 + 480$

※1  $N = (4 \times X) + (5 \times Y) + Z$  X:普通車台数 Y:ハイルーフ車台数 Z:ハイルーフ車群数

# タワーパーキング 自立式 ターンテーブル内蔵ミックス型

## ■全体図



平面配置図

正面図

右側面図

## ■高さ寸法

(mm)

台数	型式		NC	GC	主モーター (kW)
	普通+ハイルーフ				
14	10+4		17,183	17,990	22
16	12+4		19,003	19,910	30
18	14+4		20,823	21,830	
20	16+4		22,643	23,750	
22	18+4		24,463	25,670	
24	20+4		26,283	27,590	37
26	22+4		28,103	29,510	
28	24+4		29,923	31,430	
30	26+4		31,743	33,350	
32	28+4		33,563	35,270	
34	30+4		35,383	37,190	
36	32+4		37,203	39,110	

※本表は、ハイルーフ車を1群とした場合の高さ寸法を示します。

■収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型 式	NC	GC	
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300	
	全幅 (mm以下)		1,850	2,050	
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,800	1,860	
	全高 (mm以下)	普通車		1,550	1,550
		ハイルーフ車		1,985	2,050
	車重 (kg以下)	普通車		1,900	2,300
ハイルーフ車			2,500		
間口壁部 (mm)			6,180	6,330	
間口腰部 (mm)			6,120	6,390	
奥行 (mm)			7,430	7,730	
柱 芯 (mm)	A		5,750(5,800)	5,900(6,100)	
	B		6,800	7,100	
出入口幅 (mm)			2,680	2,800	
出入口高さ (mm)			2,200		

- ※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。 ( )内数値は2基連立時
- ※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。
- ※3 上記間口・奥行寸法は、外装が鋼板の場合となります。鋼板以外の外装をご計画の場合は、間口・奥行寸法が異なりますので別途ご相談ください。
- ※4 高さが31mを超える場合は、上記間口・奥行寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

■標準仕様

項目		型 式	NC	GC
電源容量	動力用	主モーター	22kW	200/220V 40KVA
			30kW	200/220V 50KVA
			37kW	200/220V 60KVA
		速 度	16m/min	
		照明/制御用	100V 5KVA	
	消火設備用	100V 0.5KVA		
操作認証方式	標 準	暗証式/ICカード式		

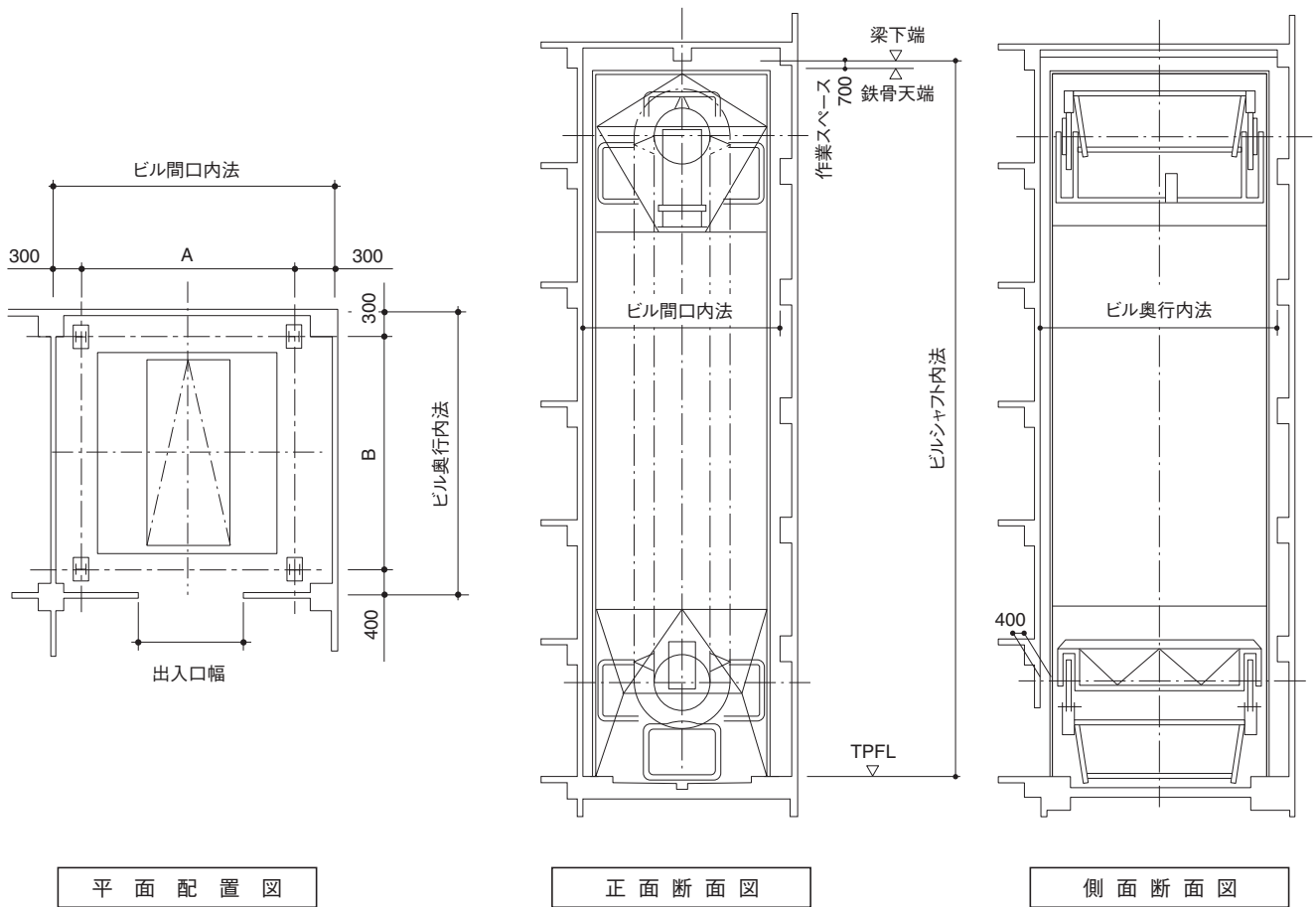
■高さ寸法の算出方法

項目	型 式	NC	GC
高さ寸法		$3,690 + \{(N-12) / 2 \times 455\} + 1,865 + 480$	$3,825 + \{(N-12) / 2 \times 480\} + 1,925 + 480$

※1  $N = (4 \times X) + (5 \times Y) + Z$  X：普通車台数 Y：ハイルーフ車台数 Z：ハイルーフ車群数

# タワーパーキング ビル内自立式 下部乗入方式

## ■全体図



平面配置図

正面断面図

側面断面図

## ■高さ寸法

(mm)

台数	型式	ND	GD	主モーター (kW)
12		13,310	13,880	22
14		14,960	15,630	
16		16,610	17,380	
18		18,260	19,130	
20		19,910	20,880	30
22		21,560	22,630	
24		23,210	24,380	
26		24,860	26,130	
28		26,510	27,880	37
30		28,160	29,630	
32		29,810	31,380	
34		31,460	33,130	
36		33,110	34,880	37
38		34,760	36,630	
40		36,410	38,380	

### ■収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型 式	ND	GD
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300
	全幅 (mm以下)		1,850	2,050
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,800	1,860
	全高 (mm以下)		1,550	1,550
	車重 (kg以下)		1,900	2,300
ビル間口内法 (mm)			5,950	6,100
ビル奥行内法 (mm)			6,950	7,250
柱 芯 (mm)		A	5,350	5,500
		B	6,250	6,550
出入口幅 (mm)			2,680	2,800
出入口高さ (mm)			1,950	

※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※3 ビル側の層間変位（ビルの揺れ）等により、平面寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

### ■標準仕様

項目			型 式	ND	GD
電 源 容 量	動力用	主モーター	22kW	200/220V 40KVA	
			30kW	200/220V 50KVA	
			37kW	200/220V 60KVA	
		速 度	16m/min		
		照明/制御用	100V 5KVA		
	消火設備用	100V 0.5KVA			
操作認証方式	標 準		暗証式/ICカード式		

### ■高さ寸法の算出方法

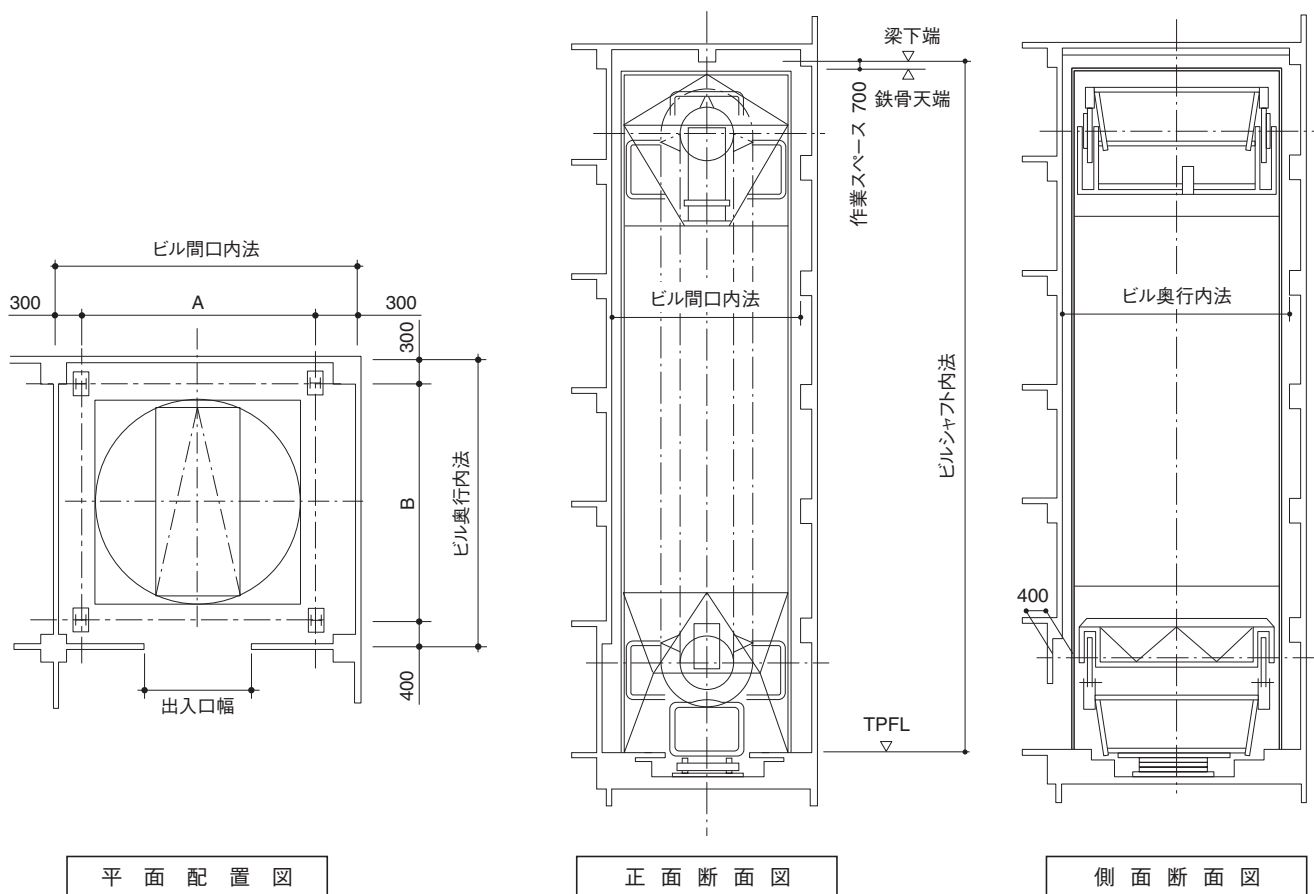
項目	型 式	ND	GD
ビルシャフト内法		$3,022.5 + \{(N-10) / 2 \times 412.5\} + 1,650 + 800$	$3,067.5 + \{(N-10) / 2 \times 437.5\} + 1,700 + 800$

※1  $N = 4 \times X$  X：普通車台数



# タワーパーキング ビル内自立式 ターンテーブル内蔵型

## ■全体図



平面配置図

正面断面図

側面断面図

4

タワーパーキング

## ■高さ寸法

(mm)

台数	型式	ND	GD	主モーター (kW)
12		13,885	14,315	22
14		15,635	16,135	
16		17,385	17,955	
18		19,135	19,775	
20		20,885	21,695	30
22		22,635	23,415	
24		24,385	25,235	
26		26,135	27,055	
28		27,885	28,875	37
30		29,635	30,695	
32		31,385	32,515	
34		33,135	34,335	
36		34,885	36,155	37
38		36,635	37,975	
40		38,385	39,795	

### ■収容可能車・平面・出入口寸法

項 目		型 式	ND	GD
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300
	全幅 (mm以下)		1,850	2,050
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,800	1,860
	全高 (mm以下)		1,550	1,550
	車重 (kg以下)		1,900	2,300
ビル間口内法 (mm)			5,950	6,100
ビル奥行内法 (mm)			7,400	7,800
柱 芯 (mm)		A	5,350	5,500
		B	6,700	7,100
出入口幅 (mm)			2,680	2,800
出入口高さ (mm)			1,950	

※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※3 ビル側の層間変位（ビルの揺れ）等により、平面寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

### ■標準仕様

項 目			型 式	ND	GD
電 源 容 量	動力用	主モーター	22kW	200/220V 40KVA	
			30kW	200/220V 50KVA	
			37kW	200/220V 60KVA	
		速 度	16m/min		
		照明/制御用	100V 5KVA		
	消火設備用	100V 0.5KVA			
操作認証方式	標 準		暗証式/ICカード式		

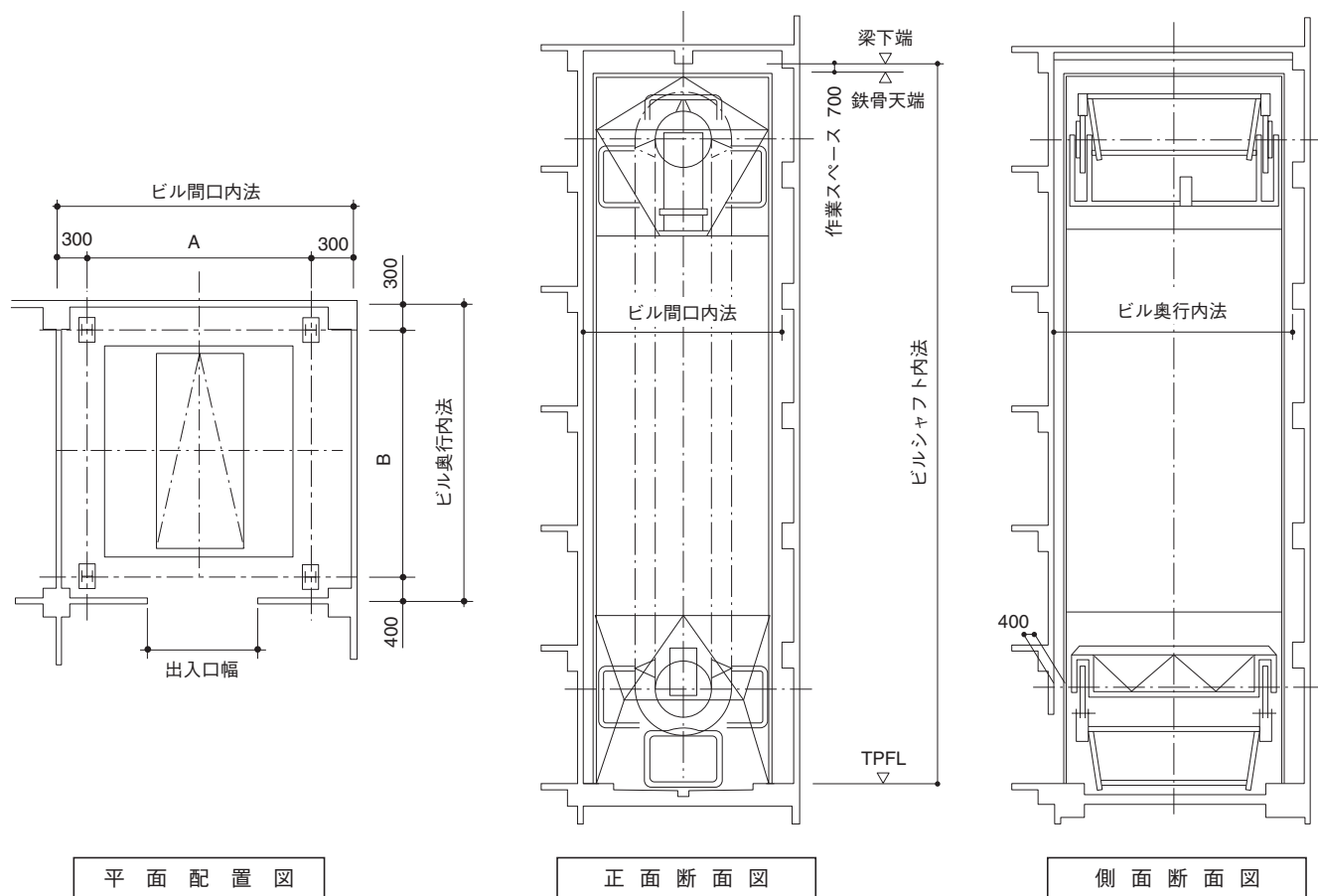
### ■高さ寸法の算出方法

項 目	型 式	ND	GD
ビルシャフト内法		$3,052.5 + \{(N-10) / 2 \times 437.5\} + 1,720 + 800$	$3,100 + \{(N-10) / 2 \times 455\} + 1,770 + 800$

※1  $N = 4 \times X$  X：普通車台数

# タワーパーキング ビル内自立式 ミックス型

## ■全体図



平面配置図

正面断面図

側面断面図

## ■高さ寸法

(mm)

台数	型式	NC	GC	主モーター (kW)
	普通+ハイルーフ			
14	10+4	16,994	17,598	22
16	12+4	18,744	19,418	
18	14+4	20,494	21,238	
20	16+4	22,244	23,058	
22	18+4	23,994	24,878	30
24	20+4	25,744	26,698	
26	22+4	27,494	28,518	
28	24+4	29,244	30,338	
30	26+4	30,994	32,158	
32	28+4	32,744	33,978	
34	30+4	34,494	35,798	
36	32+4	36,244	37,618	

※本表は、ハイルーフ車を1群とした場合の高さ寸法を示します。

## ■収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型 式	NC	GC	
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300	
	全幅 (mm以下)		1,850	2,050	
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,800	1,860	
	全高 (mm以下)	普通車		1,550	1,550
		ハイルーフ車		1,985	2,050
	車重 (kg以下)	普通車		1,900	2,300
ハイルーフ車			2,500		
ビル間口内法 (mm)			6,200	6,400	
ビル奥行内法 (mm)			7,050	7,350	
柱 芯 (mm)	A		5,600	5,800	
	B		6,350	6,650	
出入口幅 (mm)			2,680	2,800	
出入口高さ (mm)			2,200		

※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※3 ビル側の層間変位（ビルの揺れ）等により、平面寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

## ■標準仕様

項目		型 式	NC	GC
電 源 容 量	動力用	主モーター	22kW	200/220V 40KVA
			30kW	200/220V 50KVA
			37kW	200/220V 60KVA
		速 度	16m/min	
		照明/制御用	100V 5KVA	
	消火設備用	100V 0.5KVA		
操作認証方式	標 準		暗証式/ICカード式	

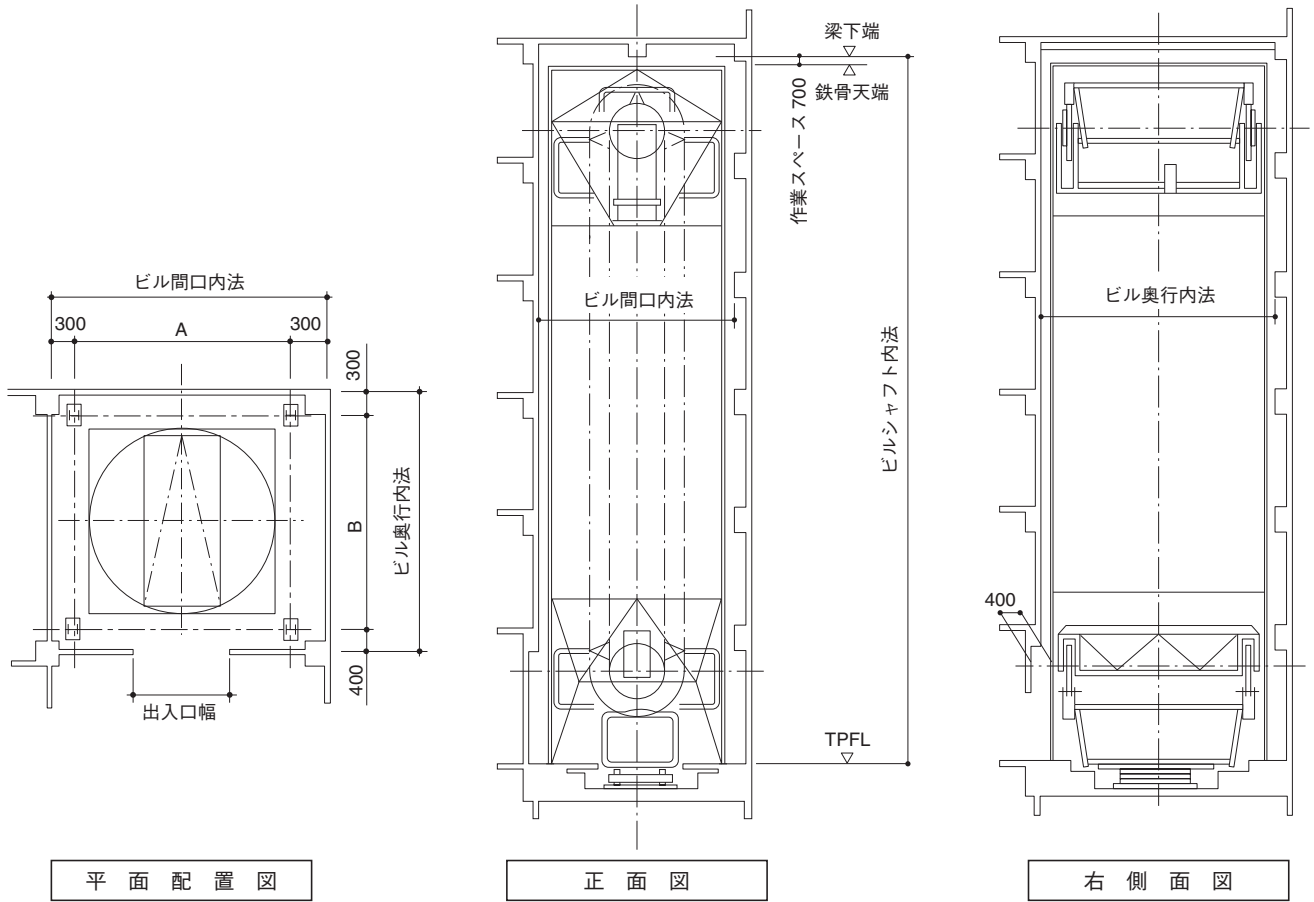
## ■高さ寸法の算出方法

項目	型 式	NC	GC
ビルシャフト内法		$3,615 + \{(N-12) / 2 \times 437.5\} + 1,860 + 800$	$3,730 + \{(N-12) / 2 \times 455.0\} + 1,920 + 800$

※1  $N = (4 \times X) + (5 \times Y) + Z$  X：普通車台数 Y：ハイルーフ車台数 Z：ハイルーフ車群数

# タワーパーキング ビル内自立式 ターンテーブル内蔵ミックス型

## ■全体図



平面配置図

正面図

右側面図

## ■高さ寸法

(mm)

台数	型式		NC	GC	主モーター (kW)
	普通+ハイルーフ				
14	10+4		17,503	18,310	22
16	12+4		19,323	20,230	30
18	14+4		21,143	22,150	
20	16+4		22,963	24,070	
22	18+4		24,783	25,990	
24	20+4		26,603	27,910	37
26	22+4		28,423	29,830	
28	24+4		30,243	31,750	
30	26+4		32,063	33,670	
32	28+4		33,883	35,590	
34	30+4		35,703	37,510	
36	32+4		37,523	39,430	

※本表は、ハイルーフ車を1群とした場合の高さ寸法を示します。

### ■収容可能車・平面・出入口寸法

項目		型式	NC	GC	
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300	
	全幅 (mm以下)		1,850	2,050	
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,800	1,860	
	全高 (mm以下)	普通車		1,550	1,550
		ハイルーフ車		1,985	2,050
	車重 (kg以下)	普通車		1,900	2,300
ハイルーフ車			2,500		
ビル間口内法 (mm)			6,350	6,500	
ビル奥行内法 (mm)			7,500	7,800	
柱 芯 (mm)	A		5,750	5,900	
	B		6,800	7,100	
出入口幅 (mm)			2,680	2,800	
出入口高さ (mm)			2,200		

※1 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※2 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※3 ビル側の層間変位（ビルの揺れ）等により、平面寸法が大きくなる場合がありますので別途ご相談ください。

### ■標準仕様

項目		型式	NC	GC
電源容量	動力用	主モーター	22kW	200/220V 40KVA
			30kW	200/220V 50KVA
			37kW	200/220V 60KVA
		速度	16m/min	
		照明/制御用	100V 5KVA	
	消火設備用	100V 0.5KVA		
操作認証方式	標準		暗証式/ICカード式	

### ■高さ寸法の算出方法

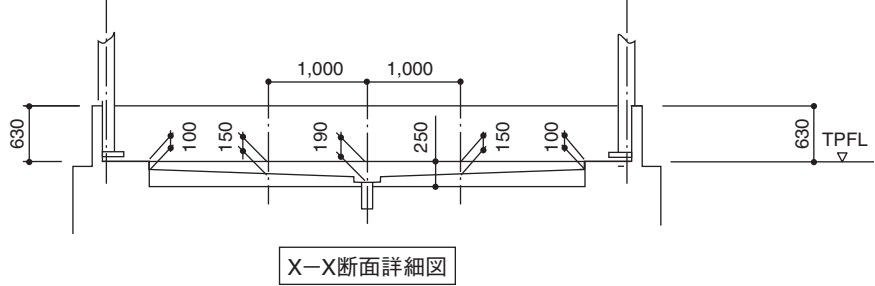
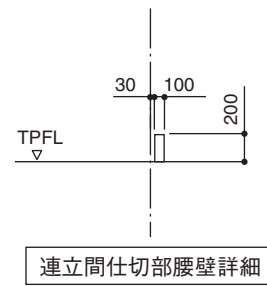
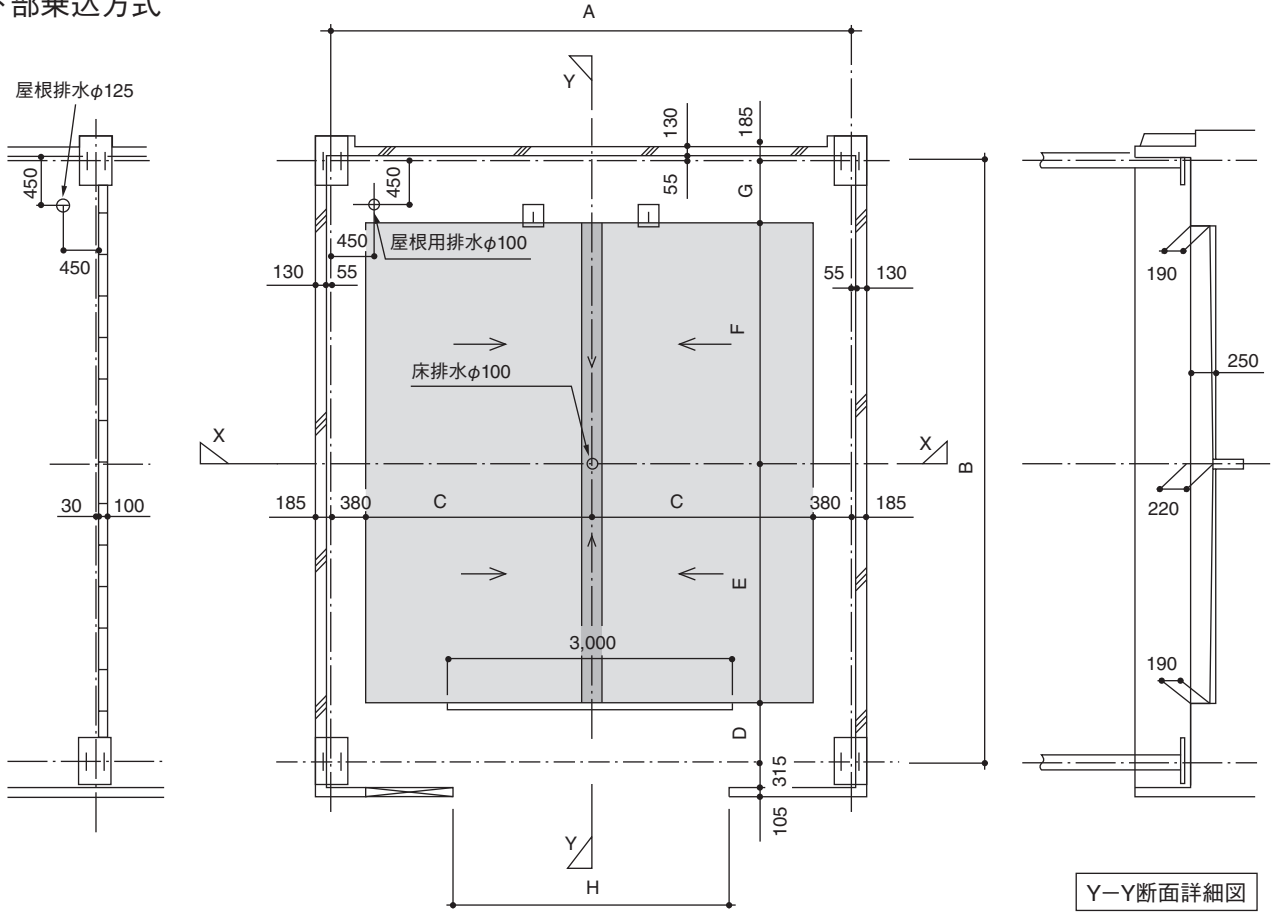
項目	型式	NC	GC
ビルシャフト内法		$3,690 + \{(N-12) / 2 \times 455\} + 1,865 + 800$	$3,825 + \{(N-12) / 2 \times 480\} + 1,925 + 800$

※1  $N = (4 \times X) + (5 \times Y) + Z$  X：普通車台数 Y：ハイルーフ車台数 Z：ハイルーフ車群数

# 床仕上げ

## タワーパーキング

### ■下部乗込方式



#### 注意事項

- 1) ビットの仕上寸法精度は±10mmです。また、ビット造成後には、諸寸法について、ご提示をお願い致します。
- 2) ビット排水について、釜場□600で計画しています。必要に応じて、水中ポンプによる排水を行ってください。(水中ポンプ設置は工事外です)
- 3) 図中の中心線は、搬器の中心を示します。
- 4) 本図は柱サイズが H200 の時を示します。

#### 【型式別寸法】

(mm)

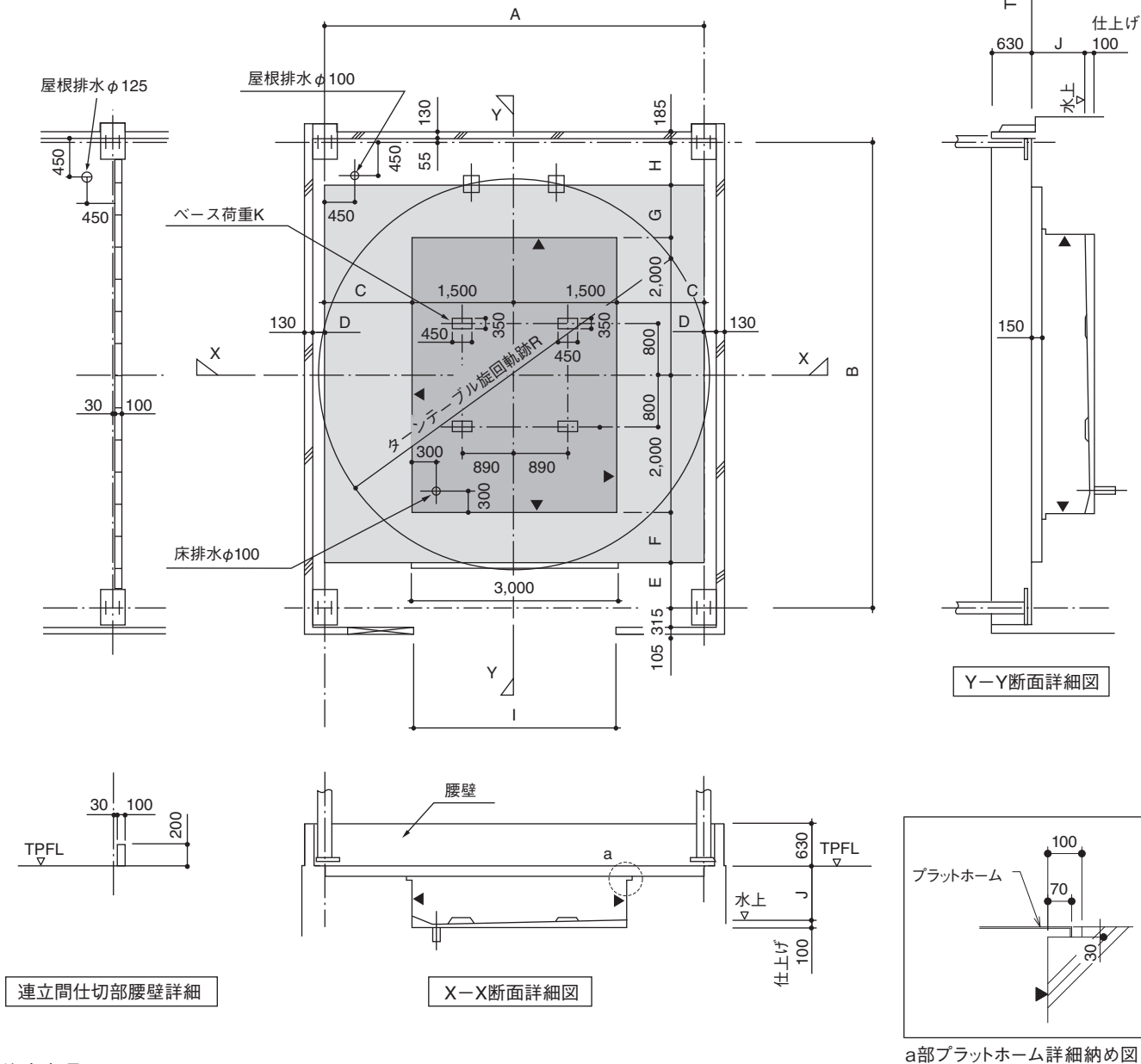
記号 型式	A	B	C	D	E	F	G	H
NC	5,600	6,350	2,420	665	2,510	2,525	650	2,800
GC	5,800	6,650	2,520	665	2,660	2,675	650	2,920
ND	5,350	6,250	2,295	640	2,485	2,500	625	2,800
GD	5,500	6,550	2,370	665	2,610	2,625	650	2,920

(※) 全高が31mを超える場合は、ご相談ください。

4  
タワーパーキング

# タワーパーキング

## ■ターンテーブル内蔵型



4  
タワーパーキング

### 注意事項

- 1) ピットの仕上寸法精度は±10mmです。また、ピット造成後には、諸寸法について、ご提示をお願い致します。
- 2) ピット排水について、釜場□600で計画しています。必要に応じて、水中ポンプによる排水を行ってください。(水中ポンプ設置は工事外です)
- 3) 図中の中心線は、搬器の中心を示します。
- 4) 本図は柱サイズがH200の時を示します。

### 【型式別寸法】

(mm)

記号 型式	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	R
NC	5,750	6,800	1,375	55	665	735	750	650	2,800	850	12.2kN/1ヶ所	5,700
GC	5,900	7,100	1,450	115	665	885	900	650	2,920	850	12.2kN/1ヶ所	6,000
ND	5,350	6,700	1,175	215	610	740	755	595	2,800	850	10.4kN/1ヶ所	5,650
GD	5,500	7,100	1,250	315	635	915	930	620	2,920	850	11.3kN/1ヶ所	6,000

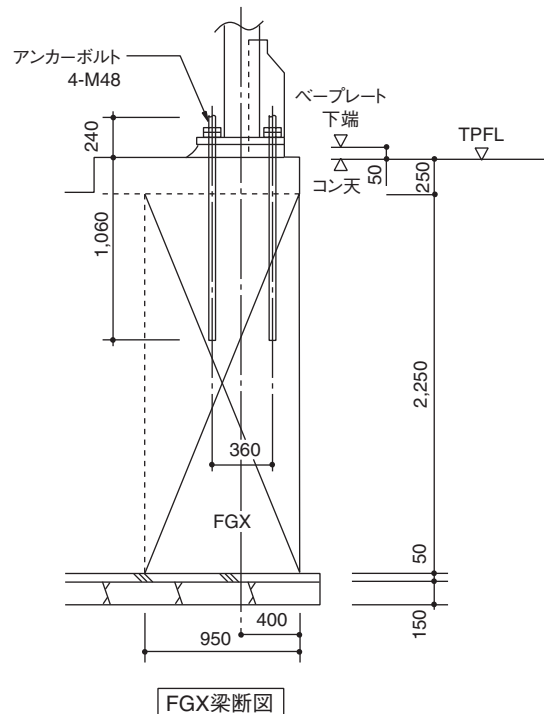
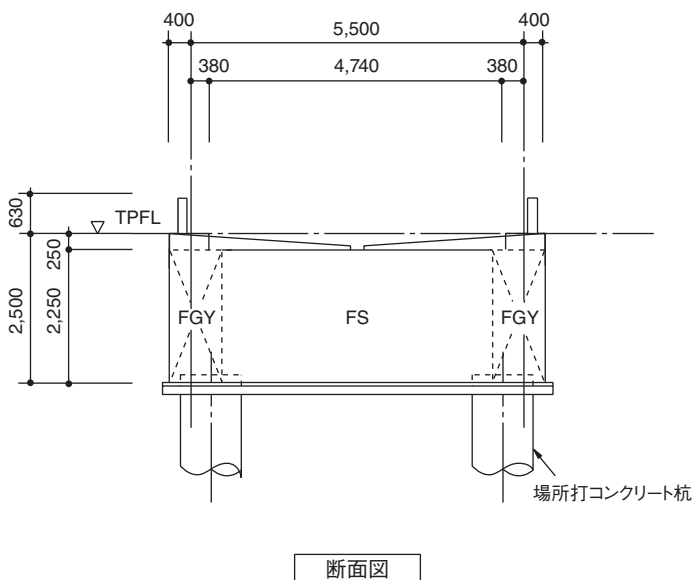
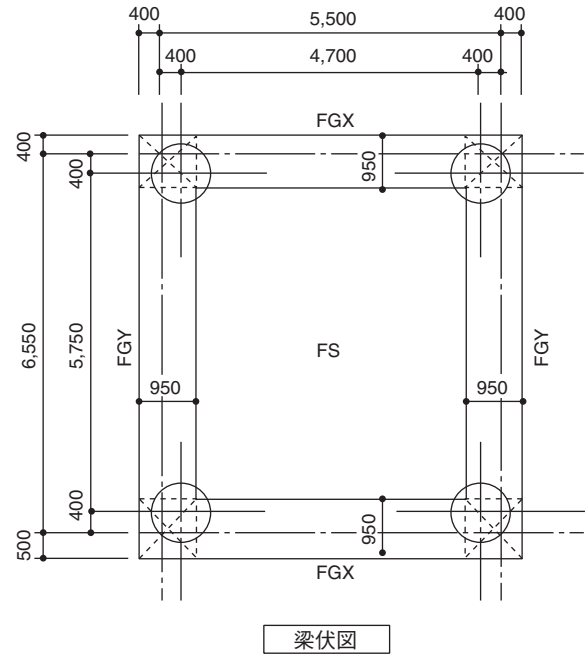
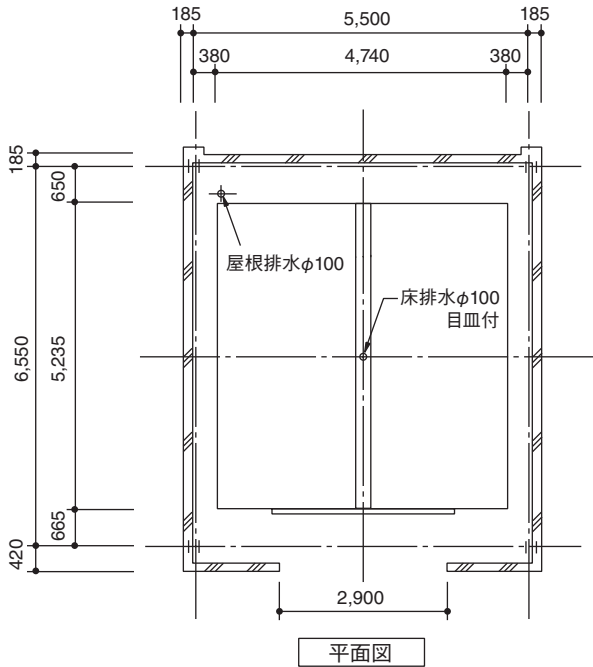
(※) 全高が31mを超える場合は、ご相談ください。



# 基礎参考図

## タワーパーキング

■下部乗込方式(標準型)(収容型式G型)

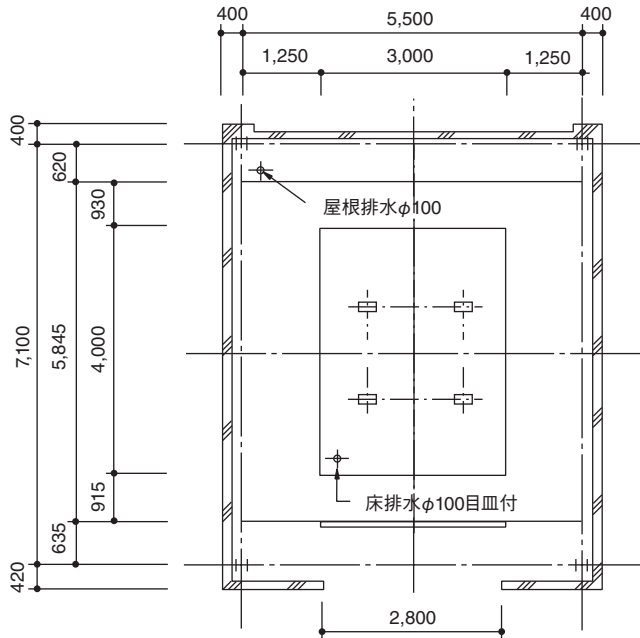


### 部材リスト

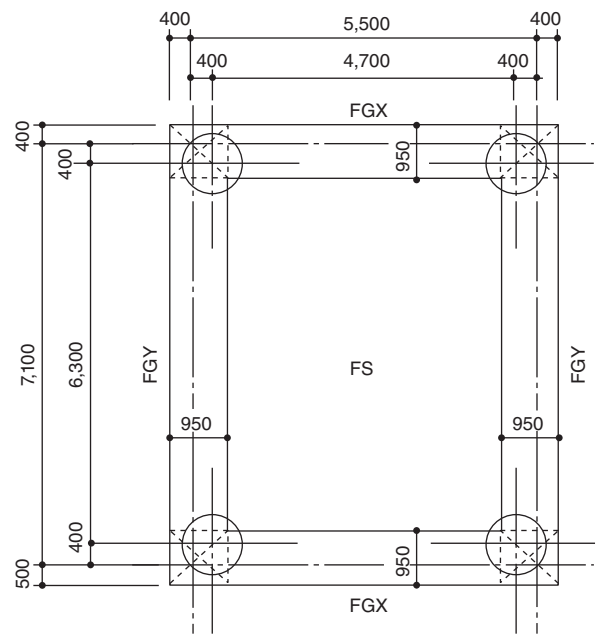
部材リスト				
砕石	φ150mm	排水目皿	φ100 1ヶ所	
捨コンクリート	Fc=13.5N/mm <sup>2</sup> φ50mm	仕上げ	腰外部	打放し
基礎コンクリート	Fc=21.0N/mm <sup>2</sup> スランプ15~18cm		腰内部	打放し
杭コンクリート	Fc=21.0N/mm <sup>2</sup> スランプ15~18cm		床	モルタル金コテ仕上
鉄筋	SD295(A) (D16以下), SD345(D19以上)			

# タワーパーキング

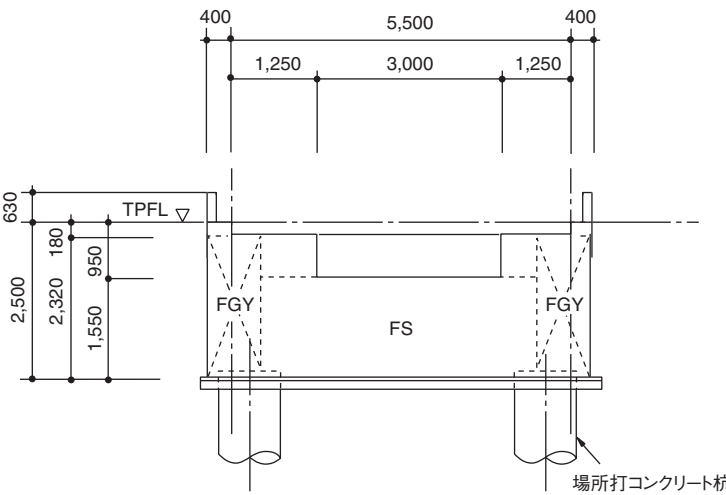
■ターンテーブル内蔵型(収容型式G型)



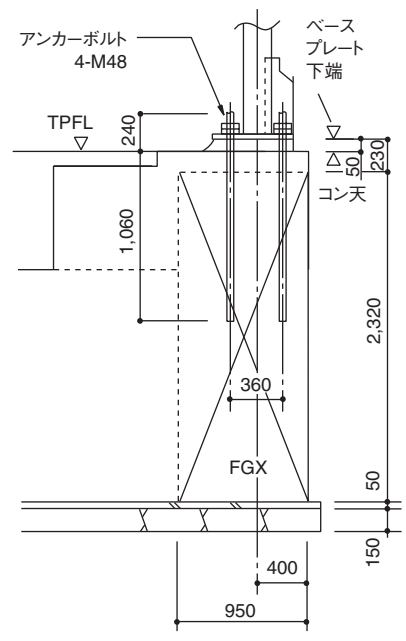
平面図



梁伏図



断面図



FGX梁断面図

部 材 リ ス ト				
砕 石	φ150m/m	排水目皿	φ 100 1ヶ所	
拾コンクリート	Fc=13.5N/mm <sup>2</sup> φ50m/m	仕 上 げ	腰外部	打放し
基礎コンクリート	Fc=21.0N/mm <sup>2</sup> スランプ15~18cm		腰内部	打放し
杭コンクリート	Fc=21.0N/mm <sup>2</sup> スランプ15~18cm		床	モルタル金ゴテ仕上
鉄 筋	SD295A (D16以下), SD345 (D19以上)			

# 電源容量・電線サイズ一覧

## タワーパーキング

### ■電源容量・電線サイズ一覧

標準型

	電 動 機	電源容量(KVA)			電線サイズ(mm <sup>2</sup> )					ブレーカー (ELB) 容量	
		1基	2基	3基		40m	60m	80m	アース線		
動 力 用	22kW	40	64	84		200V	38	60	60	22	250AF / 125AT
	30kW	50	80	105		200V	60	60	100	22	250AF / 150AT
	37kW	60	96	126		200V	60	100	100	22	250AF / 200AT
低減率	-	1	0.8	0.7							
制御用 照明用	AC100V 50/60Hz	4	8	12							
消火設備	常用	AC100V50/60Hz			0.5KVA(専用回路)						
	非常用	AC100V			0.5KVA(自家発電)						
		DC24V			10AH(蓄電池)						

注1) 電源サイズは1基当りを示します。

2) IHI標準管理人ボックスが付く時は制御照明用電源に1.5KVAを加算してください。

3) アース線は、D種接地(ELB用)へ接続をお願いします。

4

タワーパーキング

1. 主電動機特性 起動方式：二次抵抗始動方式

電動機	AC200V/50Hz		AC220V/60Hz		AC400V/50Hz		AC440V/60Hz	
	定格電流(A)	起動電流(A)	定格電流(A)	起動電流(A)	定格電流(A)	起動電流(A)	定格電流(A)	起動電流(A)
22kW	106	286	89	251	53	142	45	127
30kW	140	412	118	363	70	206	59	182
37kW	163	448	138	380	82	225	69	189

2. 電源容量

● 電源容量はつぎの根拠により算出しています。

[条件]

連立または並立式の低減率は、2基 80%、3基 70%、4基 70%、5基 65% とします。

[電源容量(KVA)の算式]

連続運転により変圧器の定格出力以下であること。

$$\text{電源容量} = \frac{\sqrt{3} \times V \times I}{1,000} + 2\text{KVA}$$

V：電圧(V)

I：連続運転(定格)電流(A)

連立または並立式の場合は(基数)×(低減率)を入れて計算します。

- 消火装置非常電源は自家発電または蓄電池のどちらか一方を必要とします。
- 同一出力でないモーターの連立又は並立の場合は、低減率を考慮し算出します。

22kW×1基、30kW×3基の場合

$$\{40\text{KVA} + (50\text{KVA} \times 3)\} \times 0.7 = 133\text{KVA}$$

3. 引込線の太さの算出方法

パーキング運転時の電流を流せる電線太さ\*1と、起動時の許容電圧降下により決まる太さ\*2のいずれかの太い方を選択します。

\*1 パーキング運転時の電流を流せる電線太さ (mm<sup>2</sup>)

電動機( kW )	基数	1基	2基
22		38	100
30		60	100
37		60	60×2

\*2 起動時の許容電圧降下により決まる太さ

$$\text{電線導体断面積(mm}^2\text{)} = \frac{30.8 \times (I_s + 10) \times L}{1,000 \times \epsilon}$$

I<sub>s</sub>：起動電流(A)

L：距離(m)

ε：電圧降下(V)……………200V×0.07=14V

10：制御電源容量(A)



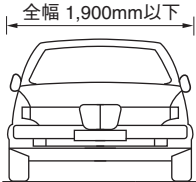
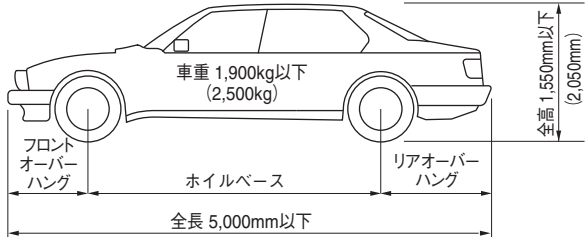
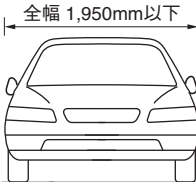
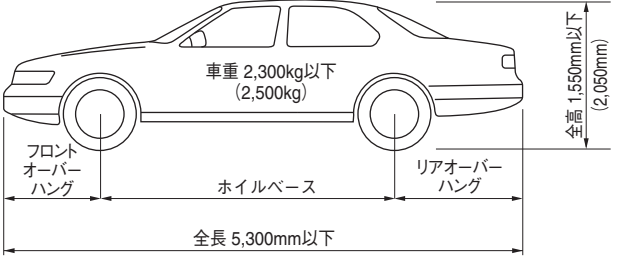
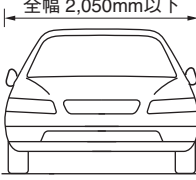
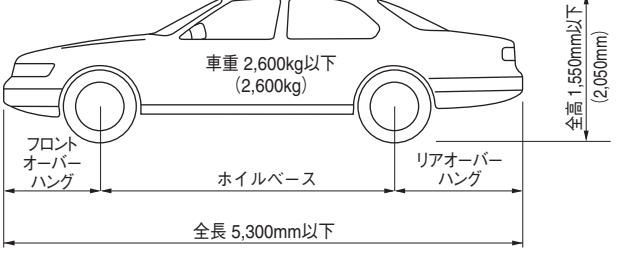
# 5

## スーパースクエアパーキング

収容可能車最大寸法表.....	5-2
スーパースクエアパーキング	
1層／2層 .....	5-4
3層／4層 .....	5-6
乗込部平面図／床開口図 .....	5-8
ベースプレート配置図・荷重表 .....	5-10
電源容量・電線サイズ一覧 .....	5-12

# 収容可能車最大寸法表 スーパースクエアパーキング

## ■スーパースクエアパーキング

収容型式	寸法 全幅	全長/全高/車重
<b>N</b>	<p>全幅 1,900mm以下</p>  <p>* 入庫可能車寸法に納まっても、フロントオーバーハングが長い車(995mm以上)や、ホイールベース+リアオーバーハングが長い車(4,090mm以上)は入庫できません。</p>	<p>車重 1,900kg以下 (2,500kg)</p>  <p>全長 5,000mm以下</p> <p>全高 1,550mm以下 (2,050mm)</p>
<b>G</b>	<p>全幅 1,950mm以下</p>  <p>* 入庫可能車寸法に納まっても、フロントオーバーハングが長い車(1,390mm以上)や、ホイールベース+リアオーバーハングが長い車(4,380mm以上)は入庫できません。</p>	<p>車重 2,300kg以下 (2,500kg)</p>  <p>全長 5,300mm以下</p> <p>全高 1,550mm以下 (2,050mm)</p>
<b>GL</b>	<p>全幅 2,050mm以下</p>  <p>* 入庫可能車寸法に納まっても、フロントオーバーハングが長い車(1,390mm以上)や、ホイールベース+リアオーバーハングが長い車(4,380mm以上)は入庫できません。</p>	<p>車重 2,600kg以下 (2,600kg)</p>  <p>全長 5,300mm以下</p> <p>全高 1,550mm以下 (2,050mm)</p>

※ドアミラーは折りたたんで入庫してください。

※詳しくは、第6章 収容可能車最大寸法表（注意事項）を参照してください。

※上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。

※収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。







■収容可能車・平面寸法

項目		型式	N	G	GL	
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300	5,300	
	全幅 (mm以下)		1,900	1,950	2,050	
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,900	1,950	2,050	
	全高 (mm以下)	普通車		1,550		
		ハイルーフ車		2,050		
	車重 (kg以下)	普通車		1,900	2,300	2,600
ハイルーフ車			2,500		2,600	
地下部	ビル内法	間口	M	下記ビル内法参照		
		奥行	N	1層 2,080(2,580)		
		高さ		2層 4,165(5,165)		
	パレットピッチ		P 1	2,200	2,250	2,350
	パレットピッチ		P 2	5,300	5,600	5,600
	パレット幅			2,000	2,050	2,150
	パレット全長			5,100	5,400	5,400
	ピット	間口	K	1,925		
L			600			
奥行		I	4,600			
		深さ		1,000<1600>		

注1) 本図中の躯体寸法はダクトスペースは考慮しておりません。  
 2) ( )内寸法は、ハイルーフ車仕様を示します。  
 3) < >内寸法は、ターンテーブル内蔵型を示します。  
 ※ 上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。  
 ※ 収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。

■標準仕様

項目		型式	N	G	GL
電動機及び速度	リフト	モーター	22kW		
		速度	30m/min		
	搬送用 (1セルあたり)	モーター	パレット縦横送り用：0.75 kW×2		
		速度	搬送方向転向用：0.2 kW×1 縦送り：70m/min 横送り：35m/min		
電源容量	動力用	50KVA ※1			
	制御用	100V 5KVA			
	消火設備用 常用	100V 0.5KVA			
操作認証方式	標準	暗証式/ICカード式			
	オプション※2	リモコン式/スマートフォン予約			

※1 電源容量は同時駆動セル数により異なりますので、お問い合わせください。  
 ※2 オプションの詳細については、お問い合わせください。

■ビル内法

パレット長手方向	パレット短手方向	収容台数/層	N		G		GL	
			M	N	M	N	M	N
3枚	4枚	10台	16,250	9,150	17,150	9,350	17,150	9,750
	5枚	13台		11,350		11,600		12,100
	6枚	16台		13,550		13,850		14,450
4枚	3枚	10台	21,550	6,950	22,750	7,100	22,750	7,400
	4枚	14台		9,150		9,350		9,750
	5枚	18台		11,350		11,600		12,100
	6枚	22台		13,550		13,850		14,450
5枚	3枚	13台	26,850	6,950	28,350	7,100	28,350	7,400
	4枚	18台		9,150		9,350		9,750
	5枚	23台		11,350		11,600		12,100
	6枚	28台		13,550		13,850		14,450
6枚	3枚	16台	32,150	6,950	33,950	7,100	33,950	7,400
	4枚	22台		9,150		9,350		9,750
	5枚	28台		11,350		11,600		12,100
	6枚	34台		13,550		13,850		14,450

注1) レイアウトにより、収容台数が異なる場合があります。  
 2) 収容台数は、パレットの抜き枚数によって異なります。上記は2枚抜きの場合を示します。



■収容可能車・平面寸法

項目		型式	N	G	GL	
収容可能車寸法	全長 (mm以下)		5,000	5,300	5,300	
	全幅 (mm以下)		1,900	1,950	2,050	
	タイヤ外幅 (mm以下)		1,900	1,950	2,050	
	全高 (mm以下)	普通車		1,550		
		ハイルーフ車		2,050		
	車重 (kg以下)	普通車		1,900	2,300	2,600
ハイルーフ車			2,500		2,600	
地下部	ビル内法	間口	M			
		奥行	N			
		高さ	下記ビル内法参照			
				3層	6,250 (7,750)	
				4層	8,335 (10,335)	
	パレットピッチ		P 1	2,250	2,300	2,400
	パレットピッチ		P 2	5,350	5,650	5,650
	パレット幅			2,000	2,050	2,150
	パレット全長			5,100	5,400	5,400
	ピット	間口	K	1,925		
L			600			
奥行		I	4,600			
		深さ	1,000 < 1600 >			

注1) 本図中の躯体寸法はダクトスペースは考慮していません。  
 2) ( )内寸法は、ハイルーフ車仕様を示します。  
 3) < >内寸法は、ターンテーブル内蔵型を示します。  
 ※上記の収容可能車最大寸法表を超える計画をされる場合は、別途ご相談ください。  
 ※収容可能車に、EV・PHVを含む計画をされる場合は、別途ご相談ください。

■標準仕様

項目		型式	N	G	GL
電動機及び速度	リフト	モーター	22kW		
		速度	30m/min		
	搬送用 (1セルあたり)	モーター	パレット縦横送り用：0.75kW × 2		
		速度	搬送方向転向用：0.2kW × 1		
電源容量	動力用		50KVA ※1		
	制御用		100V 5KVA		
	消火設備用	常用	100V 0.5KVA		
操作認証方式	標準		暗証式 / ICカード式		
	オプション※2		リモコン式 / スマートフォン予約		

※1 電源容量は同時駆動セル数により異なりますので、お問い合わせください。  
 ※2 オプションの詳細については、お問い合わせください。

■ビル内法

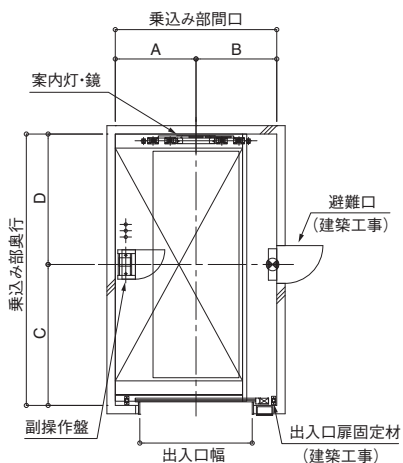
パレット長手方向	パレット短手方向	収容台数/層	N		G		GL	
			M	N	M	N	M	N
3枚	4枚	10台	16,450	9,400	17,350	9,600	17,350	10,000
	5枚	13台		11,650		11,900		12,400
	6枚	16台		13,900		14,200		14,800
4枚	3枚	10台	21,800	7,150	23,000	7,300	23,000	7,600
	4枚	14台		9,400		9,600		10,000
	5枚	18台		11,650		11,900		12,400
5枚	6枚	22台	27,150	13,900	28,650	14,200	28,650	14,800
	3枚	13台		7,150		7,300		7,600
	4枚	18台		9,400		9,600		10,000
6枚	5枚	23台	32,500	11,650	34,300	11,900	34,300	12,400
	6枚	28台		13,900		14,200		14,800
	3枚	16台		7,150		7,300		7,600
6枚	4枚	22台	32,500	9,400	34,300	9,600	34,300	10,000
	5枚	28台		11,650				12,400
	6枚	34台		13,900		14,200		14,800

注1) レイアウトにより、収容台数が異なる場合があります。  
 2) 収容台数は、パレットの抜き枚数によって異なります。上記は2枚抜きの場合を示します。

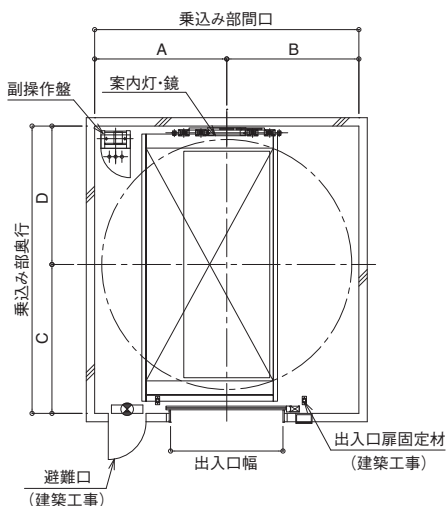
# スーパースクエアパーキング 乗込部平面図／床開口図

## ■乗込部平面図

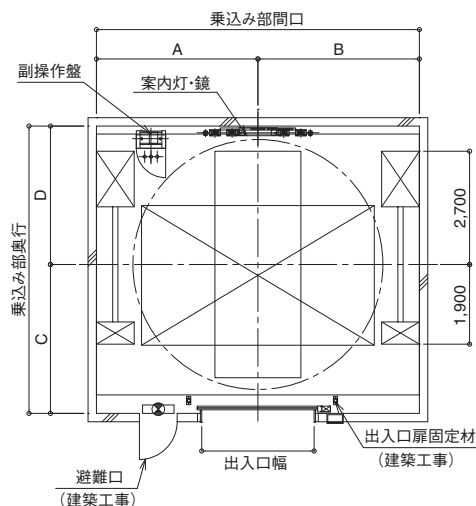
標準タイプ乗込部平面図



ターンテーブル内蔵180°タイプ乗込部平面図



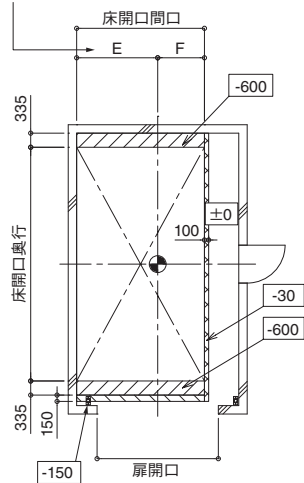
ターンテーブル内蔵90°タイプ乗込部平面図



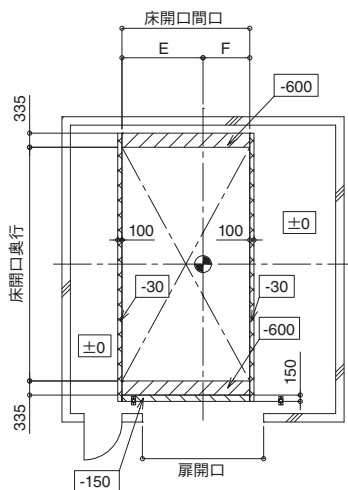
## ■乗込部床開口図

標準タイプ乗込部床開口図

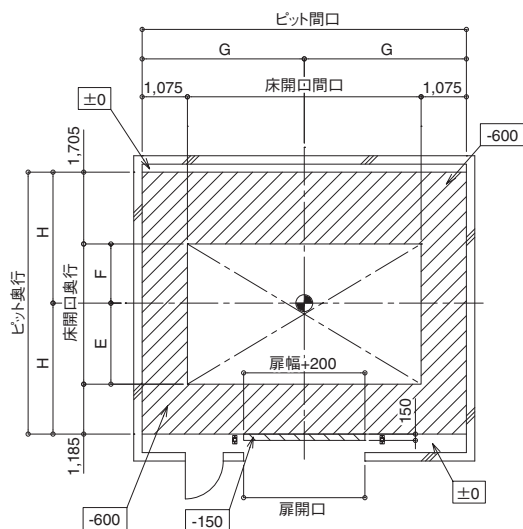
※建築壁が広い場合100x30床欠き込み必要



ターンテーブル内蔵180°タイプ乗込部床開口図



ターンテーブル内蔵90°タイプ乗込部床開口図



■乗込部平面・出入口寸法

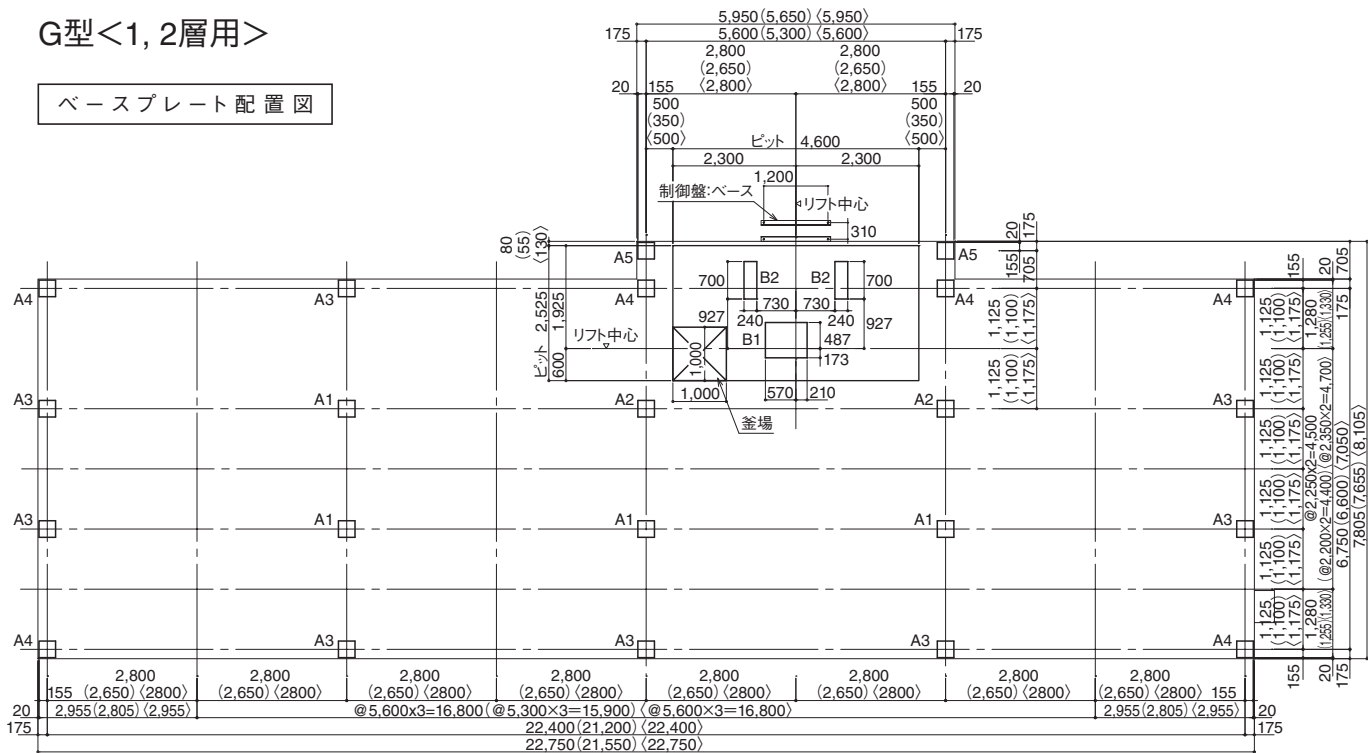
項目			型式	N			G			GL			
				標準	180°	90°	標準	180°	90°	標準	180°	90°	
乗込部	間口	A	標準	1,900	3,000	3,700	1,925	3,150	3,850	1,975	3,200	3,900	
			車椅子	<2,450>	<3,000>	<3,700>	<2,500>	<3,150>	<3,850>	<2,550>	<3,200>	<3,900>	
		B	標準	1,900	3,000	3,700	1,925	3,150	3,850	1,975	3,200	3,900	
			車椅子	<2,450>	<3,000>	<3,700>	<2,500>	<3,150>	<3,850>	<2,550>	<3,200>	<3,900>	
	奥行	C	標準	3,210	3,400	3,400	3,360	3,550	3,550	3,360	3,600	3,600	
			車椅子	<3,800>	<3,800>	<3,800>	<3,950>	<3,950>	<3,950>	<4,000>	<4,000>	<4,000>	
		D	標準	2,960	3,150	3,150	3,110	3,300	3,300	3,110	3,350	3,350	
			車椅子	<2,960>	<3,150>	<3,150>	<3,110>	<3,300>	<3,300>	<3,110>	<3,350>	<3,350>	
	出入口扉取付必要高さ				3,500(3,900)								
	床開口	間口	E	標準	1,900			1,925			1,975		
				車椅子	<1,900>			<1,925>			<1,975>		
		奥行	F	標準	1,085	1,380	1,110	1,405	1,160	1,455			
				車椅子	<1,085>	<1,380>	<1,110>	<1,405>	<1,160>	<1,455>			
		奥行		標準	5,250			5,550			5,550		
				車椅子	<5,250>			<5,550>			<5,550>		
	ピット 90タイプのみ	間口	G	標準	3,700			3,850			3,900		
車椅子				<3,700>			<3,850>			<3,900>			
奥行		H	標準	2,960			3,110			3,160			
			車椅子	<2,960>			<3,110>			<3,160>			
出入口幅				2,500			2,680			2,680			
扉開口				2,700			2,880			2,880			
出入口高さ				1,950(2,200)									

注1) ( ) 内寸法は、ハイルーフ車対応を示します。  
 注2) < > 内寸法は、車椅子対応を示します。

# ベースプレート配置図・荷重表

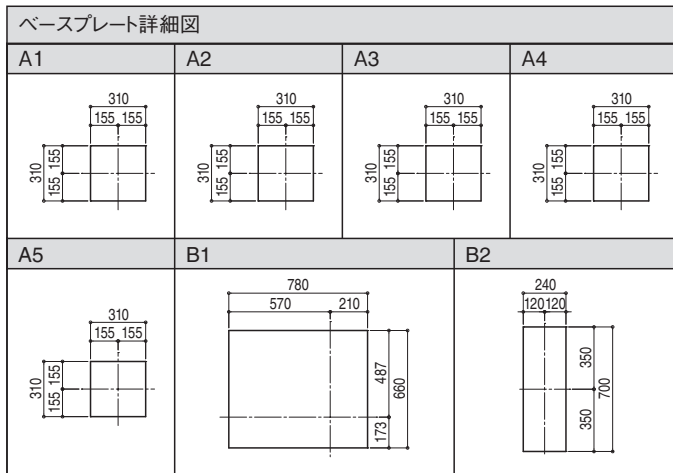
## G型<1, 2層用>

ベースプレート配置図

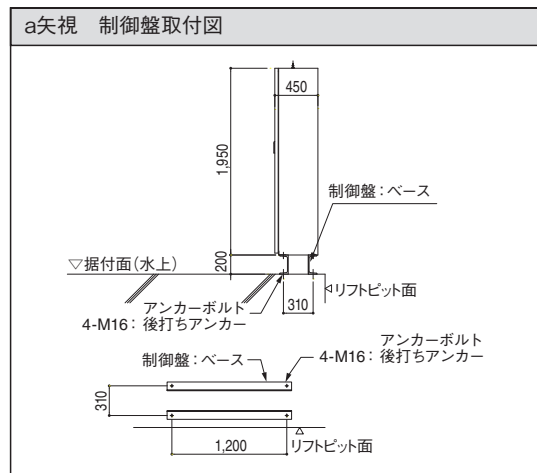


( )内寸法はN型の場合  
 〈 〉内寸法はGL型の場合

ベースプレート詳細図



a矢視 制御盤取付図



ベースプレート荷重表

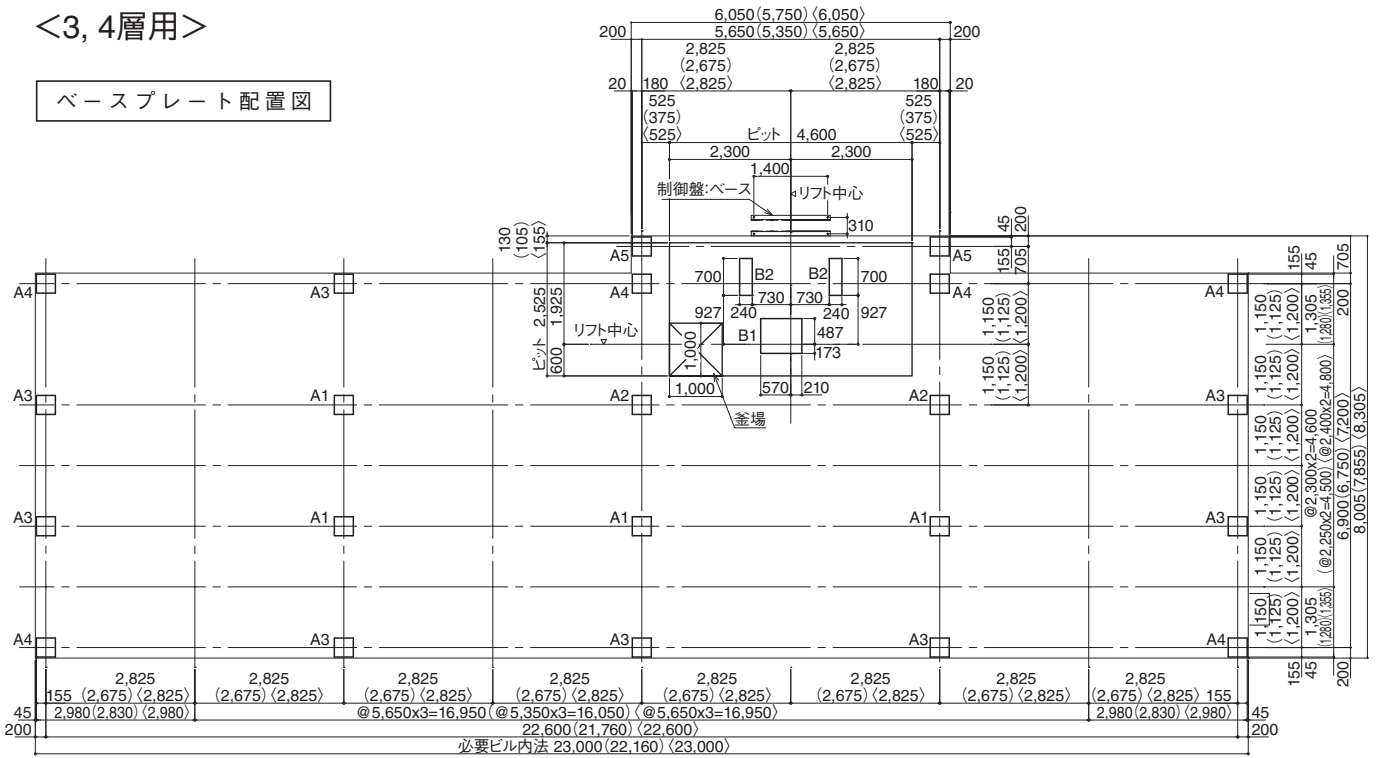
(単位:kN)

ベースプレート		A 1	A 2	A 3	A 4	A 5	B 1	B 2
N	1層	42	32	23	14	—	33	58
	2層	82	63	44	26	3		
G	1層	42	32	23	14	—		
	2層	82	63	44	26	3		
GL	1層	43	33	23	14	—		
	2層	84	65	45	27	3		

※ 1層の場合、ベースプレートA5は使用しません。

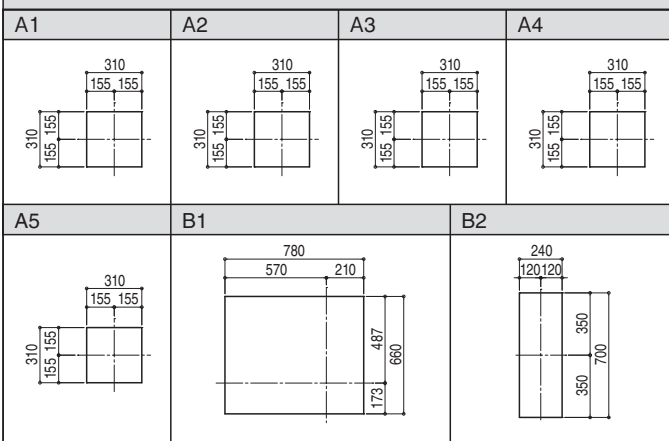
<3, 4層用>

ベースプレート配置図

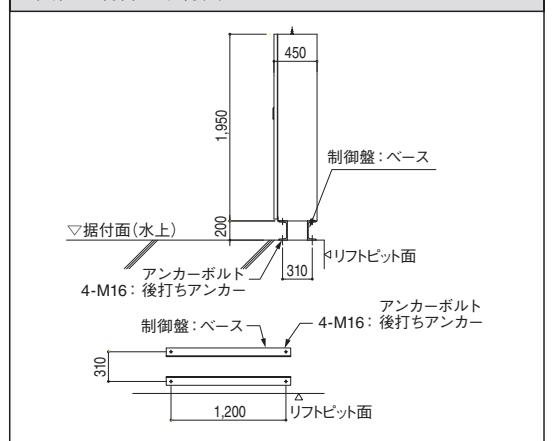


( )内寸法はN型の場合  
 〈 〉内寸法はGL型の場合

ベースプレート詳細図



a矢視 制御盤取付図



ベースプレート荷重表

(単位:kN)

ベースプレート		A 1	A 2	A 3	A 4	A 5	B 1	B 2
N	3層	124	95	66	39	6	33	58
	4層	157	127	92	45	9		
G	3層	124	95	66	39	6		
	4層	157	127	92	45	9		
GL	3層	127	98	68	40	6		
	4層	161	130	94	46	9		



# 電源容量・電線サイズ一覧

## スーパースクエアパーキング

### ■使用電動機一覧

型式	使用電動機 (kW)			
	リフト	内蔵 T.T	搬送用縦送り・横送り (1ユニット当たり)	搬送方向転向用 (1ユニット当たり)
N	22	2.2 × 1	※0.75 × 2	※0.4 × 1
G	22	2.2 × 1	※0.75 × 2	※0.4 × 1
GL	22	2.2 × 1	※0.75 × 2	※0.4 × 1

※ユニット数は収納台数+抜きパレット枚数

### ■電動容量・電線サイズ

電源	層数 (層)	電源 電圧	電線サイズ (mm <sup>2</sup> )				アース線	ブレーカー (ELB) 容量
			40m	60m	80m	100m		
動力用	1	200V	※ 100				22	250AF / 175AT
	2~4	200V	※ 150				22	250AF / 250AT

注1) 受電部の端子台サイズとなります

注2) アース線は、D種接地 (ELB用) へ接続をお願いします。

電源	電源容量	電源 電圧	用途	ブレーカー (ELB) 容量
制御用	5.0	100V	盤内照明、入出庫信号灯、制御回路用	50AF / 50AT

### ■電動機の特性

電動機	電源容量	AC200V/50・60Hz	
		定格電流 (A)	起動電流 (A)
リフト 22kW	-	79	160
旋回 2.2kW	-	8.8	12
搬送り 0.75kW × 2	50KVA	64	128
	60KVA	104	208
	75KVA	144	288
転向 0.4kW	-	2.4	4.5

# 6

## 収容可能車最大寸法表 (注意事項) 収容可能車の代表例

収容可能車最大寸法表 (注意事項) .....	6-2
収容可能車の代表例 .....	6-4

# 収容可能車最大寸法表（注意事項）

## エレベータパーキング・フォークパーキング・タワーパーキング・スーパースクエアパーキング

### ※注意事項

- 1) 本書は「自動車ガイドブック vol.64 2017～2018（発行：社団法人 日本自動車工業会）」及び「2018 輸入車ガイドブック（発行：日刊自動車新聞社）」の寸法及び重量を記載した御参考用の資料です。入庫可否判断において、次頁以降のリストを利用し入庫可能もしくは不可能と判断された車両であっても、それを保証するものではありません。
- 2) IHI 駐車装置は、収容可能車最大寸法表に記載された寸法・重量を基準に設計してあります。入庫可能な車以外は、車や機械を破損する恐れがありますので、絶対に入庫しないでください。
- 3) 同一車名でもタイプや年式により車体寸法や重量が異なり、入庫できない場合があります。車検証及び実測もしくはメーカー・ディーラー等へお問い合わせいただき、入庫可能な寸法及び重量であるかを確認してください。本リスト掲載以外の車についても同様にご確認をお願いします。
- 4) 収容可能車の諸元の車体寸法は、寸法公差を表現しておりません。「自動車認証・リコール制度関係法令通達集」（運輸省自動車交通局技術安全部審査課監修）完成検査終了証の記載方法別表（1（7）関係）の通り、車体寸法には公差が認められています。（例：乗用車であれば、車検証に車高1,550mmと明記されている場合、実際車高は、1,510mm～1,590mmとなります。）よって、本書において収容可能と判断されている車であっても、公差により入庫できない場合があります。判断にお困りの際は、各社自動車メーカー、ディーラーなどにお問い合わせください。
- 5) オーバーハング寸法やバンパー寸法は自動車メーカーより公表されていない為、収容可否判定において考慮しておりません。本書において収容可能と判断されている車であっても、オーバーハング寸法やバンパー寸法によって入庫できない場合があります。オーバーハング寸法やバンパー寸法は、実測もしくは各自動車メーカー・ディーラーなどにお問い合わせください。初めて入庫する際、車がパレットからはみ出していないか、機械を動かす前に必ずご確認ください。
- 6) 本書は車両重量のみを記載しています。入庫可能車重量は、車両重量にオプション重量及び積み荷の重量（チャイルドシートやオーディオ類、荷物・スペアタイヤ・工具等）を加えたものです。荷物を積んだまま駐車装置を使用する場合は、入庫可能車重量を超えないようにしてください。
- 7) ドアミラー外寸は今回の収容可否判定においては考慮しておりません。ドアミラーおよびアンテナ類は閉じた状態でご利用ください。なおドアミラーを閉じていても車体からはみ出る車は入庫できない場合があります。
- 8) オプション部品の寸法は、収容可否判定において考慮していません。キャリア付車、リアスポイラー、リアアンダーミラーなどの突起物がある車や後部スペアタイヤ付のハイルーフ・RV車等は入庫することが出来ない場合があります。スペアタイヤを使用している場合も、収容可能な寸法か十分確認してください。
- 9) 収容可能車の最大タイヤ外幅は、パレット内法より左右30mmずつ隙間を差し引いた寸法です<sup>(※1)</sup>。タイヤ外幅寸法は、参考資料によるトレッド(左右の車輪の間隔。タイヤの設置面の中心から中心を空車状態で測定) + 標準タイヤ断面幅です。  
※1 スーパースクエアパーキングは、パレット左右の立ち上がりがないので、全幅と同じ寸法です。

10) 地上高が110mm未満<sup>(※2)</sup>の車種はパレットの中央部に当たるため入庫できません。エンジン停止後に車高が下がる車（ハイドロニューマチック仕様のシトロエン等）は、出庫できなくなる恐れがあります。また、車体が経年により下がる車（ローバーミニ等）や、車体を下げている車はパレットの床面に接触する場合があります。

※2 スーパースクエアパーキングの場合は90mm未満の車種はパレットの車止めに当たるため入庫できません。

11) パレット左右の立ち上がりが140mm<sup>(※3)</sup>ありますので、ドアの開閉時に接触しないことをご確認ください。メーカーやディーラーオプション品であっても、エアロパーツ等を装着している場合や、サスペンションを交換している場合は、車のドアが開かない場合があります。

※3 フォークパーキングの場合はパレット左右の立ち上がりは60mmです。

参考：自動車認証・リコール制度関係法令通達集（運輸省自動車交通局技術安全部審査課監修）  
完成検査終了証の記載方法（車検証記載の寸法に対し、下表の公差が認められています。）

別表（1（7）関係）

自動車の種別		項目	長さ (mm)	幅 (mm)	高さ (mm)	車両重量 (kg)
乗用車	普通自動車		±30	±20	±40	±60
	小型自動車	二輪車以外の自動車	±30	±20	±40	±50
		二輪車	±30	±20	±30	±10
	軽自動車		±30	±20	±40	±40
乗合自動車 及び貨物自動車	普通自動車		±50	±30	±60	±100
	小型自動車		±30	±20	±40	±60
	軽自動車		±30	±20	±40	±40
大型特殊自動車			±50	±30	±60	±200

【参考資料】

- 1) 自動車ガイドブック vol.64 2017～2018（社団法人 日本自動車工業会）
- 2) 2018輸入車ガイドブック（日刊自動車新聞社）

収容可能車の代表例（6-4～6-7）における記号は、

- ：収容可（パレットの立ち上がり寸法により、入庫できない場合があります。）
- '：収容可（車体寸法公差・最低地上高・パレット立ち上がり寸法により、入庫できない場合があります。）
- ×：収容不可

# 収容可能車の代表例

## ■普通車用

メーカー	車種名	全長 (mm)	全幅 (mm)	全高 (mm)	車両重量 (kg)	タイヤ外幅 (mm)	地上高 (mm)
トヨタ	クラウン Hybrid ロイヤルサルーン G	4895	1800	1460	1680	1760	145
	マーク X 350RDS	4770	1795	1435	1560	1770	155
	プリウス A プレミアム “ツーリングセレクション”	4540	1760	1470	1390	1735	130
	カローラ アクシオ ハイブリッド G	4400	1695	1460	1140	1655	155
	オーリス HYBRID “G Package”	4330	1760	1480	1400	1740	140
	アクア Crossover	4060	1715	1500	1100	1650	170
レクサス	カローラ フィールダー ハイブリッド G “W×B”	4410	1695	1510	1170	1655	155
	レクサス LS500h “version L”	5235	1900	1450	2300	1880	140
	レクサス GS450h “version L”	4880	1840	1455	1860	1825	130
ニッサン	レクサス IS300h “version L”	4680	1810	1430	1680	1775	135
	シーマ ハイブリッド CIMA HYBRID VIP G	5120	1845	1510	1950	1815	155
	フーガ 370GT Type S Cool Exclusive	4980	1845	1500	1780	1820	145
	スカイライン 350GT HYBRID Type P	4790	1820	1440	1770	1795	130
	リーフ G	4480	1790	1540	1520	1760	150
	ノート e-POWER X Black Arrow	4100	1695	1520	1210	1670	130
ホンダ	GT-R Premium edition	4710	1895	1370	1770	1885	110
	ミラーージュ G	3795	1665	1505	900	1605	150
	レジェンド Hybrid EX	4995	1890	1480	1980	1875	145
	フィット HYBRID・S Honda SENSING (FF)	4045	1695	1525	1170	1660	135
マツダ	シャトル HYBRID Z・Honda SENSING (FF)	4400	1695	1545	1240	1660	130
	マツダ デミオ XD Touring L Package	4650	1775	1530	1510	1750	140
	マツダ アテンザセダン XD L Package	4865	1840	1450	1540	1820	160
スバル	マツダ アクセラスポーツ 22XD L Package	4470	1795	1470	1450	1775	155
	レガシィ B4 Limited	4800	1840	1500	1540	1820	150
	インプレッサ G4 2.0i-S EyeSight	4625	1775	1455	1400	1770	130
ダイハツ	XV 2.0i-S EyeSight	4465	1800	1550	1440	1790	200
	ミラ X “スペシャル” 2WD	3395	1475	1530	750	1455	160
スズキ	スイフト HYBRID RS	3840	1695	1500	910	1670	120
アルファロメオ	ジュリエッタ・スーパー	4350	1800	1460	1400	1780	-
アウディ	A3 スポーツバック 2.0 TFSI クワトロ	4325	1785	1450	1460	1735	-
	A4 2.0 TFSI クワトロ	4735	1840	1430	1610	1790	-
	A6 1.8 TFSI	4945	1875	1465	1690	1850	-
	A7 スポーツバック 3.0 TFSI クワトロ	4990	1910	1430	1900	1895	-
	A8 L W12 クワトロ	5275	1950	1465	2200	1895	-
BMW	320i Sport	4645	1800	1440	1560	1795	-
	340i M Sport	4645	1800	1430	1660	1795	-
	440i Gran Coupe M Sport	4670	1825	1395	1730	1830	-
	530i M Sport	4945	1870	1480	1690	1870	-
	740i M Sport	5110	1900	1480	1900	1895	-
キャデラック	CTS プレミアム	4970	1840	1465	1780	1815	-
シボレー	コルベット Z06 クーペ 3LZ	4515	1970	1230	1610	-	-
D	DS 4・クロスバックシック BlueHDi	4285	1810	1530	1500	1745	-
フィアット	500C・ツインエア ラウンジ	3570	1625	1515	1050	1610	-
ジャガー	XF 2.0 petrol 200PS RWD Auto	4967	2091	1457	1635	-	-
	XF 3.0 Supercharged petrol 380PS RWD Auto	4967	2091	1457	1710	-	-
メルセデス・ベンツ	A 180 スポーツ	4355	1780	1420	1440	1770	-
	C 250 スポーツ	4715	1810	1430	1600	1800	-
	E 250 アバンギャルド スポーツ	4950	1850	1455	1710	1865	-
	S 550 カブリオレ	5035	1910	1420	2170	1920	-
ミニ	クーパー 5 ドア	4000	1725	1445	1260	1675	-
プジョー	208 スタイル (6AT)	3975	1740	1470	1140	1655	-
	308 アリュール	4260	1805	1470	1290	1760	-
ボルシエ	911 カレラ S	4499	1808	1296	1440	-	-
	718 ボクスター S	4379	1801	1280	1355	1805	-
フォルクスワーゲン	クロスボロ	4000	1710	1490	1160	1670	-
	ゴルフ R	4275	1800	1465	1510	1760	-
ボルボ	パサート GTE アドヴァンス	4785	1830	1460	1720	1815	-
	V40 T3 Kinetic	4370	1800	1440	1480	1755	-
	S60 T3 Classic	4635	1865	1480	1590	1815	-



# 収容可能車の代表例

## ■ハイルーフ車用

メーカー	車種名	全長 (mm)	全幅 (mm)	全高 (mm)	車両重量 (kg)	タイヤ外幅 (mm)	地上高 (mm)
トヨタ	プリウス aG “ツーリングセレクション” (5人乗り)	4645	1775	1575	1470	1750	145
	アルファード ハイブリッド G “Fパッケージ” 7人乗り	4915	1850	1895	2180	1825	165
	エスティマ AERAS SMART 7人乗り (2WD)	4820	1810	1745	1780	1775	160
	ハイエース ワゴン グランドキャビン	5380	1880	2285	2040	1850	185
	エスクァイア ハイブリッド Gi “Premium Package”	4695	1695	1825	1620	1675	160
	ヴェオクシー ハイブリッド ZS	4710	1735	1825	1620	1705	160
	アイシス PLATANA “V-SELECTION” (2.0L・2WD)	4640	1710	1640	1470	1695	160
	ウィッシュ 2.0Z	4600	1745	1600	1430	1720	165
	シエンタ ハイブリッド G (7人乗り)	4235	1695	1675	1380	1665	145
ランドクルーザー ZX	4950	1980	1870	2690	1930	225	
レクサス	レクサス LX570	5080	1980	1910	2730	1930	225
	レクサス RX450h “version L”	4890	1895	1710	2070	1875	200
ニッサン	キューブ 15X V セレクション My cube	3890	1695	1680	1200	1660	160
	エルグランド 250Highway STAR Premium Urban CHROME (2WD 7人乗)	4975	1850	1815	1950	1825	150
	セレナ Highway STAR	4770	1740	1865	1650	1680	160
	ラフェスタ ハイウェイスター ハイウェイスター G スプレモ	4615	1750	1615	1500	1735	135
	エクストレイル 20X HYBRID (4WD 2列車)	4690	1820	1730	1640	1800	-
	ジューク 15RX V セレクション パーソナライゼーション	4135	1765	1565	1200	1740	170
	デイズ ルークス Highway STAR X G パッケージ (2WD)	3395	1475	1775	960	1465	150
ミツビシ	デリカ D:5 D-Premium	4730	1795	1870	1910	1765	210
	アウトランダー 24G Navi Package	4695	1810	1710	1570	1765	190
	アイ・ミーブ X	3395	1475	1610	1090	1455	150
ホンダ	eK ワゴン G Safety Package	3395	1475	1620	850	1455	150
	フリード+G・Honda SENSING (FF)	4295	1695	1710	1360	1670	135
	オデッセイ G (FF/8人乗り)	4830	1800	1695	1720	1775	150
	ステップワゴン SPADA・Cool Spirit Honda SENSING (FF)	4760	1695	1840	1700	1690	155
	ヴェゼル RS・Honda SENSING	4305	1790	1605	1210	1765	185
	N-BOX G・EX Honda SENSING (FF)	3395	1475	1790	930	1460	145
マツダ	N-WGN G・L パッケージ (FF)	3395	1475	1655	830	1460	150
	マツダ プレマシー 20S-SKYACTIV L Package	4585	1750	1615	1500	1735	135
	マツダ CX-5 XD L Package	4545	1840	1690	1620	1820	210
スバル	マツダ CX-8 XD L Package	4900	1840	1730	1830	1825	200
	レガシィ アウトバック Limited	4820	1840	1605	1580	1815	200
	フォレスター 2.0XT EyeSight	4595	1795	1715	1610	1780	220
ダイハツ	ステラ カスタム RS スマートアシスト	3395	1475	1630	900	1470	150
	ムーヴ キャンパス G “メイクアップ SA III” 2WD	3395	1475	1655	920	1460	150
スズキ	タント スローパー X “SA III” 2WD	3395	1475	1750	980	1455	145
	ソリオ HYBRID SZ	3710	1625	1745	990	1605	140
	エスクード 1.4 ターボ	4175	1775	1610	1220	1750	185
アウディ	ワゴン R HYBRID FZ	3395	1475	1650	790	1455	150
	Q3 1.4 TFSI スポーツ	4400	1830	1595	1470	1810	-
	Q3 2.0 TFSI クワトロ 180PS	4400	1830	1595	1620	1810	-
	Q7 3.0 TFSI クワトロ	5070	1970	1735	2080	1930	-
BMW	218i Gran Tourer	4565	1800	1645	1570	1765	-
	X1 sDrive18i M Sport	4455	1820	1600	1520	1790	-
	X3 xDrive35i	4665	1880	1675	1900	1895	-
	X5 xDrive50i	4910	1940	1760	2350	1900	-
シボレー	キャプティバ [キャプティバラグジュアリー]	4690	1850	1790	1850	1810	-
シトロエン	GRAND C4 ピカソ・シャイン	4605	1825	1670	1510	1790	-
ジープ	グランドチェロキー・SRT8	4850	1985	1800	2400	1965	-
ランドローバー	レンジローバー イヴォーク HSE	4355	1900	1635	1790	1865	-
メルセデス・ベンツ	GLC 220 4 マティック	4660	1890	1645	1910	1855	-
	GLE 350 d 4 マティック	4825	1935	1795	2250	1910	-
	メルセデス-AMG GLS 63 4 マティック	5160	1980	1850	2610	1980	-
	V 220 d スポーツ	4910	1930	1880	2380	1910	-
ボルシェ	カイエン SE ハイブリッド	4855	1939	1705	2350	1925	-
	マカン	4697	2098	1624	1770	1905	-
フォルクスワーゲン	ゴルフ トゥーラン TSI トレンドライン	4535	1830	1670	1560	1775	-
ボルボ	XC90 T6 AWD Inscription	4950	1960	1775	2100	1955	-
	XC60 T5 AWD Inscription	4690	1900	1660	1860	1890	-





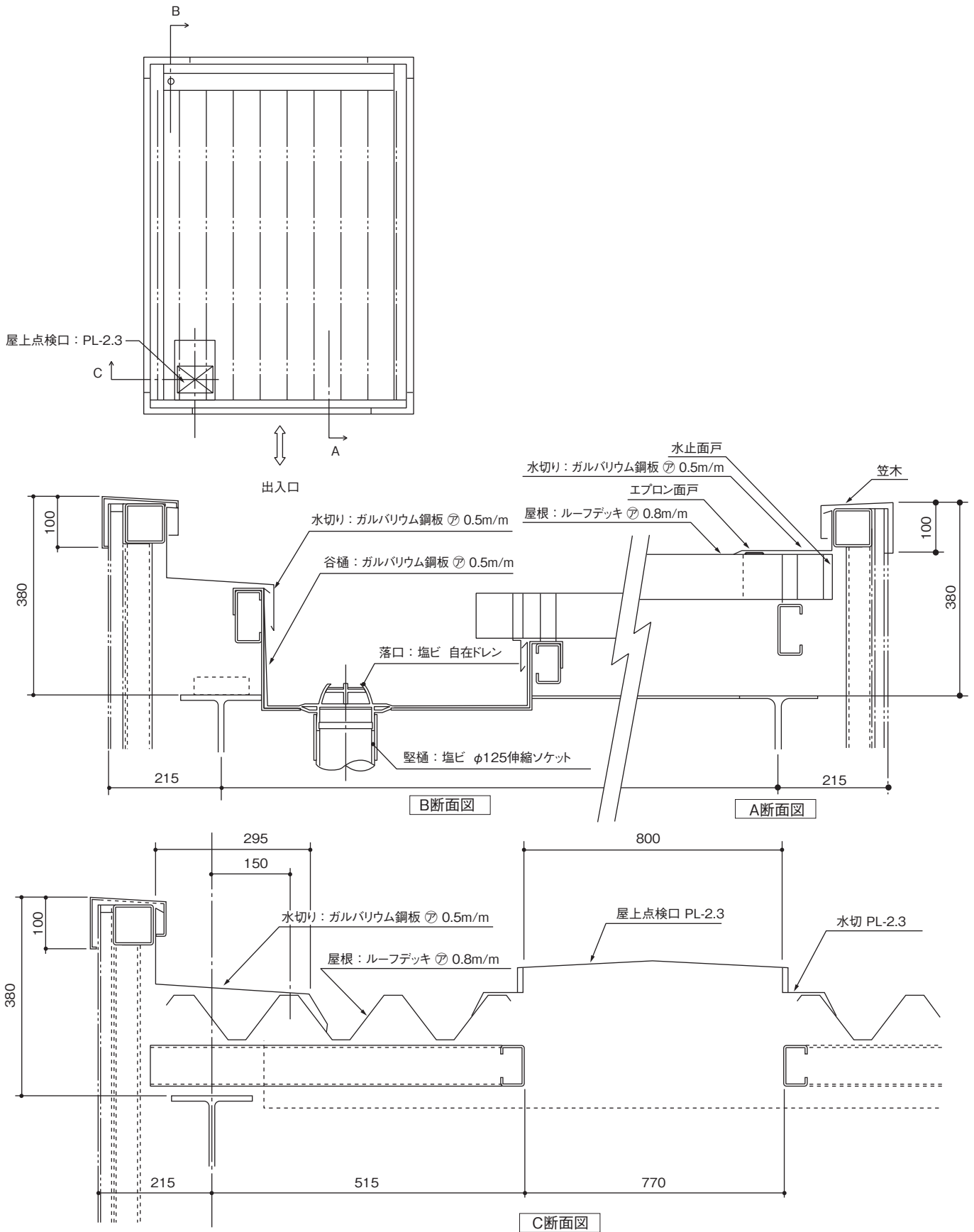


# 7

## エレベータ・フォーク・タワー・ スーパースクエアパーキング共通

屋根（自立式）	7-2
雨仕舞（自立式）	7-3
外壁割付・詳細（ガルバリウム鋼板）	7-4
外壁割付・詳細（ALC 50m/m）	7-5
出入口扉詳細図	7-6
庇上ボンベ室詳細図	7-12
避雷設備・アース板（自立型）	7-13
騒音資料	7-14
本体操作盤	7-15
消火設備（ボンベ本数算出）	7-16
ボンベ室の設計	7-17
ボンベ室寸法	7-18
各地区特色表	7-19
自動車の直角回転軌跡	7-20
車椅子対応図	7-24

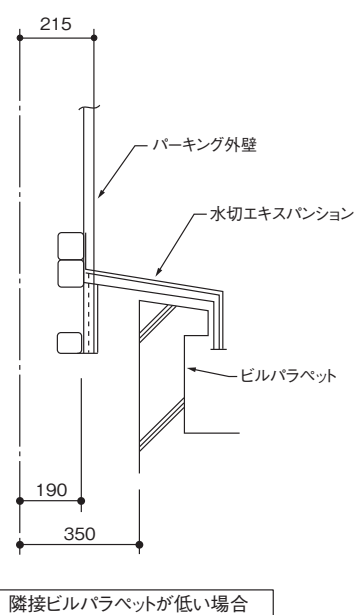
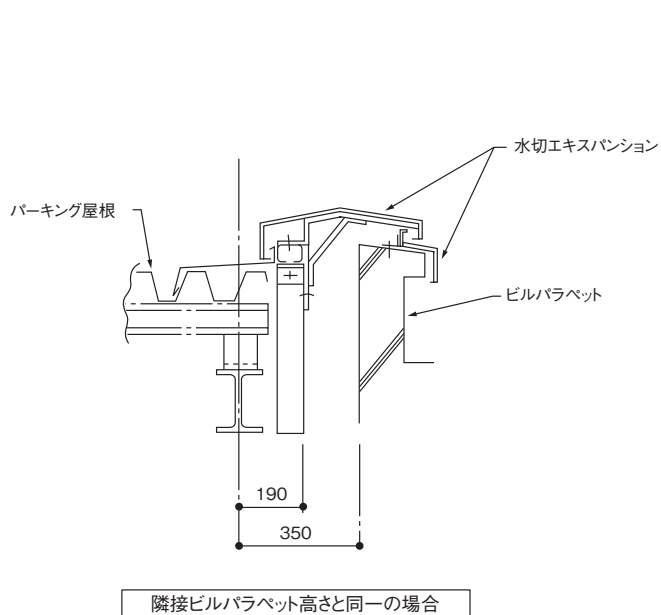
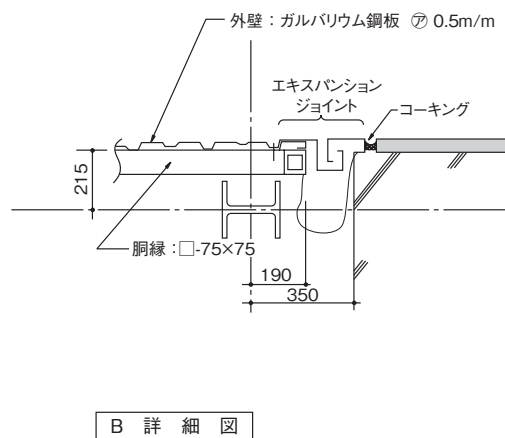
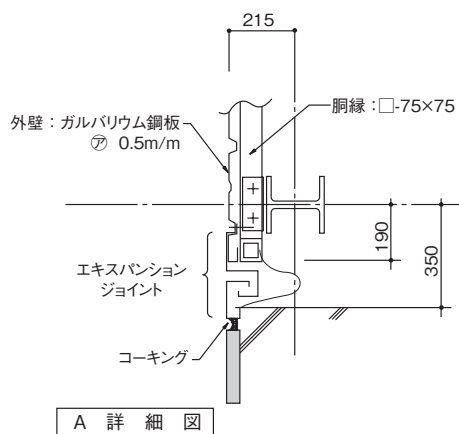
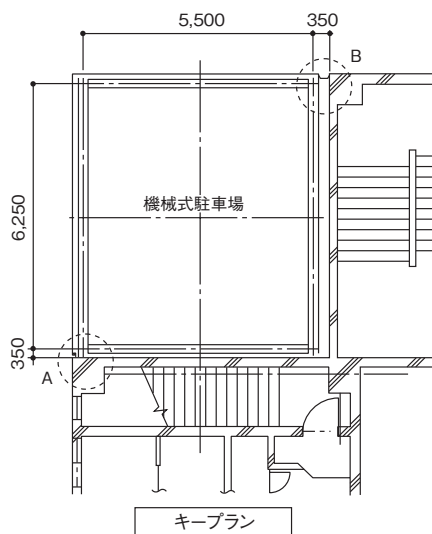
# 屋根(自立式)



7

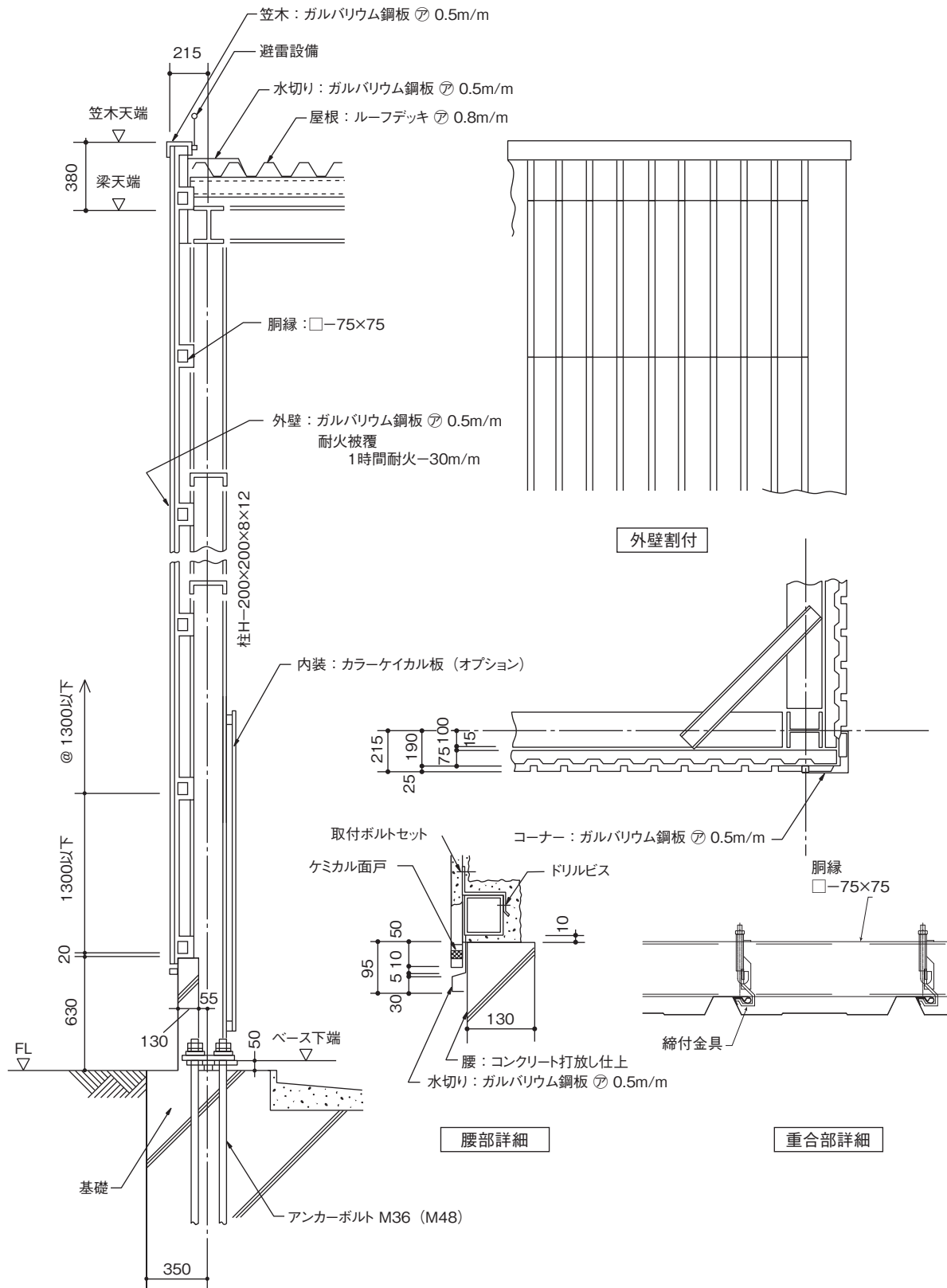
エレベータ・フォーク・タワー・共通  
スリッパ・スクエア・キング

# 雨仕舞 (自立式)



7  
エレベータ・フォーク・タワー・  
スキップスクエア・パーク・共通

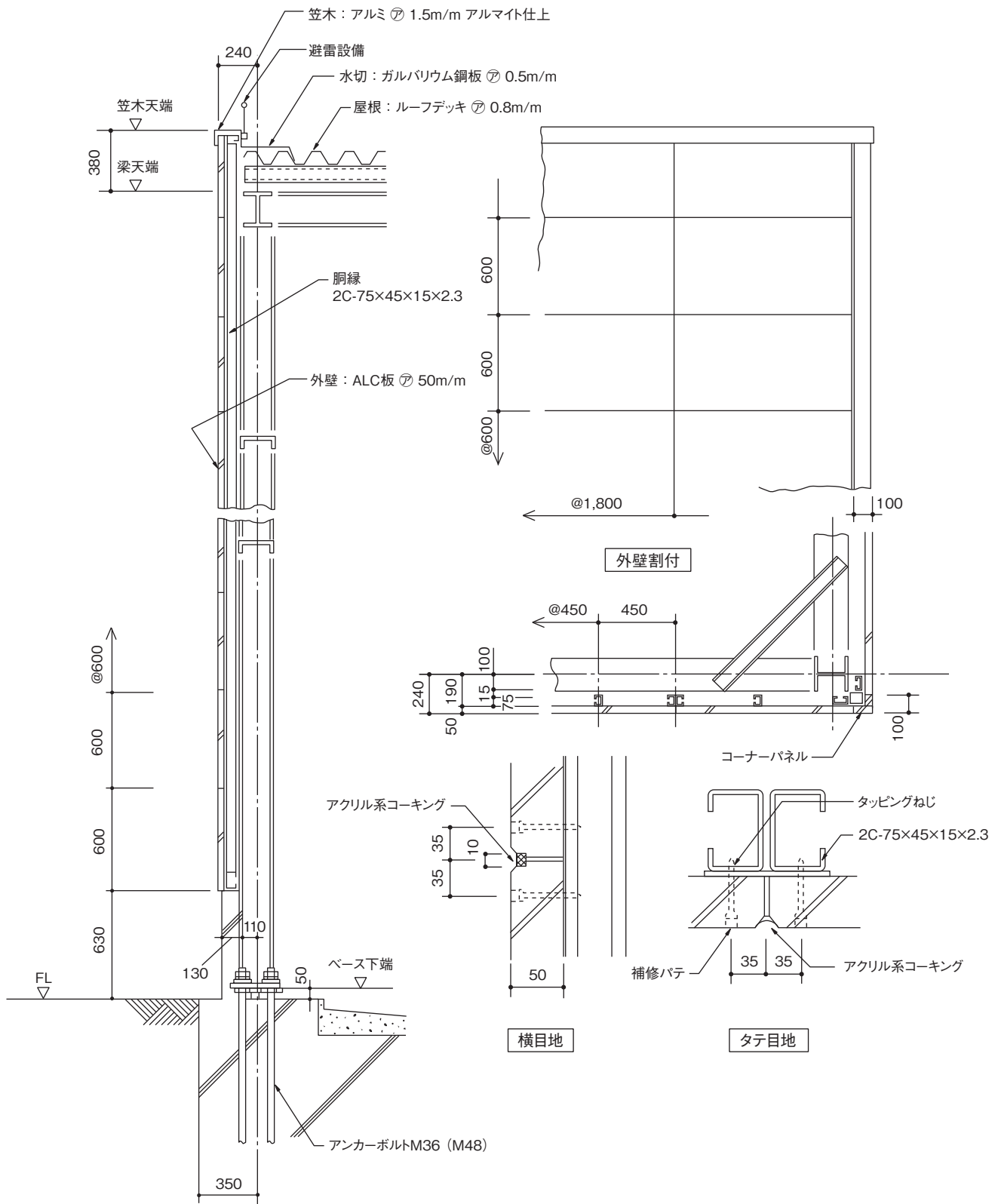
# 外壁割付・詳細 (ガルバリウム鋼板)



外壁名称	ガルバリウム鋼板 $\phi$ 0.5m/m
耐火認定	FPO6ONE-9305
鋼板	55%アルミ亜鉛合金メッキ鋼板
重量	約 26kg/m <sup>2</sup> (下地含む)

7  
エレベータ・フォーク・タワー・  
スリッパ・スクエア・パーキング・共通

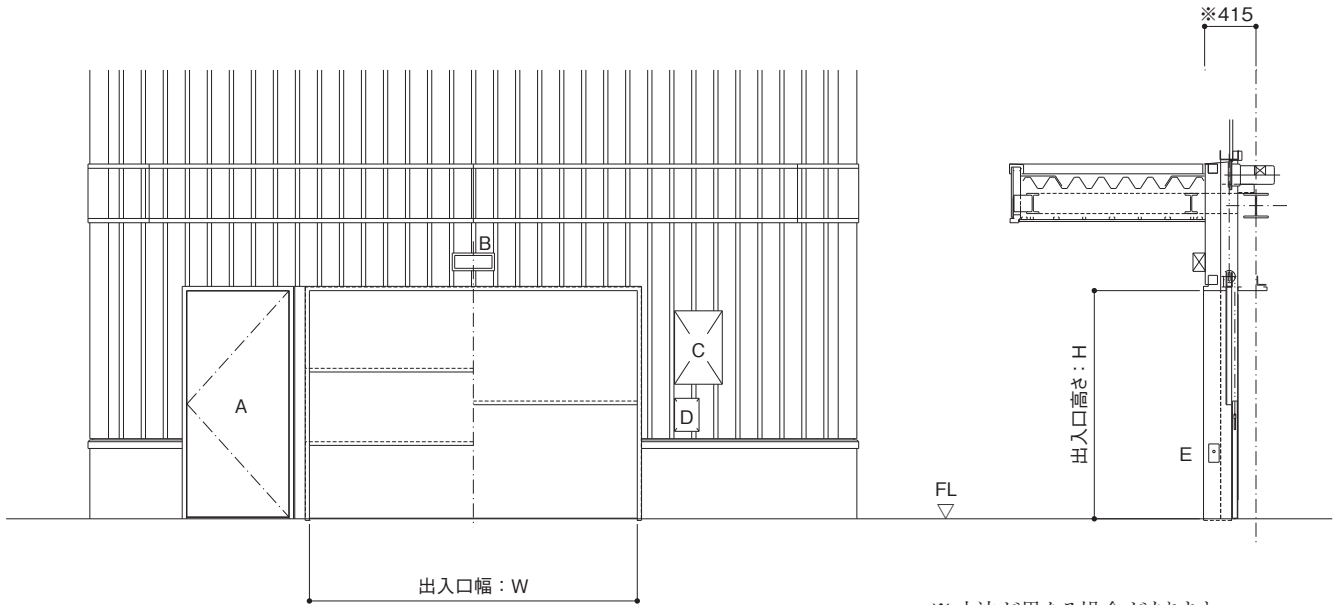
# 外壁割付・詳細 (ALC 50m/m)



外壁名称	ALC 版㊦ 50m/m
耐火認定	FP060NE - 9293 又は同等品
表面処理	アクリル系吹付タイル
目地	アクリル系コーキング鋼板
重量	約 40kg/m <sup>2</sup> (下地含む)

# 出入口扉詳細図

## ■自立式2枚（3枚）上開きパネルドア 〈エレベータパーキング・タワーパーキング〉



※寸法が異なる場合があります。

- A: 避難口
- B: ガス放出灯
- C: 本体操作盤
- D: 消火装置操作盤
- E: 光電管

7

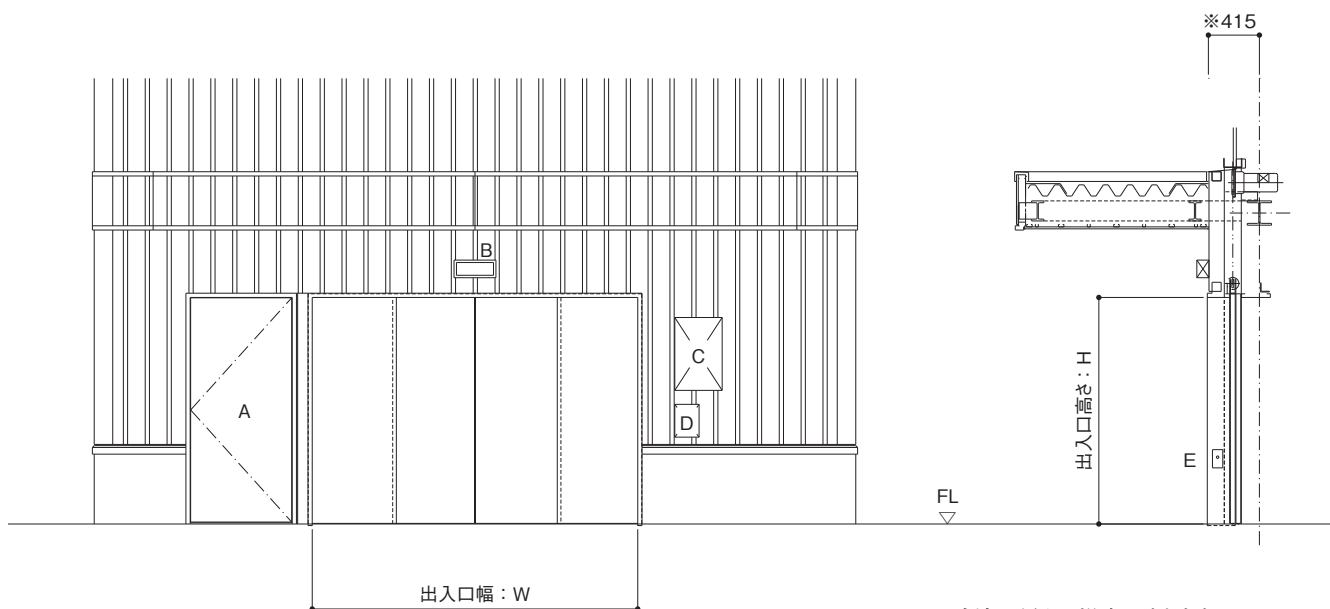
エレベータ・フォーク・タワー・共通

### 【型式別寸法】

機種	型式	記号	N	G	L
エレベータパーキング	●標準型 ●ターンテーブル内蔵型 (180°)	W	4,050	4,250	
		H	2,200		
	●ターンテーブル内蔵型 (90°)	W	2,680		
		H	2,200		
	●直接乗込縦列型 ターンテーブル内蔵型 (180°) ●直接乗込縦列型 ターンテーブル内蔵型 (90°)	W	3,000	3,050	
		H	2,200		

機種	型式	記号	N	G
タワーパーキング	●下部乗入方式 ●ターンテーブル内蔵型	W	2,680	2,800
		H	1,950	
	●ミックス型 ●ターンテーブル内蔵ミックス型	W	2,680	2,800
		H	2,200	

## ■自立式4枚横開きパネルドア 〈エレベータパーキング・タワーパーキング〉



※寸法が異なる場合があります。

- A: 避難口
- B: ガス放出灯
- C: 本体操作盤
- D: 消火装置操作盤
- E: 光電管

### 【型式別寸法】

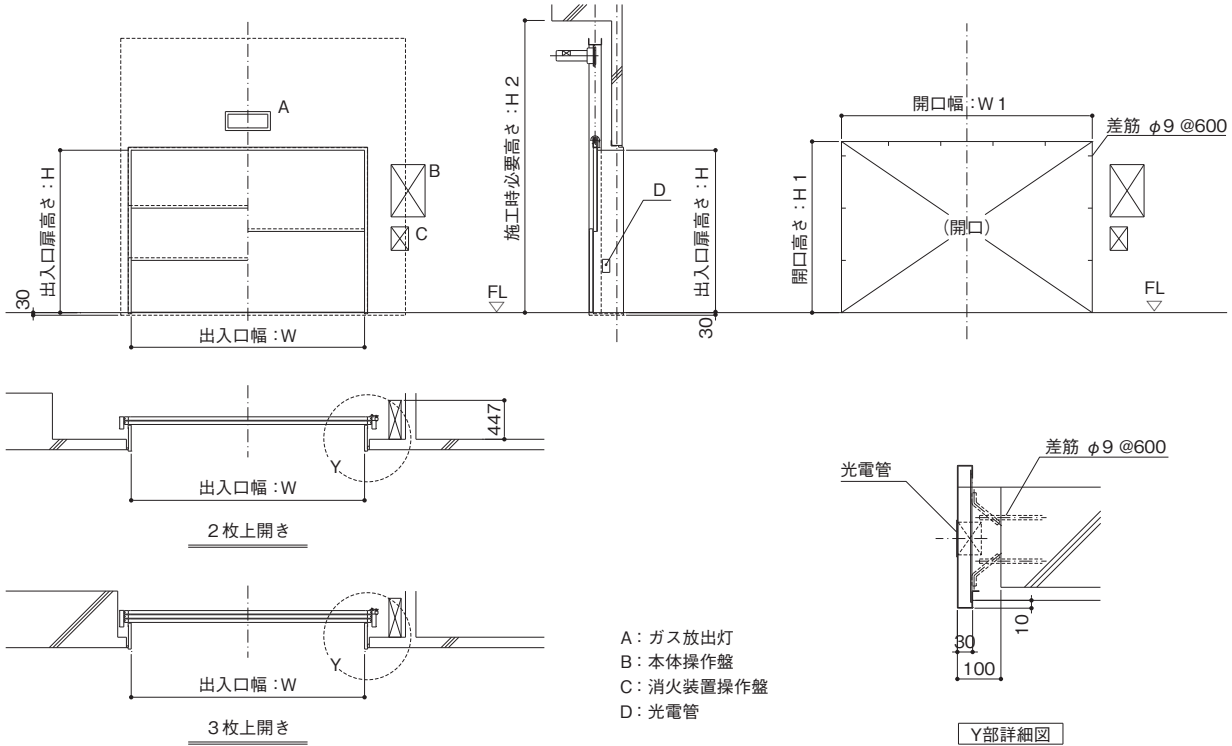
機種	型式	記号	N	G	L
エレベータパーキング	●標準型 ●ターンテーブル内蔵型 (180°)	W	4,050	4,250	
		H	2,200		
	●ターンテーブル内蔵型 (90°)	W	2,680		
		H	2,200		
	●直接乗込縦列型 ターンテーブル内蔵型 (180°) ●直接乗込縦列型 ターンテーブル内蔵型 (90°)	W	3,000	3,050	
		H	2,200		

機種	型式	記号	N	G
タワーパーキング	●下部乗入方式 ●ターンテーブル内蔵型	W	2,680	2,800
		H	1,950	
	●ミックス型 ●ターンテーブル内蔵ミックス型	W	2,680	2,800
		H	2,200	



# 出入口扉詳細図

## ■ 前面ビル壁用2枚（3枚）上開き出入口扉 〈エレベータパーキング・タワーパーキング〉



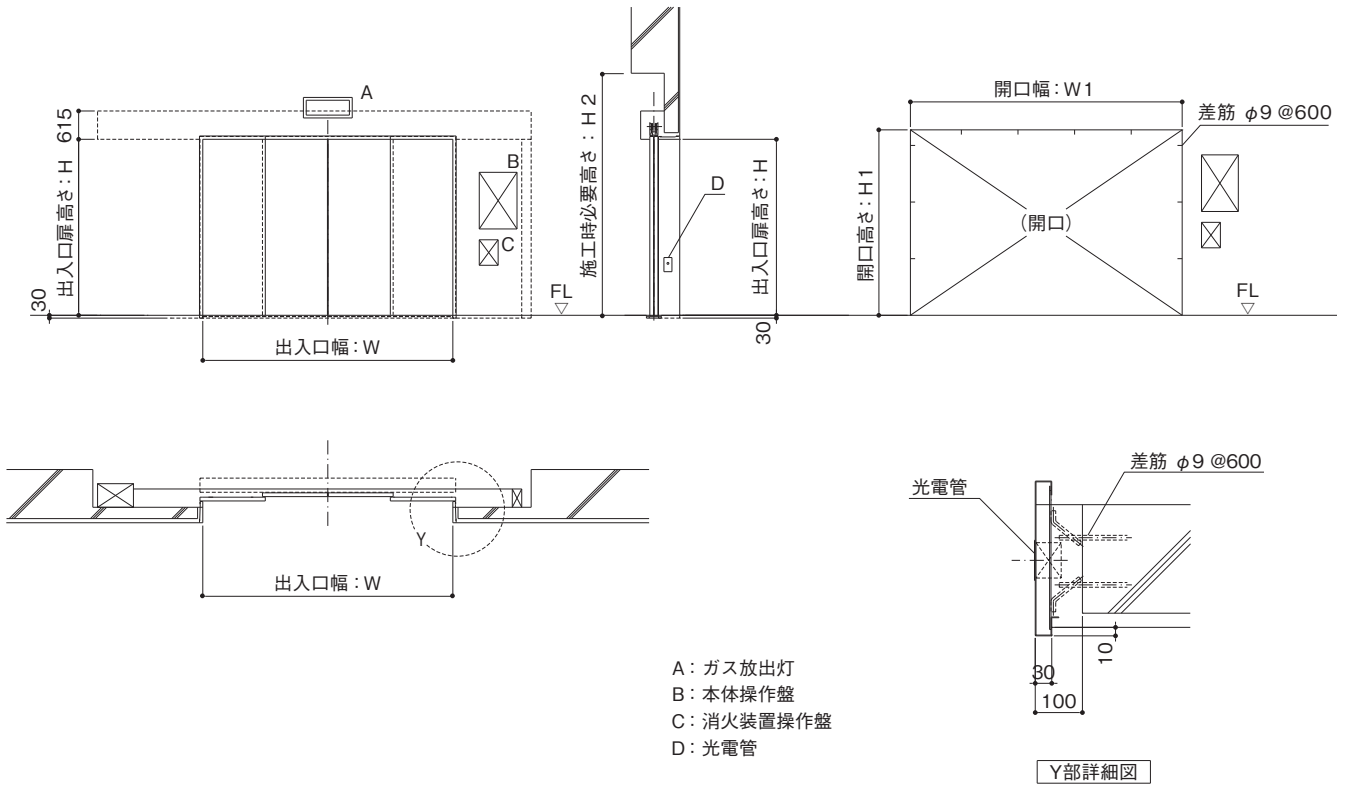
### 【型式別寸法】

機種	型式	記号	N	G	L	
エレベータパーキング	● 標準型 ● ターンテーブル内蔵型 (180°)	W	4,050	4,250		
		W1	4,250	4,450		
		H		2,200		
		H1		2,300		
		H2	2枚上		3,900	
			3枚上		3,300	
	● ターンテーブル内蔵型 (90°)	W		2,680		
		W1		2,880		
		H		2,200		
		H1		2,300		
		H2	2枚上		3,900	
			3枚上		3,300	
	● 直接乗込縦列型 ターンテーブル内蔵型 (180°) ● 直接乗込縦列型 ターンテーブル内蔵型 (90°)	180°	W	4,050	4,250	
			W1	4,250	4,450	
		90°	W		2,680	
W1				2,880		
H			2,200			
H1			2,300			
H2		2枚上		3,900		
		3枚上		3,300		

機種	型式	記号	N	G	
タワーパーキング	● 下部乗入方式 ● ターンテーブル内蔵型	W	2,680	2,800	
		W1	2,880	3,000	
		H		1,950	
		H1		2,050	
		H2	2枚上		3,600
			3枚上		3,000
	● ミックス型 ● ターンテーブル内蔵ミックス型	W	2,680	2,800	
		W1	2,880	3,000	
		H		2,200	
		H1		2,300	
		H2	2枚上		3,900
			3枚上		3,300

7  
エレベータ・スクエアパーク・タワーパーキング共通

■ 前面ビル壁用4枚横開き出入口扉  
 〈エレベータパーキング・タワーパーキング〉



- A: ガス放出灯
- B: 本体操作盤
- C: 消火装置操作盤
- D: 光電管

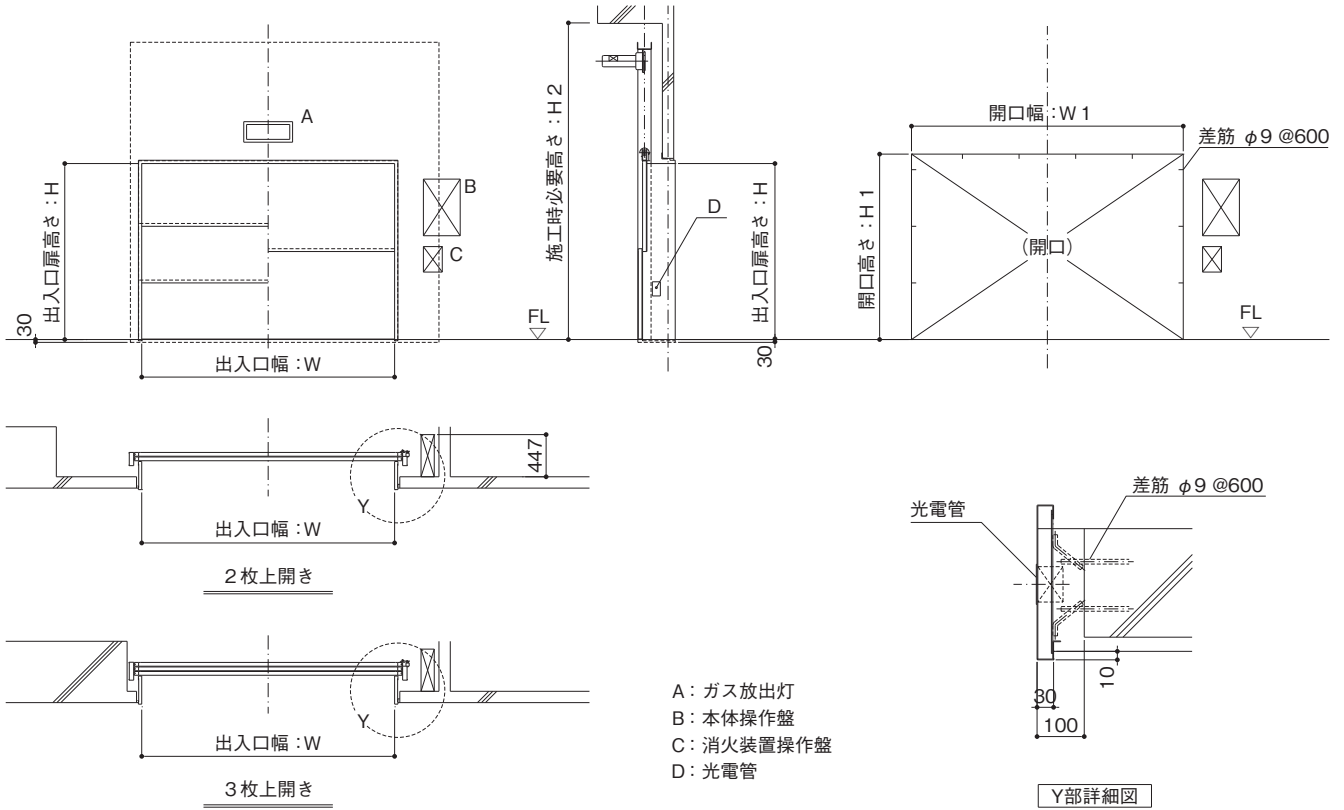
【型式別寸法】

機種	型式	記号	N	G	L
エレベータパーキング	● 標準型 ● ターンテーブル内蔵型 (180°)	W	4,050	4,250	
		W1	4,250	4,450	
		H	2,200		
		H1	2,300		
		H2	3,415		
		W	2,680		
	● ターンテーブル内蔵型 (90°)	W	2,680		
		W1	2,880		
		H	2,200		
		H1	2,300		
		H2	3,415		
		W	2,680		
● 直接乗込縦列型 ターンテーブル内蔵型 (180°) ● 直接乗込縦列型 ターンテーブル内蔵型 (90°)	180°	W	4,050	4,250	
		W1	4,250	4,450	
	90°	W	2,680		
		W1	2,880		
	H	2,200			
	H1	2,300			
H2	3,415				

機種	型式	記号	N	G
タワーパーキング	● 下部乗入方式 ● ターンテーブル内蔵型	W	2,680	2,800
		W1	2,880	3,000
		H	1,950	
		H1	2,050	
		H2	3,165	
	● ミックス型 ● ターンテーブル内蔵ミックス型	W	2,680	2,800
		W1	2,880	3,000
		H	2,200	
		H1	2,300	
		H2	3,415	

# 出入口扉詳細図

## ■ 前面ビル壁用2枚（3枚）上開き出入口扉 〈スーパースクエアパーキング〉



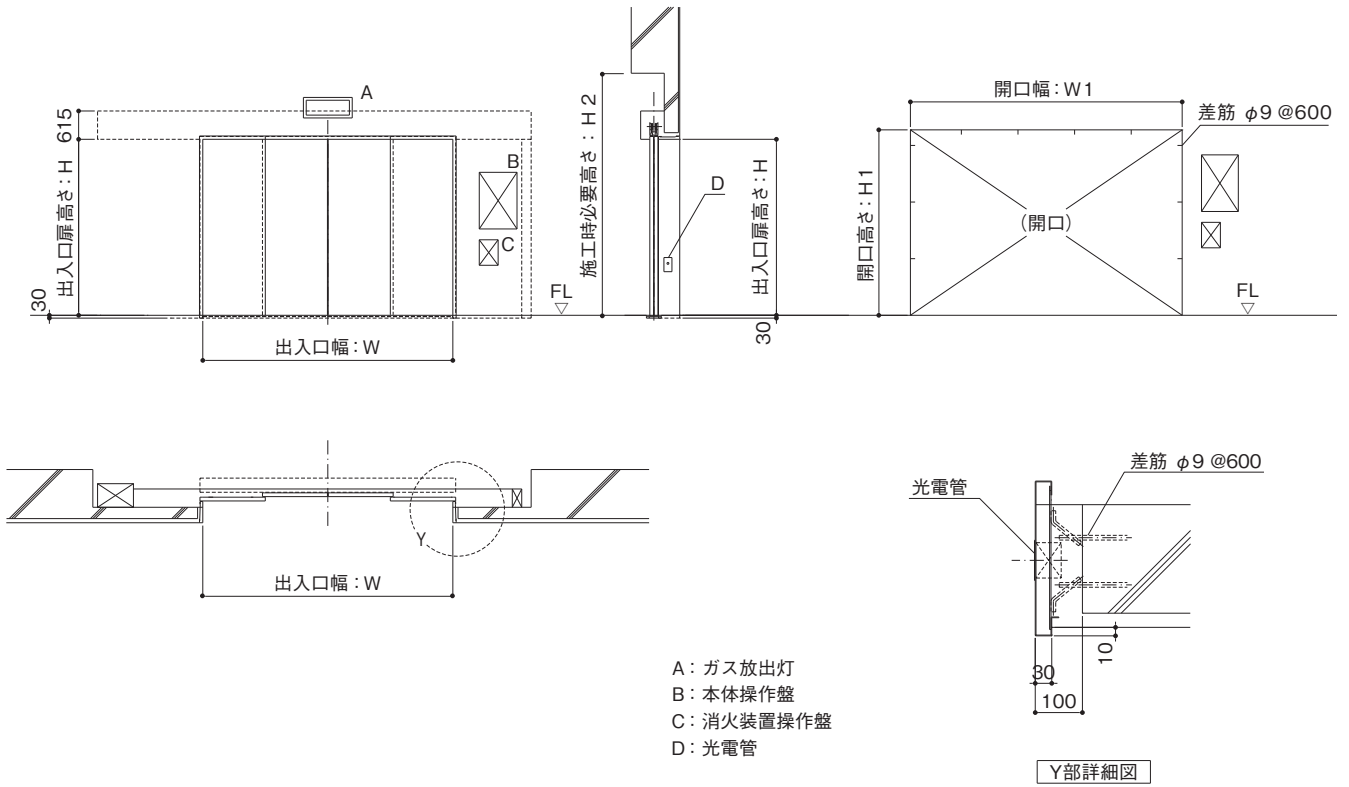
### 【型式別寸法】

機種	型式	記号	N	G	GL
スーパースクエアパーキング	●標準型	W	2,500	2,680	2,680
	●ターンテーブル内蔵型 (180°)	W1	2,700	2,880	2,880
	●ターンテーブル内蔵型 (90°)	H	1,950 (2,200)		
		H1	2,050 (2,300)		
	H2	2枚上	3,600 (3,900)		
		3枚上	3,300 (3,600)		

※ ( ) 寸法はハイルーフ車対応を示します。

7  
エレベータ・フォーク・タワー・スクエアパーキング共通

## ■ 前面ビル壁用4枚横開き出入口扉 〈スーパースクエアパーキング〉

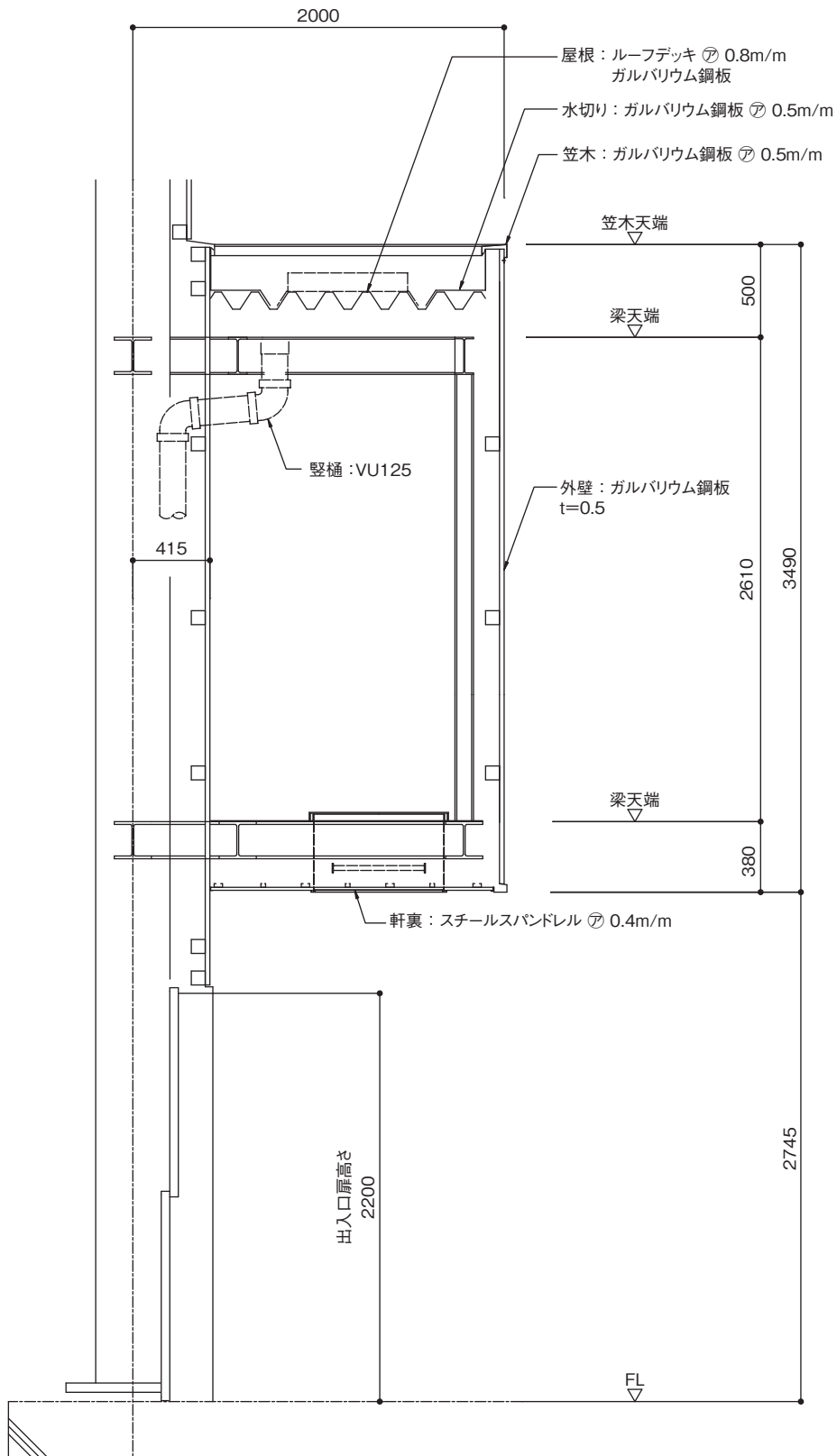


### 【型式別寸法】

機種	型式	記号	N	G	GL
スーパースクエアパーキング	● 標準型	W	2,500	2,680	2,680
	● ターンテーブル内蔵型 (180°)	W1	2,700	2,880	2,880
	● ターンテーブル内蔵型 (90°)	H		1,950 (2,200)	
		H1		2,050 (2,300)	
		H2		3,165 (3,415)	

※ ( ) 寸法はハイルーフ車対応を示します。

# 底上ポンベ室詳細図

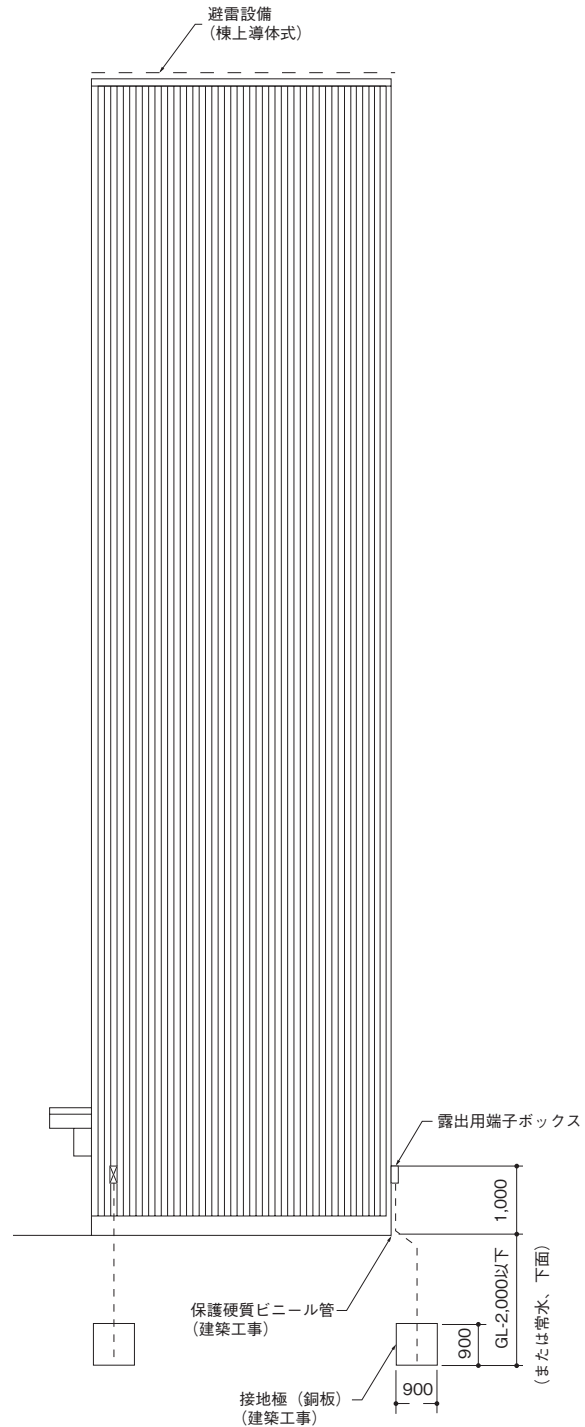
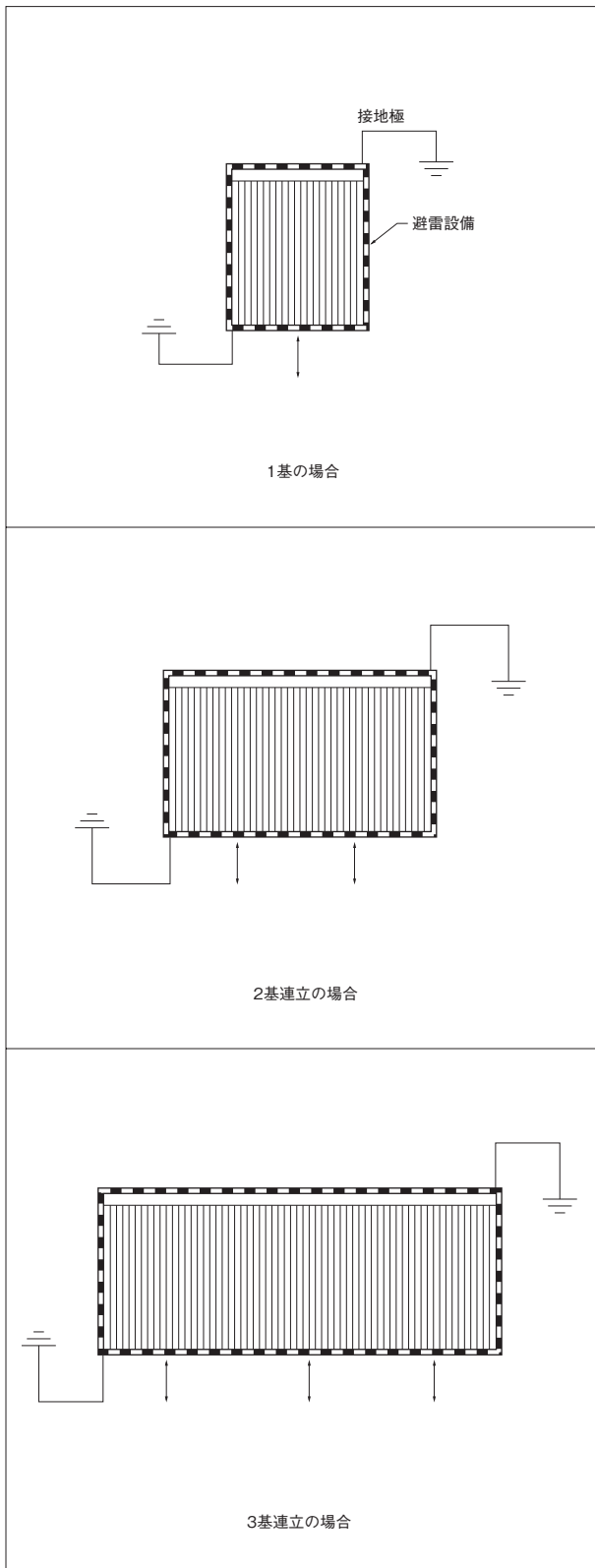


- 注 1) 上記は外装がガルバリウム鋼板、出入口扉が2枚上開きパネルドアの場合です。  
2) 照明設備はオプションです。

7

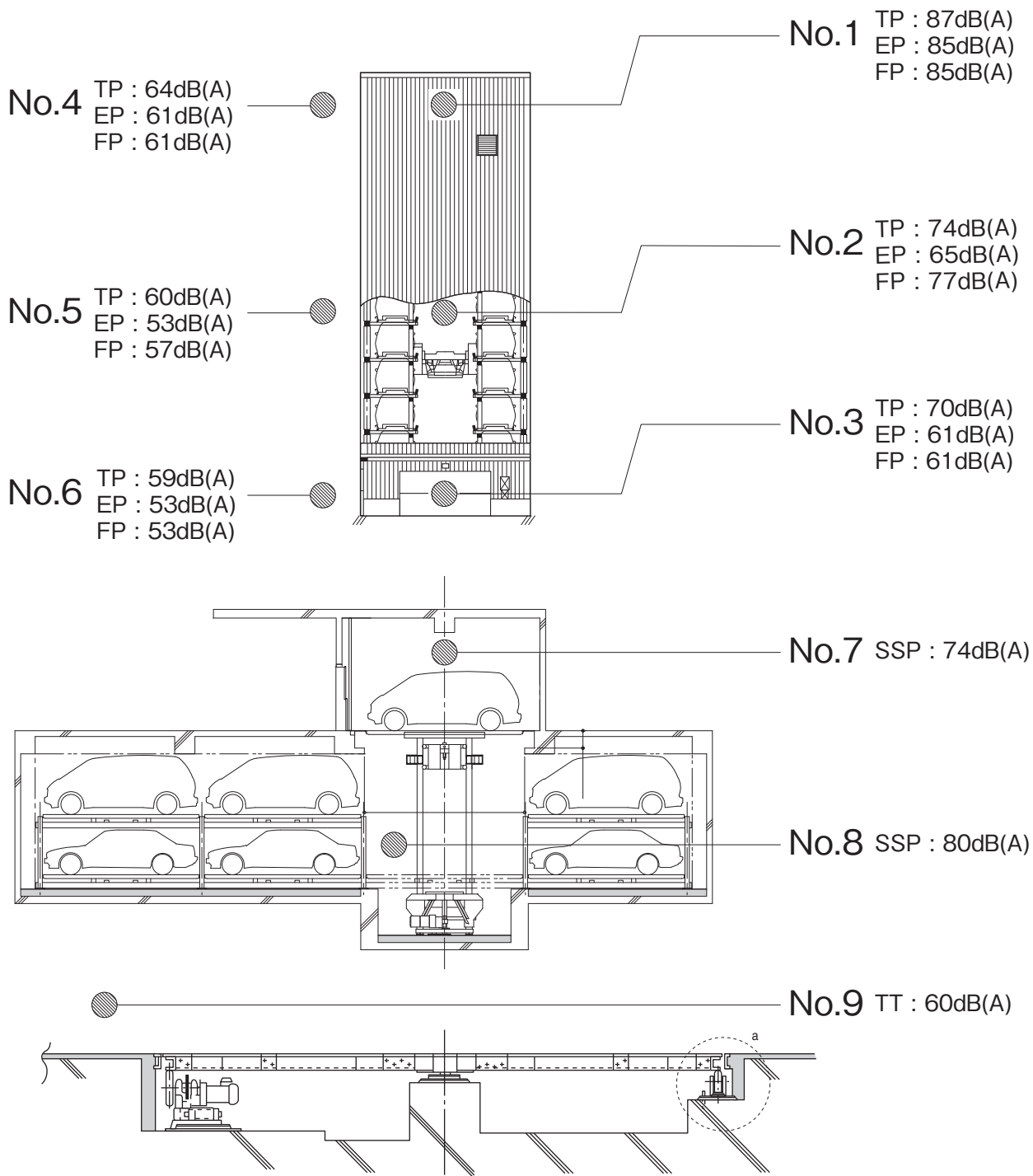
エレベータ・フォーク・タワー・  
スリッパ・スクエア・パーキング・共通

# 避雷設備・アース板(自立型)



- 注
- 1) 高さ20m以上の建築物には建築基準法により設置が義務づけられています。
  - 2) 取付は下記要領及び JIS A4201-1992により施工
  - 3) 接続端子と導線との接続はビスにて導線と固定の上、黄銅ロウ付けにて接続すること。
  - 4) 導線とアース板との接続は、銅バーを銅板の中央にリベットかしの後、銅ロウ付けを行うこと。
  - 5) 接地抵抗は 単独50Ω 総合10Ω 以下とすること。
  - 6) 露出用端子ボックスより地面側は、全て建築工事となります。

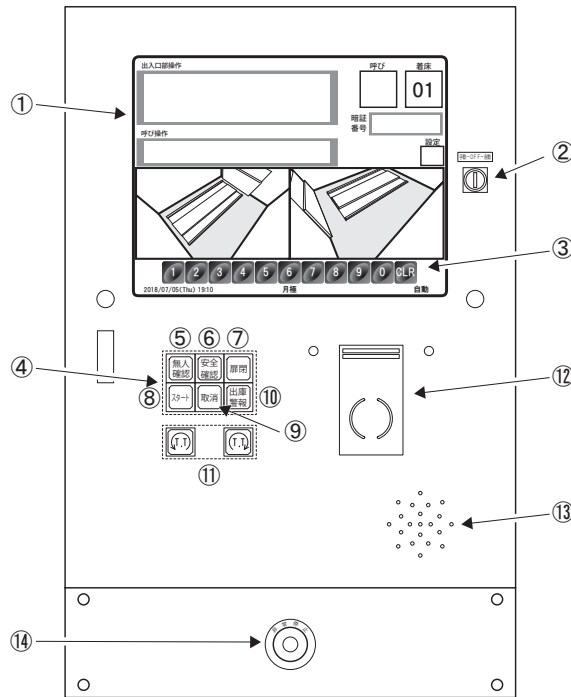
# 騒音資料



- 注記)
- ・本騒音測定は、搬器が昇降・旋回中の音を測定しています
  - ・L5 : 90%レンジの上端値
  - ・No.1～No.3 : 内部騒音値
  - ・No.4～No.6 : 外部騒音値 (外壁から1m離れた場所)
  - ・No.7～No.8 : 内部騒音値
  - ・No.9 : 外部騒音値 (床から1m離れた場所)
  - ・TP : タワーパーキング, EP : エレベータパーキング, FP : フォークパーキング, SSP : スーパースクエアパーキング, TT : ターンテーブル
  - ・騒音値は鋼板外壁時の参考値であり、外部の状況及び施工状況により異なります

# 本体操作盤

## ■ LC / 暗証式操作盤・LC / IC カード式操作盤



## ■ 運転操作ボタン・テンキー

No.	名称	概要	No.	名称	概要
	各種画面を表示します。初期画面には、運転状態・呼び番号・着床番号や操作案内が表示されます。		②	運転方式切り換えキー 	パーキングの運転方式(自動、手動)を切り替えます。パーキングを使用しない場合は、OFF にします。
①	画面	<p>呼び番号 着床番号 操作案内 監視モニター テンキー 運転状態</p> <p>在空状況に表記の記号は以下を示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ : 空車パレット</li> <li>■ : 在車パレット</li> <li>□ : 普通車 (NR) パレット</li> <li>□ : ハイルーフ車 (HR) パレット</li> <li>□ : ミドルハイルーフ (MHR) 車パレット</li> </ul>	③		暗証番号、パレット番号を入力するときに押します。間違えて押したときは[CLR]を押し、再入力します。
			④	運転操作ボタン	パーキングの運転操作をするときに押します。
			⑤		出入口扉を閉める際にパーキング内の無人を確認し押します。
			⑥		パーキングの運転を始める前にパーキング内の安全を確認し押します。
			⑦		出入口扉を閉めるときに押します。
			⑧		パーキングの自動運転を開始するときに押します。
			⑨		異常を解除するときに押します。操作の取消をするときに押します。
			⑩		出庫警報灯を作動または停止させるときに押します。(オプション)
			⑪		ターンテーブルを左、または右に旋回するときに押します。(オプション)
			⑫	カードリーダー	IC カードをかざし、データを読みとる装置です。(本体操作盤がIC カードの場合に使用します。)
			⑬	スピーカー	操作ガイドをアナウンスします。
			⑭	非常停止ボタン	非常事態が発生したとき、パーキングの運転を緊急停止させるときに押します。非常停止ボタンを押した際は、すみやかに管理者に連絡してください。

※操作手順については、各機種の取扱説明書をご覧ください。



# 消火設備 (ボンベ本数算出)

## ■ CO<sub>2</sub>の所要ガス量

CO<sub>2</sub>は、60秒以内に全量を放出できるように設計しています。

## ■ ボンベ本数の算出方法

1. パーキングシャフトの内容積および開口面積を求めます。

シャフトの内容積:  $V_1 = A \times B \times H$

ピットの内容積:  $V_2 = E \times F \times G$

パーキング内容積:  $V = V_1 + V_2$   
 $= (A \times B \times H) + (E \times F \times G)$

開口面積:  $A' = C \times D$

ピットの深さは腰壁を参照してください。

2. 容量算出係数Kを選択します。

内容量V (m <sup>3</sup> )	係数K (kg/m <sup>3</sup> )	最低限度量 (kg)
150~1,500未満	0.8	135
1,500以上	0.75	1,200

3. 基本ガス量g (kg)を求めます。

$g \text{ (kg)} = V \text{ (m}^3\text{)} \times K \text{ (kg/m}^3\text{)}$

※gが最低限度量より小さい場合は、最低限度を基本ガスとします。

4. 開口補償ガス量g' (kg)を求めます。

$g' \text{ (kg)} = A' \text{ (m}^2\text{)} \times k' \text{ (kg/m}^2\text{)}$

※駐車場の場合、開口補償係数K'は容積に関係なく5 (kg/m<sup>2</sup>)です。

5. 所要ガス量G (kg)を求めます。

$G \text{ (kg)} = g \text{ (kg)} + g' \text{ (kg)}$

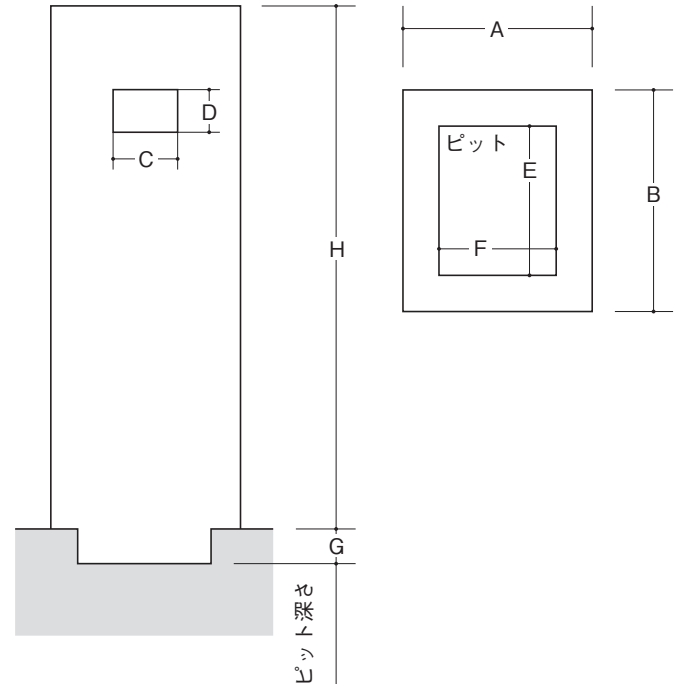
6. ボンベ本数N (本)を求めます。

ボンベ1本当たり最大55 (kg)のCO<sub>2</sub>が充填されています。

$N \text{ (本)} = G \text{ (kg)} \div 55 \text{ (kg)}$  ……小数点以下は切上げ

7. 放出ガス量TGを求めます。

$TG \text{ (kg)} = 55 \text{ (kg)} \times N \text{ (本)}$



計算例) JN1D - 34 - I - EP (180°)

1. パーキングシャフト容積

$V_1$ : シャフト内容積      $V_2$ : ピット内容積

$V$ : パーキング内容積      $A'$ : 開口面積

$V_1 = A \text{ (m)} \times B \text{ (m)} \times C \text{ (m)}$

$= (6.6 + 0.215 \times 2) \times (5.84 + 0.215 + 0.415) \times 31$   
 $= 1410.00 \text{ [m}^3\text{]}$

$V_2 = 20.04 \text{ [m}^3\text{]}$

$V = V_1 + V_2 = 1430.04 \text{ [m}^3\text{]}$

$A' = 0.9 \times 0.9 = 0.81 \text{ [m}^2\text{]}$

2. 容量算出係数K

$K = 0.8$

3. 基本ガス量g (kg)

$g \text{ (kg)} = V \text{ (m}^3\text{)} \times K \text{ (kg/m}^3\text{)} = 1430.04 \times 0.8 = 1144.03 \text{ (kg)}$

4. 開口補償ガス量g' (kg)

$g' \text{ (kg)} = A' \text{ (m}^2\text{)} \times K' \text{ (kg/m}^2\text{)} = 0.81 \times 5 = 4.05 \text{ (kg)}$

5. 所要ガス量G (kg)

$G \text{ (kg)} = g \text{ (kg)} + g' \text{ (kg)} = 1144.03 + 4.05$   
 $= 1148.08 \text{ (kg)}$

6. ボンベ本数N (本)

$N \text{ (本)} = G \text{ (kg)} \div 55 \text{ (kg)} = 1148.08 \div 55$   
 $= 20.87 \quad \therefore N = 21 \text{ (本)}$

7. 放出ガス量TG

$TG \text{ (kg)} = 55 \text{ (kg)} \times N \text{ (本)} = 55 \times 21$   
 $= 1155 \text{ (kg)}$

# ボンベ室の設計

## ■窒素消火設備の所要ガス量

窒素は、60秒以内に全量を放出できるように設計しています。

## ■ボンベ本数の算出方法

- 1) パーキングシャフトの内容積を求めます。  
パーキングシャフトの内容積の算出方法は、7-16をご参照ください。
- 2) 消火剤量 $W(m^3)$ を求めます。  
 $W(m^3) = V(m^3) \times 0.52(m^3/m^3)$
- 3) ボンベ本数 $N(本)$ を求めます。  
ボンベ1本あたり最大 $20.3(m^3)$ の窒素が充填されています。  
 $N(本) = 1 + W(m^3) \div 20.3(m^3)$  …小数点以下は切り上げ

## ■ボンベ室の製作基準

- 1) 雨漏りがなく、通風の良い構造とします。(ガラリ程度)
- 2) 土間はコンクリートでGL+100とします。
- 3) 出入口にはドア(外開き)をつけ、「CO<sub>2</sub>・ボンベ室」「関係者以外立入禁止」を明示します。
- 4) 出入口には、ドアチェック(ストッパー無し)を付けます。
- 5) 照明灯スイッチを付けます。

## ■ボンベ室の設置場所

- 1) 防護区画以外の場所。
  - 2) 温度40℃以下で温度変化の少ない場所。
  - 3) 直射日光および雨水のかかる恐れが少ない場所。
- 注) CO<sub>2</sub>ボンベは1本当たり130kgの重量があり、消火作業後または定期検査時の充填量不足等の場合に交換を要するため、搬入・搬出作業の容易な場所を選ぶ必要があります。たとえば、地下または1階以外の地上階にボンベ室を設ける場合は、荷物用エレベータを利用できる階とするなどの考慮が必要です。

## ■ボンベ室からパーキングまでのガスおよび電気用配管工事について

- 1) 埋設する場合の埋込深さ  
車の通る所-----1.2m以上  
車の通らない所-----0.6m以上
- 2) ビルの梁・壁を貫通する場合  
ガス配管用-----φ100～φ150のスリーブを埋設  
電気配管用-----φ50～φ100のスリーブを埋設

## ■ハロン1301消火設備の所要ガス量

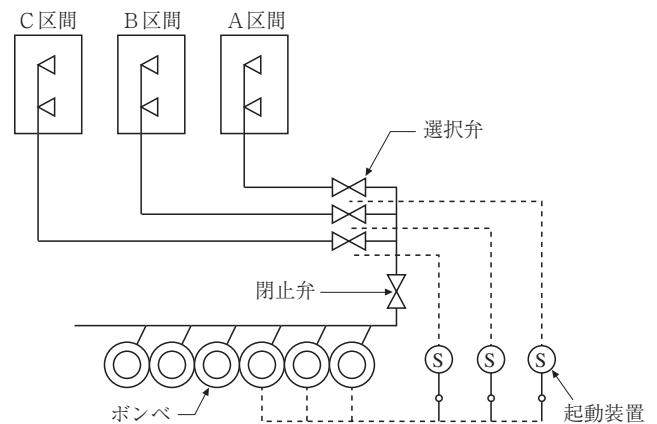
ハロン1301は、30秒以内に全量を放出できるように設計しています。

## ■ボンベ本数の算出方法

- 1) パーキングシャフトの内容積を求めます。  
パーキングシャフトの内容積の算出方法は、7-16をご参照ください。
- 2) 消火剤量 $G(kg)$ を求めます。  
 $G(kg) = V(m^3) \times 0.32(kg/m^3)$
- 3) ボンベ本数 $N(本)$ を求めます。  
ボンベ1本あたり最大 $50(kg)$ のハロン1301が充填されています。  
 $N(本) = G(kg) \div 50(kg)$  …小数点以下は切り上げ

## ■共用分配について

- 1) 防護区画が2ヶ所以上ある場合は、所要ガス量の最も大きい区画のガス量のみとする事ができます。(各区画ごとにボンベを用意する必要はありません)
- 2) 共用分配する場合は、区画ごとに選択弁を設けます。(下図参照)



## ■防護区画について

- 1) 防護区画の扉は、甲種または乙種防火扉とします。また、常閉を保つため、ドアチェック付ストッパー無しとします。
- 2) 防護区画の2方向避難を確保します。(所轄消防で確認が必要です。)
- 3) 非常用エレベータの乗降ロビー、階段などに防護区画の開口部(出入口扉など)が面さないようにします。
- 4) 防護区画にガラスを用いる場合は、網入りガラス、線入りガラス、または、普通ガラスで厚さ4mm以上とします。
- 5) 防護区画の空調ダクトは、消火剤放出の際に閉鎖できるダンパー(遠隔復旧型)を設けます。


# ボンベ室寸法

CO<sub>2</sub> ボンベ本数早見表 (エレベータパーキング・タワーパーキング)

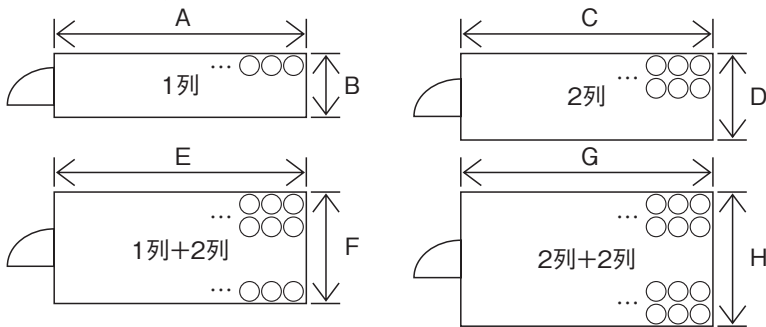
(本)

全高	エレベータパーキング ターンテーブル内蔵			タワーパーキング		タワーパーキングターンテーブル内蔵型	
	N	G	L	N	G	N	G
12m	8	9	10	7	8	8	9
14m	10	11	11	8	9	9	10
16m	11	12	12	10	10	10	11
18m	12	13	14	11	11	12	12
20m	14	15	15	12	13	13	14
22m	15	16	17	13	14	14	15
24m	16	18	18	14	15	15	16
26m	17	19	20	15	16	16	18
28m	19	20	21	16	17	17	19
30m	20	22	23	17	19	19	20
32m	22	23	23	19	20	20	22
34m	23	23	24	20	21	21	23
36m	23	25	26	21	22	22	23
38m	25	26	27	22	23	23	24
40m	26	27	28	22	23	23	25

※1.ボンベ本数は、外壁・柱サイズにより異なる場合があります

※2.  部分は、ガス量計算係数が0.75の場合を示します

CO<sub>2</sub> ボンベ室必要内早見表



貯蔵容器  
82.5L / 55kg  
(充填量=1本55kg)

ガス量計算係数  
1,500m<sup>3</sup>未満=0.8  
1,500m<sup>3</sup>以上=0.75  
※ただし基本ガス量が1,200kg未満となる場合は0.8

(mm)

ボンベ本数	A	B	C	D	E	F	G	H
10	4,400	1,000	2,900	1,250	2,600	1,650	2,300	1,900
11	4,800	1,000	3,200	1,250	2,600	1,650	2,300	1,900
12	5,100	1,000	3,200	1,250	2,600	1,650	2,300	1,900
13	5,400	1,000	3,500	1,250	2,900	1,650	2,600	1,900
14	5,700	1,000	3,500	1,250	2,900	1,650	2,600	1,900
15	6,000	1,000	3,800	1,250	2,900	1,650	2,600	1,900
16	6,300	1,000	3,800	1,250	3,200	1,650	2,600	1,900
17	6,600	1,000	4,100	1,250	3,200	1,650	2,900	1,900
18	6,900	1,000	4,100	1,250	3,200	1,650	2,900	1,900
19	7,200	1,000	4,400	1,250	3,500	1,650	2,900	1,900
20	7,500	1,000	4,400	1,250	3,500	1,650	2,900	1,900
21	7,900	1,000	4,800	1,250	3,500	1,650	3,200	1,900
22	8,200	1,000	4,800	1,250	3,800	1,650	3,200	1,900
23	8,500	1,000	5,100	1,250	3,800	1,650	3,200	1,900
24	8,800	1,000	5,100	1,250	3,800	1,650	3,200	1,900
25	9,100	1,000	5,400	1,250	4,100	1,650	3,500	1,900
26	9,400	1,000	5,400	1,250	4,100	1,650	3,500	1,900
27	9,700	1,000	5,700	1,250	4,100	1,650	3,500	1,900
28	10,000	1,000	5,700	1,250	4,400	1,650	3,500	1,900
29	10,300	1,000	6,000	1,250	4,400	1,650	3,800	1,900
30	11,000	1,000	6,000	1,250	4,400	1,650	3,800	1,900
31	11,300	1,000	6,300	1,250	4,800	1,650	3,800	1,900
32	11,600	1,000	6,300	1,250	4,800	1,650	3,800	1,900
33	11,900	1,000	6,600	1,250	4,800	1,650	4,100	1,900
34	12,200	1,000	6,600	1,250	5,100	1,650	4,100	1,900
35	12,500	1,000	6,900	1,250	5,100	1,650	4,100	1,900

※1.連立で計画の場合は、A、C、E、Gいずれかに選択弁寸法が加算されます。

2基連立の場合、+900mm。3基連立の場合、+1,250mm。

4~5基連立の場合、+1,950mm。6基連立の場合、+2,300mm。

※2.ボンベ室必要高さは2,500mm以上となります。

# 各地区特色表

		アイルーフ	壁樋 (SGP)	壁樋上下2m ヒーティング	欄排水 (EP)	水タンク付 パレット	パレット塗装	チェーンドライブ方式 ターンテーブル	壁高 1,000m/m	笠木ヒーティング 100V 0.3KVA/10m	4横扉下レール ヒーティング 100V 0.3KVA/10m	ターンテーブル ヒーティング 100V 1KVA/本	外装：鋼板不可 →ALC50	排水管2本 / 基
電源容量		—	—	100V 1KVA/本	—	—	—	—	—	100V 0.3KVA/10m	100V 0.3KVA/10m	100V 1KVA/本	—	—
目的		雨漏れ対策	樋の凍結防止		融雪の落水防止		錆対策 (融雪剤・塩害)	凍結による 回転不能防止	雪解け水の 浸入防止	雪庇防止	凍結による 作動不能防止	ターンテーブル 上の ヒーティング	錆対策	火山灰対策
北海道	札幌	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	旭川	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	小樽	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	釧路	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
東北	函館	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	青森	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	青森	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	青森	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	青森	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	青森	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	青森	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	青森	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	岩手	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	岩手	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	宮城	△	△	△	△	△	△	△	△		△			
	秋田	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	山形	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	山形	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
関東	福島	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	福島	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	茨城	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	栃木	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	群馬	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	埼玉	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	千葉	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	東京	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	神奈川	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	新潟	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
北陸	富山	△	△	△	△	△	△	△	△		△			
	石川	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	福井	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	山梨	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	長野	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	長野	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	長野	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	長野	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	岐阜	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	静岡	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
東海	愛知	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	三重	△	△	△	△	△	△	△	△		△			
	滋賀	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	京都	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	大阪	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	兵庫	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
近畿	奈良	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	和歌山	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	鳥取	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	島根	△	△	△	△	△	△	△	△		△			
	岡山	△	△	△	△	△	△	△	△		△			
	広島	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
中国	山口	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	徳島	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	香川	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	愛媛	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
四国	高知	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	福岡	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	佐賀	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	長崎	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
九州	熊本	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	大分	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	宮崎	○	○	○	○	○	○	○	○		○			
	鹿児島	○	○	○	○	○	○	○	○		○			

要望がある場合のみ設置する

ターンテーブル上に底がなくターンテーブル廻りがロードヒーティングされている場合に設置する

※○マークは採用、△マークは要打合せ

# 自動車の直角回転軌跡

## 前進入庫（エレベータパーキング）

### ■直角轉向軌跡

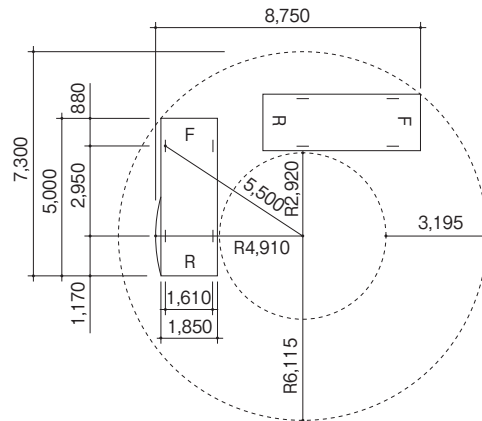
本図は自動車が直角に向きを変える時の運転軌跡を示します。この図は仮想の自動車が最小回転半径で曲がった時の理論図形のため、実際はこれにプラスアルファとして考える必要があります。

駐車場法施行令第8条、車路に関する規正のうち、屈曲部については自動車が5m以上の内り半径で回転できる構造とする事がきめられています。但し、建築物である路外駐車場に適用されます。

## N

設定条件 (mm)

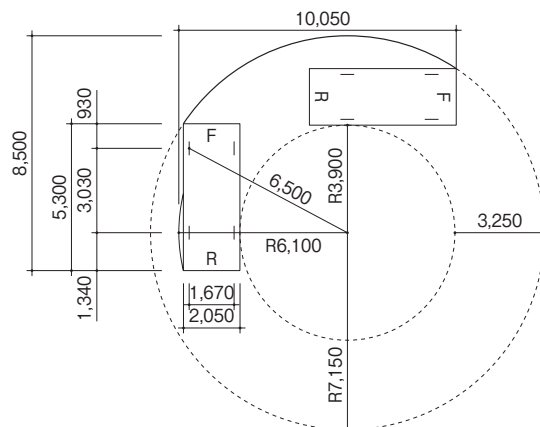
全長	5,000
全幅	1,850
ホイールベース	2,950
トレッド	1,610
オーバーハング前	880
オーバーハング後	1,170
最小回転半径	5,500



## G

設定条件 (mm)

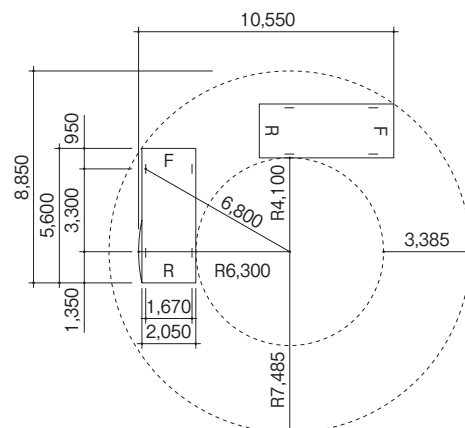
全長	5,300
全幅	2,050
ホイールベース	3,030
トレッド	1,670
オーバーハング前	930
オーバーハング後	1,340
最小回転半径	6,500



## L

設定条件 (mm)

全長	5,600
全幅	2,050
ホイールベース	3,300
トレッド	1,670
オーバーハング前	950
オーバーハング後	1,350
最小回転半径	6,800

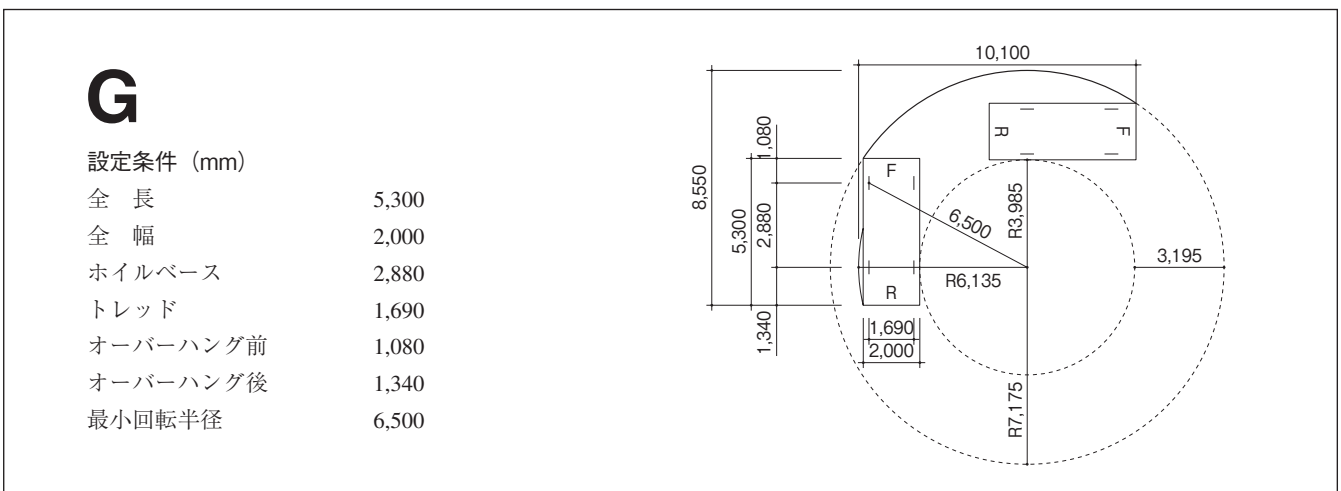
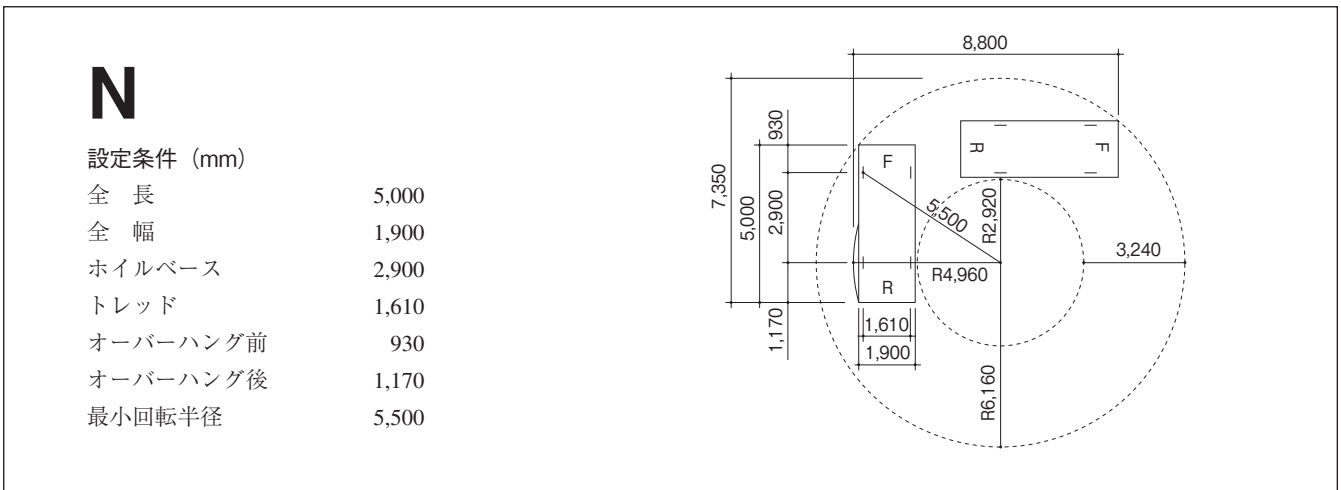


前進入庫（フォークパーキング）

■直角轉向軌跡

本図は自動車が直角に向きを変える時の運転軌跡を示します。この図は仮想の自動車が最小回転半径で曲がった時の理論図形のため、実際はこれにプラスアルファとして考える必要があります。

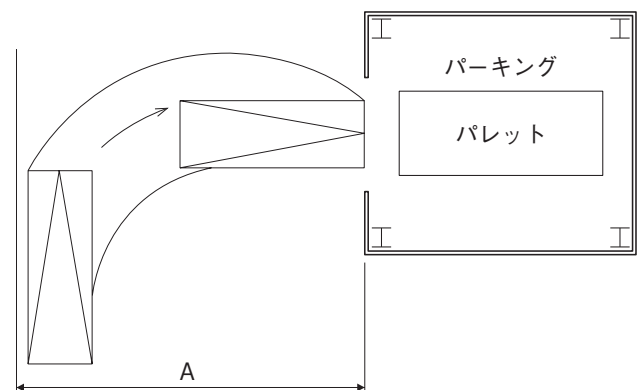
駐車場法施行令第8条、車路に関する規正のうち、屈曲部については自動車が5m以上の内のり半径で回転できる構造とする事が定められています。但し、建築物である路外駐車場に適用されます。



■前面スペース（共通）

機械式駐車場の前面にターンテーブルを用いないで、90° 方向転換をして着床パレットに車を乗り入れる（きりかえし運転をしない）には機械式駐車場の前面には右図のような空地が必要となります。

型式	最小A寸法
N	9,100 mm
G	11,000 mm
L	11,000 mm



7  
エレベータ・フォーク・タワー・エアパーク・タワール・共通

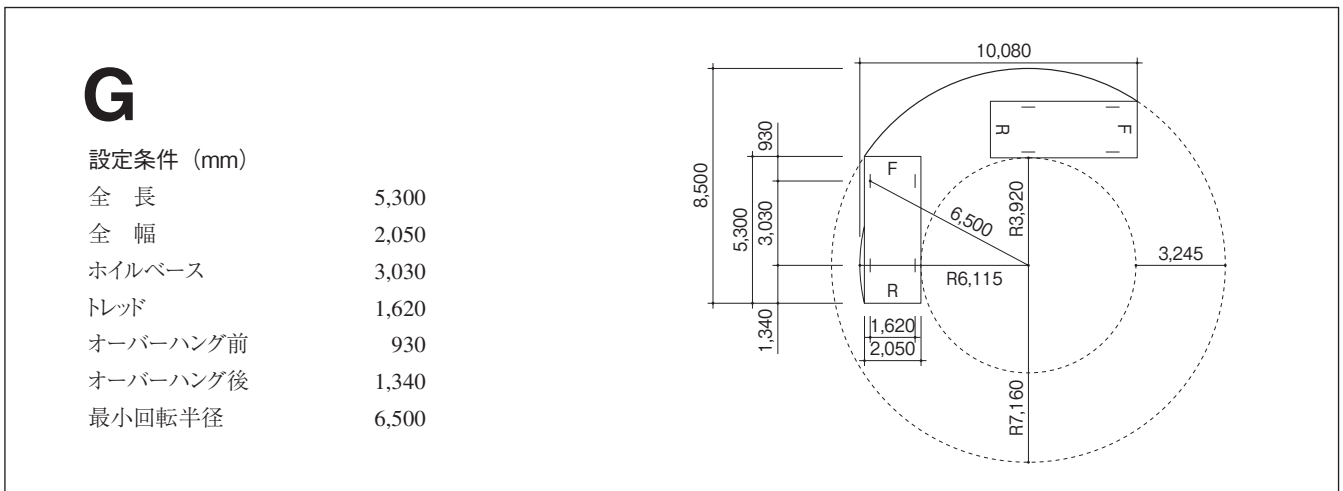
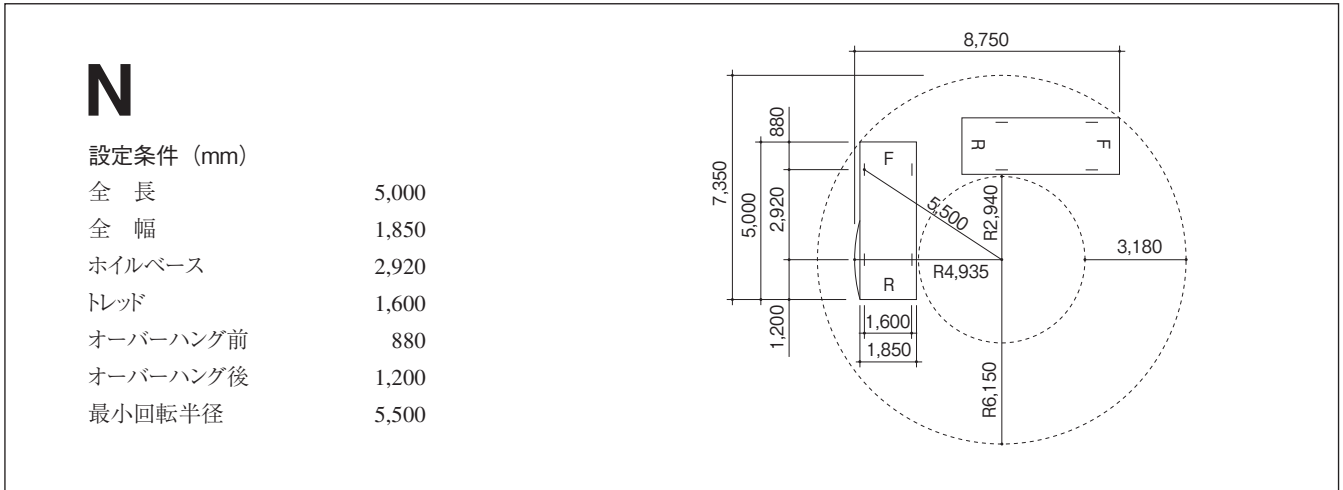
# 自動車の直角回転軌跡

## 前進入庫（タワーパーキング）

### ■直角轉向軌跡

本図は自動車が直角に向きを変える時の運転軌跡を示します。この図は仮想の自動車が最小回転半径で曲がった時の理論図形のため、実際はこれにプラスアルファとして考える必要があります。

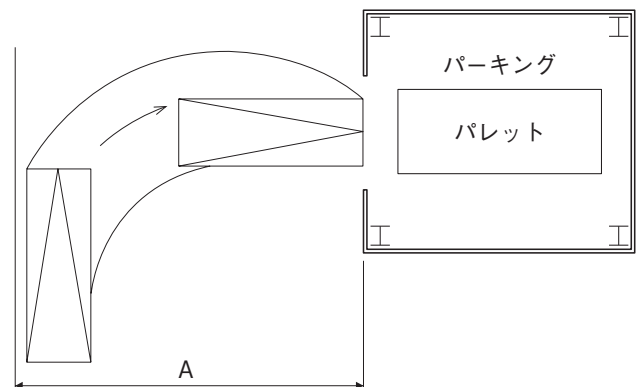
駐車場法施行令第8条、車路に関する規正のうち、屈曲部については自動車が5m以上の内り半径で回転できる構造とする事がきめられています。但し、建築物である路外駐車場に適用されます。



### ■前面スペース（共通）

機械式駐車場の前面にターンテーブルを用いなくて、90°方向転換をして着床パレットに車を乗り入れる（きりかえし運転をしない）には機械式駐車場の前面には右図のような空地が必要となります。

型式	最小A寸法
N	9,100 mm
G	11,000 mm



7 エレベータ・フォーク・タワー・共通

## 前進入庫（スーパースクエアパーキング）

### ■直角轉向軌跡

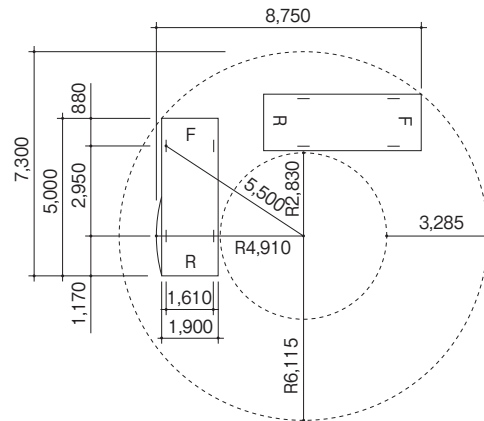
本図は自動車直角に向きを変える時の運転軌跡を示します。この図は仮定の自動車が最小回転半径で曲がった時の理論図形のため、実際はこれにプラスアルファとして考える必要があります。

駐車場法施行令第8条、車路に関する規正のうち、屈曲部については自動車が5m以上の内り半径で回転できる構造とする事がきめられています。但し、建築物である路外駐車場に適用されます。

## N

設定条件 (mm)

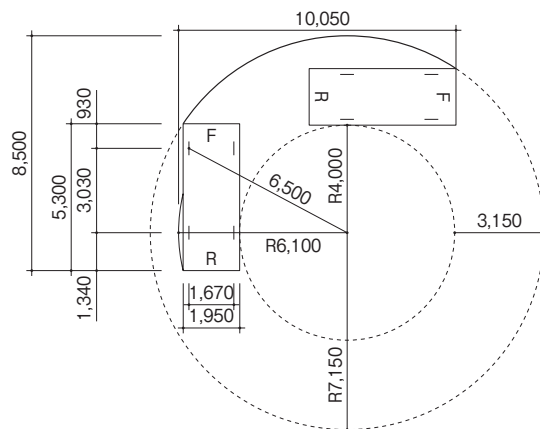
全長	5,000
全幅	1,900
ホイールベース	2,950
トレッド	1,610
オーバーハング前	880
オーバーハング後	1,170
最小回転半径	5,500



## G

設定条件 (mm)

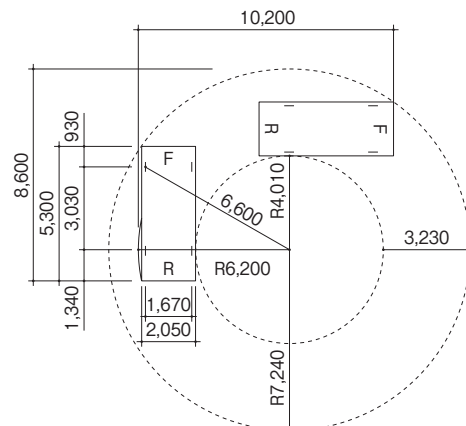
全長	5,300
全幅	1,950
ホイールベース	3,030
トレッド	1,670
オーバーハング前	930
オーバーハング後	1,340
最小回転半径	6,500



## GL

設定条件 (mm)

全長	5,300
全幅	2,050
ホイールベース	3,030
トレッド	1,670
オーバーハング前	930
オーバーハング後	1,340
最小回転半径	6,600





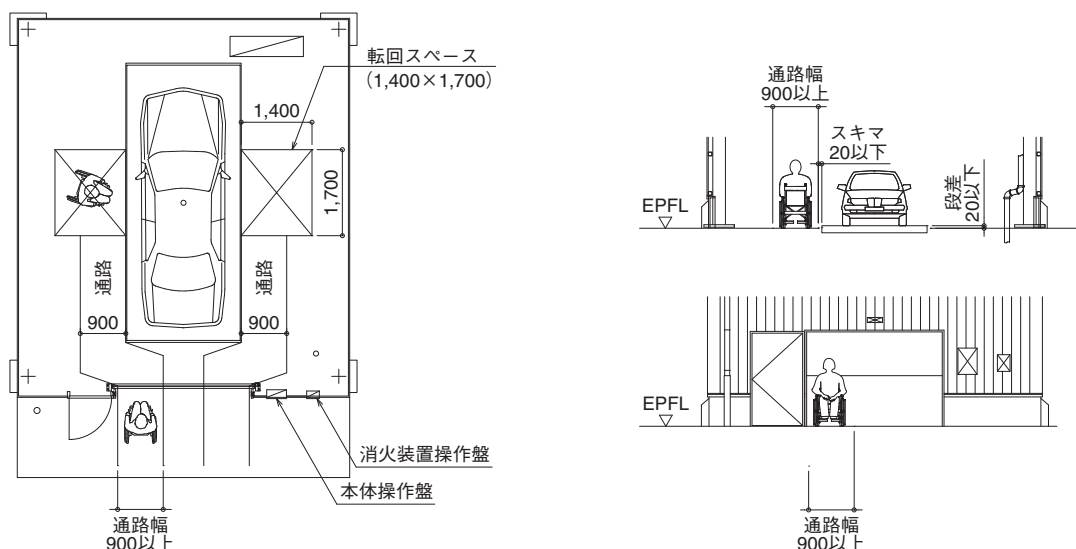
# 車椅子使用者対応図

## 車椅子使用者対応について

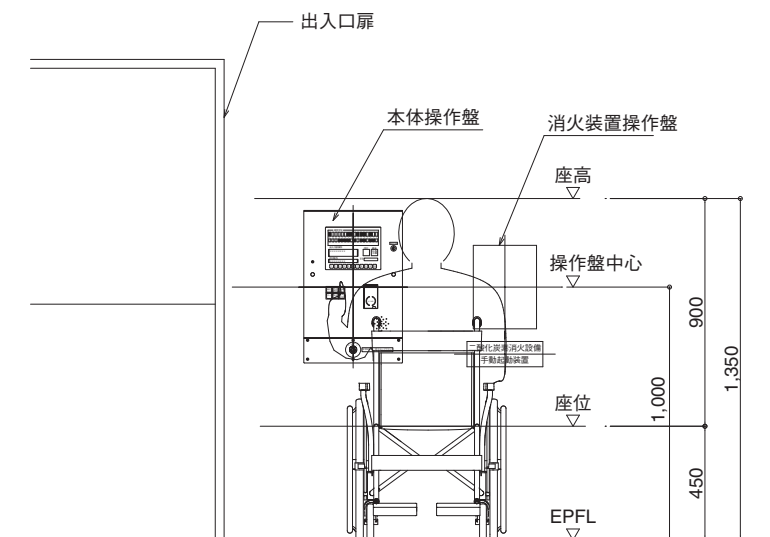
項目	内容
前庭	自動車1台分と左右に車椅子による乗降空地確保が必要 前庭は、自動車の両側方に、奥行（車長方向）が1700mm以上、幅（車幅方向）が1400mm以上の自動車への乗降部分を確保する。
乗降領域の人の通路	幅900mm以上 車椅子転回スペース1400mm x 1700mm以上
乗降領域の床面	通路とする床の隙間20mm以下 通路とする床面の段差20mm以下 (段差が20mmを超え160mmまでは1/8以下の勾配、これを越える段差では1/12以下の勾配の傾斜路とする)
扉の開口寸法	車椅子使用者が使用する可能性のある扉は、幅900mm以上、高さが1900mm以上とする。
非常停止	乗降領域の通路部分の非常停止機器は、2000mm以下の間隔で、床面から1000mm程度の高さに設ける。

※機械式駐車場技術基準・同解説2017年版より抜粋

### ■平面配置図・断面図



### ■車椅子からの操作状況



7

エレベータ・フォーク・タワー・スキップ・エアパーク・キング・共通

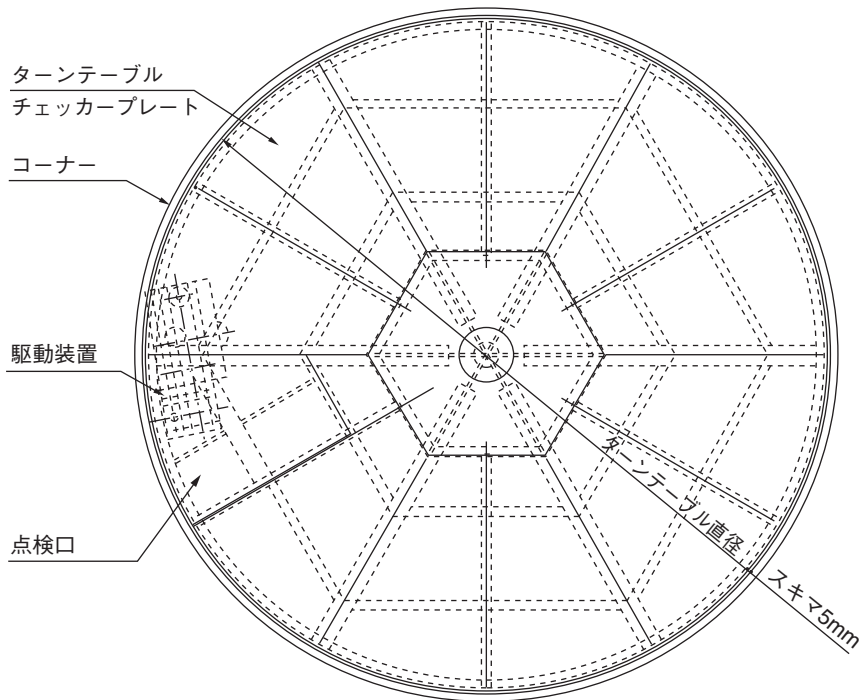
# 8

## ターンテーブル

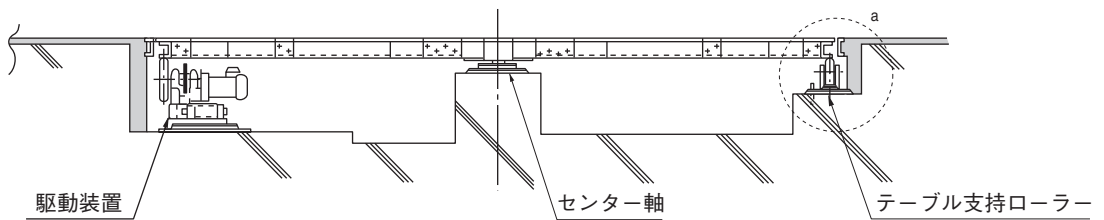
ターンテーブル T.T-□.□ (方向転換装置) .....	8-2
自動車の回転軌跡 .....	8-4

# T.T- □ . □ (方向転換装置)

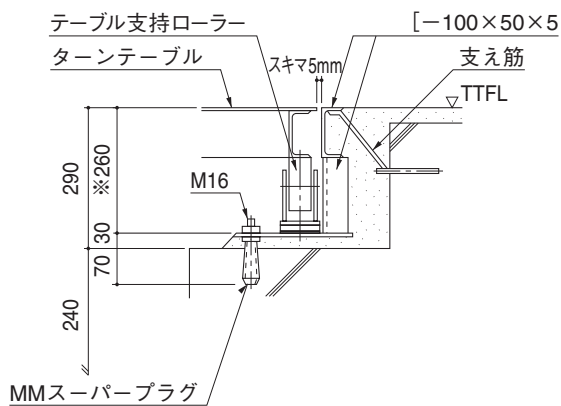
■ ターンテーブル



平面図



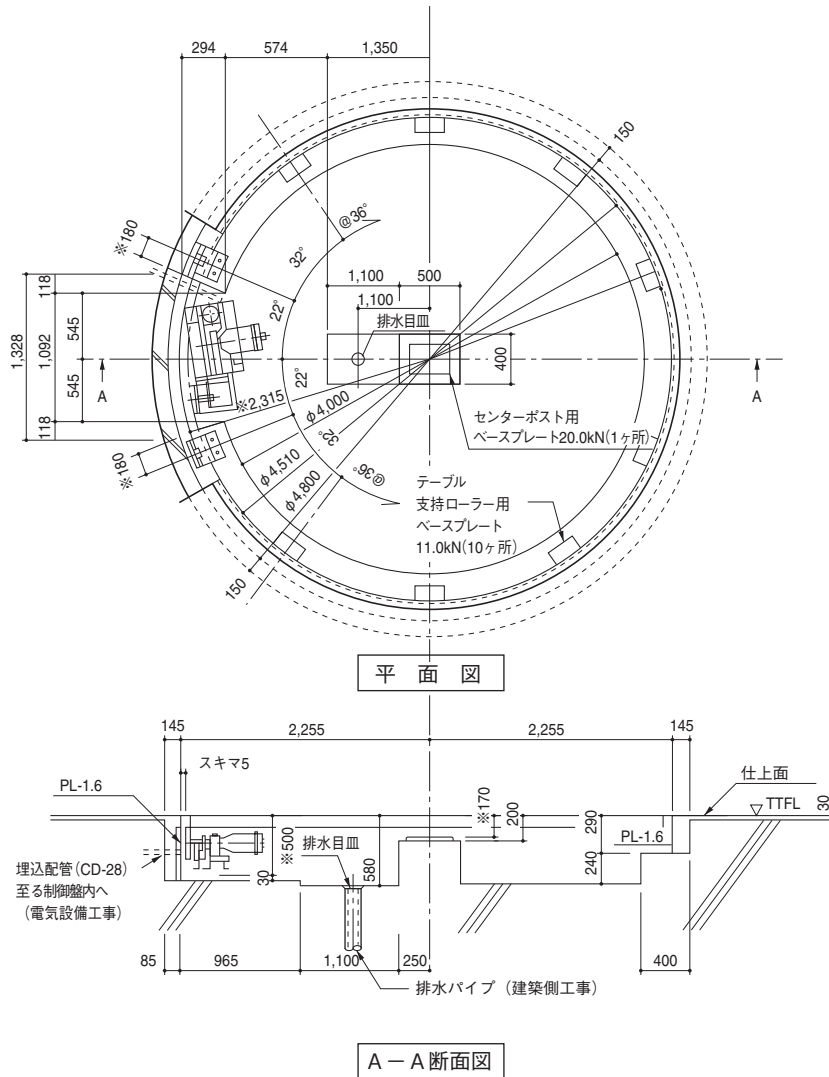
断面図



a部 テーブル支持ローラー部詳細図

※印寸法は厳守してください。

■基礎 (4.5m)



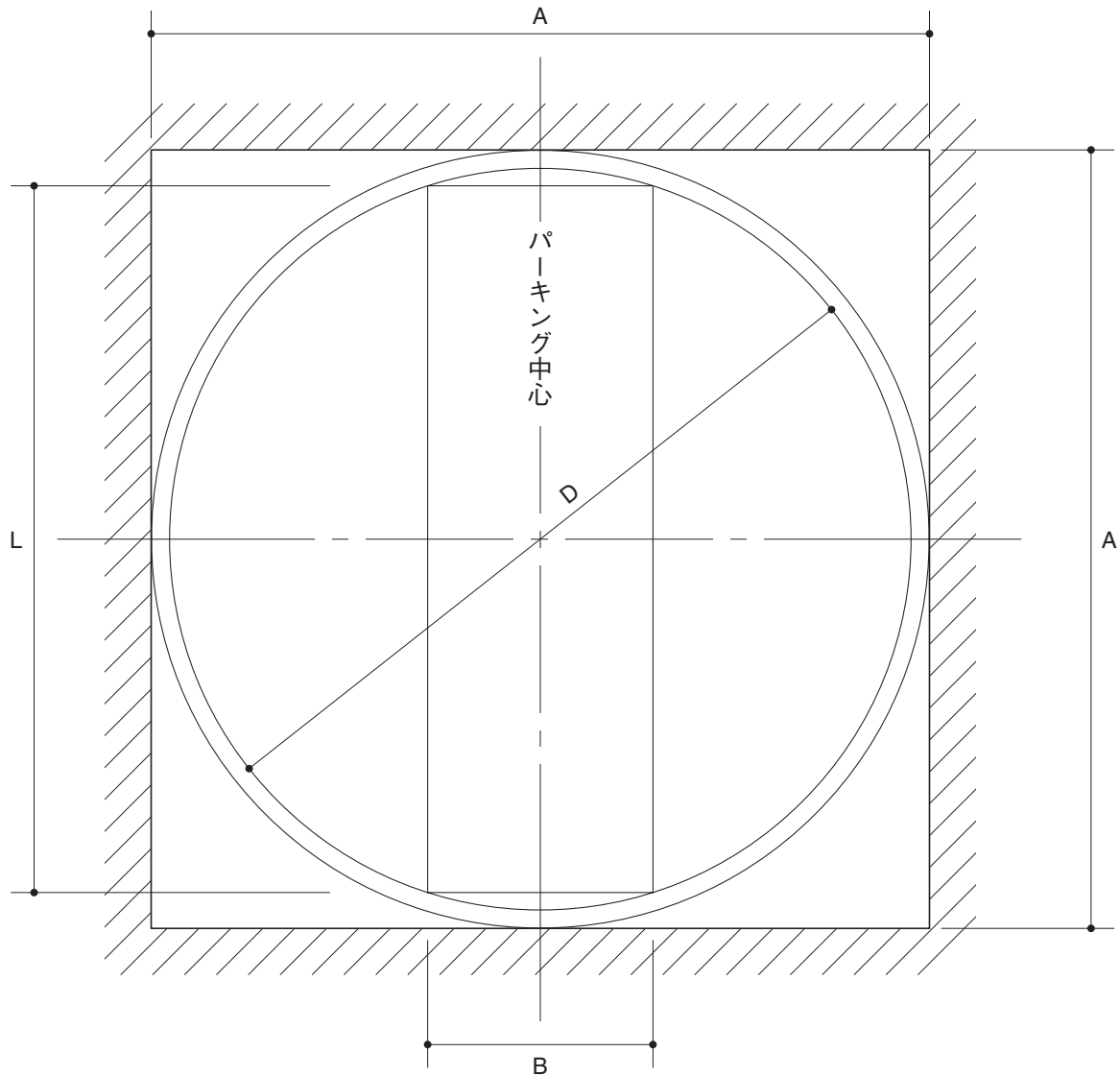
※印寸法は厳守してください。

■標準仕様

ターンテーブル直径	φ 4,000m/m	φ 4,500m/m
許容積載量	2,500kg※	
回転速度 50/60Hz	1.43/1.72 r.p.m	1.27/1.52 r.p.m
電動機	0.4kW 4P	
電源	AC200/200V	
電源容量	1.5KVA/基	
運転方式	押ボタン式	
基礎荷重	センター軸部	20.0kN
	支持ローラー	各11.0kN (10カ所)
	全重量	35.3kN (定格荷重時)
基礎荷重	センター軸部	20.0kN
	支持ローラー	各11.0kN (10カ所)
	全重量	35.3kN (定格荷重時)

※積載量が2,500kgを超える場合は、別途ご相談ください。

# 自動車の回転軌跡



		N	G
余裕を見込んだ自動車の長さ	L	5,300 m/m	5,600 m/m
余裕を見込んだ自動車の幅	B	2,100 m/m	2,350 m/m
自動車の回転軌跡直径	D	5,900 m/m	6,300 m/m
必要な壁面内法	A	6,100 m/m	6,500 m/m

- 注1) LおよびB寸法はターンテーブル中心に対する自動車中心のずれの余裕を見込んだ寸法です。  
 2) 駐車装置の出入口とターンテーブルの中心がずれているなど特殊用途の際は、上記以上の余裕が必要です。  
 3) 自動車の回転軌跡と壁面のすきまは100 m/mとします。

# 9

## 自走式パーキング

自走式パーキングの概要.....	9-2
IK パーク F1 型 展開パターン図.....	9-4
IK パーク F 型 展開パターン図.....	9-6
IK パーク K 型 展開パターン図.....	9-8
IK パーク K4 型 展開パターン図.....	9-10
IK パーク K5 型 展開パターン図.....	9-12
IK パーク K6 型 展開パターン図.....	9-14

# 自走式パーキングの概要

自走式パーキングは、在来駐車場と認定駐車場に分類されます。

## ■在来駐車場とは…

在来駐車場とは、建築基準法に基づきます。過去 150 件余りの実績を有し、土地の諸条件に最適な計画・施工が可能です。

## ■認定駐車場とは…

認定駐車場とは、建築基準法第 68 条の 10 又は第 68 条の 26 に基づき、国土交通省大臣の認定を取得した自走式駐車場を指します。

1 層 2 段型から建設され始めた当初は、建築基準法上は工作物として設置されたが、平成 2 年 11 月に建設省から「1 層 2 段の自走式自動車庫に関する安全性評価等指針」が通達されたことにより、旧建築基準法第 38 条の認定に基づく建築物として扱われることとなりました。

これにより、建築に際しては建築確認申請が必要となりました。

以降、2 層 3 段・3 層 4 段が認定対象に加わり、構造基準及び防災性能について緩和処置が適用となり、コストダウンが進み市場拡大に貢献しました。

平成 12 年 6 月の建築基準法改正により、法 38 条から法 68 条に移行されました。

認定の高層化が進み、認定対象は現在 6 層 7 段までに至りました。

更に、平成 19 年 6 月の建築基準法改正を経て、認定駐車場の優位性が確立されました。

## ■建築概要表

IKパークF 1 型		
規 模	階 数	1階 (1層2段)
	延 面 積	472.20㎡~4,000.00㎡
	最 高 部 高 さ	屋根床版高さ+手摺高さ=2.9m+1.5m=4.4m
	階 高	2.9m
使 用 条 件	地盤の長期地耐力	30、50、70kN/㎡以上
	垂直最深積雪量	30cm
	指 定 車 種	車両総重量が2t以下の乗用自動車
供 給 地 域		全国 (多雪区域及び沖縄県を除く)

IKパークF型					
規 模	階 数	2階 (2層3段)			
	延 面 積	2,259.26㎡	各階床面積	1階	1,129.63㎡~4,000.00㎡
		8,000.00㎡		2階	1,129.63㎡~4,000.00㎡
	最 高 部 高 さ	屋根床版高さ+手摺高さ=5.7m+1.5m=7.2m			
	各 階 の 高 さ	1階	2.9m		
2階		2.8m			
使 用 条 件	地盤の長期地耐力	30kN/㎡以上			
	垂直最深積雪量	30cm			
	指 定 車 種	車両総重量が2t以下の乗用自動車			
供 給 地 域		全国 (多雪区域を除く)			

IKパークK型					
規 模	階 数	2階 (2層3段)			
	延 面 積	1,856.58㎡	各階床面積	1階	928.29㎡~4,000.00㎡
		8,000.00㎡		2階	928.29㎡~4,000.00㎡
	最 高 部 高 さ	屋根床版高さ+手摺高さ=8.85m+1.5m=10.35m			
	各 階 の 高 さ	1階	2.95m		
2階		2.95m			
使 用 条 件	地盤の長期地耐力	30kN/㎡以上			
	垂直最深積雪量	30cm			
	指 定 車 種	車両総重量が2t以下の乗用自動車			
供 給 地 域		全国 (多雪区域を除く)			

IKパークK4型					
規模	階数	4階 (4層5段)			
	延面積	1,918.44㎡ 16,000.00㎡	各階床面積	1階	479.61㎡～4,000.00㎡
				2階	479.61㎡～4,000.00㎡
				3階	479.61㎡～4,000.00㎡
				4階	479.61㎡～4,000.00㎡
最高部高さ	屋根床版高さ+防火塙高さ=16.75m+1.5m=18.25m				
各階の高さ	1階	3.05m～3.35m @0.05m	3階	3.05m～3.35m @0.05m	
	2階	3.05m～3.35m @0.05m	4階	3.05m～3.35m @0.05m	
使用条件	地盤の長期地耐力	—			
	垂直最深積雪量	100cm (単位重量=20N/㎡/cm)			
	指定車種	構造床部：車両総重量2.0t以下の乗用自動車 地盤面及び土間床部：車両総重量2.5t以下の乗用自動車			
供給地域	全国				

IKパークK4F型					
規模	階数	4階 (4層5段)			
	延面積	1,869.60㎡ 16,000.00㎡	各階床面積	1階	511.68㎡～4,000.00㎡
				2階	511.68㎡～4,000.00㎡
				3階	511.68㎡～4,000.00㎡
				4階	511.68㎡～4,000.00㎡
最高部高さ	屋根床版高さ+最高手摺高さ=17.75m+1.8m=19.55m以下				
各階の高さ	1階	3.05m～3.55m @0.05m	3階	3.05m～3.55m @0.05m	
	2階	3.05m～3.55m @0.05m	4階	3.05m～3.55m @0.05m	
使用条件	地盤の長期地耐力	—			
	垂直最深積雪量	屋上駐車利用時 200cm (単位重量=30N/㎡/cm) 屋上駐車閉鎖時 300cm (単位重量=30N/㎡/cm)			
	指定車種	構造床部：車両総重量2.0t以下の乗用自動車 地盤面及び土間床部：車両総重量2.5t以下の乗用自動車			
供給地域	全国				

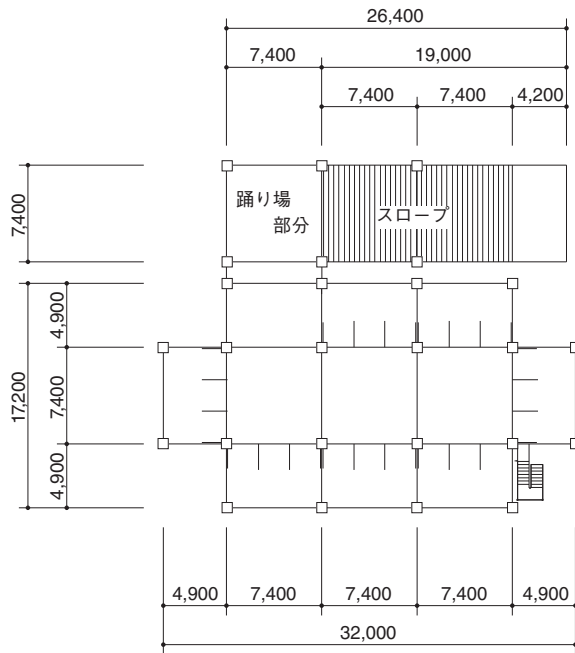
IKパークK5型					
規模	階数	5階 (5層6段)			
	延面積	2,457.60㎡ 20,000.00㎡	各階床面積	1階	491.52㎡～4,000.00㎡
				2階	491.52㎡～4,000.00㎡
				3階	491.52㎡～4,000.00㎡
				4階	491.52㎡～4,000.00㎡
5階				491.52㎡～4,000.00㎡	
最高部高さ	屋根床版高さ+最高手摺高さ=20.30m+1.8m=22.10m以下				
各階の高さ	1階	3.05m～3.55m @0.05m	4階	3.05m～3.55m @0.05m	
	2階	3.05m～3.55m @0.05m	5階	3.05m～3.55m @0.05m	
	3階	3.05m～3.55m @0.05m			
使用条件	地盤の長期地耐力	—			
	垂直最深積雪量	100cm (単位重量=20N/㎡/cm)			
	指定車種	構造床部：車両総重量2.0t以下の乗用自動車 地盤面及び土間床部：車両総重量2.5t以下の乗用自動車			
供給地域	全国				

IKパークK6型					
規模	階数	6階 (6層7段)			
	延面積	2,113.56㎡ 24,000.00㎡	各階床面積	1階	352.26㎡～4,000.00㎡
				2階	352.26㎡～4,000.00㎡
				3階	352.26㎡～4,000.00㎡
				4階	352.26㎡～4,000.00㎡
5階				352.26㎡～4,000.00㎡	
6階				352.26㎡～4,000.00㎡	
最高部高さ	屋根床版高さ+最高手摺高さ=24.85m+1.8m=26.65m以下				
各階の高さ	1階	3.05m～3.35m @0.05m	4階	3.05m～3.35m @0.05m	
	2階	3.05m～3.35m @0.05m	5階	3.05m～3.35m @0.05m	
	3階	3.05m～3.35m @0.05m	6階	3.05m～3.35m @0.05m	
使用条件	地盤の長期地耐力	—			
	垂直最深積雪量	100cm (単位重量=20N/㎡/cm以下)			
	指定車種	構造床部：車両総重量2.0t以下の乗用自動車 地盤面及び土間床部：車両総重量2.5t以下の乗用自動車			
供給地域	全国				



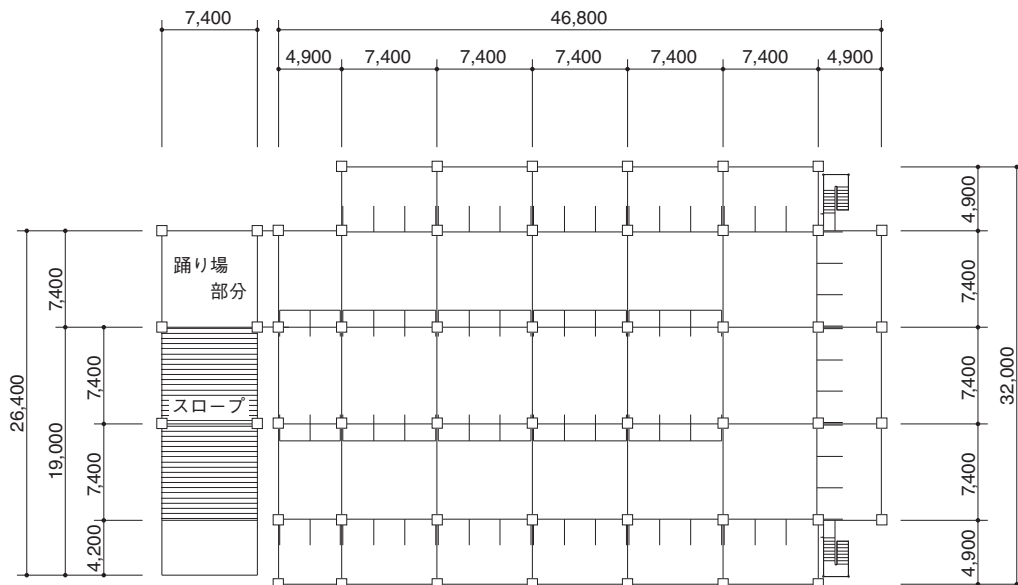
# IK パーク F1 型 展開パターン図

## ■展開パターン (1)



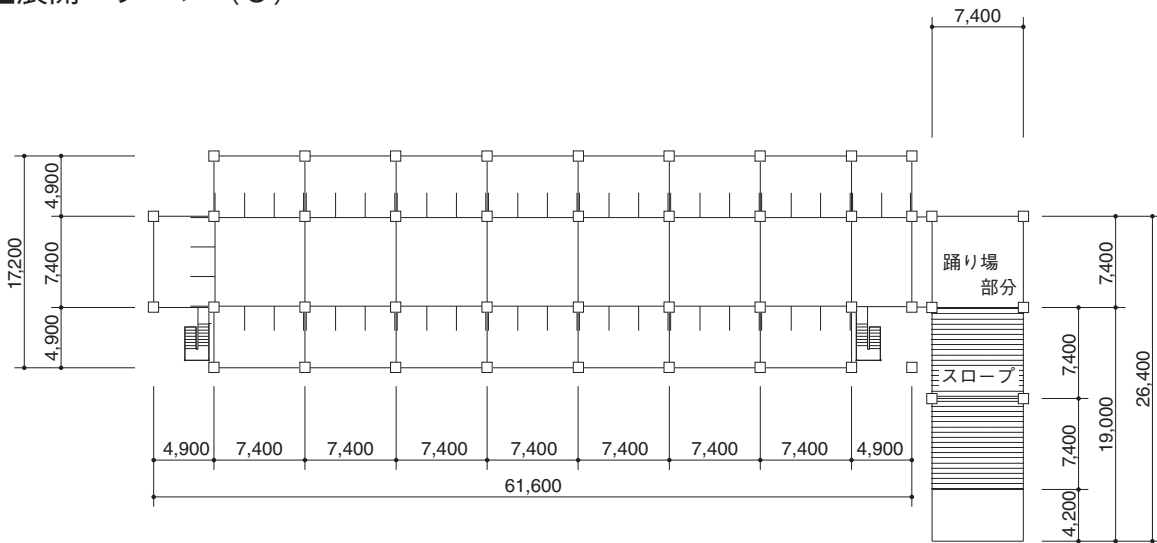
建築面積	441.10㎡
延床面積	537.38㎡
駐車台数	1階 21台
	R階 20台
	合計 41台

## ■展開パターン (2)



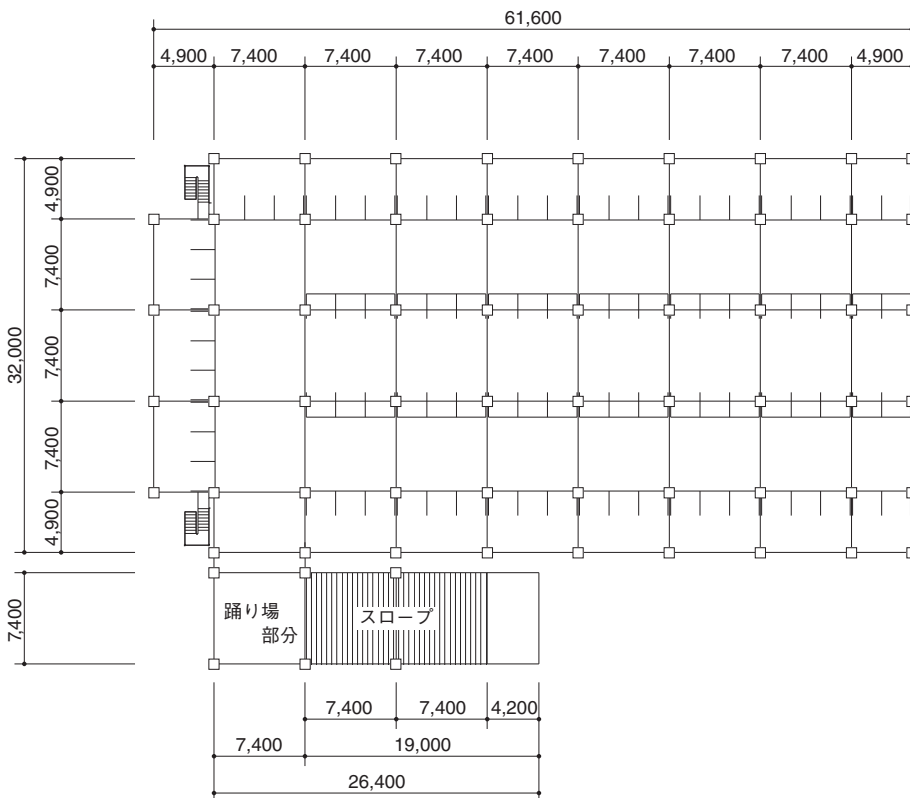
建築面積	1,373.31㎡
延床面積	1,519.25㎡
駐車台数	1階 65台
	R階 67台
	合計 132台

■展開パターン (3)



建築面積	934.98㎡
延床面積	1,081.17㎡
駐車台数	1階 44台
	R階 46台
	合計 94台

■展開パターン (4)

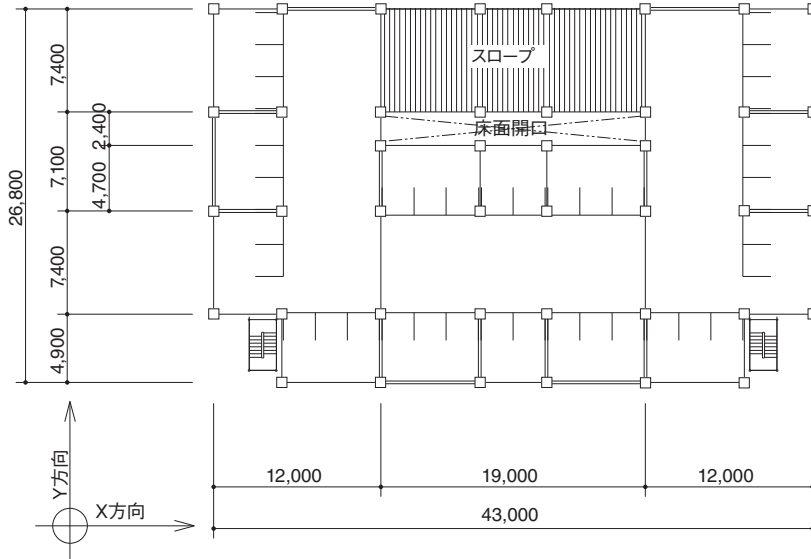


建築面積	1,847.65㎡
延床面積	2,022.19㎡
駐車台数	1階 93台
	R階 91台
	合計 184台

※上記以外の形状については問い合わせ願います。

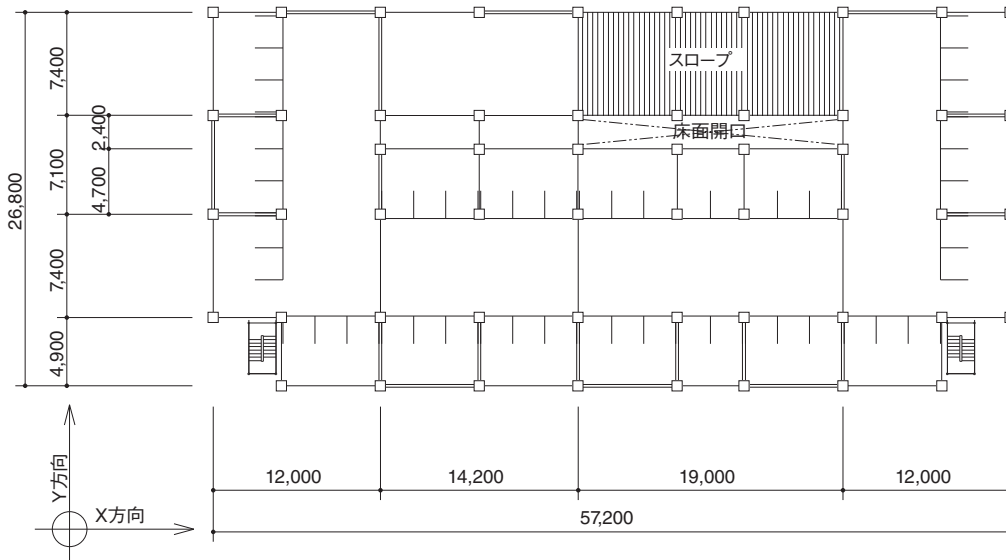
# IK パーク F 型 展開パターン図

## ■展開パターン (1)



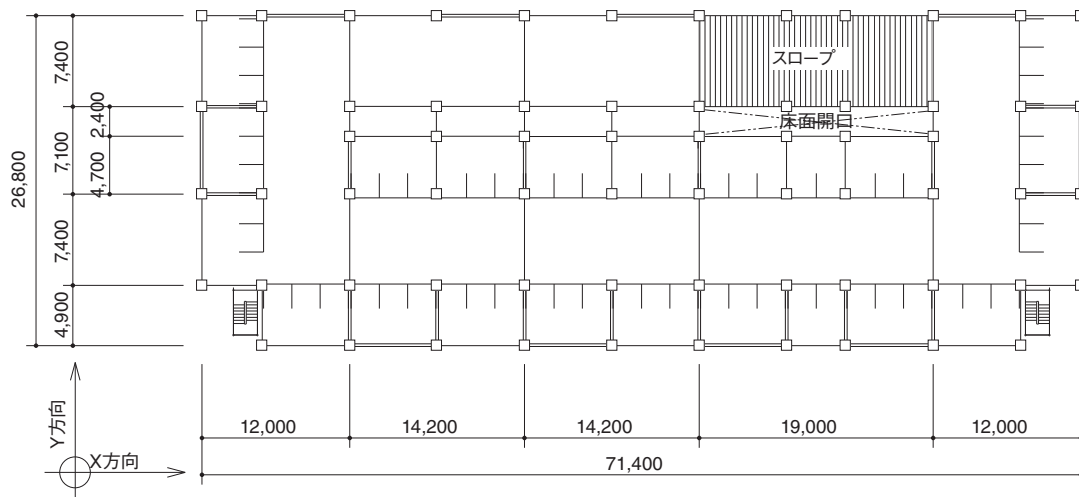
建築面積	1,106.51㎡
延床面積	2,038.59㎡
駐車台数	1階 35台
	2階 38台
	R階 40台
	合計 113台

## ■展開パターン (2)



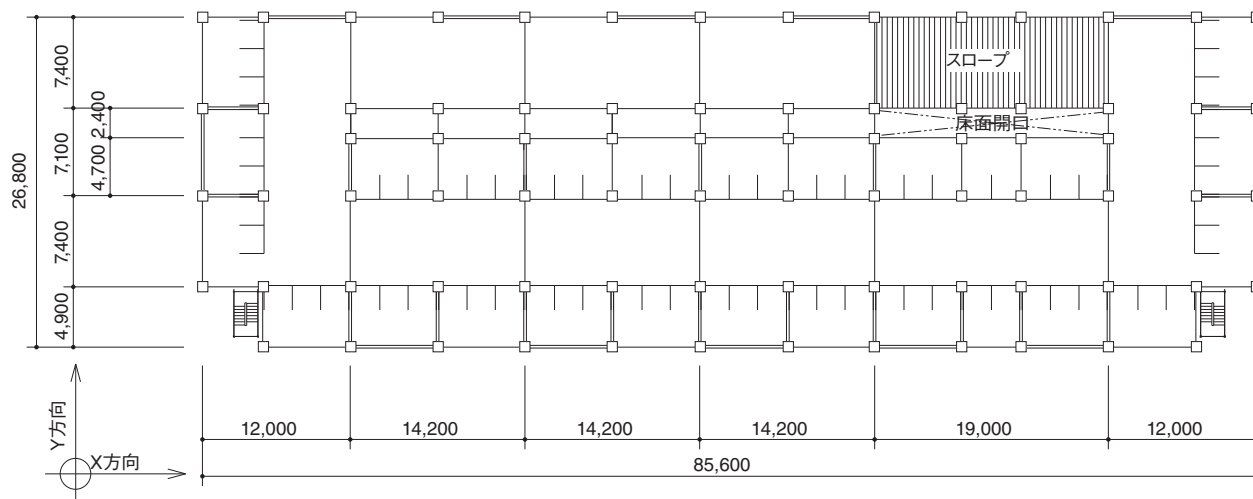
建築面積	1,478.43㎡
延床面積	2,782.43㎡
駐車台数	1階 47台
	2階 50台
	R階 52台
	合計 149台

■展開パターン（3）



建築面積	1,877.85㎡
延床面積	3,581.27㎡
駐車台数	1階 59台
	2階 62台
	R階 64台
	合計 185台

■展開パターン（4）

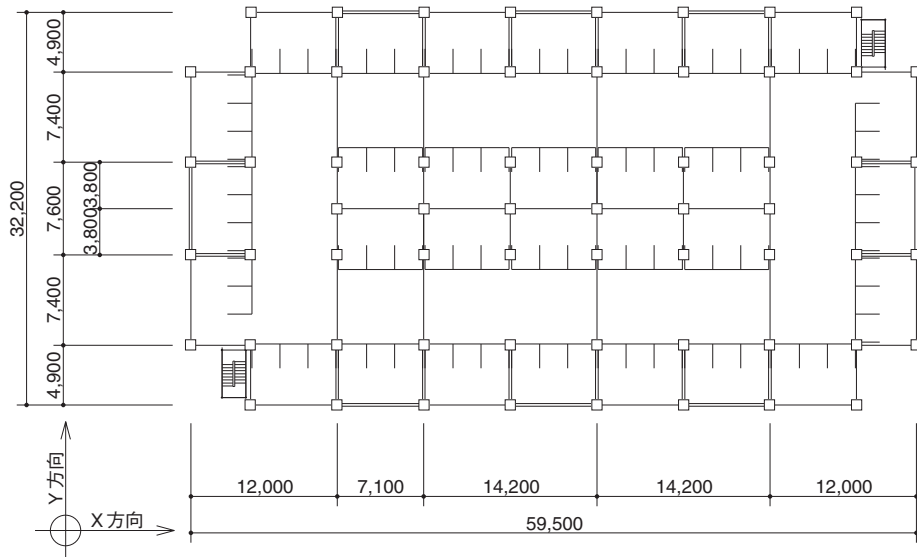


建築面積	2,222.27㎡
延床面積	4,270.11㎡
駐車台数	1階 71台
	2階 74台
	R階 76台
	合計 221台

※上記以外の形状については問い合わせ願います。

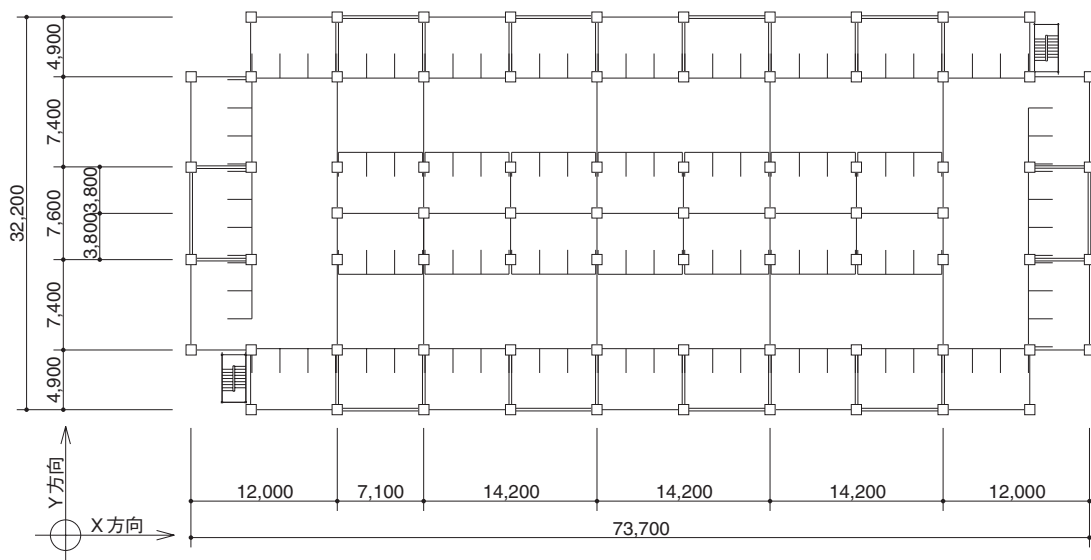


■ 展開パターン (2)



建築面積	1,869.06㎡
延床面積	3,706.00㎡
駐車台数	1階 85台
	2階 88台
	R階 90台
	合計 263台

■ 展開パターン (3)

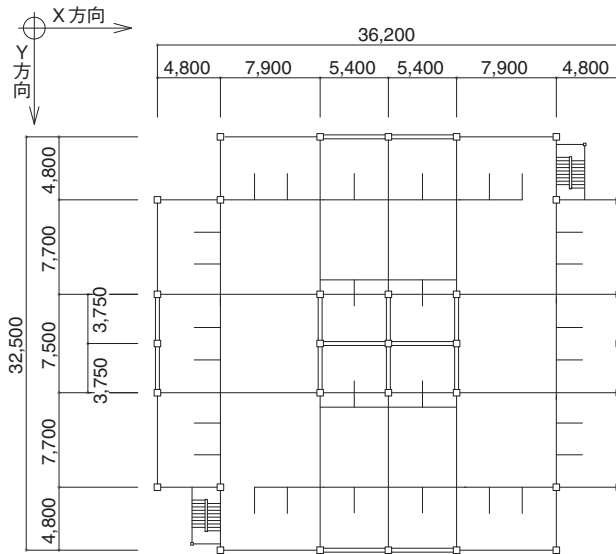


建築面積	2,331.42㎡
延床面積	4,630.72㎡
駐車台数	1階 109台
	2階 112台
	R階 114台
	合計 335台

※上記以外の形状については問い合わせ願います。

# IK パーク K4 型 展開パターン図

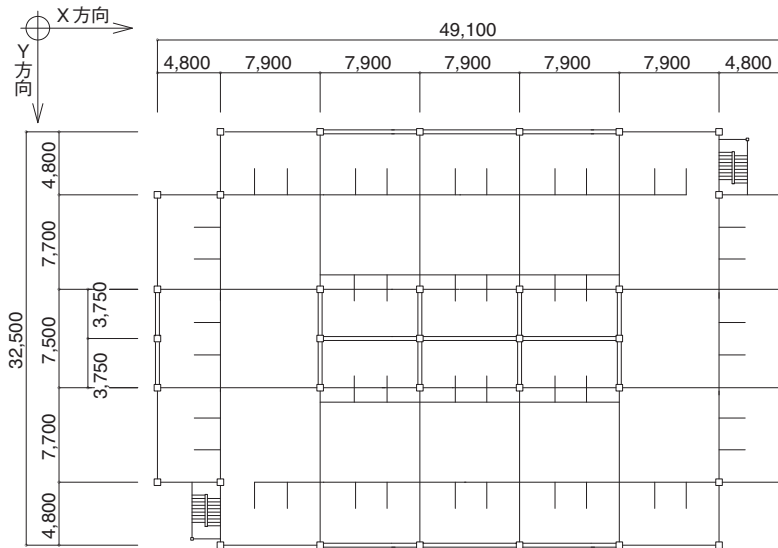
## ■標準パターン



※ センターユニットは2スパン以上

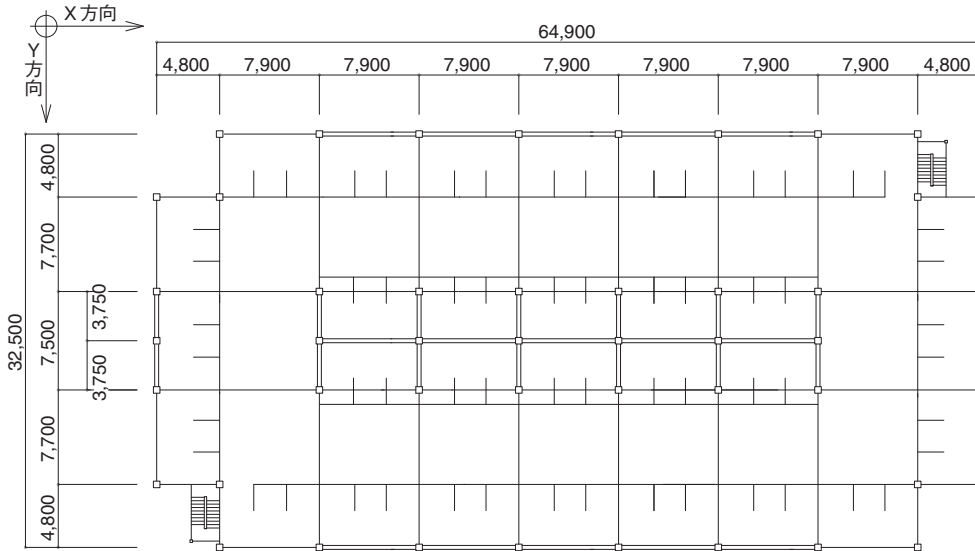
建築面積	1,143.64㎡
延床面積	4,478.56㎡
駐車台数	1階 42台
	2階 44台
	3階 44台
	4階 44台
	R階 43台
合計	217台

## ■展開パターン (1)



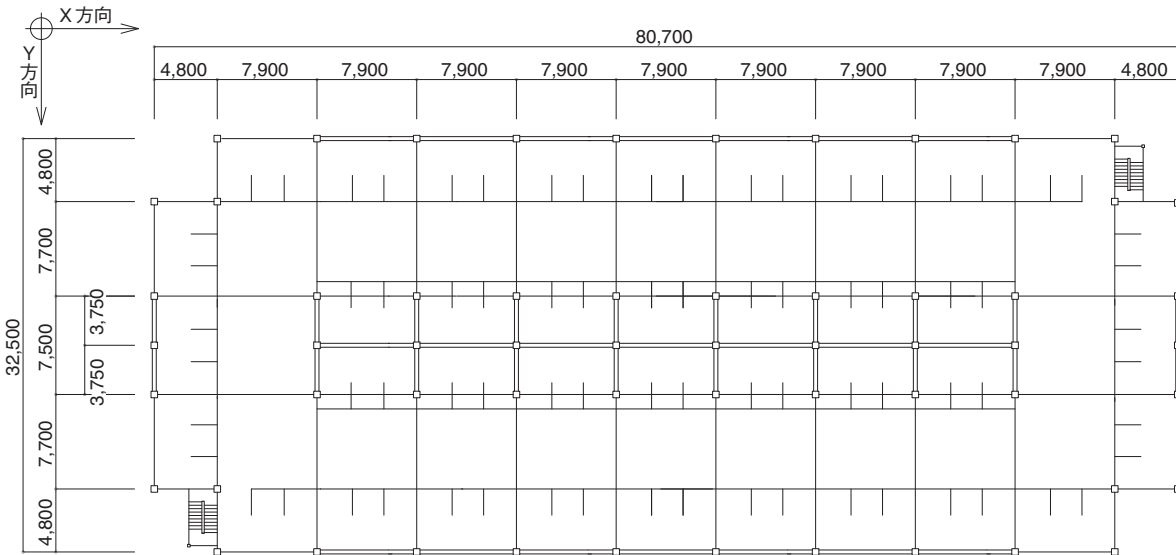
建築面積	1,569.47㎡
延床面積	6,181.88㎡
駐車台数	1階 62台
	2階 64台
	3階 64台
	4階 64台
	R階 64台
合計	318台

■展開パターン (2)



建築面積	2,091.02㎡
延床面積	8,268.08㎡
駐車台数	1階 86台
	2階 88台
	3階 88台
	4階 88台
	R階 88台
合計	438台

■展開パターン (3)



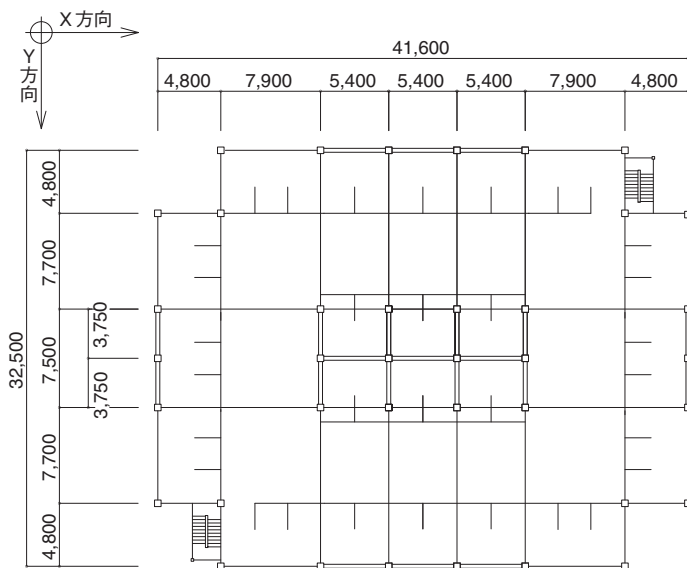
建築面積	2,612.58㎡
延床面積	10,354.32㎡
駐車台数	1階 110台
	2階 112台
	3階 112台
	4階 112台
	R階 112台
合計	558台

※上記以外の形状については問い合わせ願います。



# IK パーク K5 型 展開パターン図

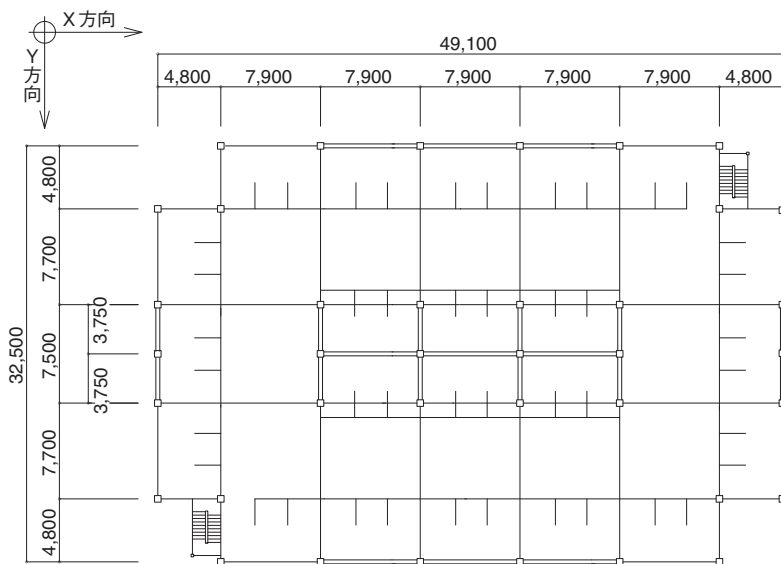
## ■標準パターン



※ センターユニットは3スパン以上

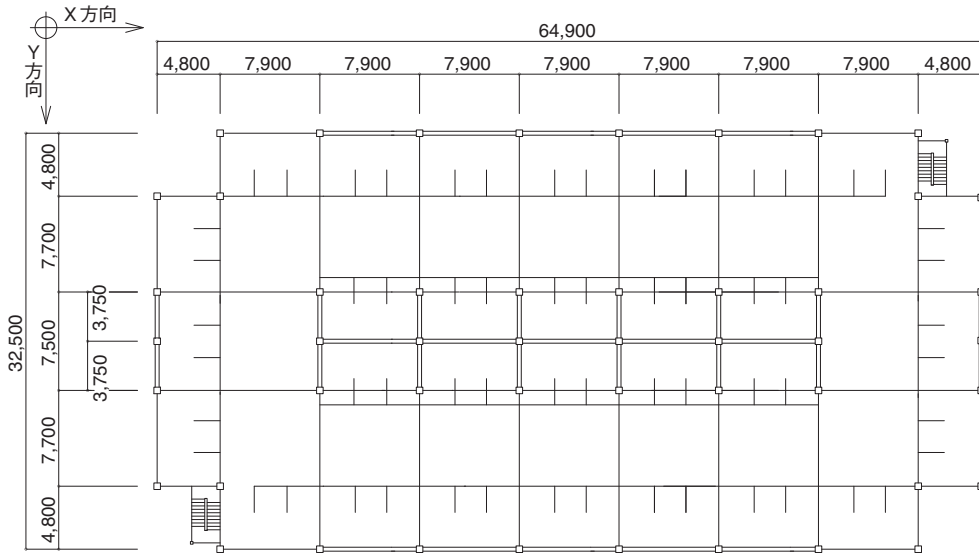
建築面積	1,325.65㎡
延床面積	6,508.25㎡
駐車台数	1階 50台
	2階 52台
	3階 52台
	4階 52台
	5階 52台
	R階 52台
	合計 310台

## ■展開パターン (1)



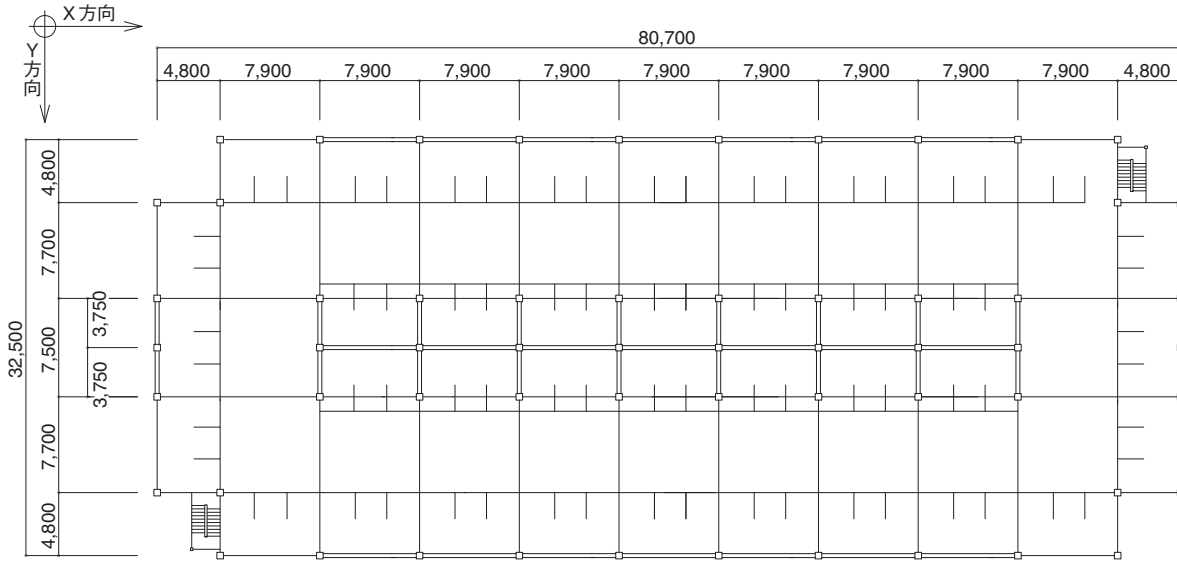
建築面積	1,573.60㎡
延床面積	7,748.00㎡
駐車台数	1階 62台
	2階 64台
	3階 64台
	4階 64台
	5階 64台
	R階 64台
	合計 382台

■展開パターン (2)



建築面積	2,095.95㎡
延床面積	10,359.75㎡
駐車台数	1階 86台
	2階 88台
	3階 88台
	4階 88台
	5階 88台
	R階 88台
合計	526台

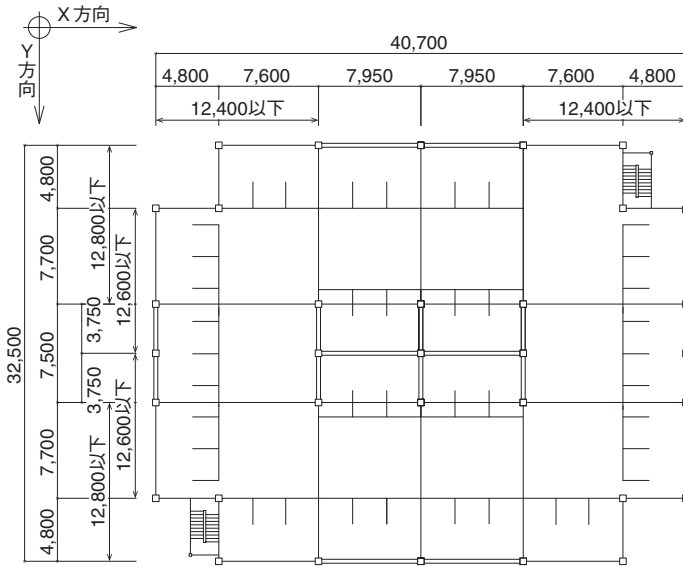
■展開パターン (3)



建築面積	2,618.30㎡
延床面積	12,971.50㎡
駐車台数	1階 110台
	2階 112台
	3階 112台
	4階 112台
	5階 112台
	R階 112台
合計	670台

# IK パーク K6 型 展開パターン図

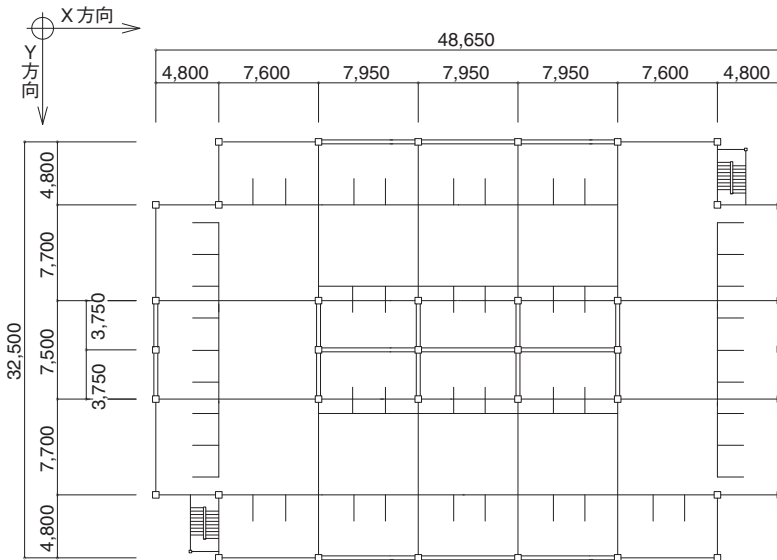
## ■標準パターン



※ センターユニットは2スパン以上

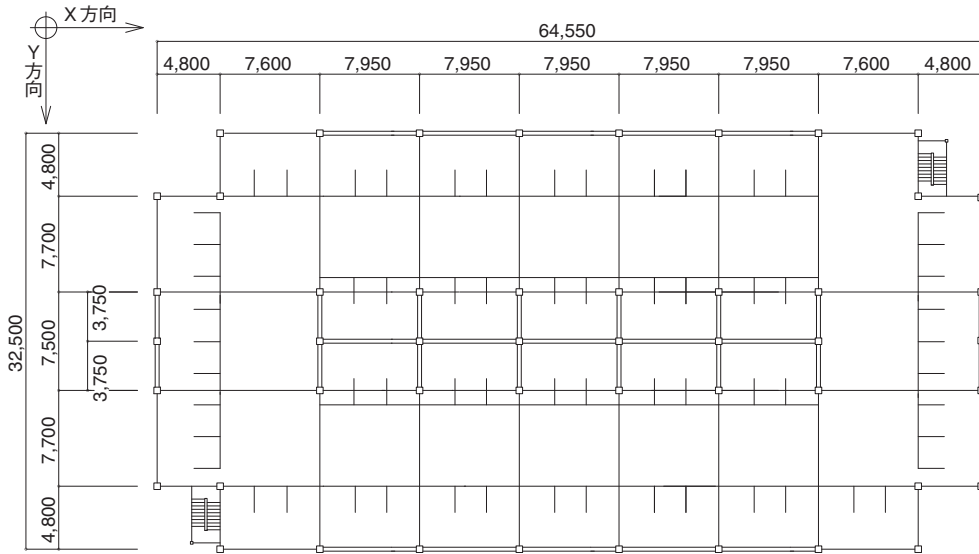
建築面積	1,298.65㎡
延床面積	7,653.66㎡
駐車台数	1階 49台
	2階 52台
	3階 52台
	4階 52台
	5階 52台
	6階 52台
	R階 52台
合計	361台

## ■展開パターン (1)



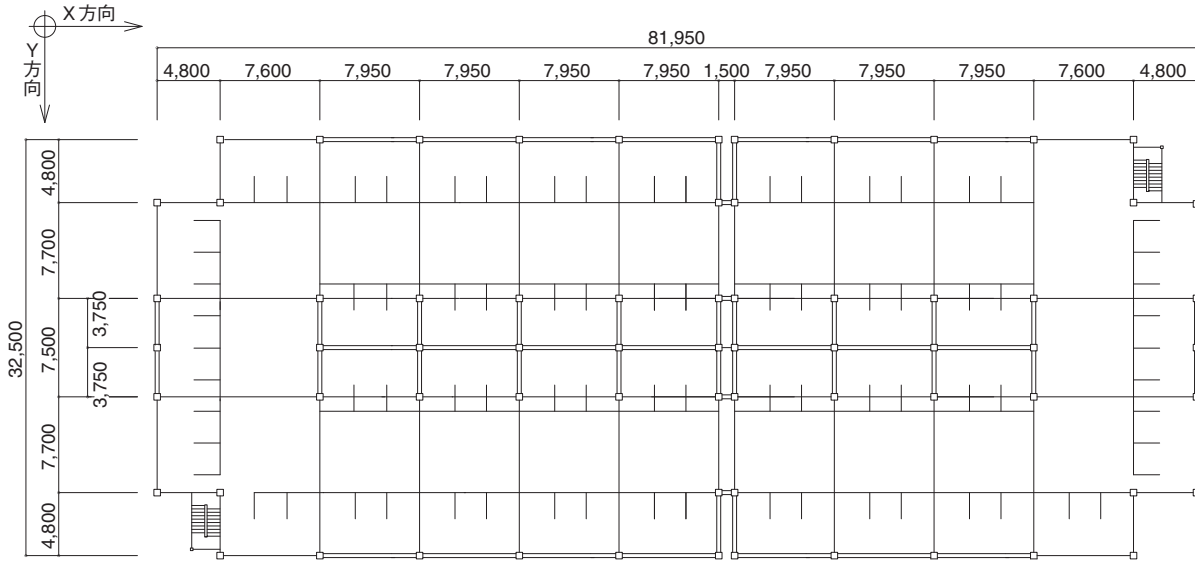
建築面積	1,561.88㎡
延床面積	9,233.04㎡
駐車台数	1階 61台
	2階 64台
	3階 64台
	4階 64台
	5階 64台
	6階 64台
	R階 64台
合計	445台

■展開パターン (2)



建築面積	2,088.33㎡
延床面積	12,391.74㎡
駐車台数	1階 85台
	2階 88台
	3階 88台
	4階 88台
	5階 88台
	5階 88台
	R階 88台
合計	613台

■展開パターン (3)



建築面積	2,649.77㎡
延床面積	15,760.38㎡
駐車台数	1階 109台
	2階 112台
	3階 112台
	4階 112台
	5階 112台
	6階 112台
	R階 112台
合計	781台



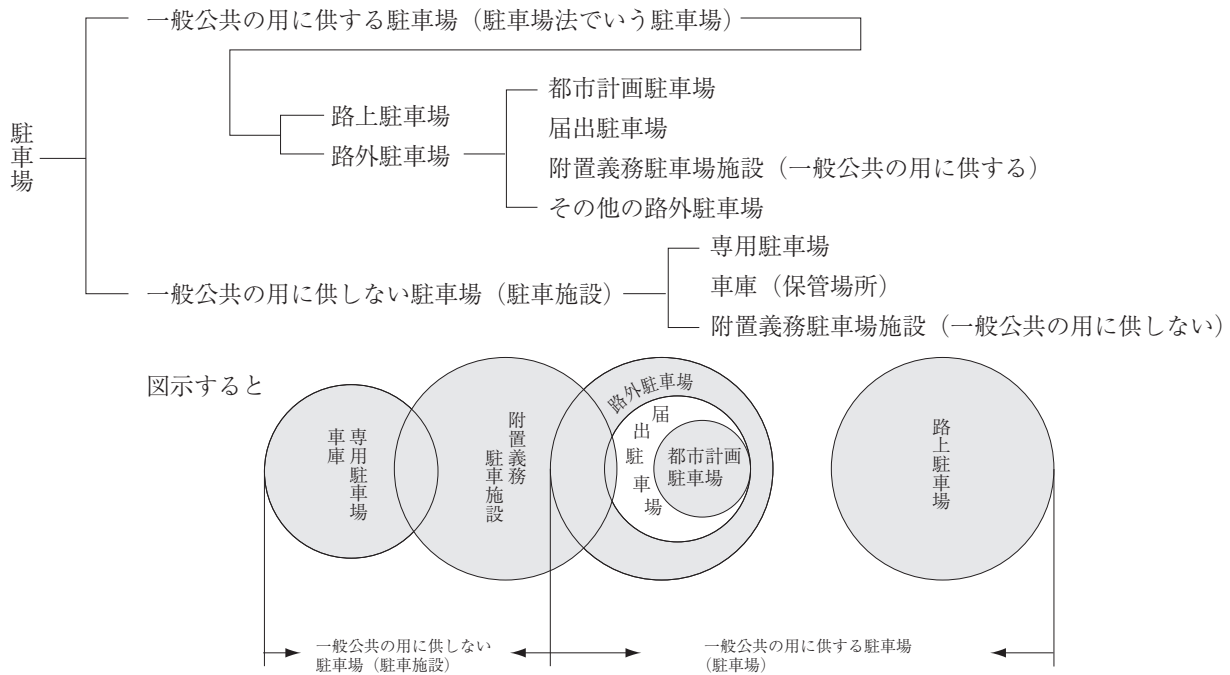
# 10

## 駐車場関連資料

駐車場関連法規.....	10- 2
建築物の床面積の算定方法.....	10-18
出入口設置の制限.....	10-19
出入口と車路.....	10-20
消防法.....	10-21
駐車場法（抄）.....	10-22
駐車場法施行令（抄）.....	10-24

# 駐車場関連法規

## 【1】駐車場の種類



## 【2】駐車場・駐車施設の説明

### (1) 路上駐車場

駐車場整備地区の道路の路面に、一定の区画を限って設置される自動車の駐車のための施設であって一般公共の用に供されるもの。

### (2) 路外駐車場

道路の路面外に設置される自動車のための施設であって、一般公共の用に供されるもの。

上記の施設であって駐車のために供する部分の面積が500m<sup>2</sup>以上であるものの構造及び設備は、建築基準法その他の法令の規定の適用がある場合は、それら法令の規定によるほか政令（駐車場法施行令）に定める技術的基準による。

→ 以下「法定の技術基準を表す」

路外駐車場で駐車のために供する部分が

- └ 500m<sup>2</sup>以上 → 法定の基準による。
- └ 500m<sup>2</sup>未満 → 法定の基準によらなくてもよい。

### (2) -1 都市計画駐車場

都市計画法第11条の規定により、都市計画において定められた路外駐車場。

### (2) -2 届出駐車場

駐車場法第12条及び第13条の規定により届けられた路外駐車場。

都市計画区域内において駐車のために供する部分の面積が500m<sup>2</sup>以上で有料なもの。

設置に当たっては、路外駐車場の位置、規模、構造、設備等について都道府県知事あてに届け出なければならない。

### (2) -3 路外駐車場の面積の算定方法

- ① 自動車の駐車のために供する部（自動車の駐車場所）のみで算定する。1台当り何m<sup>2</sup>とか1台当りの区画寸法などの決りはない。
- ② 駐車のために供する部分と車路とが構造上判然としない場合には、駐車のために供する部分の面積は車路の面積を含める。（建設都開発第200号. S37.8.20）
- ③ 駐車のために供する部分が機械式の場合は、15m<sup>2</sup>で算定する。（※注 附置計算については、次頁参照のこと）

## 【3】駐車施設（専用駐車場・車庫等）

道路の路面外に設置される自動車の駐車のために供される施設であって一般公共の用に供されないもの。500m<sup>2</sup>以上であっても法定の技術基準によらなくてもよい。

「一般公共の用に供されないもの」の行政事例

1. 団地内住居者の利便施設としての駐車場で団地外一般の所有する自動車の駐車は認めないもの。
2. 月極駐車のみを取り扱い、時間駐車を取り扱わない駐車場。

（建設都総発第54号、建設総都受第17号、建設省福都再発第3号）

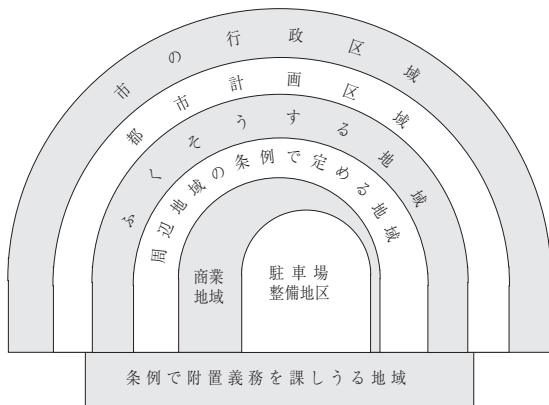
S38. 12. 10      S40. 1. 27      S43. 5. 23

（本ページはご参考用です。詳細は、最新法令をご確認ください。）

**【4】 附置義務駐車施設**

駐車場法で第20条の規定により、大規模建築物に附置することが義務づけられた駐車場。

標準駐車場条例の改正  
国都衛第56号 (H26.8.1)



**附置義務基準改正の内容 (標準駐車場条例)**

**(1) 建物延床面積下限**

- (駐車場整備地区又は商業地域若しくは近隣商業地域)
- 1) おおむね人口50万人以上の都市 1,500m<sup>2</sup>
  - 2) おおむね人口50万人未満の都市 1,000m<sup>2</sup>
- (周辺地区又は自動車ふくそう地区) 2,000m<sup>2</sup>

**(2) 駐車施設の規模**

1) おおむね人口100万人以上の都市

① 駐車場整備地区又は商業地域若しくは近隣商業地域

百貨店その他の店舗の用途に供する部分	事務所の用途に供する部分	特定用途(百貨店その他の店舗及び事務所を除く)に供する部分	非特定用途に供する部分
200m <sup>2</sup>	250m <sup>2</sup>	250m <sup>2</sup>	450m <sup>2</sup>

② 周辺地区又は自動車ふくそう地区

特定用途に供する部分
250m <sup>2</sup>

2) おおむね人口50万人以上100万人未満の都市

① 駐車場整備地区又は商業地域若しくは近隣商業地域

百貨店その他の店舗の用途に供する部分	事務所の用途に供する部分	特定用途(百貨店その他の店舗及び事務所を除く)に供する部分	非特定用途に供する部分
150m <sup>2</sup>	200m <sup>2</sup>	200m <sup>2</sup>	450m <sup>2</sup>

② 周辺地区又は自動車ふくそう地区

特定用途に供する部分
200m <sup>2</sup>

3) おおむね人口50万人未満の都市

① 駐車場整備地区又は商業地域若しくは近隣商業地域

百貨店その他の店舗の用途に供する部分	事務所の用途に供する部分	特定用途(百貨店その他の店舗及び事務所を除く)に供する部分	非特定用途に供する部分
150m <sup>2</sup>	200m <sup>2</sup>	200m <sup>2</sup>	450m <sup>2</sup>

② 周辺地区又は自動車ふくそう地区

特定用途に供する部分
200m <sup>2</sup>

※ 附置義務

駐車場法第20条に基づき、地方公共団体が駐車場条例を制定することにより、一定規模以上の建築物の新築、増築等の際に、建築主に駐車施設の設置が義務づけられる制度。

※ 附置義務基準値

附置を義務づけられる駐車施設1台あたりの建築床面積。なお、地方公共団体の条例において、地域の状況に応じて、上表数値を目安に独自に設定することが可能。

**(3) 大規模な事務所の特例にかかる大規模低減軽減の方策**

- ① 10,000m<sup>2</sup>を超え50,000m<sup>2</sup>までの部分の床面積 附置義務台数の30%を免除
- ② 50,000m<sup>2</sup>を超え100,000m<sup>2</sup>までの部分の床面積 附置義務台数の40%を免除
- ③ 100,000m<sup>2</sup>を超える部分の床面積 附置義務台数の50%を免除

**(4) 1台当りの駐車マス面積**

駐車マスの位置づけ	駐車マスの大きさ	附置すべき台数に対する割合
(1) 小型乗用車用	2.3m × 5.0m	70%
(2) 普通乗用車用	2.5m × 6.0m	30%
(3) 車いす使用者用の乗用車用	3.5m × 6.0m	1台以上 台数は(2)の内数



【5】 附置義務参考例

東京都の場合 東京都駐車場条例より（抜粋）（平成26年4月1日施行）

(1) 建築物における駐車施設の附置義務について

条例による附置義務台数の算定（条例第17条）

地域・地区	対象規模	対象用途	基準床面積	緩和係数 (6000m <sup>2</sup> 以下の場合のみ)	
A 駐車場望備地区等					
*ハ  ・駐車場整備地区 ・商業地域 ・近隣商業地域	特定用途の部分 の床面積 + 非特定用途の 部分の床面積 × 3/4の合計が 1500m <sup>2</sup> を超え るもの	*イ 特定用途	百貨店 その他の店舗	(23区) 250m <sup>2</sup> ごとに一台 (市) 200m <sup>2</sup> ごとに一台	式1
			その他	(23区) 300m <sup>2</sup> ごとに一台 (市) 250m <sup>2</sup> ごとに一台	
		*ロ 非特定用途	共同住宅	(23区) 350m <sup>2</sup> ごとに一台 (市) 300m <sup>2</sup> ごとに一台	
			その他	(23区) 300m <sup>2</sup> ごとに一台 (市) 300m <sup>2</sup> ごとに一台	
B *ニ 周辺地区、自動車ふくそう地区					
・区部(23区)のAの区域以外の都市計 画区域 ・市部の第一種中高層住居専用地域、 第二種中高層住居専用地域、第一種 住居地域、第二種住居地域、準住居地 域、準工業地域、工業地域及び工業専 用地域(駐車場整備地区を除く。)	特定用途の部分 の床面積が 2000m <sup>2</sup> を超え るもの	*イ 特定用途	(23区) 300m <sup>2</sup> ごとに一台  ----- (市) 250m <sup>2</sup> ごとに一台	式2	

式1 = 1 - 1500 × (6000 - 延べ面積) / (6000 × (特定用途の床面積 + 非特定用途の床面積 × 3/4) - 1500 × 延べ面積)

式2 = 1 - (6000 - 延べ面積) / (2 × 延べ面積)

*イ	特定用途とは 劇場、映画館、演芸場、観覧場、放送用スタジオ、公会堂、展示場、結婚式場、斎場、集会場、旅館、ホテル、料理店、飲食店、キャバレー、カフェ、ナイトクラブ、ダンスホール、バー、遊技場、ボウリング場、体育館、百貨店その他の店舗、事務所、病院、卸売市場、倉庫、若しくは工場。
*ロ	非特定用途とは 特定用途以外の用途 マンション
*ハ	駐車場整備地区とは 商業地域、近隣商業地域、住居地域、若しくは準工業地域内又は、当該地区の周辺の地域内において自動車交通が著しくふくそうする地区として都市計画で定めた地区。 都心部駐車場整備地区約995ha、新宿駐車場整備地区約27ha、池袋駐車場整備地区約88ha、上野浅草駐車場整備地区約563ha、渋谷駐車場整備地区約142ha、町田駐車場整備地区約98ha、八王子駐車場整備地区約83ha、その他の合計約3,207haの区域を都市計画で定めている。
*ニ	周辺地区とは 駐車場整備地区又は商業地域若しくは近隣商業地域の周辺の都市計画区域内の地域内で条例で定める地区。

(2) 駐車施設の技術的基準

イ. 駐車スペース

- 普通車用車室：幅2.5m以上、奥行6.0m以上  
附置台数の3/10以上。(切り上げ)
- 障害者用車室：幅3.5m以上、奥行6.0m以上  
附置台数の普通車台数のうち1台以上。
- 小型車用車室：幅2.3m以上、奥行5.0m以上  
附置台数の普通車台数を差し引いた台数。  
(障害者用車室は平面駐車が望ましい。条件有り。)

ロ. 機械式駐車装置を用いる場合

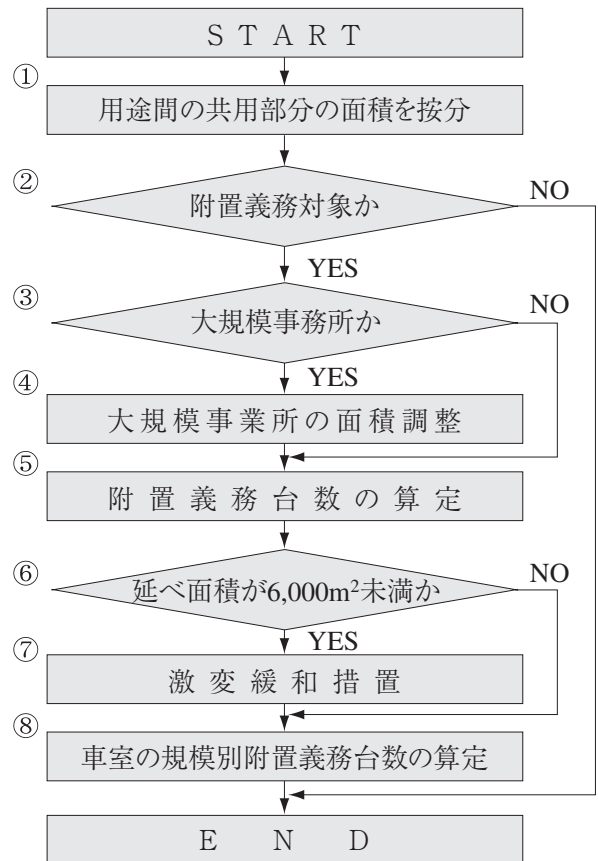
- 1) 機械式駐車装置は駐車場法施行令第15条による国土交通大臣の認定をうけたもので、  
小型車用、幅1.7m以上、長さ4.7m以上、高さ1.55m以上、車両重量1.5トン以上。  
普通車用、幅1.9m以上、長さ5.3m以上、高さ1.55m以上、車両重量2.2トン以上の自動車を収容できるもの。
- 2) 附置義務台数が30台以下の場合には、普通車用車室

の附置義務台数の1.3倍以上の台数に小型車用車室の附置義務台数を加えた台数を設置することで、小型車用車室とみなせる機械式駐車施設としてもよいこととする。すなわち、附置義務台数が15台の場合には、障害者用車室1台分、普通車用車室4台分、小型車用車室10台分を附置しなければならないが、普通車用車室4台分の1.3倍である5.2台、切り上げて6台分と小型車用車室10台分との合計である16台分の小型車用車室とみなせる機械式駐車場施設と障害者用車室1台分を附置すればよいこととなる。

(3) 第17条から第17条の3までの規定による附置義務台数算定の手順

- ① 複合用途の建築物においては、機械室等の共用部分を複数の用途で共有する場合には、当該共用部分の面積を、各用途の面積で按分し、各用途に加えた面積を各用途の面積とする。
- ② 駐車場整備地区においては、非特定用途の面積に4分の3を乗じて得た面積に特定用途の面積を加えた面積が1,500m<sup>2</sup>を超えていれば附置義務対象建築物となる。  
 駐車場整備地区等  
 YES：特定用途の面積 + (非特定用途の面積 × 3/4) > 1,500m<sup>2</sup>  
 NO：特定用途の面積 + (非特定用途の面積 × 3/4) ≤ 1,500m<sup>2</sup>  
 周辺地区等  
 YES：特定用途の面積 > 2,000m<sup>2</sup>  
 NO：特定用途の面積 ≤ 2,000m<sup>2</sup>
- ③④ 事務所部分の面積が6,000m<sup>2</sup>を超えていれば、大規模事務所の面積調整を行う。(以下の値は、区部の場合)  
 6,000m<sup>2</sup>以下の部分の面積 × 1  
 6,000m<sup>2</sup>を超え10,000m<sup>2</sup>以下の部分の面積 × 0.8  
 10,000m<sup>2</sup>を超え100,000m<sup>2</sup>以下の部分の面積 × 0.5  
 100,000m<sup>2</sup>を超える部分の面積 × 0.4の合計面積を事務所の用に供する部分の面積とみなす。
- ⑤ 用途ごとの面積を各基準値で除して用途ごとの台数を求め、それらを合計して建築物の附置義務台数を算定する。  
 ここで、非特定用途の附置義務台数の算定にあたっては、当該非特定用途の面積に4分の3を乗じて得た数値ではなく、用途間の共用部分の面積を按分して得た数値を基準値で除すこととなる。
- ⑥⑦ 延べ面積が6,000m<sup>2</sup>未満の場合には、激変緩和計数を計算し、⑤で求めた建築物の附置義務台数に乘じ、附置義務台数を求める。

<計算手順>



## 大阪市の場合「建築物における駐車施設の附置等に関する条例」より（抜粋）

### (1) 建築物における駐車施設の附置義務について

#### 1) 条例による附置義務台数の算定

地域・地区	建築物の用途	*イ 特定用途	*ロ 非特定用途	
*ハ (1) 駐車場整備地区 商業地域 近隣商業地域		*ホ 延面積が2,000m <sup>2</sup> をこえるもの	延面積が3,000m <sup>2</sup> をこえるもの	延面積が15,000m <sup>2</sup> をこえる部分
		(延面積) - 1500	(延面積) - 2250	(延面積)
		350 →切上げ台数	450 →切上げ台数	525 →切上げ台数
*ニ (2) 周辺地区 [(1)以外]		延面積が3,000m <sup>2</sup> をこえるもの		対象外
		(延面積) - 3000		
		350 →切上げ台数		

*イ	特定用途とは 駐車場法施行令第18条で次のように定められています。 劇場、映画館、演芸場、観覧場、放送用スタジオ、公会堂、集会場、展示場、結婚式場、斎場、旅館、ホテル、料理店、飲食店、待合、キャバレー、カフェー、ナイトクラブ、バー、舞踏場、遊技場、ボーリング場、体育館、百貨店その他の店舗、事務所、病院、卸売市場、倉庫及び工場とする。
*ロ	非特定用途とは 特定用途以外の用途（共同住宅、社会福祉施設、学校等）をいいます。
*ハ	駐車場整備地区とは 道路の効用を保持し円滑な道路交通を確保する必要があると認められる区域で、大阪市では都心部地区約2,291ha、新大阪地区約171ha及び京橋地区約91haの合計約2,553haの区域を都市計画で定めています。
*ニ	周辺地区とは 駐車場整備地区、商業地域及び近隣商業地域をのぞく市全域（市街化区域内）をいいます。
*ホ	延面積とは 建築物の総延床面積から駐車施設及び駐輪施設部分の面積を除いた面積（概ね容積対象面積）をいいます。

#### 2) 駐車施設の技術的基準

- イ. 駐車施設の構造等は、条例施行基準を厳守する。
- ロ. 車路の幅員は、自動車が安全かつ円滑に運行できる必要があり、原則として

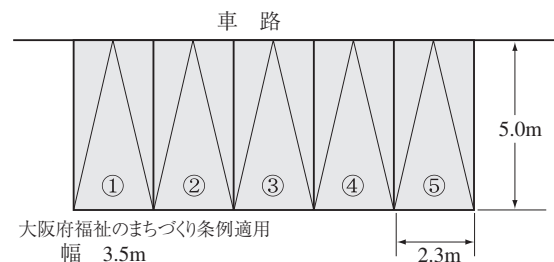
##### 往復通行

- 駐車の用に供する部分の面積が
  - 500m<sup>2</sup>以上のもの —— 5.5m以上
  - 500m<sup>2</sup>未満のもの —— 5.0m以上

##### 一方通行

- 駐車の用に供する部分の面積が
  - 500m<sup>2</sup>以上のもの —— 3.5m以上
  - 500m<sup>2</sup>未満のもの —— 3.0m以上

- ハ. 駐車スペースは自動車の大きさを図面に表示するのではなく、駐車スペースを表示し、その大きさは、自走式駐車場では1台につき幅2.3m以上、奥行5.0m以上。



##### 二. 駐車スペースの配置について

自走式の駐車場では、他の駐車スペースに駐車している自動車を動かすことなしに、自動車の出し入れができる配置であることが必要。

(2) 共同住宅を建築する場合の駐車施設の設置について  
(大阪市全域に適用)

本市では「大阪市共同住宅の駐車施設に関する指導要綱」を定めています。この要綱に定められた共同住宅等建築物における自動車の駐車施設の指導基準は下表のとおりです。(なお、30戸未満の共同住宅については、この要綱の対象外となりますが、ワンルーム形式の共同住宅がある場合は「ワンルーム形式集合建築物指導要綱」の適用を受けますので、都市計画局開発調整部開発誘導課と協議を行って下さい。)

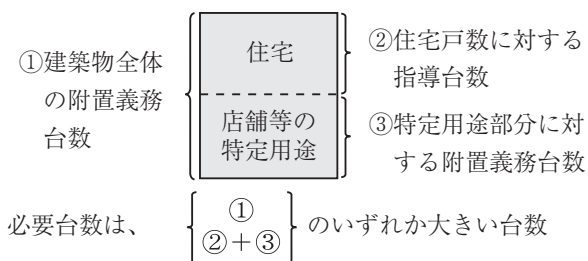
また、「建築物における駐車施設の附置等に関する条例」の適用を受ける建築物については、建築物全体の附置義務台数又は住戸数に対する指導台数に特定用途に供する部分の附置義務台数を加えた台数のいずれか大きい台数が必要台数となります。(図参照)

駐車場の技術的基準は、附置義務駐車場条例施行基準に準拠する。

駐車施設の設置率

共同住宅等 建築物の全住戸数		一戸当たりの専有床面積	
		35m <sup>2</sup> 以下 (ワンルーム)	35m <sup>2</sup> 超える (ファミリー)
30 戸以上	商業系地域	10% 以上	30% 以上
	その他地域		35% 以上
70 戸以上	商業系地域	10% 以上	40% 以上
	その他地域		50% 以上

附置義務に係る建築物



計算例

ケース①

新築、住居地域、ファミリー 25 戸	計 40 戸
ワンルーム 15 戸	

指導台数  $25 \times 0.35 + 15 \times 0.1 = 10.25 \rightarrow 11$  台以上

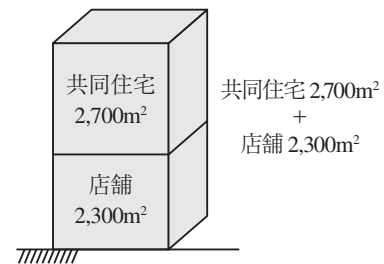
ケース②

新築、商業地域、ファミリー 55 戸	計 80 戸
ワンルーム 25 戸	

指導台数  $55 \times 0.4 + 25 \times 0.1 = 24.5 \rightarrow 25$  台以上

ケース③ (附置義務条例の適用も受ける混合用途建築物の場合)

例 図のような建築物を建築する場合には、その敷地用途地域等によって計算方法が変わります。



新築、商業地域、ワンルーム 65 戸	
延面積	5,000m <sup>2</sup>
うち、共同住宅の用途	2,700m <sup>2</sup>
共同住宅以外の用途 (店舗、事務所)	2,300m <sup>2</sup>

建築物全体の附置義務台数 (混合用途)

$$\frac{2,300 + 2,700 \times \frac{2}{3} - 1,500}{350} = 7.42 \rightarrow 8 \text{ 台以上} \text{---①}$$

$$\text{住戸数に対する指導台数 } 65 \times 0.1 = 6.5 \rightarrow 7 \text{ 台以上} \text{---②}$$

特定用途に供する部分の附置義務台数

$$\frac{2,300 - 1,500}{350} = 2.28 \rightarrow 3 \text{ 台以上} \text{---③}$$

指導台数 ① < ② + ③  $\rightarrow 7 \text{ 台} + 3 \text{ 台} = 10 \text{ 台以上}$

【6】 建築基準法

(1) 容積率制限 (建築基準法第52条)

$$\text{容積率 (\%)} = \frac{\text{延べ面積}}{\text{敷地面積}} \times 100$$

地域の種類	容積率 [(1) かつ (2)]	
	(1) その地域について定められる数値	(2) 前面道路による数値 (幅員<12mの場合)
①第一種低層住居専用地域 第二種低層住居専用地域	5/10、6/10、8/10、10/10、15/10、20/10のうち、その地域について、都市計画で定められた数値	〔幅員最大の前面道路の幅員 (m)〕 (注) × 4/10
②第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域	10/10、15/10、20/10、30/10、40/10、50/10のうち、その地域について、都市計画において定められた数値	〔幅員最大の前面道路の幅員 (m)〕 (注)
③第一種住居地域 第二種住居地域 準住居地域内の建築物 (⑦に掲げるものを除く。)	同 上	× 4/10 〔注：特定行政庁の指定区域内 では、6/10とする。〕
④近隣商業地域 準工業地域内の建築物 (⑦に掲げるものを除く。)	同 上	〔幅員最大の前面道路の幅員 (m)〕 (注)
⑤工業地域 工業専用地域	10/10、15/10、20/10、30/10、40/10のうち、その地域について、都市計画において定められた数値	× 6/10 〔注：特定行政庁の指定区域内 では、4/10又は8/10とする。〕
⑥商業地域	20/10、30/10、40/10、50/10、60/10、70/10、80/10、90/10、100/10、110/10、120/10、130/10のうち、その地域について、都市計画で定められた数値	
⑦高層住居誘導地区内の建築物であって、その住宅の用途に供する部分の床面積の合計がその延べ面積の3分の2以上であるもの (当該高層住居誘導地区に関する都市計画において建築物の敷地面積の最低限度が定められたときは、その敷地面積が当該最低限度以上のものに限る。)	当該建築物がある第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、近隣商業地域又は準工業地域に関する都市計画において定められた指定容積率から、その1.5倍以下で当該建築物の住宅の用途に供する部分の床面積の合計のその延べ面積に対する割合に応じて政令で定める方法により算出した数値までの範囲内で、当該高層住居誘導地区に関する都市計画において定められたもの。 〔注：政令で定める方法 $V_r = \frac{3V_c}{3-R}$ V <sub>r</sub> 法第52条第1項第5号の政令で定める方法により算出した数値 V <sub>c</sub> 建築物がある用途地域に関する都市計画において定められた容積率の数値 R 建築物の住宅の用途に供する部分の床面積の合計のその延べ面積に対する割合〕	同 上
⑧都市計画区域内で用途地域の指定のない地域	5/10、8/10、10/10、20/10、30/10又は40/10のうち、特定行政庁が土地利用の状況等を考慮し当該区域を区分して都道府県都市計画審議会の議を経て定めるもの	同 上

- (1) と (2) が重なるときは何れかのうち、厳しいものを採用する。
  - 前面道路が2以上あるときは、(2) について幅員の最大のものを採用する。
  - 自動車庫、その他の専ら自動車停留、又は自動車駐車施設の用途に供する部分の床面積は、敷地内建物の延べ面積の1/5を限度として延面積の計算より除く。
- 注) 建ぺい率、容積率とも実際建築する場合その都市で決定される場合が多い。用途地域図と上記値とを比較し、小さい方に決定される。

(2) 建ぺい率制限（建築基準法第53条）

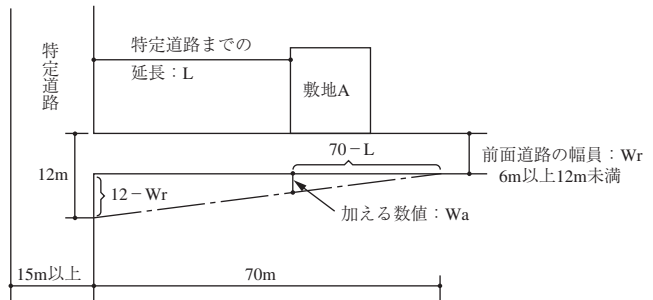
$$\text{建ぺい率（\%）} = \frac{\text{建築面積}}{\text{敷地面積}} \times 100$$

敷地の条件等 地域区分	一般の敷地	特定行政庁の 指定する角地等	防火地域内の耐火建築物	
			一般の敷地	特定行政庁の 指定する角地等
第一種低層住居専用地域 第二種低層住居専用地域 第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域 工業専用地域	3/10、4/10、5/10、 6/10のうち、都市計 画で定める数値 （※A）	※A + 1/10	※A + 1/10	※A + 2/10
第一種住居地域 第二種住居地域 準住居地域 準工業地域	5/10、6/10、8/10の うち、都市計画で 定める数値（※B）	※B + 1/10	※B + 1/10（一般の敷 地のうち建ぺい率の 限度が8/10とされる地 域は制限なし）	※B + 2/10（一般の敷 地のうち建ぺい率の 限度が8/10とされる地 域は制限なし）
近隣商業地域	6/10又は8/10のう ち、都市計画で定め る数値（※C）	※C + 1/10	※C + 1/10（一般の敷 地のうち建ぺい率の 限度が8/10とされる地 域は制限なし）	※C + 2/10（一般の敷 地のうち建ぺい率の 限度が8/10とされる地 域は制限なし）
商業地域	8/10	9/10	制限なし	制限なし
工業地域	5/10又は6/10のう ち、都市計画で定め る数値（※D）	※D + 1/10	※D + 1/10	※D + 1/20
都市計画区域内で用途地域の 指定のない地域	3/10、4/10、5/10、 6/10又は7/10のうち、 特定行政庁が土地利 用の状況等を考慮し 当該区域を区分して 都道府県都市計画審 議会の議を経て定め るもの（※E）	※E + 1/10	※E + 1/10	※E + 2/10



## 1) 容積率に関する緩和、特例、制限

1. 敷地が幅員15m以上の道路に接続する幅員6m以上12m未満の前面道路のうち延長が70m以内において緩和される。  
(建基法52-9)



$$W_a = (12 - W_r) \times \frac{70 - L}{70}$$

その敷地の用途地域が住居系地域の場合は、道路の幅に4/10を乗じ、その他の地域の場合は6/10を乗じて求めた数値以下で、かつ、指定容積率以下としなくてはならない。  
したがって、敷地Aにおける前面道路幅員による容積率制限は  $(W_r + W_a) \times 6/10$  (または4/10) となる。

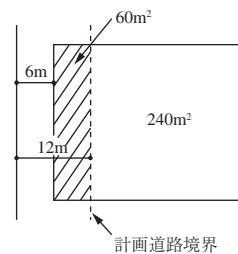
例) 商業地域、800%(容積率制限)、前面道路幅8m、L = 40m

$$W_a = (12 - 8) \times \frac{70 - 40}{70} = 1.714$$

$$(8 + 1.714) \times 6/10 = 5.828 \rightarrow 582.8\%$$

## 2. 計画道路に面する敷地。(建基法52-10)

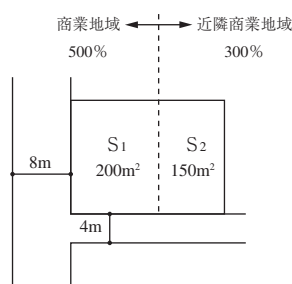
敷地内に計画道路がある場合は、特定行政庁の許可があれば制限を緩和できる。  
(計画道路を前面道路と見なして容積率を算定する。但し、その許可申請が必要)



(条件) 商業地域、500%

最大床面積：240m<sup>2</sup> × 5.0 = 1,200m<sup>2</sup>

## 3. 敷地が容積率制限の異なる2以上の区域にかかる時 (建基法52-7)



S<sub>1</sub>について8m × 0.6 = 4.8 → 480%

S<sub>2</sub>について8m × 0.6 = 4.8 → 300%

最大床面積

200m<sup>2</sup> × 4.8 + 150m<sup>2</sup> × 3.0 = 1,410m<sup>2</sup>

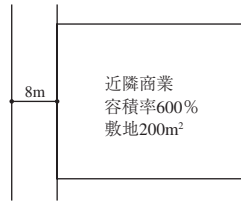
又、当該土地の容積率限度値は

1,410m<sup>2</sup> ÷ 350m<sup>2</sup> = 4.028 → 402%

2) 駐車場に関する制限

1. 自動車車庫、その他の専ら自動車（自転車）の停留・駐車施設の利用に供する部分（誘導車路、操作場所、乗降場を含む）の床面積は敷地内建物の延べ面積の1/5を限度として延べ面積の計算より除くことができる。  
(建基令2-1-4、建基令2-3)

例)1. 最大床面積と車庫面積

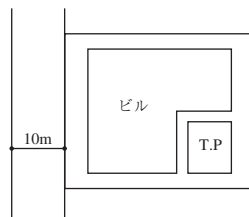


道路幅より  
 $8 \times 0.6 = 4.8(480\%) < 600\%$ 、480%を採用  
 $200\text{m}^2 \times 4.8 = 960\text{m}^2$   
 駐車施設の利用に供する部分がある場合、  
 $A - 1/5A = 960\text{m}^2$   
 $A = 1,200\text{m}^2$   
 $b = 1/5A = 240\text{m}^2$

┌ A : 最大床面積  
└ B : 車庫面積

車庫面積が240m<sup>2</sup>以上であれば、床面積の合計は最大1,200m<sup>2</sup>までとることができる。この場合、すべてを立体駐車場とするならば、約80台収容可能となる。(庇、管理室等により異なる)

例)2. 商業地域、800%、敷地面積600m<sup>2</sup>  
ビル3,000m<sup>2</sup>、TP及び車路700m<sup>2</sup>



$A = 3,000 + 700 = 3,700\text{m}^2$   
 総延べ面積

┌ A : 延べ面積  
└ B : 容積率算定用

道路幅より  
 $10 \times 0.6 = 6(600\%) < 800\%$ 、600%を採用  
 $600\text{m}^2 \times 6 = 3,600\text{m}^2$   
 駐車施設の利用に供する部分がある場合、  
 $1/5A = 740\text{m}^2 > 700\text{m}^2$   
 $B = A - 700\text{m}^2 = 3,000\text{m}^2$   
 $\therefore 3,000\text{m}^2 > 3,600\text{m}^2$ となる。

自動車車庫の用途規制

建基令130の5、130の5の5、130の8

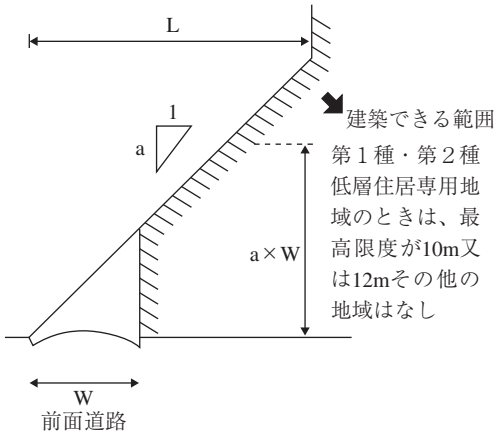
車庫型式	第1種 低層住居専用地域 第2種	第1種 中高層住居専用地域 第2種	第1種 住居地域 第2種
独立車庫	禁止  工作物：築造面積 $\leq 50\text{m}^2$ は不可 (▶建法別表2-(イ)-+、H5・6・25住指発225)	床面積合計300m <sup>2</sup> 以内、かつ、2階以下のものは建築可能 〔ただし、都市計画決定されたものは〕 面積制限なし 工作物：築造面積 $\leq 300\text{m}^2$ は可 (▶建法別表2-(ハ)-六)	床面積合計300m <sup>2</sup> 以内、かつ、2階以下のものは建築可能 〔ただし、都市計画決定されたものは〕 面積・階数制限なし 工作物：築造面積 $\leq 300\text{m}^2$ は可 (▶建法別表2-(ヘ)-四)
附属車庫	下記①~④のいずれかで、かつ、2階以上の部分にない場合は可 ① $S > 600\text{m}^2$ 、かつ、 $B > 50\text{m}^2$ のとき $A + B \leq 600\text{m}^2$ ② $S > 600\text{m}^2$ 、かつ、 $B \leq 50\text{m}^2$ のとき $A \leq 600\text{m}^2$ ③ $S \leq 600\text{m}^2$ 、かつ、 $B > 50\text{m}^2$ のとき $A + B \leq S$ ④ $S \leq 600\text{m}^2$ 、かつ、 $B \leq 50\text{m}^2$ のとき $A \leq S$	下記①~④のいずれかで、かつ、3階以上の部分にない場合は可 ① $S > 3,000\text{m}^2$ 、かつ、 $B > 300\text{m}^2$ のとき $A + B \leq 3,000\text{m}^2$ ② $S > 3,000\text{m}^2$ 、かつ、 $B \leq 300\text{m}^2$ のとき $A \leq 3,000\text{m}^2$ ③ $S \leq 3,000\text{m}^2$ 、かつ、 $B > 300\text{m}^2$ のとき $A + B \leq S$ ④ $S \leq 3,000\text{m}^2$ 、かつ、 $B \leq 300\text{m}^2$ のとき $A \leq S$	下記の場合は可 $A + B \leq S$ 、かつ、3階以上の部分にないこと
	公告対象区域内*の附属自動車車庫の場合 $A + B \leq 2,000\text{m}^2$ 、かつ、2階部分にないこと (以下 略) (▶建令130の5参照)	公告対象区域内*の附属自動車車庫の場合 $A + B \leq 10,000\text{m}^2$ 、かつ、3階部分にないこと (以下 略) (▶建令130の5の5参照)	(省略)  (▶建令130の8参照)

S : 同一敷地内の建築物（自動車車庫の用途に供する部分を除く。）の延べ面積の合計  
 A : 同一敷地内の建築物に附属する自動車車庫で建築物として扱うものの床面積の合計  
 B : 同一敷地内の建築物に附属する自動車車庫で工作物として扱うものの築造面積の合計  
 \*...「公告対象区域内」とは、一団地の総合的設計制度等によるもの ⇒資料8-4~7参照



## (3) 高さの制限 (建築基準法第56条)

### 1) 道路斜線制限



L: 適用距離 (法別表第3 (は) 欄に掲げる数値)

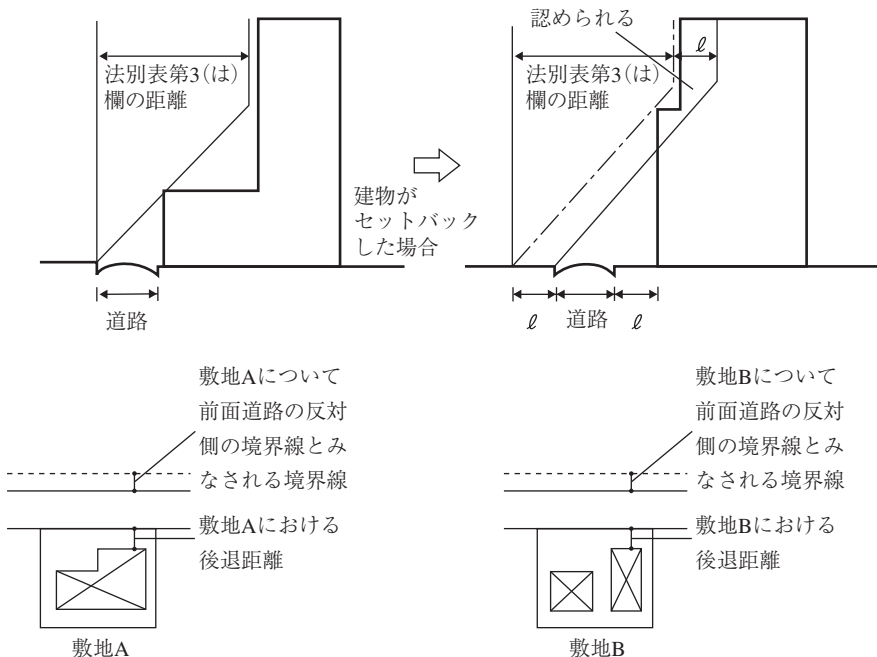
- a =
- 第1種低層住居専用地域
  - 第2種低層住居専用地域
  - 第1種中高層住居専用地域
  - 第2種中高層住居専用地域
  - 第1種住居地域
  - 第2種住居地域又は準住居地域
  - その他の地域
- 1.25
- 1.5

## 道路斜線制限 (法別表第3)

	(い)	(ろ)	(は)	(に)
	建築物がある地域、地区又は区域	法52条1項、2項、7項、9項による容積率制限の限度	距離	数値
1	第1種低層住居専用地域 第2種低層住居専用地域 第1種中高層住居専用地域 第2種中高層住居専用地域 第1種住居地域 第2種住居地域 準住居地域 } 4を除く。	20/10 以下の場合	20m	1.25 * (1.5)
		20/10 を超え 30/10 以下の場合	25m (20)	
		30/10 を超え 40/10 以下の場合	30m (25)	
		40/10 を超える場合	35m (30)	
2	近隣商業地域 商業地域	40/10 以下の場合	20m	1.5
		40/10 を超え 60/10 以下の場合	25m	
		60/10 を超え 80/10 以下の場合	30m	
		80/10 を超え 100/10 以下の場合	35m	
		100/10 を超え 110/10 以下の場合	40m	
		110/10 を超え 120/10 以下の場合	45m	
3	準工業地域(4を除く。) 工業地域 工業専用地域	20/10 以下の場合	20m	1.5
		20/10 を超え 30/10 以下の場合	25m	
		30/10 を超え 40/10 以下の場合	30m	
		40/10 を超える場合	35m	
4	高層住居誘導地区内で、住宅部分 ≥ 2/3 × 全体延べ面積の建築物		35m	1.5
5	用途地域の指定のない区域内の建築物	20/10 以下の場合	20m	1.25
		20/10 を超え 30/10 以下の場合	25m	又は*
		30/10 を超える場合	30m	1.5

(備考)

1. 建築物がこの表 (い) 欄に掲げる地域、地区又は区域の2以上にわたる場合は、同欄中「建築物」とあるのは「建築物の部分」とする。
  2. 建築物の敷地がこの表 (い) 欄に掲げる地域、地区又は区域の2以上にわたる場合の表 (は) 欄に掲げる距離の適用については、(い) 欄中「建築物がある地域、地区又は区域」とあるのは、「建築物又は建築物の部分の前面道路に面する方向にある当該前面道路に接する敷地の部分の属する地域、地区又は区域」とする (▶ 建令130の11)。
  3. 左表の1欄 (第1種、第2種低層住居専用地域は除く。) において、前面道路の幅員が12m以上の場合、「1.25」とあるのは前面道路の反対側の境界線からの水平距離が「前面道路の幅員 × 1.25」以上の区域内においては「1.5」とする (▶ 建法56-3)。
  4. 第1・2種中高層地域 (基準容積率 ≥ 40/10) 及び第1・2種住居地域 (特定行政庁が都市計画審議会の議を経て指定する区域) においては ( ) 内の数値となる。
- \*...特定行政庁が都市計画審議会の議を経て定める。



敷地Aについて  
前面道路の反対  
側の境界線とみ  
なされる境界線

敷地Aにおける  
後退距離

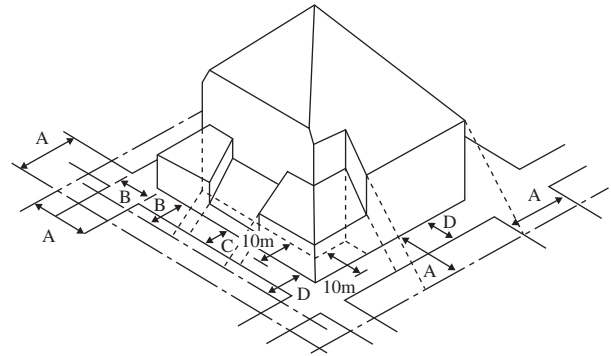
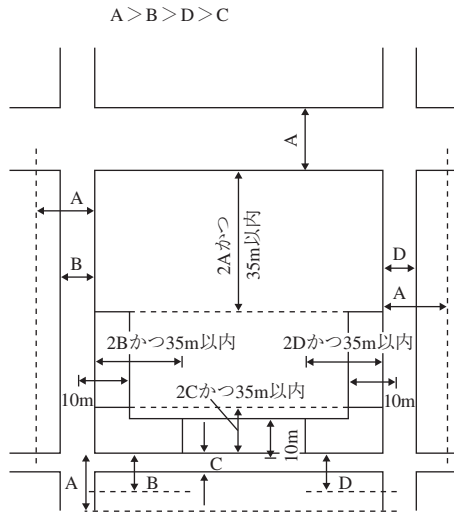
敷地A

敷地Bについて  
前面道路の反対  
側の境界線とみ  
なされる境界線

敷地Bにおける  
後退距離

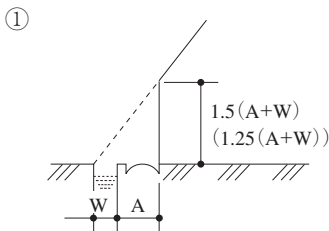
敷地B

敷地が2以上の道路に接する場合の道路斜線制限の概要

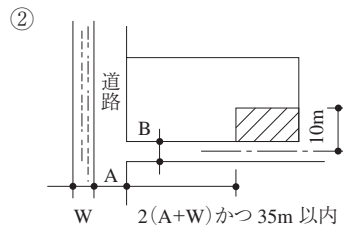


注) 敷地は全て道路斜線制限の適用範囲内にあるものとし  
また建築物の道路からの後退はないものとした場合

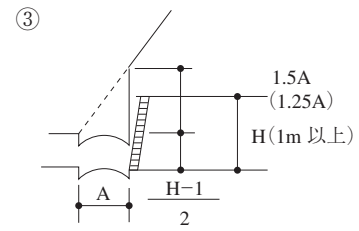
隣地との関係で制限が緩和される場合(建築基準法施行令第134条、第135条の2、3、4)



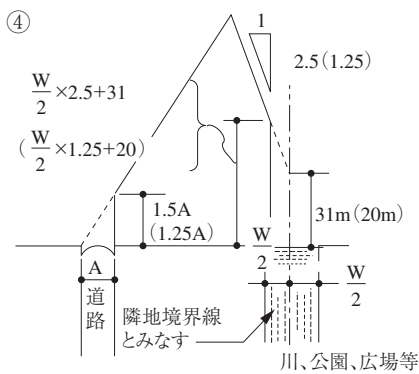
前面道路の反対側に公園、  
水面等がある場合



敷地がかど地で川のある場合

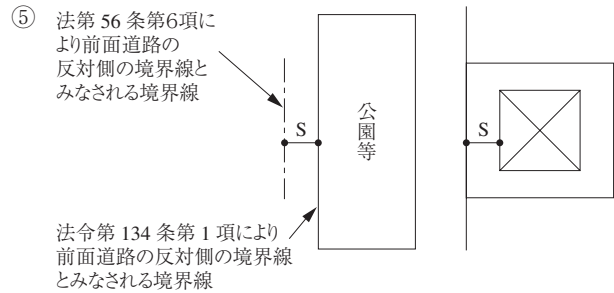


道路面と敷地の地盤面  
とに高低差がある場合



隣地との関係で制限  
が緩和される場合

( )内は住居系



法第56条第6項により前面道路の  
反対側の境界線と  
みなされる境界線

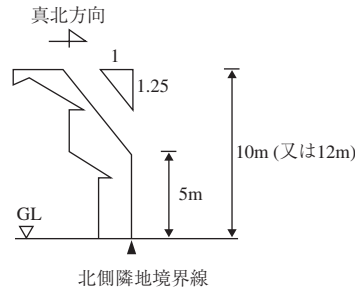
法令第134条第1項により  
前面道路の反対側の境界線  
とみなされる境界線

法別表第3(ハ)欄の数値

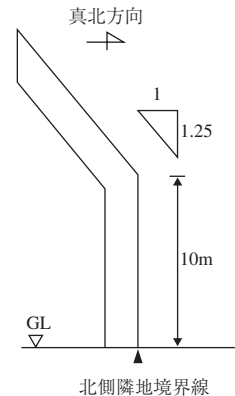


3) 建築物の各部の高さ（北側斜線と高さ制限 建築基準法第56条1項3号）  
用途地域によるもの

第1種低層住居専用地域  
第2種低層住居専用地域



第1種中高層住居専用地域  
第2種中高層住居専用地域

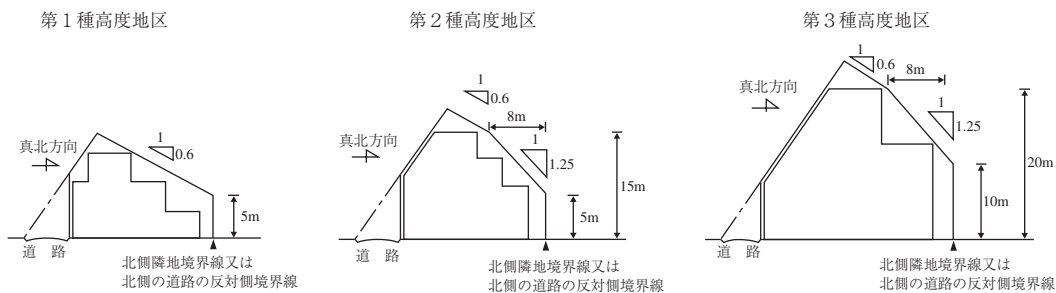


4) 高度地区（建築基準法第58条）

用途地域内で特別に市街地の環境を維持し、または、土地利用の増進を図るため、建築物の最高限度または最低限度を定める地区。高度地区の指定および内容については、各都道府県、市町村の都市計画により定められている。

[東京都参考例]

東京都の高度地区指定の内容は、建築物の各部分の高さの限度を次のように定めている。



- 上記の高度地区は北側に線路敷等がある場合制限が緩和される。
- その他の高度地区として「最低限高度地区（7m）」が区内の一部に指定されている。
- 第1種及び第2種低層住居専用地域の建築物の高さの限度は10mと定めている。
- 高度地区の他に建築基準法では、道路斜線・隣地斜線等の建築物の高さ制限を定めている。

[横浜市参考例]

横浜市の高度地区指定の内容は、建築物各部分の高さの限度を次のように定めている。

高度地区（最高限）

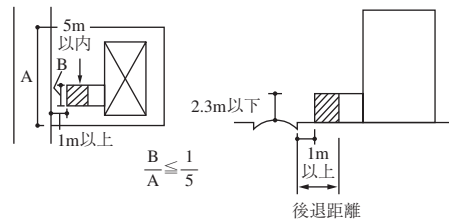
<p>第1種高度地区</p>	<p>第3種高度地区</p>	<p>第5種高度地区</p>	<p>第7種高度地区</p>
<p>第2種高度地区</p>	<p>第4種高度地区</p>	<p>第6種高度地区</p>	

- 敷地の北側に道路、水面、線路敷等が接する場合は制限の緩和がある。
- 高度地区には、他に最低限度地区が指定されている地区もある。  
(最低限第1種は14m以上、最低限第2種は12m以上、最低限第3種は7m以上)
- 最低限高度地区の制限を受ける建築物は、最高限高度地区（第7種高度地区、高さ制限31m）の適用は除外される。
- 建築物の敷地が2以上の高度地区または高度地区の内外にわたる場合の北側斜線は、北側の敷地境界線が属する高度地区に関する制限によるものとする。

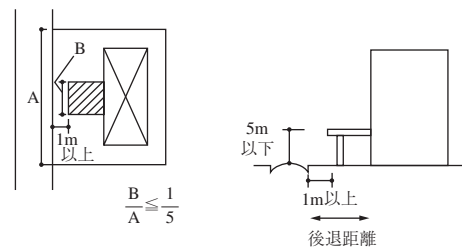
## 後退距離の算定において建築物から除かれる部分（建築基準法施行令第130条の12）

### （自転車置場、車庫等）

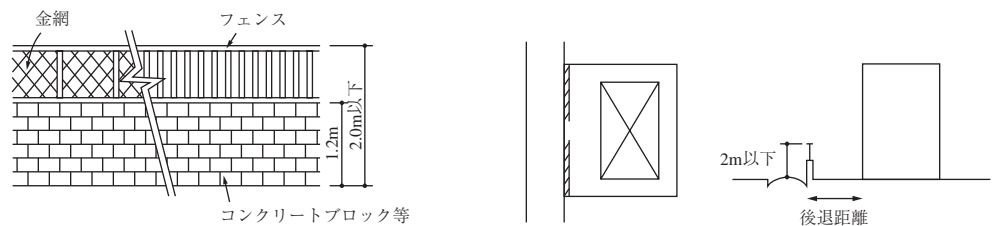
- i) 物置（自転車置場、車庫等）その他これに類する用途に供するもので次の要件を満たす建築物の部分
- ① 軒の高さが前面道路の路面の中心から2.3m以下であり、かつ、床面積の合計が5m<sup>2</sup>以内であること。
  - ② 間口率（当該部分の水平投影の前面道路に面する長さを敷地の前面道路に接する部分の水平投影の長さで除した数値）が1/5以下であること。
  - ③ 前面道路の境界線から1m以上後退していること。（建築物の壁、柱等の面で測定する。以下ii）において同じ）



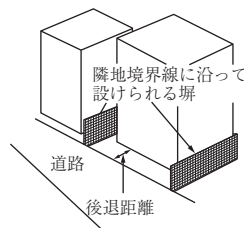
- ii) ポーチその他これに類するもので、次の要件を満たす建築物の部分
- ① 前面道路の路面の中心からの高さが5m以下であること。
  - ② 間口率が1/5以下であること。
  - ③ 前面道路の境界線から1m以上後退していること。



- iii) 道路に沿って設けられる前面道路の路面の中心からの高さが2m以下の門、塀で、前面道路の中心からの高さが1.2mを超える部分が網状その他これに類する形状のもの

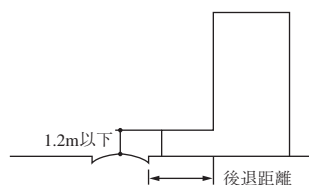


- iv) 隣地境界線に沿って設けられる門、塀



- v) 歩廊、渡り廊下その他これに類する建築物の部分で特定行政庁がその地方の気候もしくは風土の特殊性又は土地の状況を考慮して規則で定めた建築物の部分 特定行政庁の規則で定めるものの例としては、具体的には、多雪区域等におけるいわゆる「がんぎ」や道路上に設けられた公共用歩廊等と接続する部分等が考えられる。

- vi) 前面道路の路面の中心からの高さが1.2m以下の建築物の部分



(4) 駐車場に関する制限

自動車車庫の用途規制一覧表

用途地域	建築物の用途規制(法第48条及び令第130条の5、5の5、7の2及び8)		令第138条第3項第二号に掲げる準用工作物		
	同一敷地内で建築物に附属する自動車車庫	独立	同一敷地内で建築物に附属する自動車車庫	独立	備考
第一種低層住居専用地域 第二種低層住居専用地域	・床面積が600m <sup>2</sup> 以内、自動車車庫部分を除いた建築物の延べ面積以内、かつ、1階以下のものを許容	<禁止>	・築造面積に自動車車庫部分の床面積を加えた値が600m <sup>2</sup> (自動車車庫部分を除いた建築物の延べ面積が600m <sup>2</sup> 以下の場合、当該延べ面積)を超えるものを指定(築造面積が50m <sup>2</sup> 以下のものを除く)	・築造面積が50m <sup>2</sup> を超えるものを指定	<準用規定> ・準用工作物については、法第88条第2項の規定により法第48条の規定を準用する。
第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域	・床面積が3,000m <sup>2</sup> 以内、自動車車庫部分を除いた建築物の延べ面積以内、かつ、2階以下のものを許容 ・独立で許容されるものは許容	・床面積が300m <sup>2</sup> 以内、かつ、2階以下のものを許容	・築造面積に自動車車庫部分の床面積を加えた値が3,000m <sup>2</sup> (自動車車庫部分を除いた建築物の延べ面積が3,000m <sup>2</sup> 以下の場合、当該延べ面積)を超えるものを指定(築造面積が300m <sup>2</sup> 以下のものを除く)	・築造面積が300m <sup>2</sup> を超えるものを指定	・準用される法第48条の規定により準用工作物の築造は、原則として、認められない。
第一種住居地域 第二種住居地域	・床面積が自動車車庫部分を除いた建築物の延べ面積以内、かつ、2階以下のものを許容 ・独立で許容されるものは許容	・床面積が300m <sup>2</sup> 以内、かつ、2階以下のものを許容	・築造面積に自動車車庫部分の床面積を加えた値が自動車車庫部分を除いた建築物の延べ面積を超えるものを指定(築造面積が300m <sup>2</sup> 以下のものを除く)	・築造面積が300m <sup>2</sup> を超えるものを指定	
準住居地域 近隣商業地域 商業地域 準工業地域 工業地域 工業専用地域	・規模、階級にかかわらず許容	・規模、階級にかかわらず許容	・準用工作物の指定なし	・準用工作物の指定なし	

- ・本表の他、都市計画決定したものや一団地の建築物に係わる団地内の自動車車庫に関する面積制限の特例があります。
- ・同一敷地内に建築物に附属する建築物である自動車車庫と工作物である自動車車庫がある場合には、床面積と築造面積を合算します。(自動車車庫の面積)
- ・同一敷地内にある建築物に附属する自動車車庫の用途に供する工作物の築造面積が一定規模(低層系：50m<sup>2</sup>、中高層系：300m<sup>2</sup>)以下である場合には、その部分の築造面積を算入しません。

法：建築基準法

法令：建築基準法施行令

準用工作物…建築基準法の適用を受ける。

立体駐車場のなかには建築物として扱われないものがあります。たとえば屋根のない柱と機械だけのものです。そうした建築物として扱われない工作物はすべて建築基準法の適用を受けないというわけではありません。ある一定の規模に達した工作物は、建築基準法の規定を準用するという規定があります。それが建築基準法施行令第138条の規定です。そして建築基準法のなかには定義はありませんが、建築確認が必要な工作物(建築物にあたらぬ)のことを一般的に準用工作物と呼んでいます。

工作物…建築基準法の適用を受けない。

建築物・準用工作物にもあてはまらない建築基準法の適用を受けない工作物(建築物にあたらぬ)です。



# 建築物の床面積の算定方法

国土交通省（旧建設省）は、昭和61年4月30日（建設省住指発第115号）の住宅局建築指導課長通達で、各特定行政庁に、建築物の床面積の算定方法について通知した。本通達は、床面積の算定方法については、建築基準法施行令第2条第1項第3号に規定されているが、この取扱いが地方により必ずしも統一されていない状況に鑑み、ピロティ、吹きさらしの廊下、屋外階段等の床面積の算定及び壁その他の区画の中心線の設定について、取扱いを定め通知したものであり、昭和61年8月1日以降確認申請書又は計画申請書が提出される建築物から適用される。

以下に、その内容を紹介する。

## 【1】建築物の床面積の算定

建築物の床面積は、建築物の各階又はその一部で、壁、扉、シャッター、手摺、柱等の区画の中心線で囲まれた部分の水平投影面積によるものであるが、ピロティ、ポーチ等で壁、扉、柱等を有しない場合には、床面積に算入するかどうかは、当該部分が居住、執務、作業、集会、娯楽、物品の保管又は格納その他の屋内の用途に供する部分であるかどうかにより判断するものとする。

例えば、次の各号に掲げる建築物の部分の床面積の算定は、それぞれ当該各号に定めるところによるものとする。

### (1) ピロティ

十分に外気に開放され、かつ、屋内的用途に供しない部分は、床面積に算入しない。

### (2) ポーチ

原則として床面積に算入しない。ただし、屋内的用途に供する部分は、床面積に算入する。

### (3) 公共用歩廊、傘型又は壁を有しない円型の建築物 ピロティに準じる。

### (4) 吹きさらしの廊下

外気に有効に開放されている部分の高さが、1.1m以上であり、かつ、天井の高さの1/2以上である廊下については、幅2mまでの部分を床面積に算入しない。

### (5) バルコニー・ベランダ

吹きさらしの廊下に準じる。

### (6) 屋外階段

次の各号に該当する外気に有効に開放されている部分を有する階段については、床面積に算入しない。

イ. 長さが、当該階段の周長の1/2以上であること。

ロ. 高さが、1.1m以上、かつ、当該階段の天井の高さの1/2以上であること。

### (7) エレベータシャフト

原則として、各階において床面積に算入する。ただし、着床できない階であることが明らかである階については、床面積に算入しない。

### (8) パイプシャフト等

各階において床面積に算入する。

### (9) 給水タンク又は貯水タンクを設置する地下ピット

タンクの周囲に保守点検用の専用の空間のみを有するものについては、床面積に算入しない。

### (10) 出窓

次の各号に定める構造の出窓については、床面積に算入しない。

イ. 下端の床面からの高さが、30cm以上であること。

ロ. 周囲の外壁面から水平距離が50cm以上突き出していないこと。

ハ. 見付け面積の1/2以上が窓であること。

### (11) 機械式駐車場

吊上式自動車車庫、機械式立体自動車車庫等で、床として認識することが困難な形状の部分については、1台につき15m<sup>2</sup>を、床面積として算定する。なお、床としての認識が可能な形状の部分については、通常の算定方法による。

### (12) 機械式駐輪場

床として認識することが困難な形状の部分については、1台につき1.2m<sup>2</sup>を、床面積として算定する。なお、床としての認識が可能な形状の部分については、通常の算定方法による。

### (13) 体育館等のギャラリー等

原則として、床面積に算入する。ただし、保守点検等一時的な使用を目的にしている場合には、床面積に算入しない。

## 【2】区画の中心線の設定方法

次の各号に掲げる建築物の壁その他の区画の中心線は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

### (1) 木造の建築物

イ. 軸組工法の場合 —— 柱の中心線

ロ. 枠組壁工法の場合 —— 壁を構成する枠組材の中心線

ハ. 丸太組工法の場合 —— 丸太材等の中心線

### (2) 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造等の建築物

鉄筋コンクリートの躯体、PC板（プレキャストコンクリート板）等の中心線

### (3) 鉄骨造の建築物

イ. 金属板、石綿スレート、石膏ボード等の薄い材料を張った壁の場合 —— 胴縁等の中心線

ロ. イ以外の場合 —— PC板、ALC板（高温高圧蒸気養生された軽量気泡コンクリート板）等の中心線

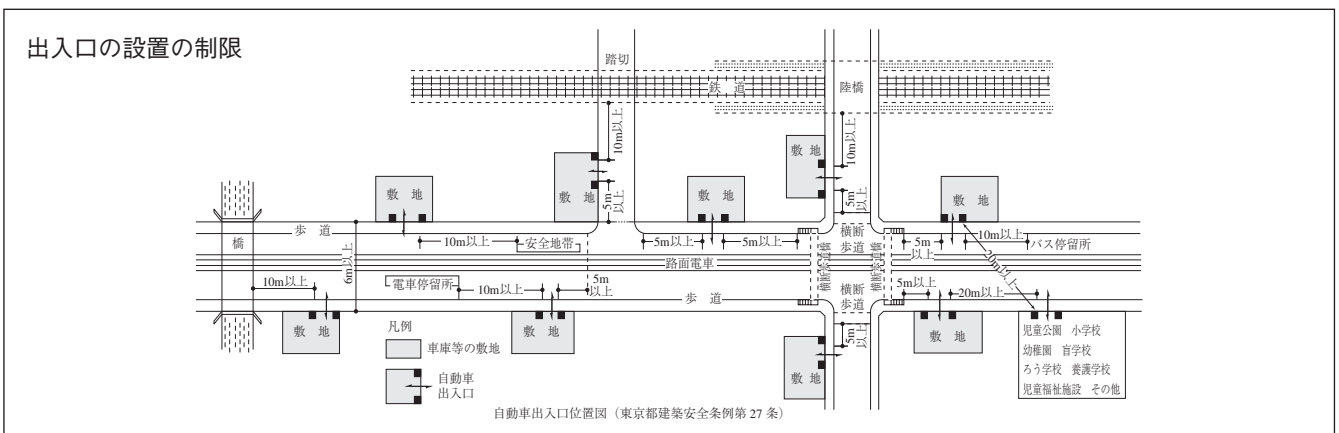
### (4) 組積造又は補強コンクリートブロック造の建築物

コンクリートブロック、石、レンガ等の主要な構造部材の中心線

（本ページはご参考用です。詳細は、最新法令をご確認ください。）

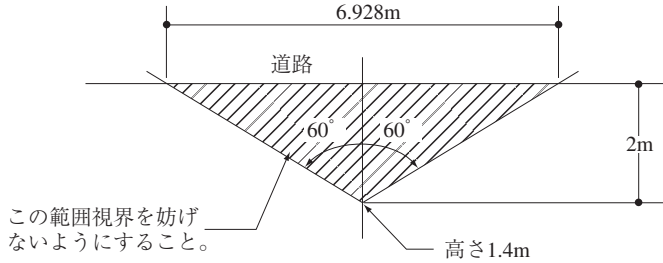
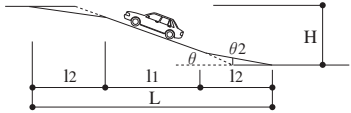
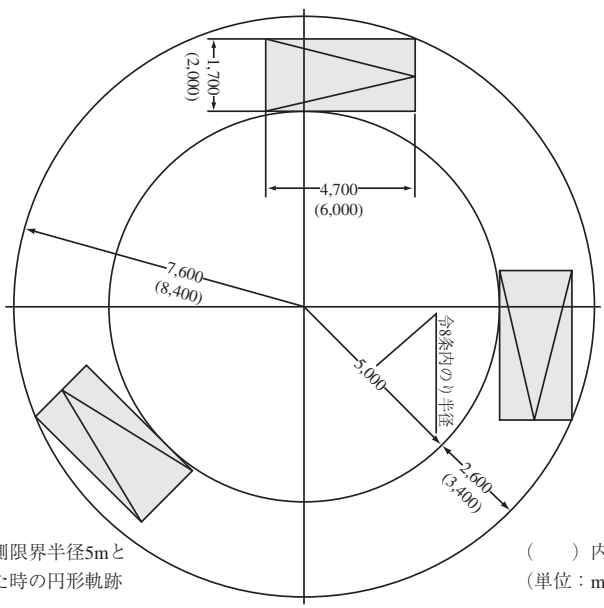
# 出入口設置の制限

出入口の設置出来ない部分	法規及び備考
<p>1. 道路交通法第44条第1号～第6号に該当する部分（停車及び駐車を禁止する場所）            第四十四条 車両は、道路標識等により停車及び駐車が禁止されている道路の部分及び次に掲げるその他の道路の部分においては、法令の規定若しくは警察官の命令により、又は危険を防止するため一時停止する場合のほか、停車し、又は駐車してはならない。ただし、乗合自動車又はトロリーバスが、その属する運行系統に係る停留所又は停留場において、乗客の乗降のため停車するとき、又は運行時間を調整するため駐車するときは、この限りでない。</p> <p>1) 交差点、横断歩道、自転車横断帯、踏切、軌道敷内、坂の頂上付近、勾配の急な坂又はトンネル            2) 交差点の側端又は道路のまがりかどから五メートル以内の部分            3) 横断歩道又は自転車横断帯の前後の側端からそれぞれ前後に五メートル以内の部分            4) 安全地帯が設けられている道路の当該安全地帯の左側の部分及び当該部分の前後の側端からそれぞれ前後に十メートル以内の部分            5) 乗合自動車の停留所又はトロリーバス若しくは路面電車の停留場を表示する標示柱又は標示板が設けられている位置から十メートル以内の部分（当該停留所又は停留場に係る運行系統に属する乗合自動車、トロリーバス又は路面電車の運行時間中に限る。）            6) 踏切の前後の側端からそれぞれ前後に十メートル以内の部分            （罰則 第一百九条の二第一項第一号、同条第二項、第一百九条の三第一項第一号、同条第二項）</p> <p>2. 道路交通法第四十四条各号に掲げる道路の部分            3. 横断歩道橋（地下横断歩道を含む。）の昇降口から五メートル以内の道路の部分            4. 小学校、児童公園等の出入口から二十メートル以内の部分            5. 橋            6. 幅員が六メートル未満の道路            7. 縦断勾配が十パーセントを超える道路</p>	<p>駐車場法施行令第7条            （駐車の用に供する部分の面積が500㎡            以上の駐車場に適用（駐車場法施行令第6条））</p> <p>5.は国土交通大臣が道路の円滑かつ安全な交通の確保に支障がないと認めた場合は設置可能</p>
<p>1. 幅員6m未満の道路、ただし下記に該当する場合適用しない。            1) 車庫等の用途に供する床面積の合計が200㎡以下の敷地で出入口が幅員4m以上の道路に面し、かつ交通安全上支障がない場合。            2) 車庫等の床面積の合計が300㎡以下で出入口が5m以上の道路に面している場合。            3) 同じく400㎡以下で、出入口が幅員4m以上の道路に面し、その道路と道路に沿った当該敷地の一部をもって幅員6m以上の道路状にし、かつ他の6m以上の道路に有効に通じるようにした場合。            2. 道路の交差点もしくは曲角、横断歩道又は横断歩道橋（地下横断歩道を含む）の昇降口から5m以内の道路。            3. 勾配が8分の1を超える道路。            4. 道路上に設ける電車停留所、安全地帯、横断歩道橋詰め、又は踏切から10m以内の道路。            5. 公園・小学校・幼稚園・その他これらに類するものの出入口から20m以内の道路。            6. 知事が交通上支障があると認めて指定した道路。</p>	<p>東京都建築安全条例第10条の2第27条            （自動車車庫に供する部分の床面積の合計が50㎡を超えるものに適用（駐車場法施行令第6条））            2.3.4.については交通の安全上支障がないと認める場合は規定の制限を緩和することが出来る。            （警察の交通主管課へ協議し、その意見を参考に建築主事が決定する）            （行政庁と事前協議の必要あり）</p>
<p>1. 道路が交差し、もしくは屈曲する箇所または横断歩道橋（地下横断歩道を含む）から5m以内の場所。            2. 路面電車の停留所、バス停留所、安全地帯または踏切から10m以内の部分。            3. 公園・小学校・養護学校・幼稚園または老人福祉施設その他これらに類するものの出入口から10m以内（前面道路が6m未満の場合は、30m以内）            ※前面道路の幅員については、下記運用基準による。            自動車の出入口と前面道路幅員の関係</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(1) 延面積にかかわらず (1項、2項)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(2) 1/3以下の付属車庫の場合 (3項1号)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(3) 300㎡超1,500㎡以下の車庫の場合 (3項2号)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(4) 300㎡以下の車庫の場合 (3項3号)</p> </div> </div> <p>※1 建築基準法第42条第2項に規定する道路である場合には4m未満も可。            ※2 現況幅員</p>	<p>大阪府建築基準法施行条例第50条            （詳細については建築指導部審査課にて協議）</p>





# 出入口と車路

規 定	法規及び備考
<p>(自動車の出口の構造 = 見とおし角)</p>  <p>この範囲視界を妨げないようにすること。</p>	<p>駐車場法施行令第7条 (駐車のために供する部分の面積500m<sup>2</sup>以上の駐車場に適用) 東京都建築安全条例第28条 (駐車のために供する部分の面積が50m<sup>2</sup>以上の駐車場に適用 (駐車場法施行令第6条))</p>
<p>(車路)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ はり下の高さは、2.3m以上であること。</li> <li>・ 屈曲部 (ターンテーブルが設けられているものを除く。以下同じ。) は、自動車を5m以上の内法半径で回転させることができる構造であること。</li> <li>・ 傾斜部の縦断勾配は、17%を超えないこと。</li> <li>・ 傾斜部の路面は、粗面とし、又は滑りにくい材料で仕上げること。</li> </ul>	<p>駐車場法施行令第8条 (駐車のために供する部分の面積が500m<sup>2</sup>以上の駐車場に適用 (駐車場法施行令第6条))</p>
<p>[ 参考 ]</p>  <p>l<sub>1</sub> : 斜路勾配区間17% (1/6) 以下 l<sub>2</sub> : 緩和勾配区間8.5% (1/12) 以下、長さ3.5m以上 L : 斜路全長H=4.5m、斜路勾配17%とした場合、30.5m以上必要となる</p> <p>なお、斜路勾配最低基準17%の場合、不慣れな運転手に恐怖感を与える場合が多く、13% (1/8) ~ 10% (1/10) 程度の勾配とするのが望ましい</p>  <p>内側限界半径5mとした時の円形軌跡 ( ) 内大型車 (単位: mm)</p>	<p>[ 参考 ]</p>
<p>(前面空地)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車を昇降させる設備を設ける車庫では奥行6m×幅員6m (長さ5m以下の自動車用ではおのおの5.5m×5.5m) の前面空地が必要。</li> </ul>	<p>東京都建築安全条例第28条2項 (駐車のために供する部分の面積が50m<sup>2</sup>以上の駐車場に適用 (駐車場法施行令第6条))</p>

# 消防法

## 【1】 消火設備

消防法施行令第10条、13条では、駐車するすべての車両が同時に屋外へ出る事が出来る構造の階を除き、駐車のために供する部分（車路含む）の床面積が地階または2階以上の階にあつては200m<sup>2</sup>以上、1階にあつては500m<sup>2</sup>以上、屋上部分にあつては300m<sup>2</sup>以上のものは水噴霧消火設備、泡消火設備、不活性ガス消火設備、ハロゲン化物消火設備又は、粉末消火設備のいずれかを設備しなければならない。さらに上記外のものでも延べ面積150m<sup>2</sup>以上のものは（地階無窓階又は3階以上にあつては50m<sup>2</sup>）簡易消火設備を備えなければならない。

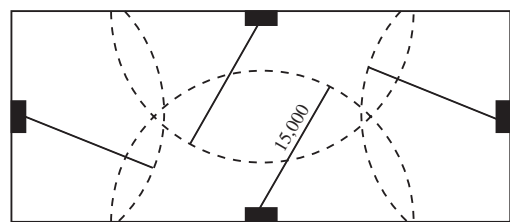
尚、機械式等による場合は、収容台数10台以上のものについては上記と同様の設備を必要とする。

	屋 外		屋 内	
機械式 駐車設備	収容台数 9台まで	設備なし	収容台数 9台まで	設備なし
	収容台数 10台以上	移動式粉末消火 (半径15m以内に 1ヶ所設置)	収容台数 10台以上	固定式消火設備

※ 行政管轄によって指導が異なる場合がありますので、御確認ください。

### <設置基準例>

移動式粉末消火設備はすべての防護対象物について、その対象物の各部分からホース接続口までの水平距離が15m以下となるように設置しなければなりません。  
(消防法施行令第18条第1項第2号)



(単位：mm)

■ 移動式粉末消火設備

# 駐車場法（抄）

昭和32年5月16日 法律第106号

最終改正 平成23年12月14日法律第122号

## 【目的】

第1条 この法律は、都市における自動車の駐車のための施設の整備に関し必要な事項を定めることにより、道路交通の円滑化を図り、もつて公衆の利便に資するとともに、都市の機能の維持及び増進に寄与することを目的とする。

## 【用語の定義】

第2条 この法律において次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- 1 路上駐車場 駐車場整備地区内の道路の路面に一定の区画を限つて設置される自動車の駐車のための施設であつて一般公共の用に供されるものをいう。
- 2 路外駐車場 道路の路面外に設置される自動車の駐車のための施設であつて一般公共の用に供されるものをいう。
- 3 道路 道路法（昭和27年法律第180号）による道路をいう。
- 4 自動車 道路交通法（昭和35年法律第105号）第2条第1項第九号に規定する自動車をいう。
- 5 駐車 道路交通法第2条第1項第十八号に規定する駐車をいう。

## 【国及び地方公共団体の責務】

第2条の2 国及び地方公共団体は、自動車の駐車のための施設の需要に応じ、自動車の駐車のための施設の総合的かつ計画的な整備の推進が図られるよう努めなければならない。

## 【駐車場整備地区】

第3条 都市計画法（昭和43年法律第100号）第8条第1項第一号の商業地域（以下「商業地域」という。）、同号の近隣商業地域（以下「近隣商業地域」という。）、同号の第一種住居地域、同号の第二種住居地域、同号の準住居地域若しくは同号の準工業地域（同号の第一種住居地域、同号の第二種住居地域、同号の準住居地域又は同号の準工業地域にあつては、同項第二号の特別用途地区で政令で定めるものの区域内に限る。）内において自動車交通が著しくふくそうする地区又は当該地区の周辺の地域内において自動車交通が著しくふくそうする地区で、道路の効用を保持し、円滑な道路交通を確保する必要があると認められる区域については、都市計画に駐車場整備地区を定めることができる。

2 駐車場整備地区に関する都市計画を定め、又はこれに同意しようとする場合においては、あらかじめ、都道府県知事にあつては都道府県公安委員会の、国土交通大臣にあつては国家公安委員会の意見を聴かなければならない。

## 【構造及び設備の基準】

第11条 路外駐車場で自動車の駐車のために供する部分の面積が500㎡以上であるものの構造及び設備は、建築基準法（昭和25年法律第201号）その他の法令の規定の適用がある場合においてはそれらの法令の規定によるほか、政令で定める技術的基準によらなければならない。

## 【建築物の新築又は増築の場合の駐車施設の附置】

第20条 地方公共団体は、駐車場整備地区内又は商業地域内若しくは近隣商業地域内において、延べ面積が2,000㎡以上で条例で定める規模以上の建築物を新築し、延べ面積が当該規模以上の建築物について増築をし、又は建築物の延べ面積が当該規模以上となる増築をしようとする者に対し、条例で、その建築物又はその建築物の敷地内に自動車の駐車のための施設（以下「駐車施設」という。）を設けなければならない旨を定めることができる。劇場、百貨店、事務所その他の自動車の駐車需要を生じさせる程度の大きい用途で政令で定めるもの（以下「特定用途」という。）に供する部分のある建築物で特定用途に供する部分（以下「特定部分」という。）の延べ面積が当該駐車場整備地区内又は商業地域内若しくは近隣商業地域内の道路及び自動車交通の状況を勘案して条例で定める規模以上のものを新築し、特定部分の延べ面積が当該規模以上の建築物について特定用途に係る増築をし、又は建築物の特定部分の延べ面積が当該規模以上となる増築をしようとする者に対しては、当該新築又は増築後の当該建築物の延べ面積が2,000㎡未満である場合においても、同様とする。

2 地方公共団体は、駐車場整備地区若しくは商業地域若しくは近隣商業地域の周辺の都市計画区域内の地域（以下「周辺地域」という。）内で条例で定める地区内、又は周辺地域、駐車場整備地区並びに商業地域及び近隣商業地域以外の都市計画区域内の地域であつて自動車交通の状況が周辺地域に準ずる地域内若しくは自動車交通がふくそうすることが予想される地域内で条例で定める地区内において、特定部分の延べ面積が2,000㎡以上で条例で定める規模以上の建築物を新築し、特定部分の延べ面積が当該規模以上の建築物について特定用途に係る増築をし、又は建築物の特定部分の延べ面積が当該規模以上となる増築をしようとする者に対し、条例で、その建築物又はその建築物の敷地内に駐車施設を設けなければならない旨を定めることができる。

3 前2項の延べ面積の算定については、同一敷地内の2以上の建築物で用途上不可分であるものは、これを1の建築物とみなす。

**【建築物の用途変更の場合の駐車施設の附置】**

第20条の2 地方公共団体は、前条第1項の地区若しくは地域内又は同条第2項の地区内において、建築物の部分の用途の変更（以下「用途変更」という。）で、当該用途変更により特定部分の延べ面積が一定規模（同条第1項の地区又は地域内のものにあつては特定用途について同項に規定する条例で定める規模、同条第2項の地区内のものにあつては同項に規定する条例で定める規模をいう。以下同じ。）以上となるものために大規模の修繕又は大規模の模様替（建築基準法第2条第十四号又は第十五号に規定するものをいう。以下同じ。）をしようとする者又は特定部分の延べ面積が一定規模以上の建築物の用途変更で、当該用途変更により特定部分の延べ面積が増加することとなるものために大規模の修繕又は大規模の模様替をしようとする者に対し、条例で、その建築物又はその建築物の敷地内に駐車施設を設けなければならない旨を定めることができる。

2 前条第3項の規定は、前項の延べ面積の算定について準用する。

**附 則（平成18年5月31日法律第46号）抄**

**【施行期日】**

第1条 この法律は、公布の日から起算して1年6月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

3 第1条中都市計画法第5条の2第1項及び第2項、第6条、第8条第2項及び第3項、第13条第3項、第15条第1項並びに第19条第3項及び第5項の改正規定、同条第6項を削る改正規定並びに同法第21条、第22条第1項及び第87条の2の改正規定、第2条中建築基準法第6条第1項の改正規定、第3条、第6条、第7条中都市再生特別措置法第51条第4項の改正規定並びに附則第3条、第4条第1項、第5条、第8条及び第13条の規定 公布の日から起算して6月を超えない範囲内において政令で定める日

**【駐車場法の一部改正に伴う経過措置】**

第5条 特定路外駐車場（第3条の規定による改正後の駐車場法（以下「新駐車場法」という。）第2条第二号に規定する路外駐車場のうち、大型自動二輪車又は普通自動二輪車（いずれも側車付きのものを除く。以下この項において同じ。）の駐車のためのもの又は道路交通法（昭和35年法律第105号）第2条第1項第九号に規定する自動車（大型自動二輪車又は普通自動二輪車を除く。）の駐車のために供する部分の面積が500㎡未満のものをいう。）であつて附則第1条第3号に掲げる規定の施行の際現に存するものについては、新駐車場法第11条の規定による基準は、適用しない。附則第1条第三号に掲げる規定の施行前にその工事に着手した建築、修繕又は模様替に係る特定路外駐車場についても、同様とする。

2 前項の規定は、当該特定路外駐車場について、附則第1条第3号に掲げる規定の施行後に増築、改築、建築基準法第2条第十四号に規定する大規模の修繕又は同条第十五号に規定する大規模の模様替を行う場合には、適用しない。

3 附則第1条第三号に掲げる規定の施行の際都市計画法第4条第2項に規定する都市計画区域内において現に特定路外駐車場でその利用について駐車料金を徴収するものを設置している者についての新駐車場法第12条及び第13条の規定の適用については、新駐車場法第12条中「あらかじめ」とあるのは「都市の秩序ある整備を図るための都市計画法等の一部を改正する法律（平成18年法律第46号）附則第1条第三号に掲げる規定の施行の日から起算して3月以内に」と、新駐車場法第13条第1項中「供用を開始しようとするときは、あらかじめその業務」とあるのは「業務」と、「当該路外駐車場の供用開始後10日以内に」とあるのは「都市の秩序ある整備を図るための都市計画法等の一部を改正する法律附則第1条第三号に掲げる規定の施行の日から起算して3月以内に」とする。この場合において、新駐車場法第22条中「第12条、第13条第1項若しくは第4項」とあるのは、「第12条若しくは第13条第1項（これらの規定を都市の秩序ある整備を図るための都市計画法等の一部を改正する法律附則第5条第3項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）、第13条第4項」とする。



# 駐車場法施行令（抄）

昭和32年12月13日政令第340号

最終改正 平成28年7月15日政令第159号

## 【適用の範囲】

第6条 この節の規定は、路外駐車場で自動車の駐車のために供する部分の面積が500㎡以上であるものに適用する。

## 【自動車の出口及び入口に関する技術的基準】

第7条 法第11条の政令で定める技術的基準のうち、自動車の出口（路外駐車場の自動車の出口で自動車の車路の路面が道路（道路交通法第2条第1項第一号に規定する道路をいう。以下この条において同じ。）の路面に接する部分をいう。以下この条において同じ。）及び入口（路外駐車場の自動車の入口で自動車の車路の路面が道路の路面に接する部分をいう。以下この条において同じ。）に関するものは、次のとおりとする。

- 一 次に掲げる道路又はその部分以外の道路又はその部分に設けること。
    - イ 道路交通法第44条各号に掲げる道路の部分
    - ロ 横断歩道橋（地下横断歩道を含む。）の昇降口から5m以内の道路の部分
    - ハ 幼稚園、小学校、特別支援学校、保育所、知的障害児通園施設、肢体不自由児通園施設、情緒障害児短期治療施設、児童公園、児童遊園又は児童館の出入口から20m以内の部分（当該出入口に接するさくの設けられた歩道を有する道路及び当該出入口に接する歩道を有し、かつ、縁石線又はさくその他これに類する工作物により車線が往復の方向別に分離されている道路以外の道路にあつては、当該出入口の反対側及びその左右20m以内の部分を含む。）
    - ニ 橋
    - ホ 幅員が6m未満の道路
    - ヘ 縦断勾配が10%を超える道路
  - 二 路外駐車場の前面道路が2以上ある場合においては、歩行者の通行に著しい支障を及ぼすおそれのあるときその他特別の理由があるときを除き、その前面道路のうち自動車交通に支障を及ぼすおそれの少ない道路に設けること。
  - 三 自動車の駐車のために供する部分の面積が6,000㎡以上の路外駐車場にあつては、縁石線又はさくその他これに類する工作物により自動車の出口及び入口を設ける道路の車線が往復の方向別に分離されている場合を除き、自動車の出口と入口とを分離した構造とし、かつ、それらの間隔を道路に沿って10m以上とすること。
  - 四 自動車の出口又は入口において、自動車の回転を容易にするため必要があるときは、隅切りをすること。この場合において、切取線と自動車の車路との角度及び切取線と道路との角度を等しくすることを標準とし、かつ、切取線の長さは、1.5m以上とすること。
  - 五 自動車の出口付近の構造は、当該出口から、イ又はロに掲げる路外駐車場又はその部分の区分に応じ、当該イ又はロに定める距離後退した自動車の車路の中心線上1.4mの高さにおいて、道路の中心線に直角に向かつて左右にそれぞれ60度以上の範囲内において、当該道路を通行する者の存在を確認できるようにすること。
    - イ 専ら大型自動二輪車及び普通自動二輪車（いずれも側車付きのものを除く。以下「特定自動二輪車」という。）の駐車のための路外駐車場又は路外駐車場の専ら特定自動二輪車の駐車のための部分（特定自動二輪車以外の自動車の進入を防止するための駒止めその他これに類する工作物により特定自動二輪車以外の自動車の駐車のための部分と区分されたものに限る。） 1.3m
    - ロ その他の路外駐車場又はその部分 2m
- 2 前項第一号の規定は、自動車の出口又は入口を次に掲げる道路又はその部分（当該道路又はその部分以外の同号イからへまでに掲げる道路又はその部分に該当するものを除く。）に設ける路外駐車場であつて、必要な変速車線を設けること、必要な交通整理が行われること等により、国土交通大臣が当該出口又は入口を設ける道路の円滑かつ安全な交通の確保に支障がないと認めるものについては、適用しない。
- 一 前項第一号イに掲げる道路の部分のうち、次に掲げるもの
    - イ 交差点の側端又はそこから5m以内の道路の部分
    - ロ トンネル
  - 二 橋
- 3 国土交通大臣は、前項の規定による認定をしようとするときは、あらかじめ、自動車の出口又は入口を同項第一号イに掲げる道路の部分に設ける場合にあつては関係のある道路管理者及び都道府県公安委員会と協議し、その他の場合にあつては関係のある道路管理者及び都道府県公安委員会の意見を聴かなければならない。
- 4 第1項第二号から第五号までの規定は、自動車の出口又は入口を道路内に設ける場合における当該自動車の出口（出口付近を含む。）又は入口については、適用しない。

**【車路に関する技術的基準】**

第8条 法第11条の政令で定める技術的基準のうち車路に関するものは、次のとおりとする。

- 一 自動車は円滑かつ安全に走行することができる車路を設けること。
- 二 自動車の車路の幅員は、イからハマまでに掲げる自動車の車路又はその部分の区分に応じ、当該イからハマまでに定める幅員とすること。
  - イ 一方通行の自動車の車路のうち、当該車路に接して駐車料金の徴収施設が設けられており、かつ、歩行者の通行の用に供しない部分 2.75m（前条第1項第五号イに掲げる路外駐車場又はその部分（以下この条において「自動二輪車専用駐車場」という。）の特定自動二輪車の車路又はその部分にあつては、1.75m）以上
  - ロ 一方通行の自動車の車路又はその部分（イに掲げる車路の部分を除く。） 3.5m（自動二輪車専用駐車場の特定自動二輪車の車路又はその部分にあつては、2.25m）以上
  - ハ その他の自動車の車路又はその部分 5.5m（自動二輪車専用駐車場の特定自動二輪車の車路又はその部分にあつては、3.5m）以上
- 三 建築物（建築基準法（昭和25年法律第201号）第2条第一号に規定する建築物をいう。以下同じ。）である路外駐車場の自動車の車路にあつては、次のいずれにも適合する構造とすること。
  - イ はり下の高さは、2.3m以上であること。
  - ロ 屈曲部（ターンテーブルが設けられているものを除く。以下同じ。）は、自動車を5m以上の内法半径で回転させることができる構造（自動二輪車専用駐車場の屈曲部にあつては、特定自動二輪車を3m以上の内法半径で回転させることができる構造）であること。
  - ハ 傾斜部の縦断勾配は、17%を超えないこと。
  - ニ 傾斜部の路面は、粗面とし、又は滑りにくい材料で仕上げること。

**【駐車の用に供する部分の高さ】**

第9条 建築物である路外駐車場の自動車の駐車の用に供する部分のはり下の高さは、2.1m以上でなければならない。

**【避難階段】**

第10条 建築物である路外駐車場において、直接地上へ通ずる出入口のある階以外の階に自動車の駐車の用に供する部分を設けるときは、建築基準法施行令（昭和25年政令第338号）第123条第1項若しくは第2項に規定する避難階段又はこれに代る設備を設けなければならない。

**【防火区画】**

第11条 建築物である路外駐車場に給油所その他の火災の危険のある施設を附置する場合には、当該施設と当該路外駐車場とを耐火構造（建築基準法第2条第七号に規定する耐火構造をいう。）の壁又は特定防火設備（建築基準法施行令第112条第1項に規定する特定防火設備をいう。）によつて区画しなければならない。

**【換気装置】**

第12条 建築物である路外駐車場には、その内部の空気を1時間につき10回以上直接外気と交換する能力を有する換気装置を設けなければならない。ただし、窓その他の開口部を有する階でその開口部の換気に有効な部分の面積がその階の床面積の10分の1以上であるものについては、この限りでない。

**【照明装置】**

第13条 建築物である路外駐車場には、次の各号に定める照度を保つために必要な照明装置を設けなければならない。

- 一 自動車の車路の路面 10ルクス以上
- 二 自動車の駐車の用に供する部分の床面 2ルクス以上

**【警報装置】**

第14条 建築物である路外駐車場には、自動車の出入及び道路交通の安全を確保するために必要な警報装置を設けなければならない。

**【特殊の装置】**

第15条 この節の規定は、その予想しない特殊の装置を用いる路外駐車場については、国土交通大臣がその装置がこの節の規定による構造又は設備と同等以上の効力があると認める場合においては、適用しない。

**【特定用途】**

第18条 法第20条第1項後段の自動車の駐車需要を生じさせる程度の大きい用途で政令で定めるものは、劇場、映画館、演芸場、観覧場、放送用スタジオ、公会堂、集会場、展示場、結婚式場、斎場、旅館、ホテル、料理店、飲食店、待合、キャバレー、カフェー、ナイトクラブ、バー、舞踏場、遊技場、ボーリング場、体育館、百貨店その他の店舗、事務所、病院、卸売市場、倉庫及び工場とする。





**⚠ 安全に関するご注意**

●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

- 正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
- このカタログの記載内容は2021年5月現在のものです。
- カタログに記載の仕様、外觀は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 所在地は変更になる場合がありますのでご了承ください。

このカタログは再生紙を使用しています。

**IHI運搬機械株式会社** パーキングシステム事業部

本社/〒104-0044 東京都中央区明石町8番1号 聖路加タワー

フリーダイヤル：0120-809-781 (パークナンバーワン)

ホームページアドレス：http://www.iuk.co.jp/



お問い合わせは上記またはもよりの営業所へお問い合わせ下さい。

北海道グループ TEL (011)211-8148 FAX (011)211-8156  
東北グループ TEL (022)211-9951 FAX (022)211-9953  
東京グループ TEL (03)5550-5794・5 FAX (03)5550-5313  
横浜連絡所 TEL (045)664-5495 FAX (045)212-0874  
中部グループ TEL (052)586-3261 FAX (052)565-7749

静岡連絡所 TEL (054)272-6412 FAX (054)272-6430  
関西グループ TEL (06)7730-9830 FAX (06)7730-9837  
中四国グループ TEL (082)297-4033 FAX (082)233-0013  
四国連絡所 TEL (087)823-2321 FAX (087)821-6067  
九州グループ TEL (092)718-2140 FAX (092)718-2144